

**平成25年度
札幌市の障がい福祉施策に係る
障がい児者実態等調査**

**報 告 書
(概要版)**

**平成26年3月
札 幌 市**

目 次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査方法	3
4	調査期間および調査基準日	3
5	回収状況	4
6	集計・分析上の注意事項	4
II	調査結果の概要	5
II-1	障がい者調査	5
1	本人の状況について	5
2	心身の状況について	8
3	障がい福祉サービスについて	12
4	外出の状況	15
5	仕事など	18
6	生活の場について	21
7	防災について	23
8	制度や政策等について	25
II-2	障がい児調査	28
1	あなたのこと、世帯の状況について	28
2	心身の状況について	31
3	障がい福祉サービスについて	34
4	外出の状況	38
5	学校・日中の過ごし方など	40
6	防災について	42
7	制度や政策等について	44
II-3	難病患者調査	48
1	あなたのこと、世帯の状況について	48
2	心身の状況について	52
3	障がい福祉サービスについて	55
4	外出の状況	59
5	仕事など	62
6	生活の場について	65
7	防災について	67
8	制度や政策等について	69

Ⅱ－ 4	施設入所者調査	72
1	年齢	72
2	性別	72
3	入所期間	73
4	障害者総合支援法による障害程度区分について	73
5	地域生活への移行について	74
6	退所の可能性について	75
7	施設の取組など	79
Ⅱ－ 5	精神科病院入院患者調査	80
1	年齢	80
2	性別	80
3	生活保護	81
4	入院形態	81
5	疾患名	82
6	在院期間	83
7	入院時の住所	83
8	症状	84
9	退院に向けての要件について	85
1 0	退院に向けての必要資源について	86
Ⅱ－ 6	市民意識調査	89
1	あなたのことについて	89
2	障がいのある人とのかかわりについて	90
3	障がいのある人が働く店について	94
4	障害者権利条約などについて	100
5	札幌市の施策について	101

I 調査概要

I 調査概要

1 調査の目的

障がい者(児)の生活や活動状況、障害福祉サービス等の利用状況などを把握し、さっぽろ障がい者プランの改定、札幌市の障がい福祉施策の検討のための基礎資料等とすることを目的とした。

2 調査対象

(1) 調査対象者

① 障がい者(18歳以上)

札幌市内に居住する身体障害者手帳の被交付者
札幌市内に居住する療育手帳の被交付者
札幌市内の精神科病院に通院している方、地域活動支援センター等を利用している方、グループホーム等で生活している方

② 障がい児(18歳未満)

札幌市内に居住する身体障害者手帳の被交付者
札幌市内に居住する療育手帳の被交付者

③ 難病患者調査

難病患者団体の会員の方

④ 施設入所者調査

札幌市内の障がい者入所施設を利用している方を対象とし、施設長等に回答を依頼した。

⑤ 精神科病院入院患者調査

札幌市内の精神科病院の入院患者を対象とし、院長等に回答を依頼した。

⑥ 市民意識調査

札幌市内に居住する20歳以上の市民

(2) 対象者の抽出

身体障がい者(児)については、「身体障害者手帳交付台帳」、知的障がい者(児)については、「療育手帳交付台帳」をもとに対象者数を抽出した。身体障がい者(児)と知的障がい者(児)の対象者数については、平成22年度調査を参考に回収率を定め、抽出数を設定した。精神障がい者については、留置法により行うことを想定したため、平成22年度調査を参考に回収率を設定し、配布数を決定した。
市民意識調査は、平成22年度調査を参考に抽出数を設定した。

(3) 抽出方法

身体障がい者(児)については、障がい区分によるばらつきが出ないように障がい区分(視覚、聴覚、平衡機能、音声・言語、そしゃく機能、肢体不自由、内部障がい)、障がい程度(重度、中度、軽度)の比率により各区分を層化し、各層から無作為に抽出した。
知的障がい者(児)については、療育手帳種別の比率により層化し、各層から無作為に抽出した。
市民意識調査については、住民基本台帳から無作為に抽出した。

図表 I-1 障がい者（児）調査 抽出数

単位：票

調査種別	手帳交付者数	抽出数	想定有効回答数
1 障がい者調査			
身体障がい	85,870	2,000	1,000
知的障がい	9,953	2,000	1,000
精神障がい	19,405	2,000	1,000
2 障がい児調査			
身体障がい	1,630	500	250
知的障がい	4,554	500	250
合計		7,000	3,500

図表 I-2 難病患者調査 抽出数

単位：票

	抽出数	想定有効回答数
難病患者調査	500	250

図表 I-3 施設・病院調査 抽出数

単位：箇所

	施設数	抽出数	想定有効回答数
施設入所者調査	29	29	悉皆
精神科病院入院患者調査	39	39	悉皆
合計	68	68	悉皆

図表 I-4 市民意識調査 抽出数

単位：票

	人口 (札幌市に住民登録している 満20歳以上の住民) (H25.10.1時点)	抽出数	想定有効回答数
市民意識調査	1,608,535	3,000	1,500

3 調査方法

(1) 障がい者(児)調査

郵送により調査票を発送・回収した。ただし、精神障がい者については、市内の精神科病院28ヵ所、就労支援事業所等の日中活動系サービス27ヵ所、地域活動支援センター・地域共同作業所25ヵ所、共同生活援助(グループホーム)等の居住系サービス38ヵ所に調査票を留置し、郵送により回収した。

(2) 施設・病院調査

電子メールにより調査票を送信・回収した。

(3) 市民意識・難病患者調査

郵送により調査票を発送・回収した。

4 調査期間および調査基準日

調査期間は平成25年11月5日から平成25年11月29日までとし、調査基準日は平成25年11月1日とした。

なお、難病患者調査のみ、調査期間は平成25年11月25日から12月20日までとした。

5 回収状況

本調査の回収状況については、次表のとおりである。

図表 I-5 障がい者（児）調査 回収状況

単位：票、%

	発送	回収	回収率
障がい者調査	6,000	2,951	49.2%
障がい児調査	1,000	490	49.0%
合計	7,000	3,441	49.2%

図表 I-6 難病患者調査 回収状況

単位：票、%

	発送	回収	回収率
難病患者調査	500	264	52.8%

図表 I-7 施設・病院調査 回収状況

単位：票

	発送	回収
施設入所者調査	29	28
精神科病院入院患者調査	39	28
合計	68	56

図表 I-8 市民意識調査 回収状況

単位：票、%

	発送	回収	回収率
市民意識調査	3,000	1,316	43.9%

6 集計・分析上の注意事項

報告書内の図表については、有効回答数を「N」で標記した。

図表中の構成比(%)については、小数点第2位以下を四捨五入したものであり、端数処理のため、合計は必ずしも100.0%にならない場合がある。

Ⅱ 調査結果の概要

Ⅱ 調査結果の概要

Ⅱ-1 障がい者調査

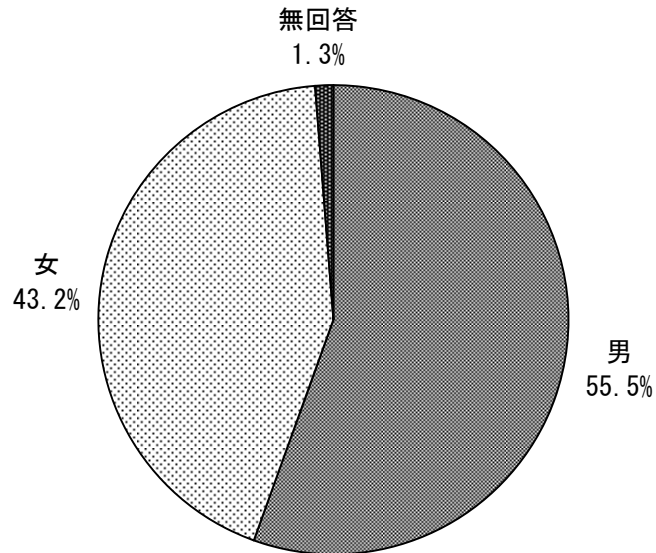
1 本人の状況について

(1) 性別

問1 あなたの性別に○をつけてください。

性別は、「男性」が 55.5%と高く、「女性」が 43.2%となっている。

図表Ⅱ-1-1 性別 (N=2,951)

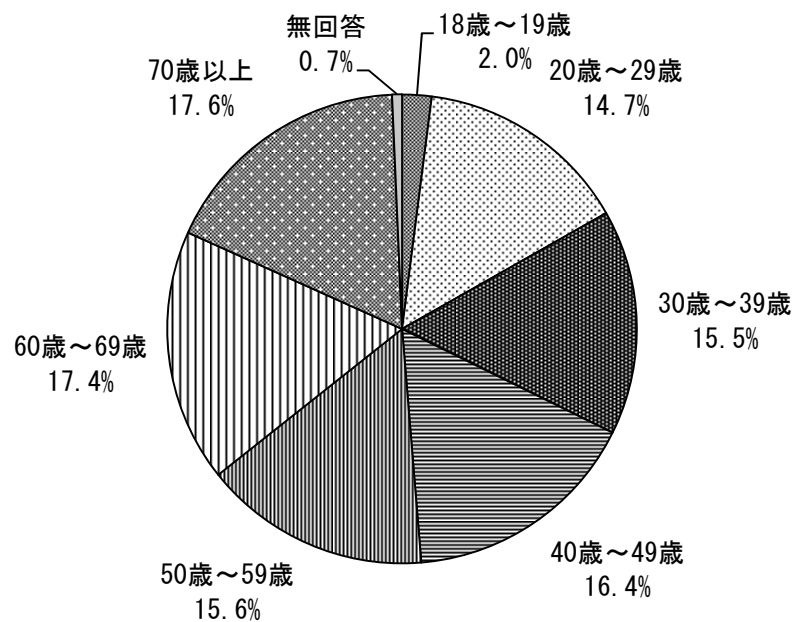


(2) 年齢

問2 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

年齢は、「70歳以上」が 17.6%と最も高く、次いで「60歳～69歳」が 17.4%となっている。

図表Ⅱ-1-2 年齢 (N=2,951)

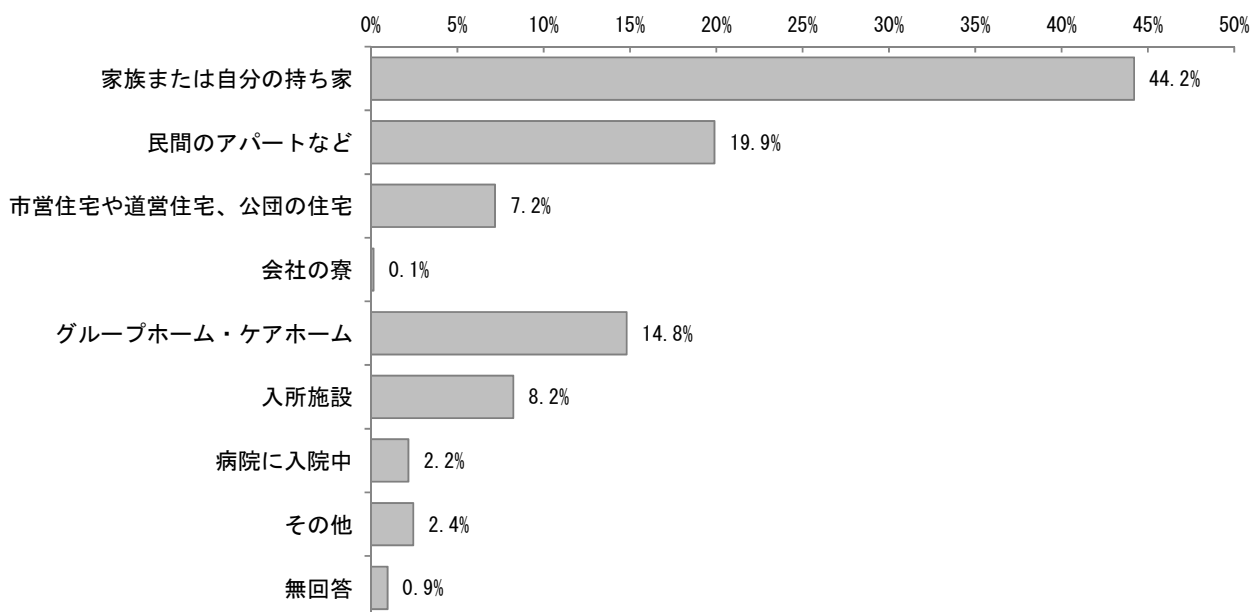


(3) 生活している場所

問 3 あなたは、現在どこで生活していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

生活している場所は、「家族または自分の持ち家」が 44.2%と最も高く、次いで「民間のアパートなど」が 19.9%となっている。

図表Ⅱ-1-3 生活している場所 (N=2,951)

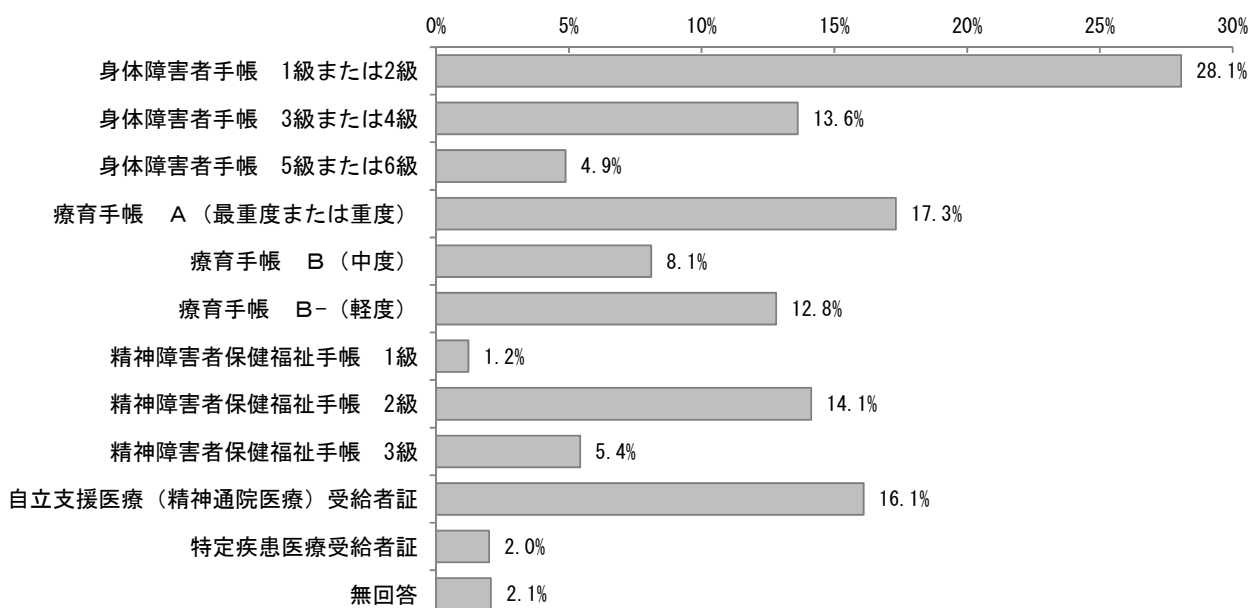


(4) 障がい者手帳などの種類

問 4 あなたが持っている障がい者手帳などの種類はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がい者手帳などの種類は、「身体障害者手帳 1 級または 2 級」が 28.1%と最も高く、次いで「療育手帳 A (最重度または重度)」が 17.3%となっている。

図表Ⅱ-1-4 障がい者手帳などの種類 (複数回答、N=2,951)

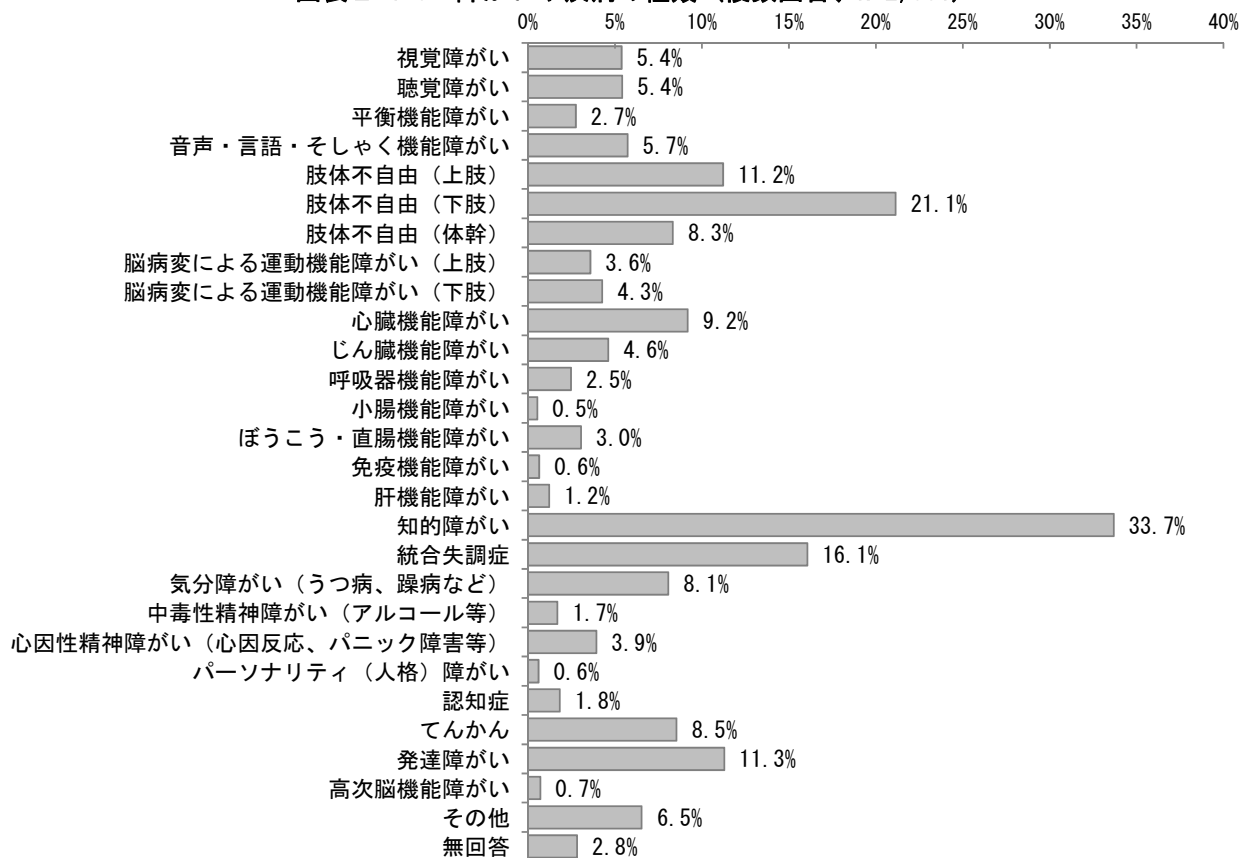


(5) 障がいや疾病の種類

問 5 あなたの障がいや疾病で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいや疾病の種類は、「知的障がい」が33.7%と最も高く、次いで「肢体不自由（下肢）」が21.1%となっている。

図表Ⅱ-1-5 障がいや疾病の種類（複数回答、N=2,951）



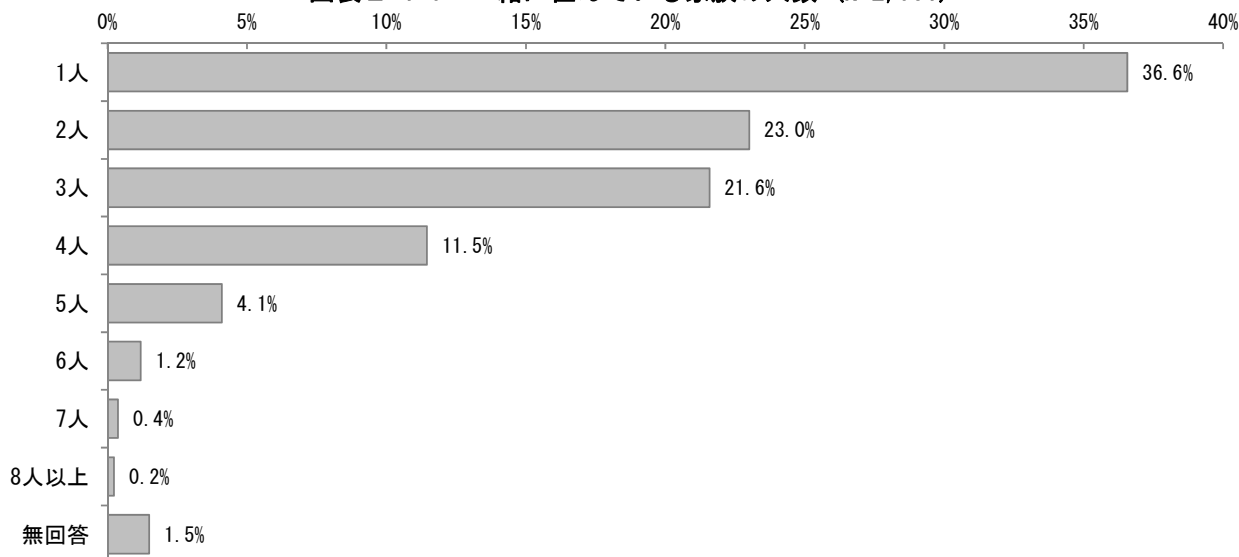
(6) 一緒に住んでいる家族の人数

問 6 家族のことについておしえてください。

(1) あなたは何人家族ですか。

一緒に住んでいる家族の人数は、「1人」が36.6%と最も高く、次いで「2人」が23.0%となっている。

図表Ⅱ-1-6 一緒に住んでいる家族の人数（N=2,951）

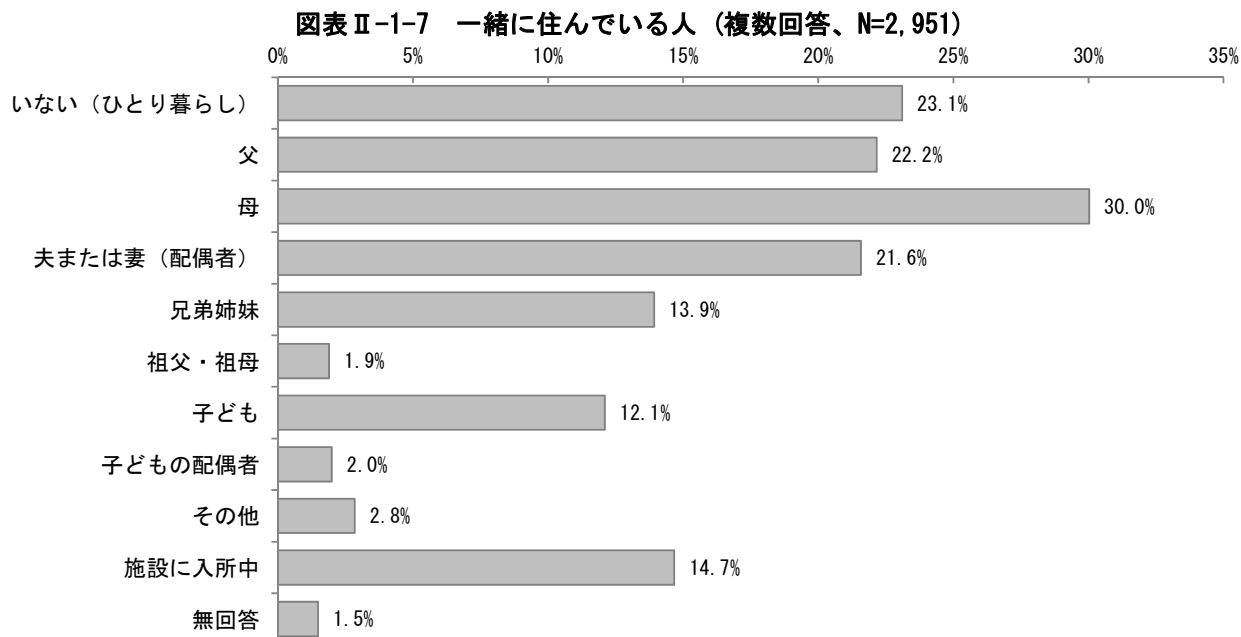


(7) 一緒に住んでいる人

問 6 家族のことについておしえてください。

(2) 一緒に住んでいる人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

一緒に住んでいる人は、「母」が 30.0%と最も高く、次いで「いない(ひとり暮らし)」が 23.1%となっている。



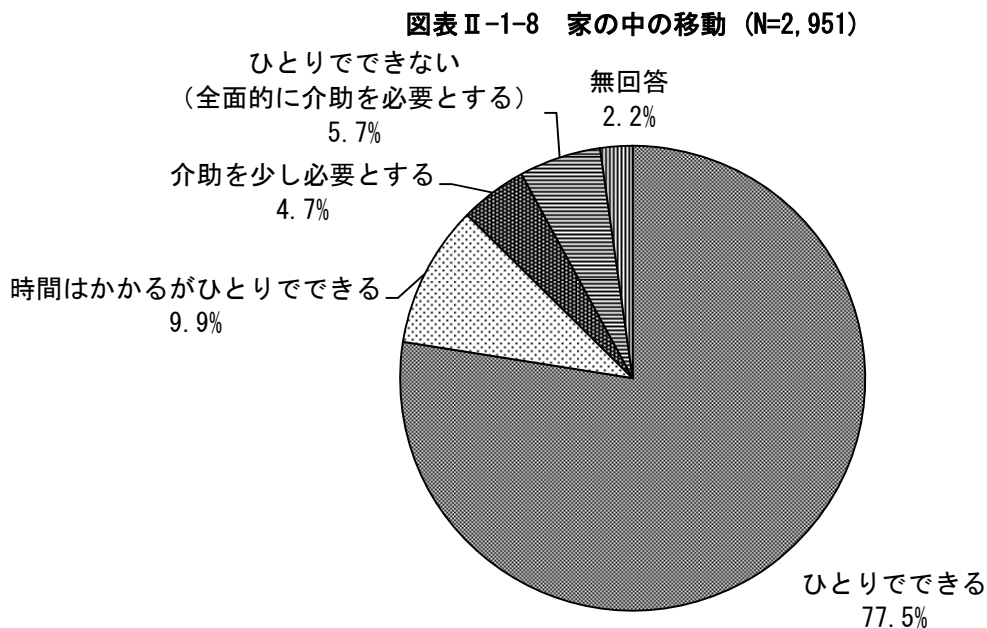
2 心身の状況について

(1) 自立性

問 7 あなたは、日常生活の中で、次の項目をひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

① 家の中の移動

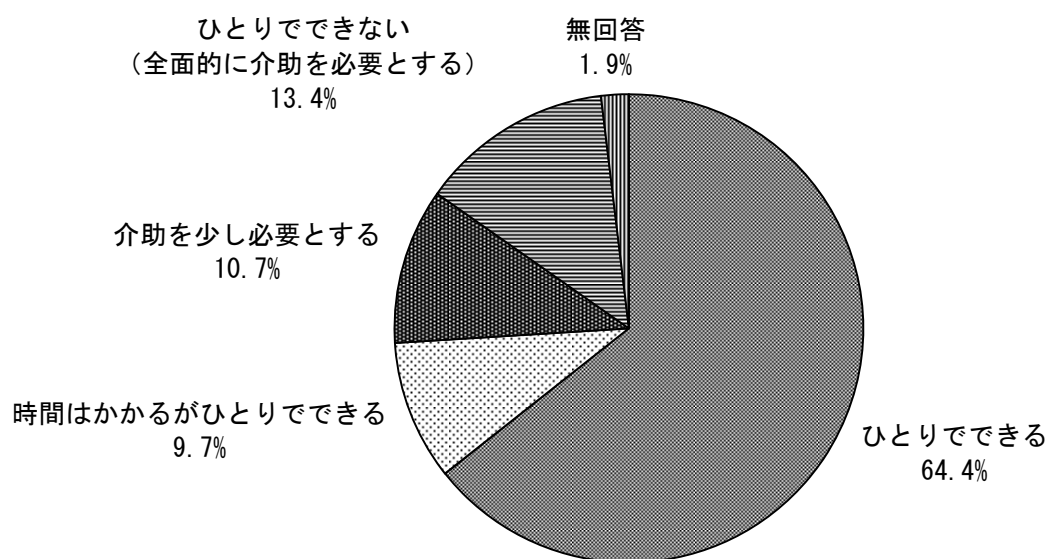
家の中の移動は、「ひとりでできる」が 77.5%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が 9.9%となっている。



② 入浴

入浴は、「ひとりでできる」が 64.4%と最も高く、次いで「ひとりでできない(全面的に介助を必要とする)」が 13.4%となっている。

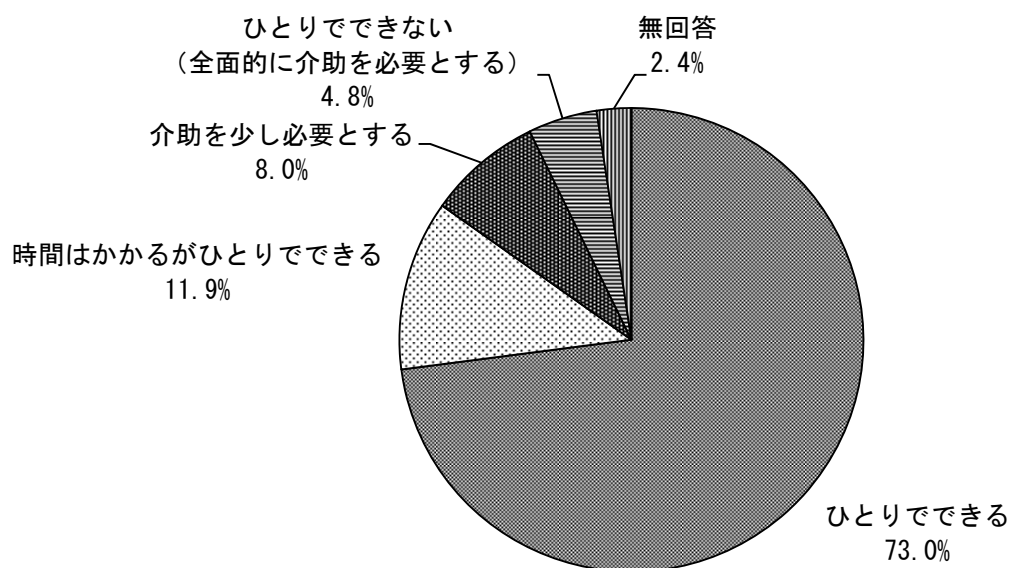
図表Ⅱ-1-9 入浴 (N=2,951)



③ 食事

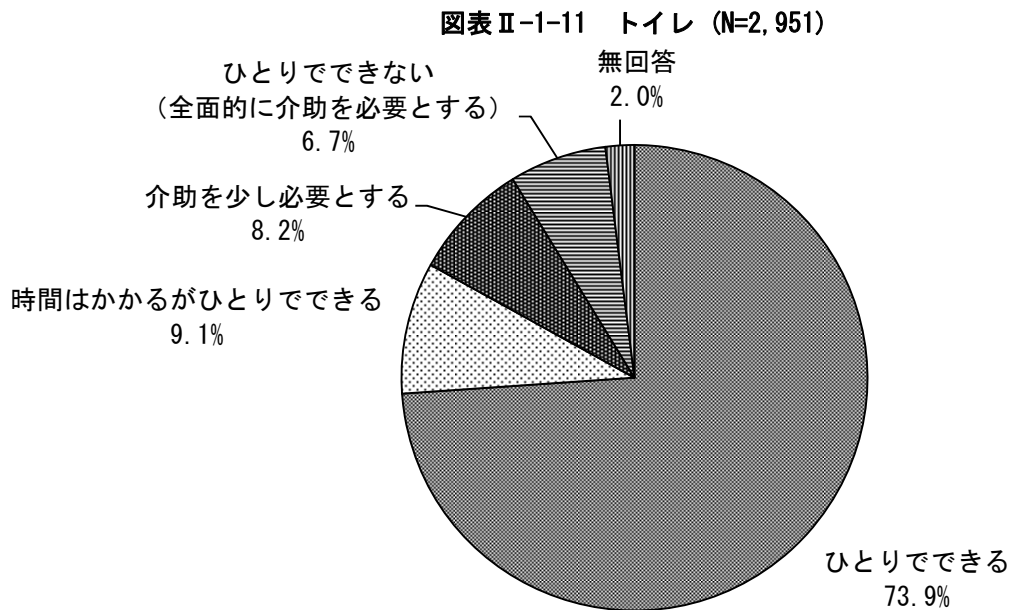
食事は、「ひとりでできる」が 73.0%と最も高く、次いで「時間がかかるがひとりでできる」が 11.9%となっている。

図表Ⅱ-1-10 食事 (N=2,951)



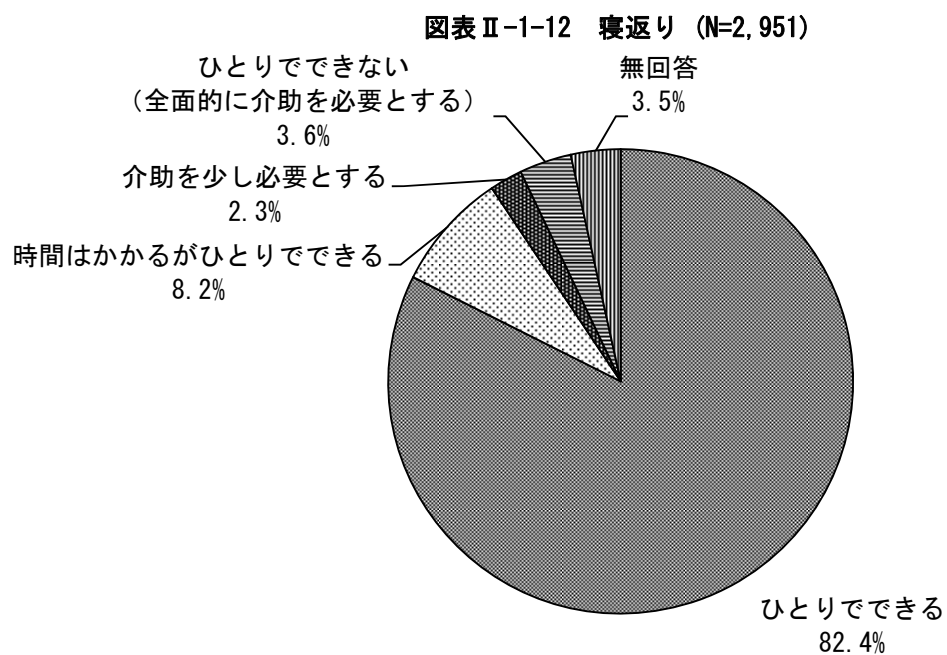
④ トイレ

トイレは、「ひとりでできる」が 73.9%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が 9.1%となっている。



⑤ 寝返り

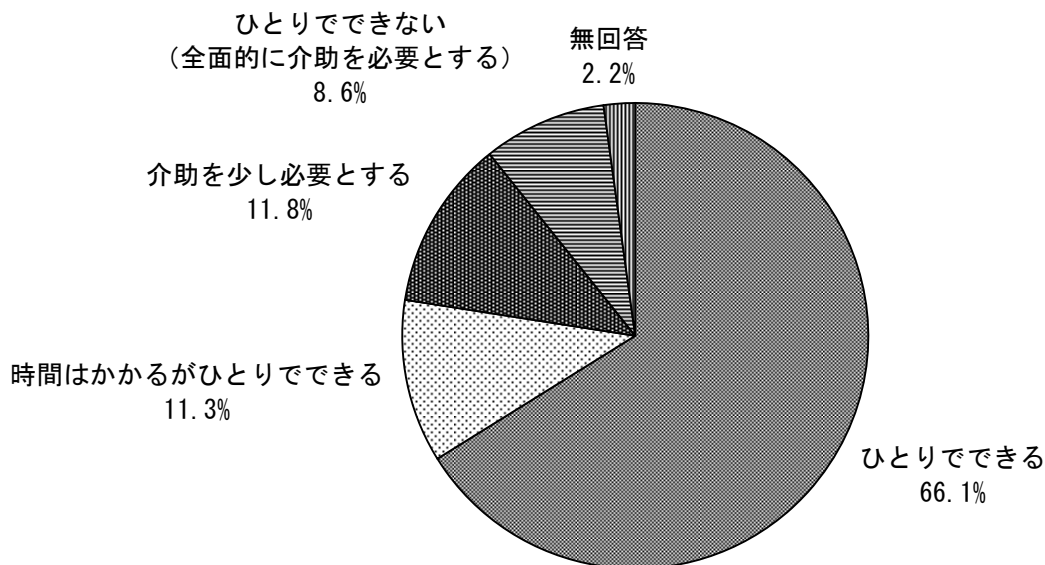
寝返りは、「ひとりでできる」が 82.4%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が 8.2%となっている。



⑥ 着替えや洗顔、歯みがき、ひげそりなど

着替えや洗顔、歯みがき、ひげそりなどは、「ひとりでできる」が 66.1%と最も高く、次いで「介助を少し必要とする」が 11.8%となっている。

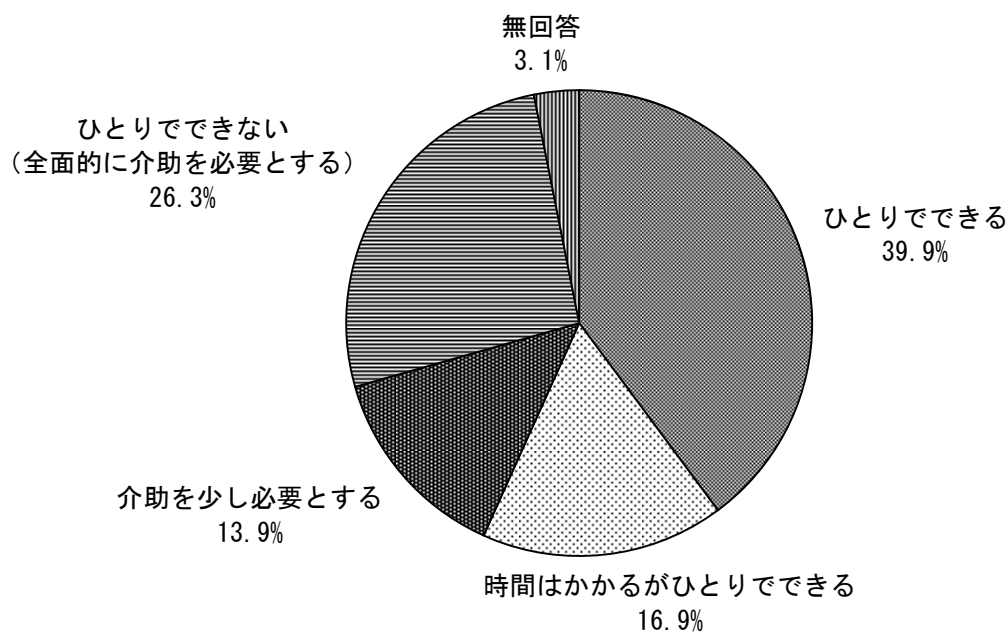
図表Ⅱ-1-13 着替えや洗顔、歯みがき、ひげそりなど (N=2,951)



⑦ 家事(調理・掃除・洗濯等)

家事(調理・掃除・洗濯等)は、「ひとりでできる」が 39.9%と最も高く、次いで「ひとりでできない(全面的に介助を必要とする)」26.3%となっている。

図表Ⅱ-1-14 家事(調理・掃除・洗濯等) (N=2,951)



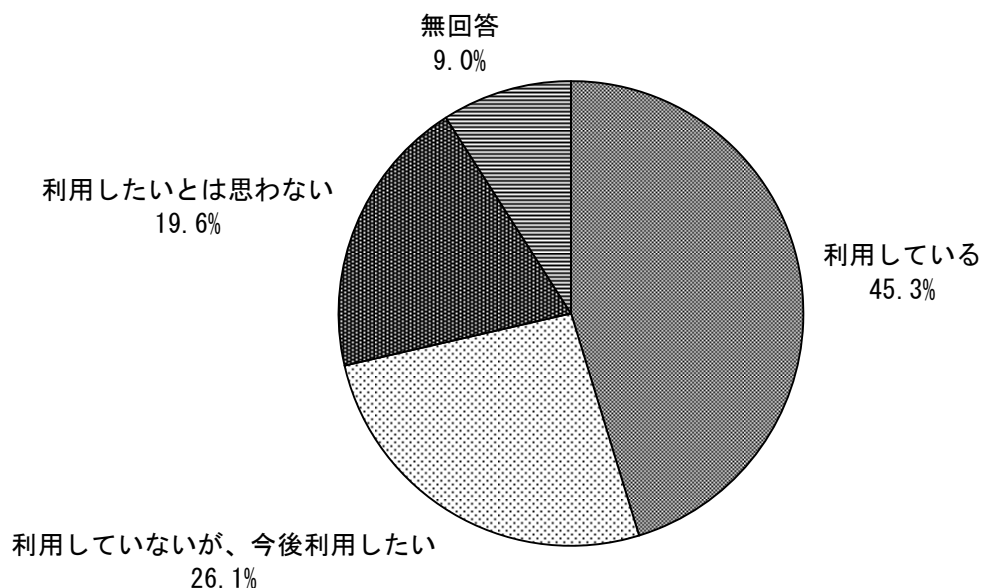
3 障がい福祉サービスについて

(1) 障がい福祉サービス(障害者総合支援法)の利用

問 8 あなたは、現在、障がい福祉サービス(障害者総合支援法)を利用していますか。

障がい福祉サービス(障害者総合支援法)の利用は、「利用している」が45.3%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が26.1%となっている。

図表Ⅱ-1-15 障がい福祉サービス（障害者総合支援法）の利用（N=2,951）



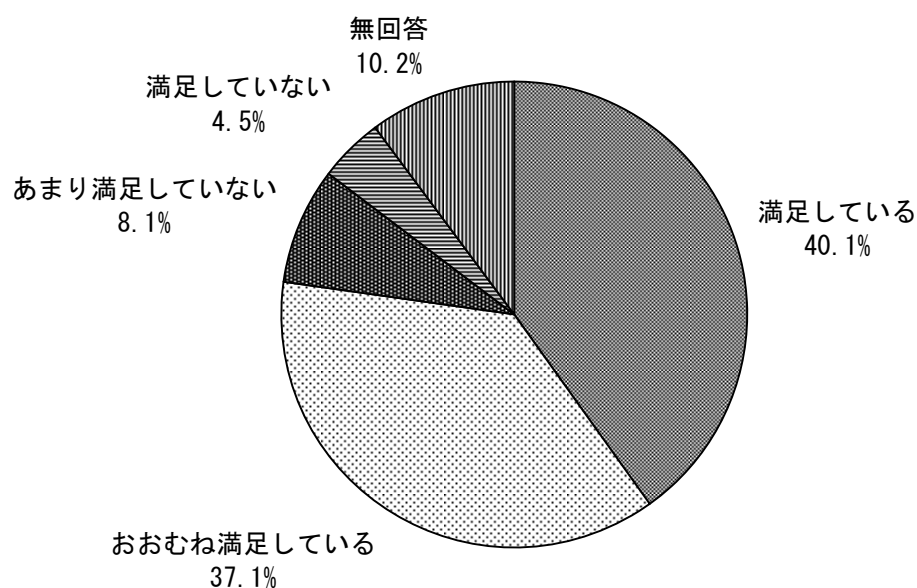
(2) 満足度

問 8-1 あなたは、現在受けている障がい福祉サービス(障害者総合支援法)に満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

① 支給決定の内容(サービスを利用できる時間数)

支給決定の内容(サービスを利用できる時間数)は、「満足している」が40.1%と最も高く、次いで「おおむね満足している」が37.1%となっている。

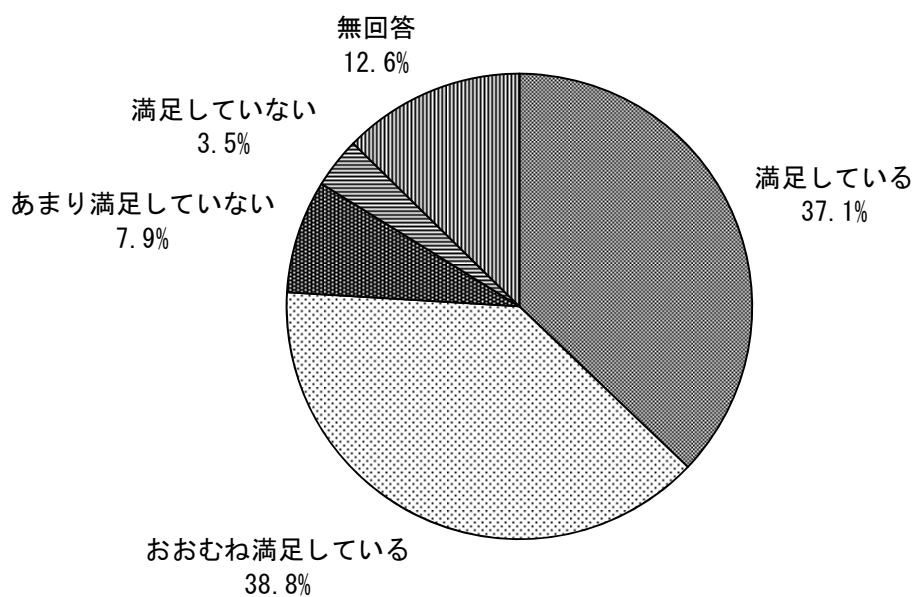
図表Ⅱ-1-16 満足度【支給決定の内容（サービスを利用できる時間数）】（N=1,336）



② サービスの内容

サービスの内容は、「おおむね満足している」が 38.8%と最も高く、次いで「満足している」が 37.1%となっている。

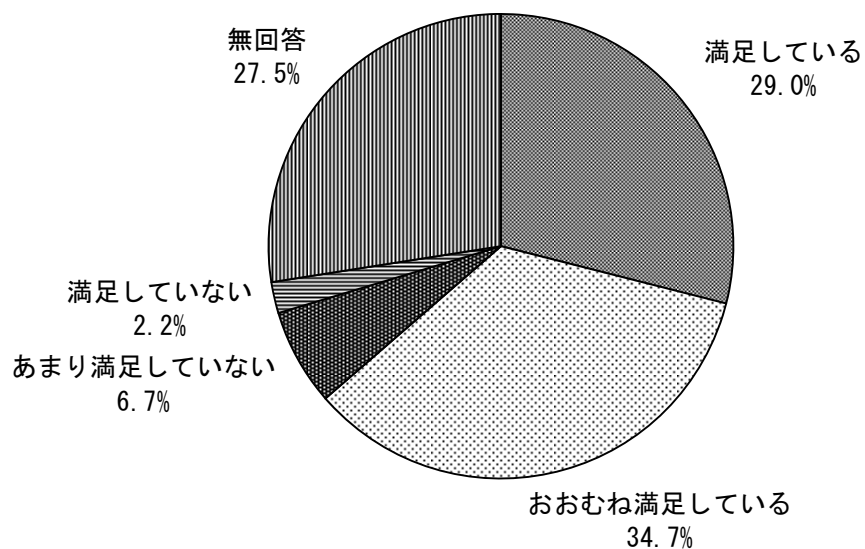
図表Ⅱ-1-17 満足度【サービスの内容】 (N=1,336)



③ ヘルパーの技術

ヘルパーの技術は、「おおむね満足している」が 34.7%と最も高く、次いで「満足している」が 29.0%となっている。

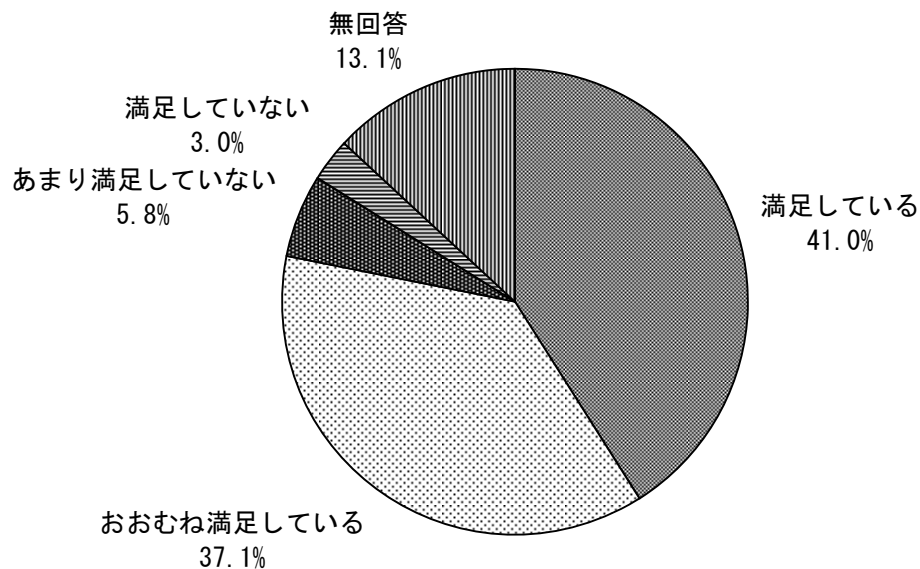
図表Ⅱ-1-18 満足度【ヘルパーの技術】 (N=1,336)



④ 事業所の対応(わかりやすく説明してくれるか等)

事業所の対応(わかりやすく説明してくれるか等)は、「満足している」が 41.0%と最も高く、次いで「おおむね満足している」が 37.1%となっている。

図表Ⅱ-1-19 満足度【事業所の対応(わかりやすく説明してくれるか等)】 (N=1,336)

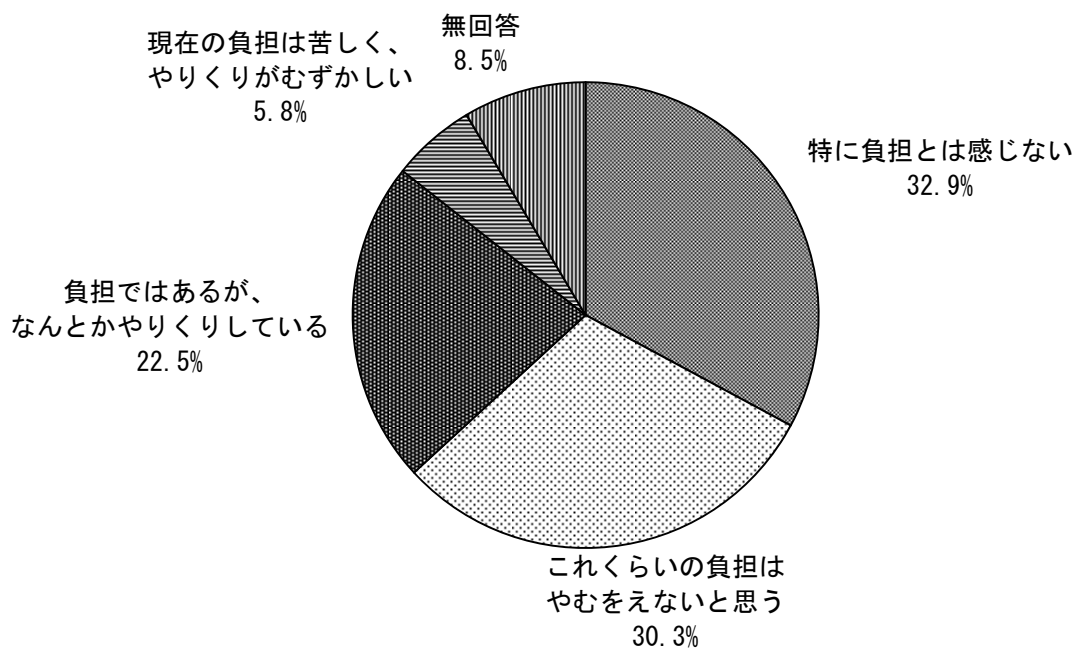


(3) 支払っている利用者負担額の負担感

問 8-2 現在支払っている利用者負担について、どう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

支払っている利用者負担額の負担感は、「特に負担とは感じない」が 32.9%と最も高く、次いで「これくらいの負担はやむをえないと思う」が 30.3%となっている。

図表Ⅱ-1-20 支払っている利用者負担額の負担感 (N=1,336)

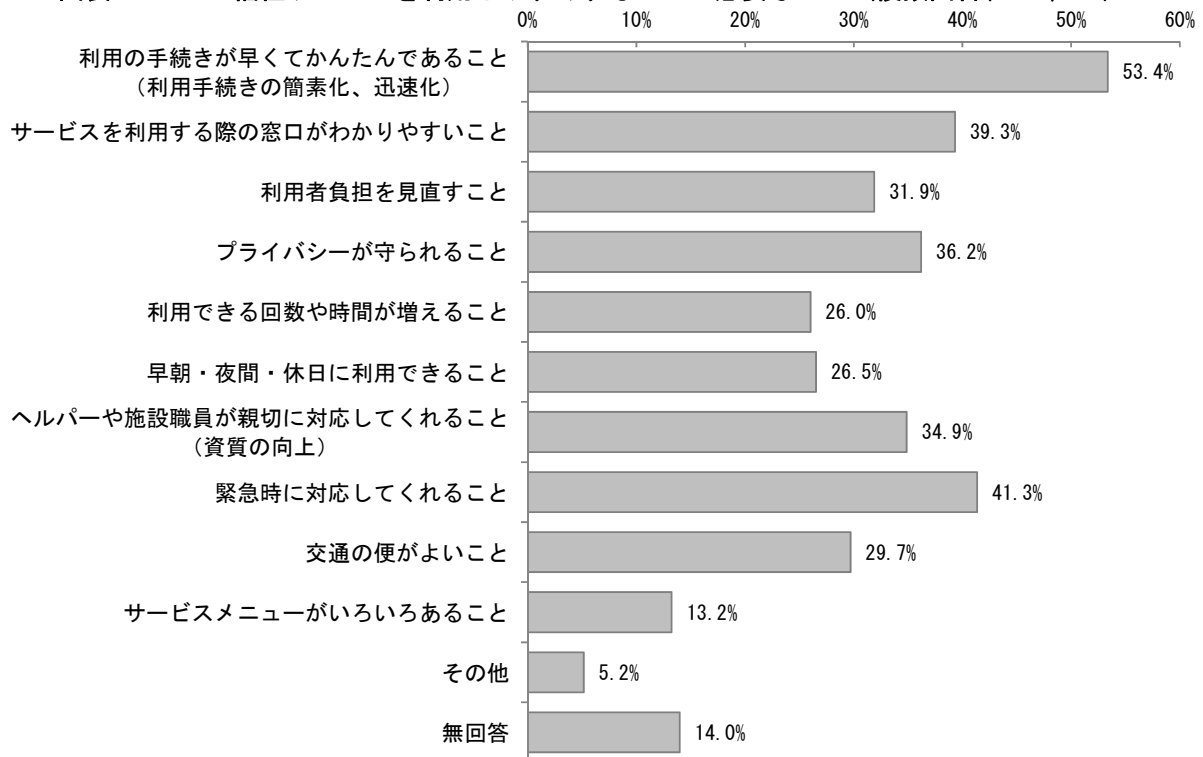


(4) 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと

問 9 あなたは、福祉サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

福祉サービスを利用しやすくするために必要なことは、「利用の手続きが早くてかんたんであること(利用手続きの簡素化、迅速化)」が 53.4%と最も高く、次いで「緊急時に対応してくれること」が 41.3%となっている。

図表Ⅱ-1-21 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと（複数回答、N=2,951）



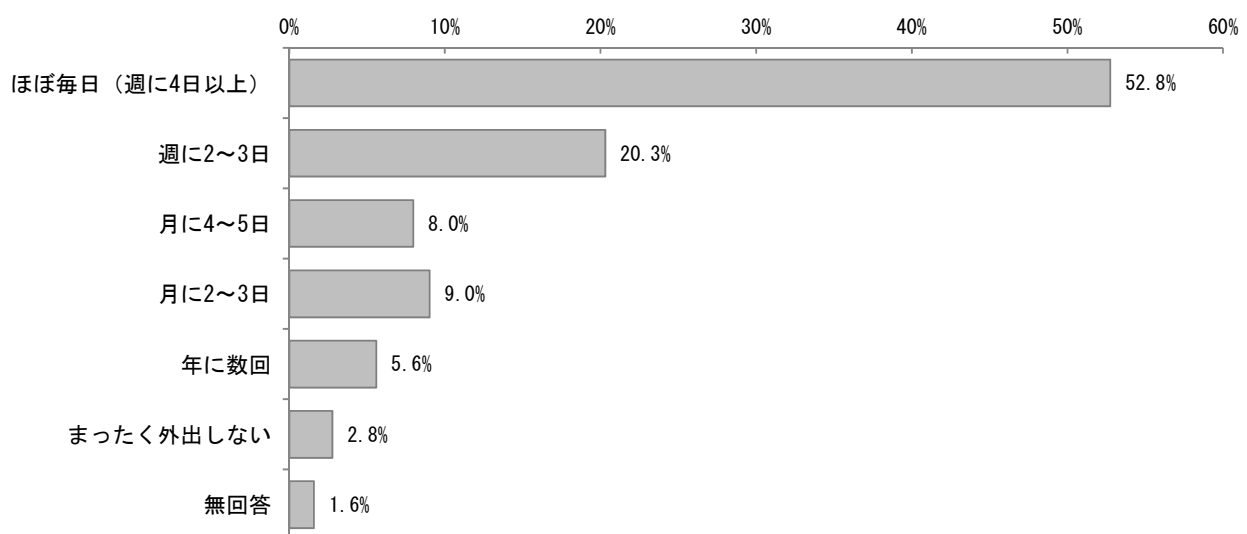
4 外出の状況

(1) 外出頻度

問 10 あなたは、普段どのくらい外出しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

外出頻度は、「ほぼ毎日(週に4日以上)」が 52.8%と最も高く、次いで「週に2~3日」が 20.3%となっている。

図表Ⅱ-1-22 外出頻度 (N=2,951)

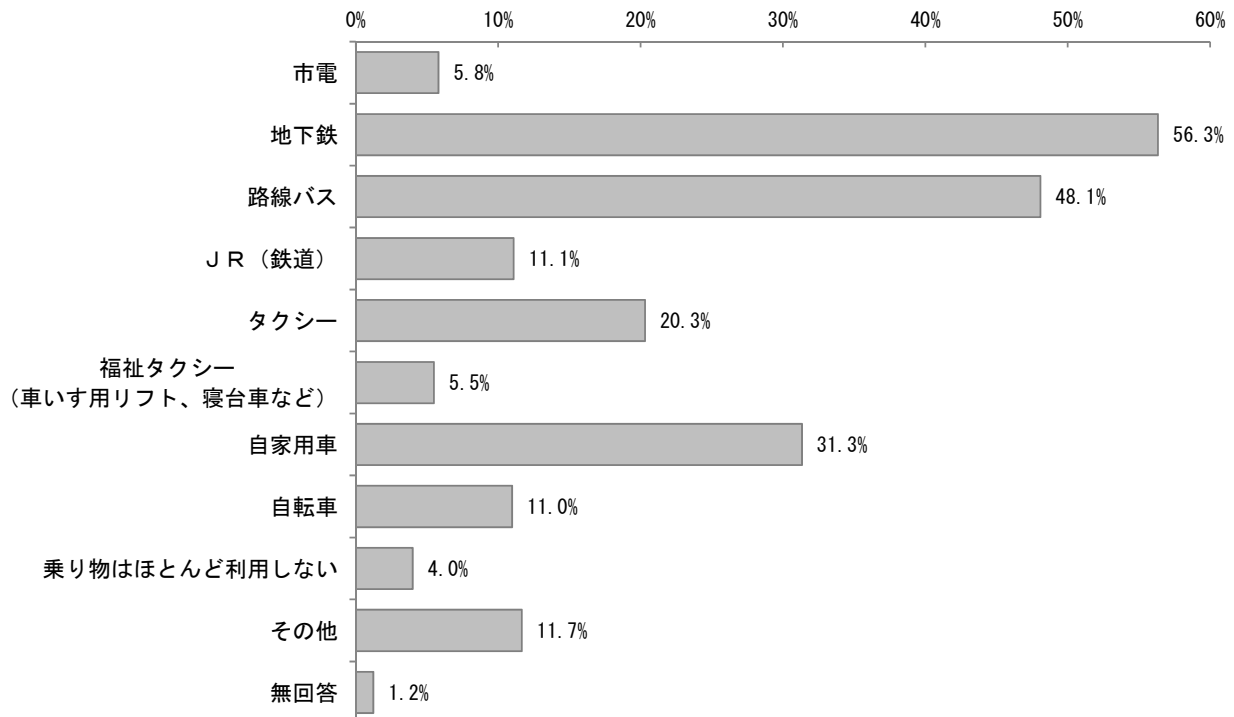


(2) 外出する時に利用する主な乗り物

問 10-1 外出する時に利用する乗り物は何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

外出する時に利用する主な乗り物は、「地下鉄」が56.3%と最も高く、次いで「路線バス」が48.1%となっている。

図表Ⅱ-1-23 外出する時に利用する主な乗り物（複数回答、N=2,822）

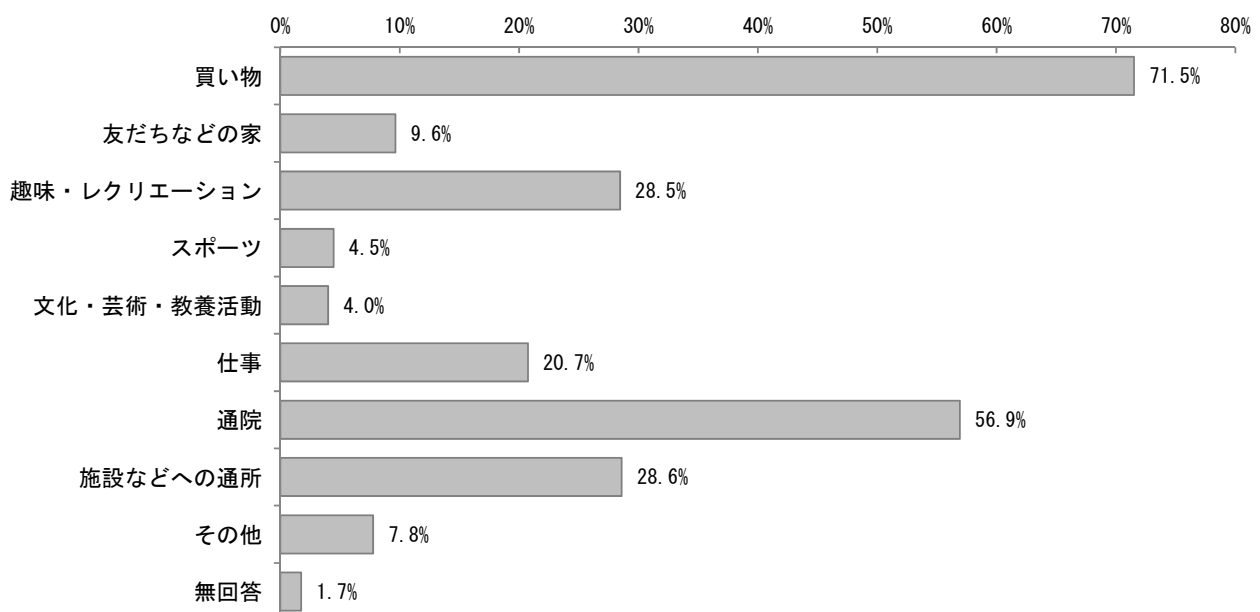


(3) 主な外出目的

問 10-2 外出の目的は何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

主な外出目的は、「買い物」が71.5%と最も高く、次いで「通院」が56.9%となっている。

図表Ⅱ-1-24 主な外出目的（複数回答、N=2,822）

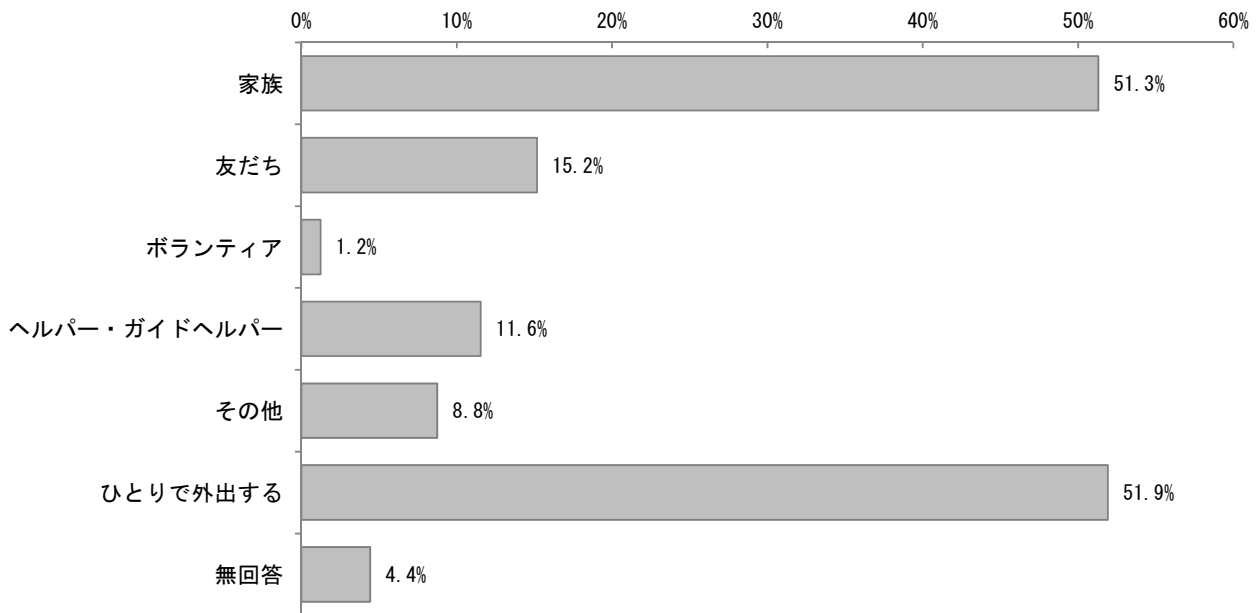


(4) 主な外出同伴者

問 10-3 だれと一緒に外出することが多いですか。主な方を2人まで選んで○をつけてください。

主な外出同伴者は、「ひとりで外出する」が 51.9%と最も高く、次いで「家族」が 51.3%となっている。

図表Ⅱ-1-25 主な外出同伴者（複数回答、N=2,822）

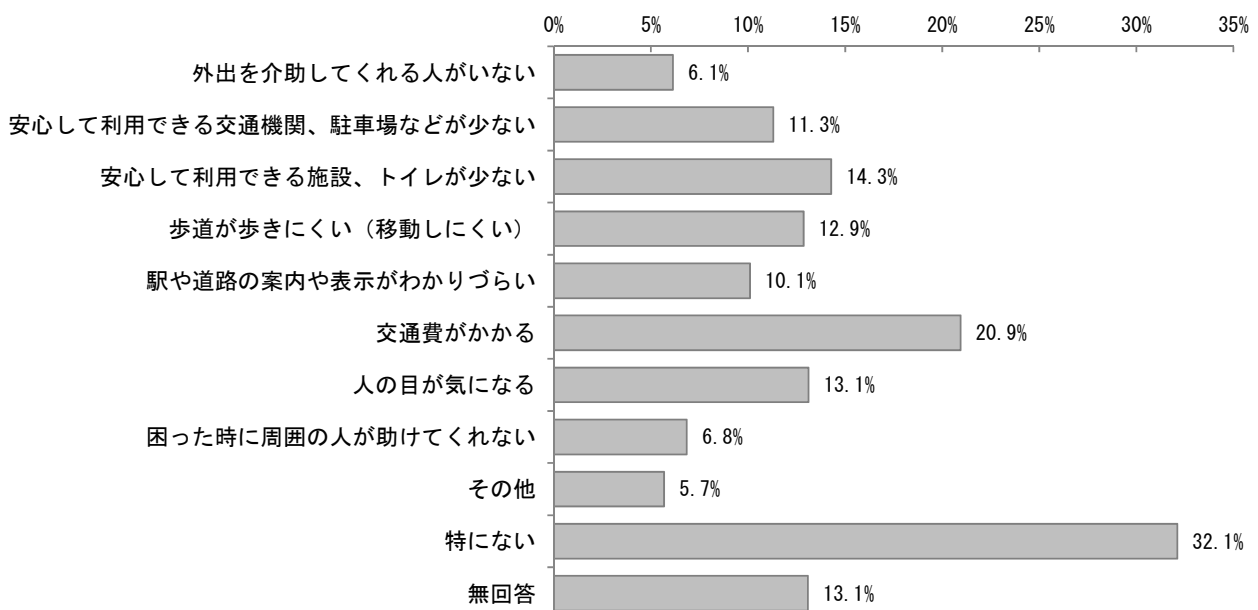


(5) 外出するときに困っていること

問 10-4 外出するときに困っていることは何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

外出するときに困っていることは、「特にない」が 32.1%と最も高く、次いで「交通費がかかる」が 20.9%となっている。

図表Ⅱ-1-26 外出するときに困っていること（複数回答、N=2,822）

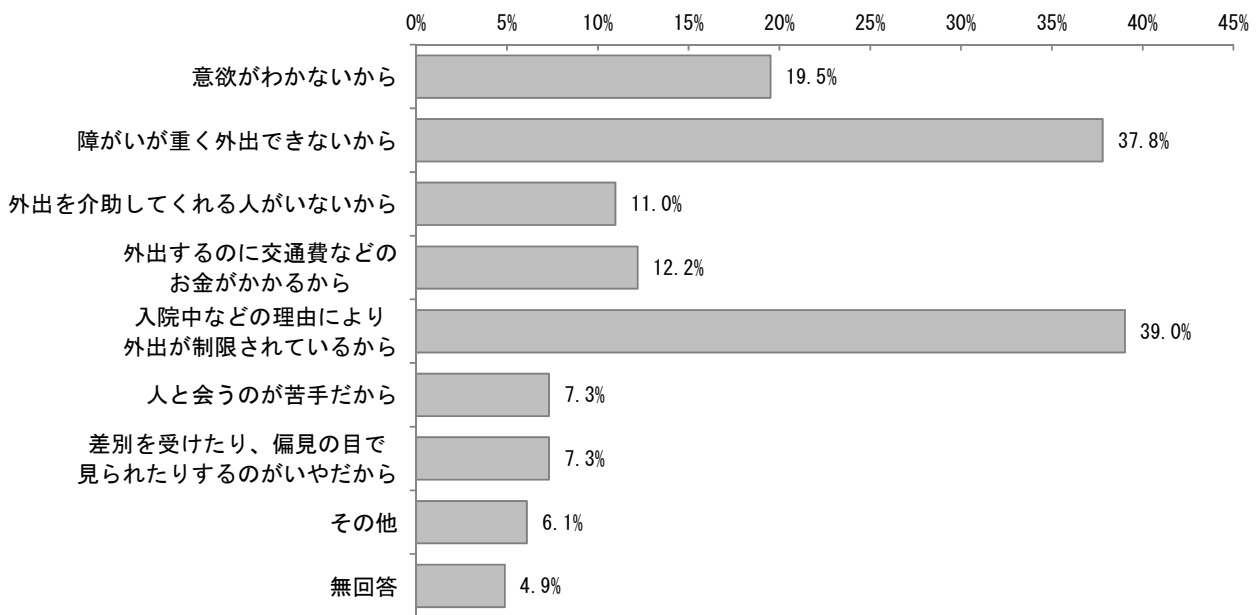


(6) まったく外出しない理由

問 10-5 まったく外出しない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

まったく外出しない理由は、「入院中などの理由により外出が制限されているから」が 39.0%と最も高く、次いで「障がいが高く外出できないから」が 37.8%となっている。

図表Ⅱ-1-27 まったく外出しない理由（複数回答、N=82）



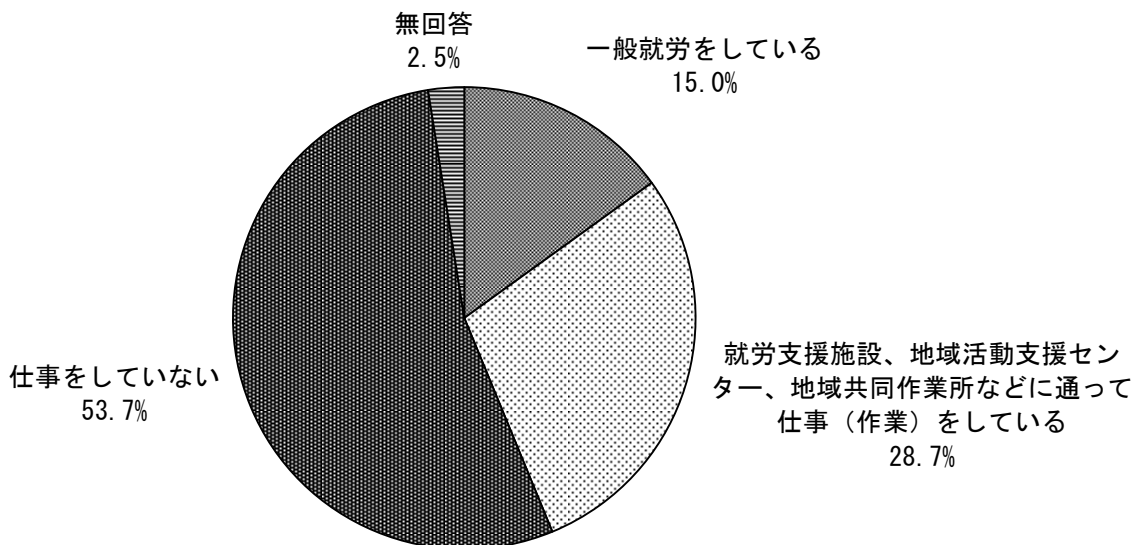
5 仕事など

(1) 仕事や作業の有無

問 11 あなたは現在、仕事をしていますか。

仕事や作業の有無は、「仕事をしていない」が 53.7%と最も高く、次いで「就労支援施設、地域活動支援センター、地域共同作業所などに通って仕事（作業）をしている」が 28.7%となっている。

図表Ⅱ-1-28 仕事や作業の有無（N=2,951）

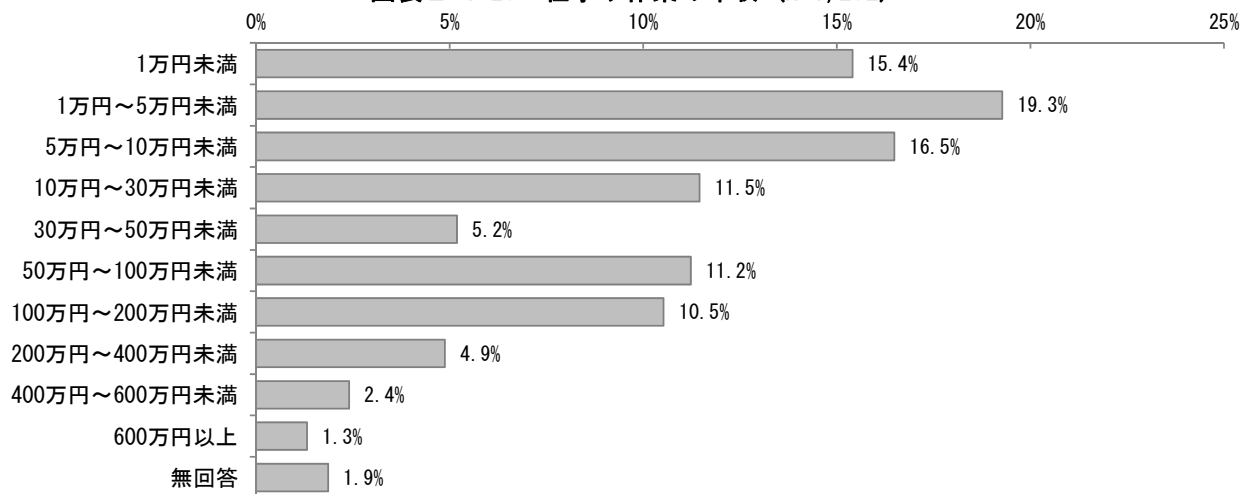


(2) 仕事や作業の年収

(1) あなたの仕事(作業)の年収はどれくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

仕事や作業の年収は、「1万円～5万円未満」が19.3%と最も高く、次いで「5万円～10万円未満」が16.5%となっている。

図表Ⅱ-1-29 仕事や作業の年収 (N=1,292)

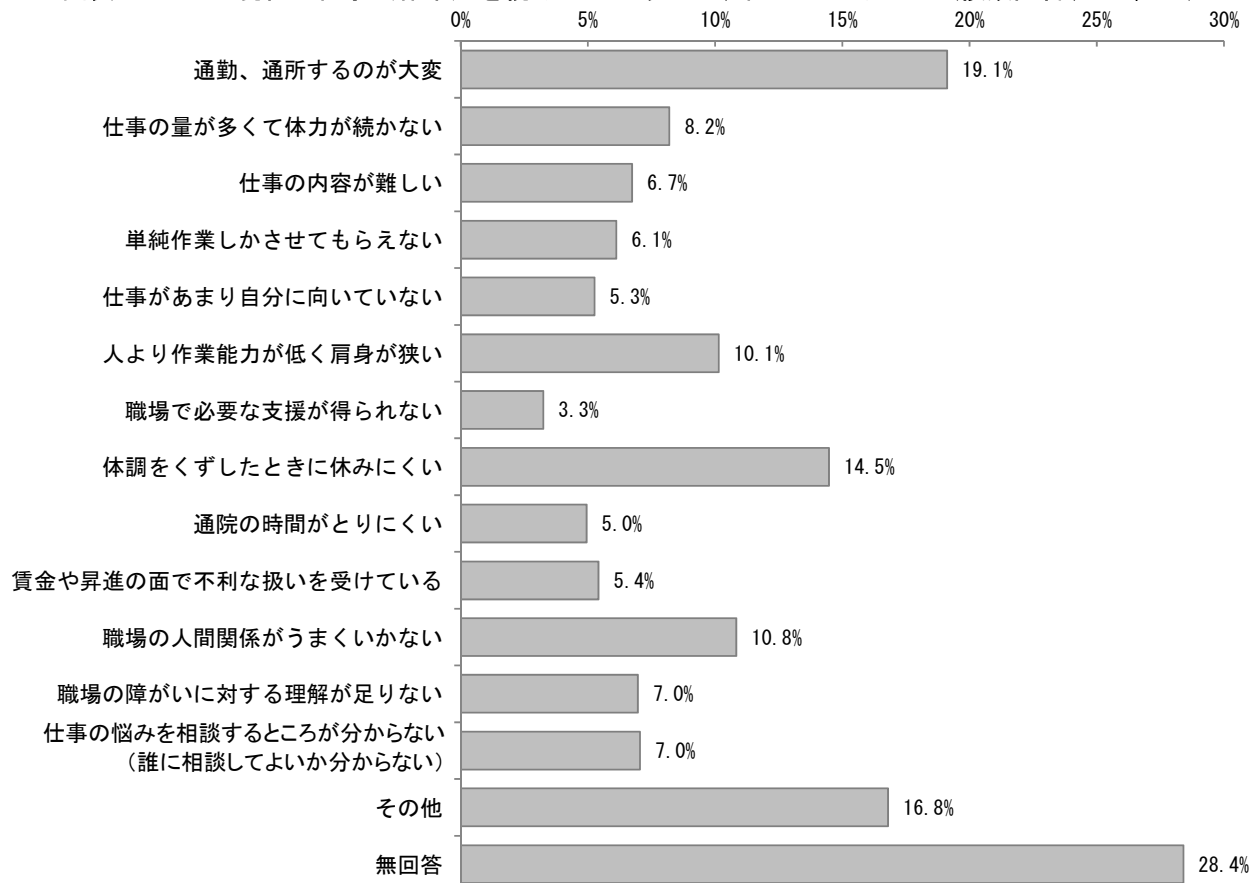


(3) 現在の仕事(作業)を続けていくうえで、困っていること

(2) あなたが現在の仕事(作業)を続けていくうえで、困っていることはありますか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

現在の仕事(作業)を続けていくうえで、困っていることは、「その他」と「無回答」を除くと、「通勤、通所するのが大変」が19.1%と最も高く、次いで「体調をくずしたときに休みにくい」が14.5%となっている。

図表Ⅱ-1-30 現在の仕事(作業)を続けていくうえで、困っていること (複数回答、N=1,292)

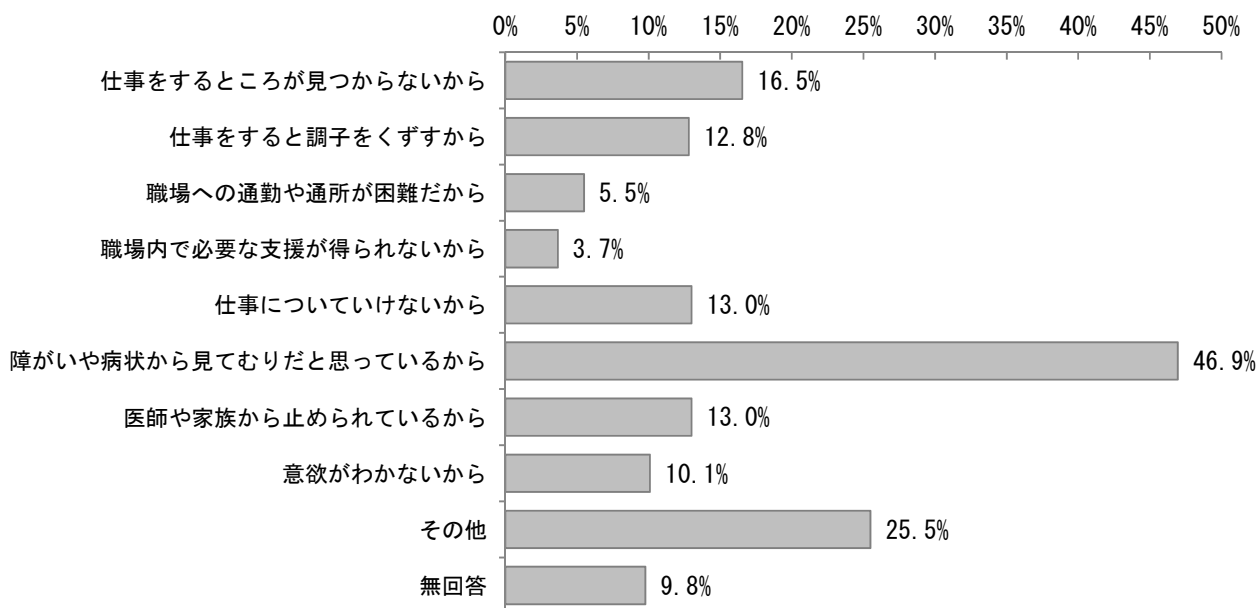


(4) 仕事をしていない理由

問 12 あなたが仕事をしていない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

仕事をしていない理由は、「障がいや病状から見てむりだと思っているから」が 46.9%と最も高く、次いで「その他」を除くと、「仕事をするとところが見つからないから」が 16.5%となっている。

図表Ⅱ-1-31 仕事をしていない理由（複数回答、N=1,585）

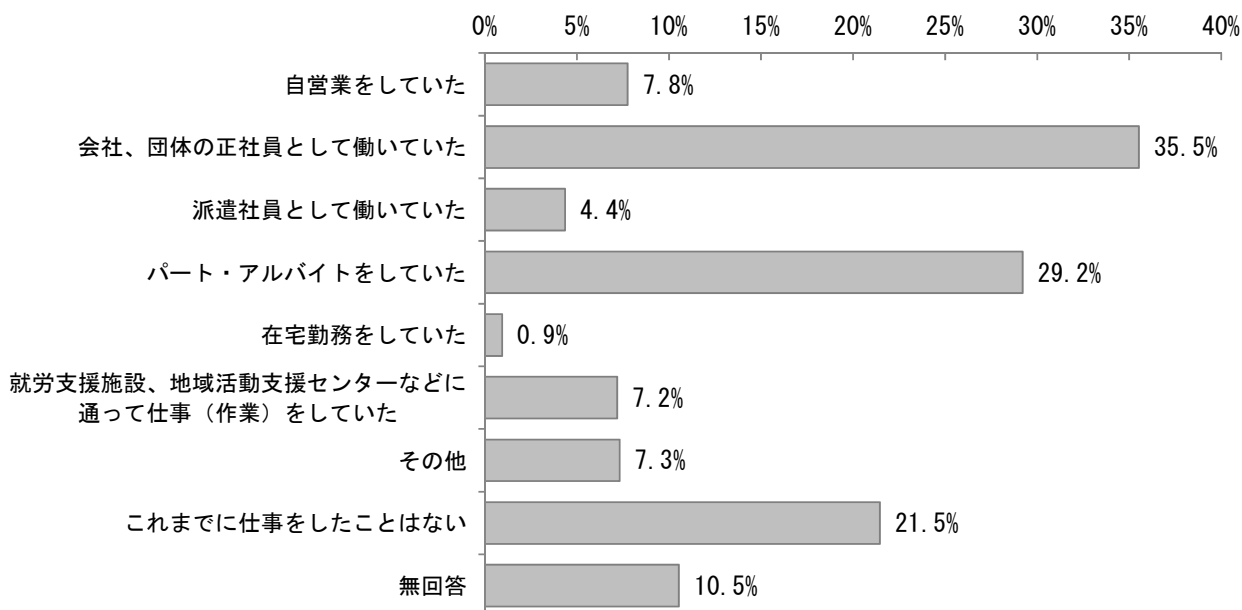


(5) これまでに経験した就労形態

問 13 あなたはこれまでに、仕事をしたことがありますか。仕事をしたことがある場合、どのような形でしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

これまでに経験した就労形態は、「会社、団体の正社員として働いていた」が 35.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイトをしていた」が 29.2%となっている。

図表Ⅱ-1-32 これまでに経験した就労形態（複数回答、N=1,585）

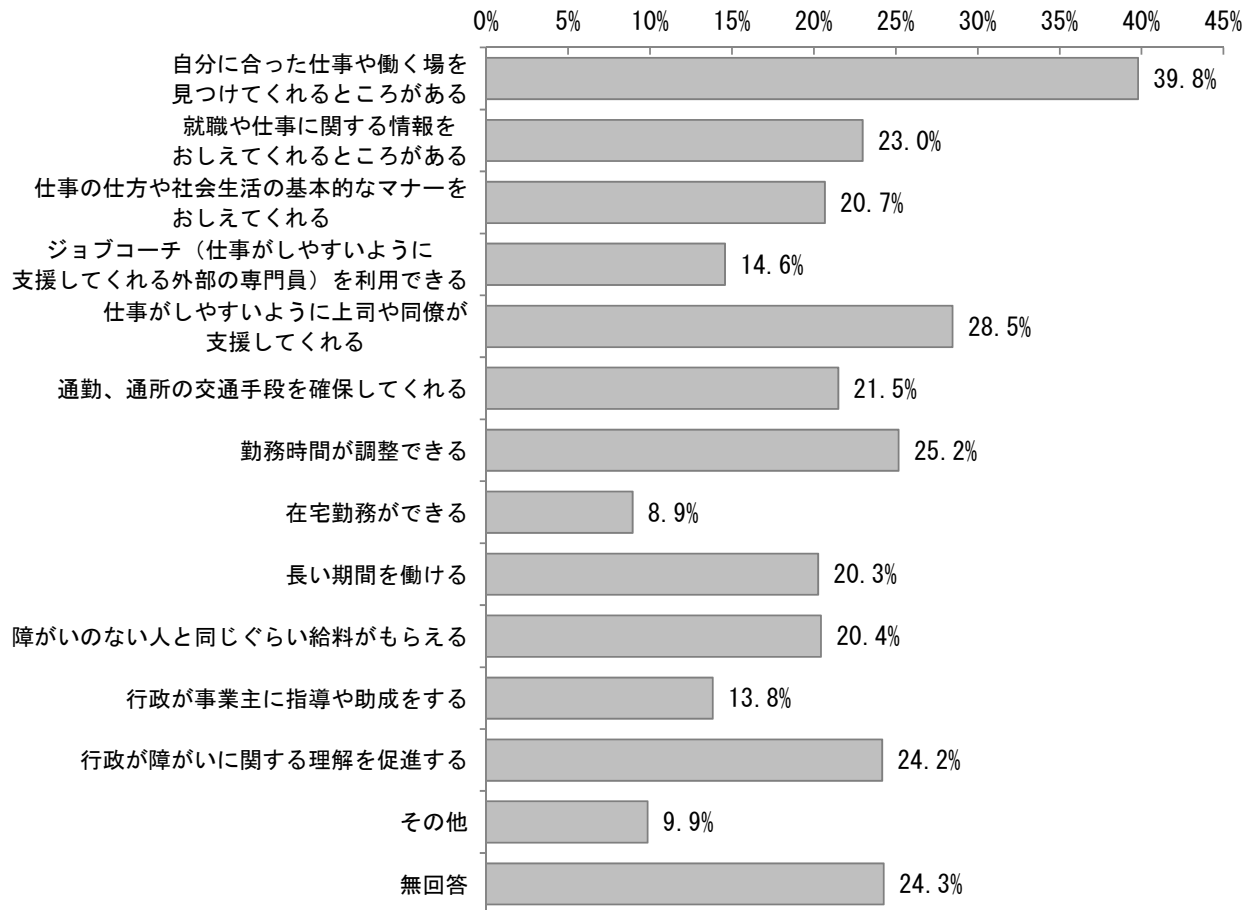


(6) 仕事を続ける(あるいは仕事を始める)上で必要なこと

問 14 あなたが仕事を続ける(あるいは仕事を始める)上で必要なことは何だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

仕事を続ける(あるいは仕事を始める)上で必要なことは、「自分に合った仕事や働く場を見つけるところがある」が39.8%と最も高く、次いで「仕事ができるように上司や同僚が支援してくれる」が28.5%となっている。

図表Ⅱ-1-33 仕事を続ける(あるいは仕事を始める)上で必要なこと(複数回答、N=2,951)



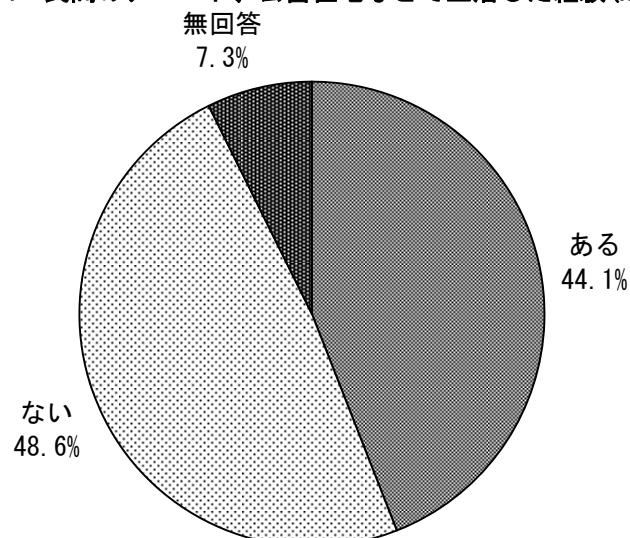
6 生活の場について

(1) 民間のアパート、公営住宅などで生活した経験

問 15 これまでに「民間のアパート」や「公営住宅(道営・市営)」、公団の住宅で生活したことがありますか。

民間のアパート、公営住宅などで生活した経験は、「ない」が48.6%と高く、「ある」が44.1%となっている。

図表Ⅱ-1-34 民間のアパート、公営住宅などで生活した経験(N=2,951)

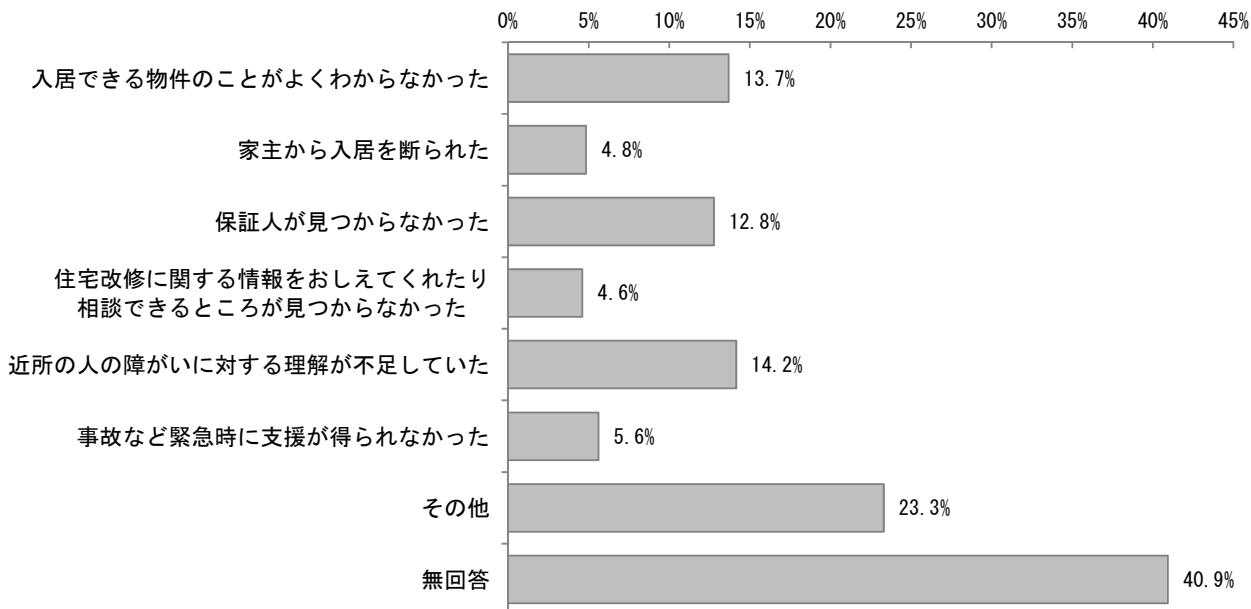


(2) 民間のアパート、公営住宅などの入居時、入居後に困ったこと

問 15-1 入居するまでに、または入居後に困ったことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

民間のアパート、公営住宅などの入居時、入居後に困ったことは、「その他」と「無回答」を除くと、「近所の人
の障がいに対する理解が不足していた」が 14.2%と最も高く、次いで「入居できる物件のことがよくわからな
かった」が 13.7%となっている。

図表Ⅱ-1-35 民間のアパート、公営住宅などの入居時、入居後に困ったこと（複数回答、N=1,300）

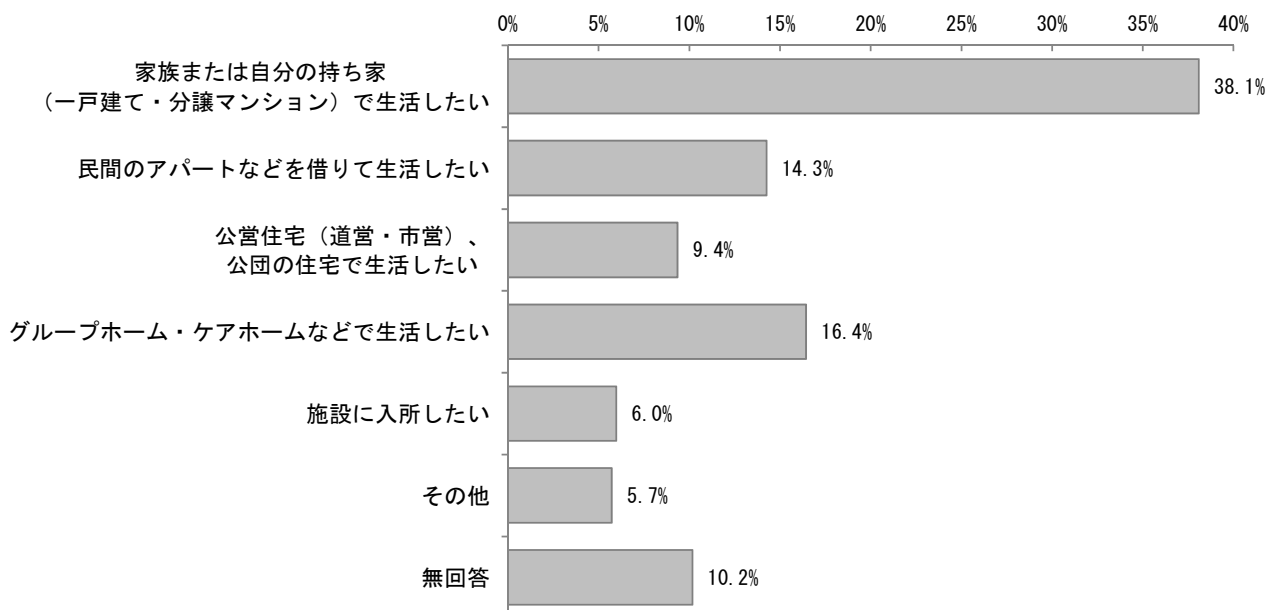


(3) 生活したい場所

問 15-2 あなたは今後、どのような場所で生活したいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

生活したい場所は、「家族または自分の持ち家（一戸建て・分譲マンション）で生活したい」が 38.1%と最も高く、次いで「グループホーム・ケアホームなどで生活したい」が 16.4%となっている。

図表Ⅱ-1-36 生活したい場所（N=2,951）



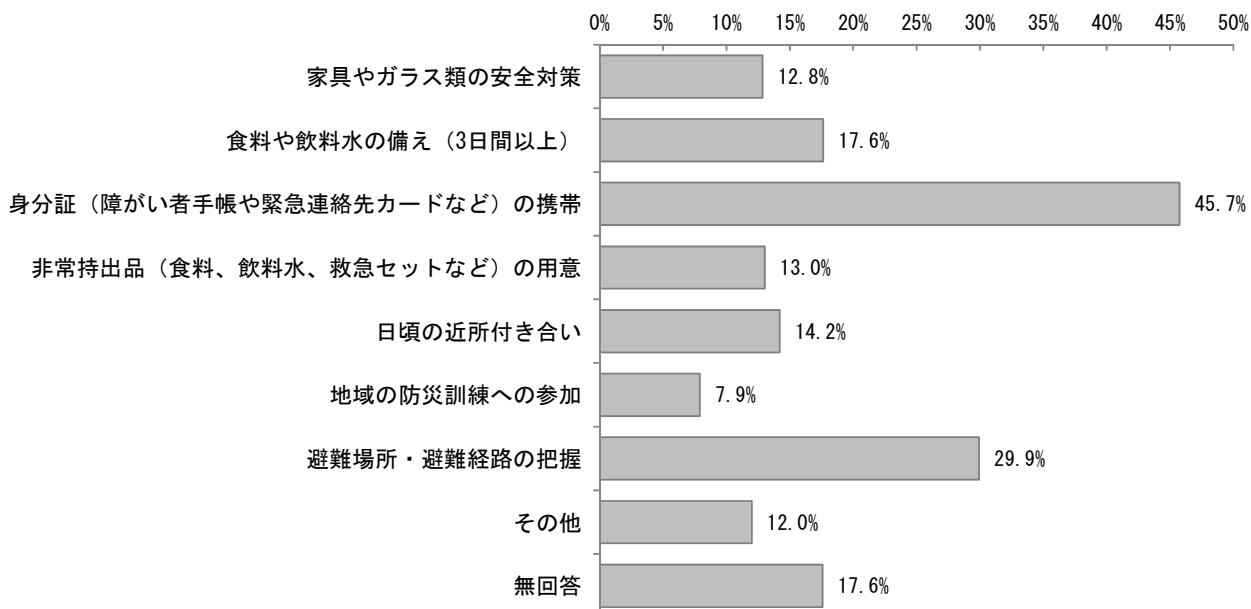
7 防災について

(1) 災害への備え

問 16 あなたは、地震などの災害への備えとして、普段どのようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害への備えは、「身分証(障がい者手帳や緊急連絡先カードなど)の携帯」が 45.7%と最も高く、次いで「避難場所・避難経路の把握」が 29.9%となっている。

図表Ⅱ-1-37 災害への備え（複数回答、N=2,951）

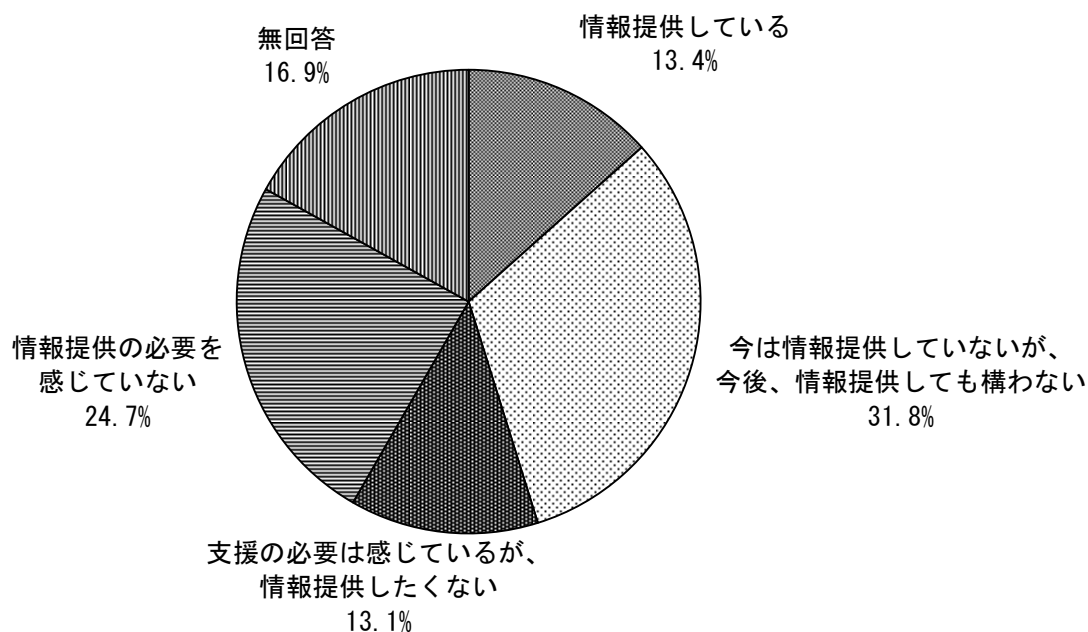


(2) 個人情報の提供

問 17 あなたは、災害に備えるために、町内会や民生委員など地域に対し、個人情報(障がいの状況や、災害時における支援の必要性など)の提供をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

個人情報の提供は、「今は情報提供していないが、今後、情報提供しても構わない」が 31.8%と最も高く、次いで「情報提供の必要を感じていない」が 24.7%となっている。

図表Ⅱ-1-38 個人情報の提供（N=2,951）

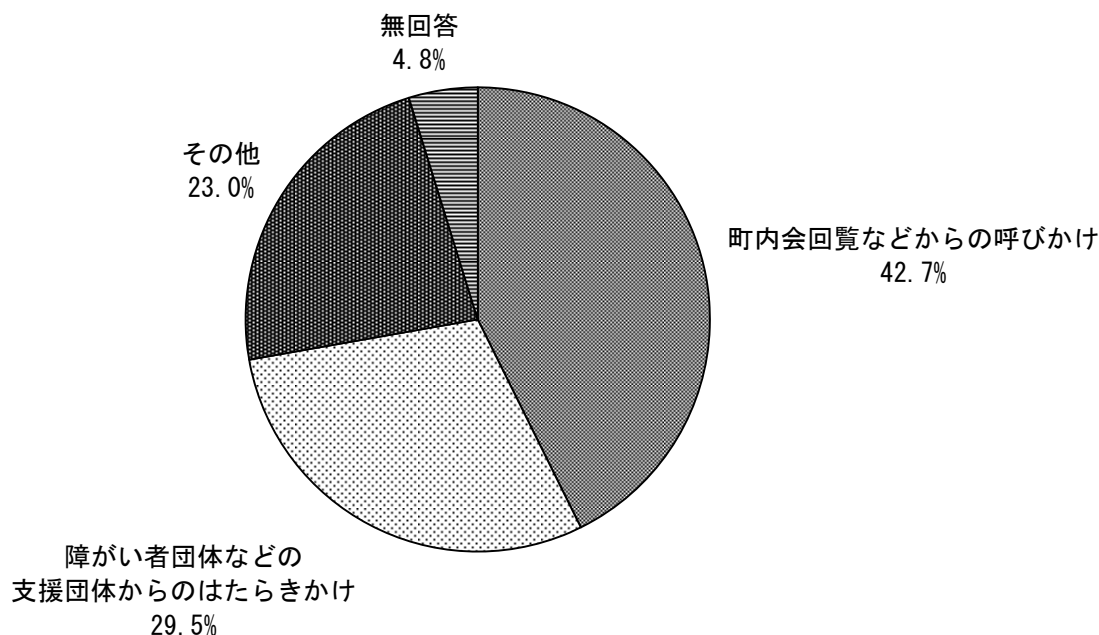


(3) 個人情報を提供したきっかけ

問 17-1 どのようなきっかけで情報提供しましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

個人情報を提供したきっかけは、「町内会回覧などからの呼びかけ」が 42.7%と最も高く、次いで「障がい者団体などの支援団体からのはたらきかけ」が 29.5%となっている。

図表 II-1-39 個人情報を提供したきっかけ (N=396)

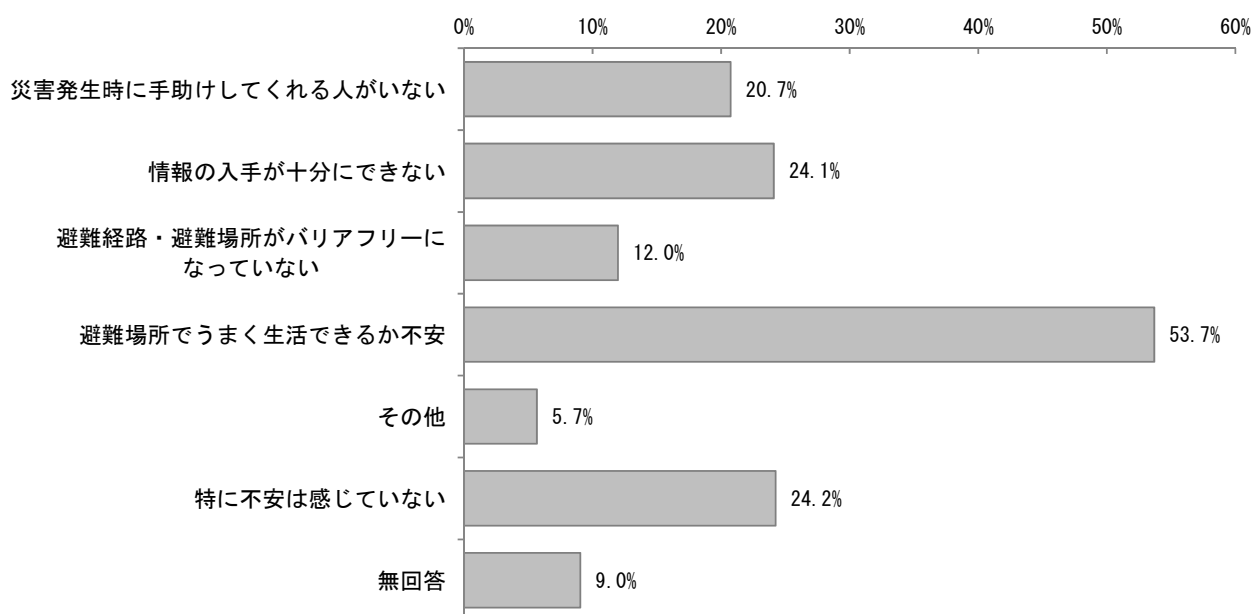


(4) 防災に関しての不安

問 18 あなたは、防災に関して不安に感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

防災に関しての不安は、「避難場所ですうまく生活できるか不安」が 53.7%と最も高く、次いで「特に不安は感じていない」が 24.2%となっている。

図表 II-1-40 防災に関しての不安 (複数回答、N=2,951)



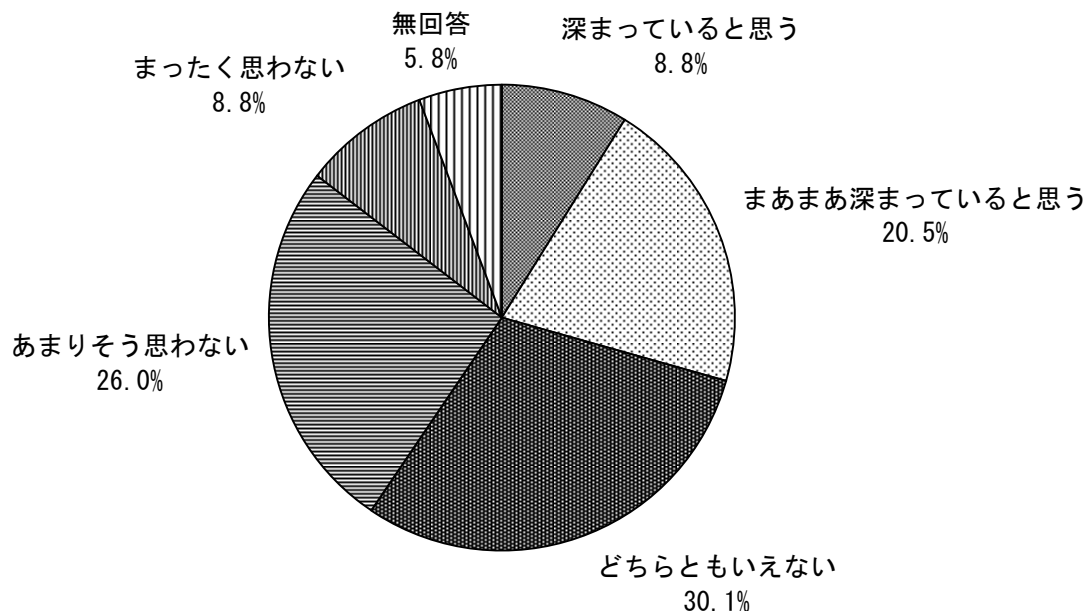
8 制度や政策等について

(1) 障がいのある人に対する市民の理解度

問19 あなたは、障がいのある人に対する市民の理解が深まってきていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

障がいのある人に対する市民の理解度は、「どちらともいえない」が 30.1%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 26.0%となっている。

図表Ⅱ-1-41 障がいのある人に対する市民の理解度 (N=2,951)

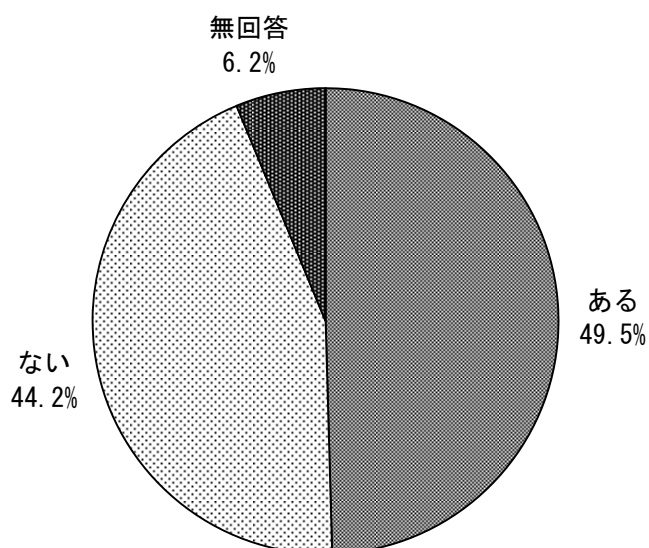


(2) 障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無

問20 あなたはこれまでに、障がいがあるために差別をうけたり、いやな思いをしたことがありますか。

障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無は、「ある」が 49.5%と高く、「ない」が 44.2%となっている。

図表Ⅱ-1-42 障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無 (N=2,951)

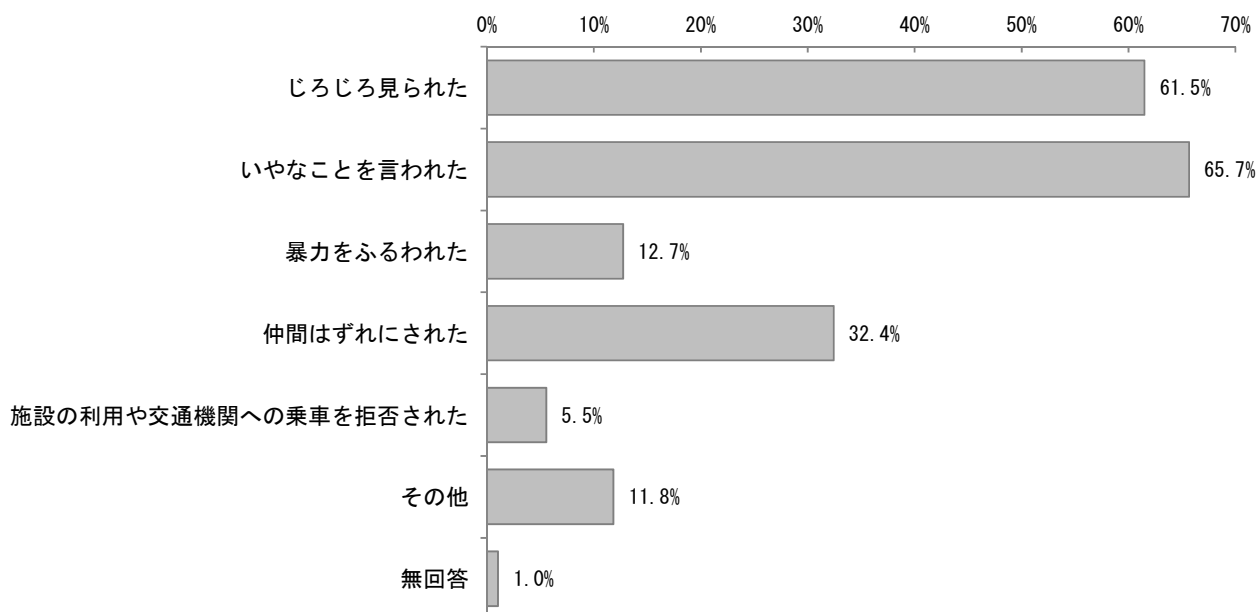


(3) 障がいがあるために受けた差別やいやな思い

問 20-1 それはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいがあるために受けた差別やいやな思いは、「いやなことを言われた」が 65.7%と最も高く、次いで「じろじろ見られた」が 61.5%となっている。

図表Ⅱ-1-43 障がいがあるために受けた差別やいやな思い（複数回答、N=1,462）

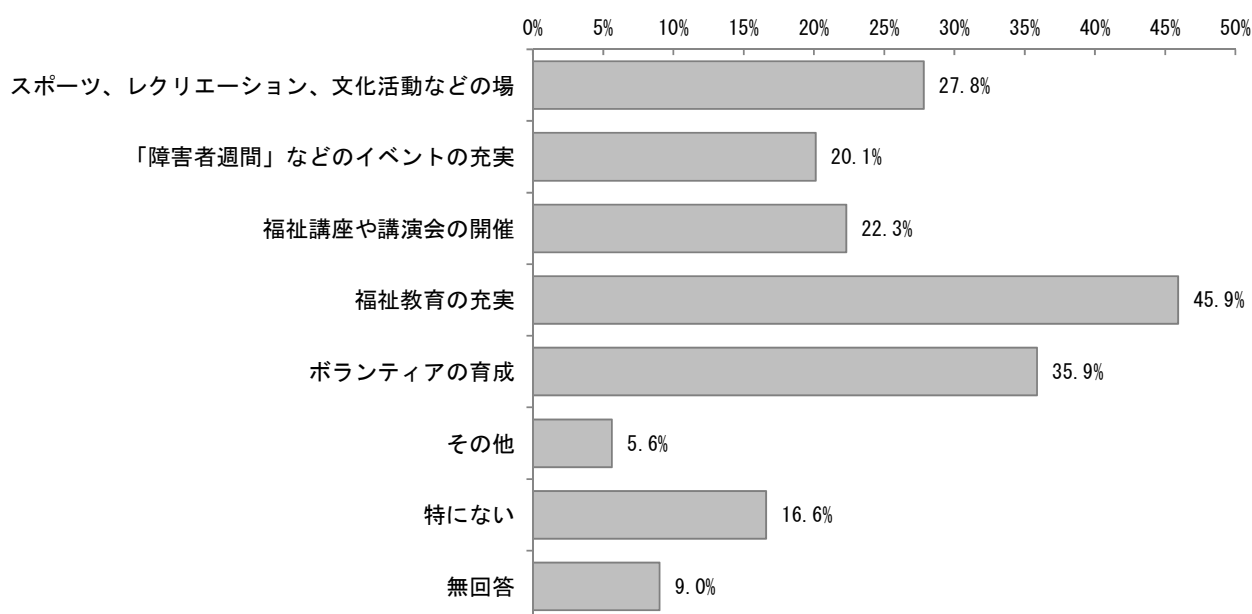


(4) 障がい者への理解が深まるために必要なこと

問 21 あなたは、障がいのある人への理解が深まるためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

障がい者への理解が深まるために必要なことは、「福祉教育の充実」が 45.9%と最も高く、次いで「ボランティアの育成」が 35.9%となっている。

図表Ⅱ-1-44 障がい者への理解が深まるために必要なこと（複数回答、N=2,951）

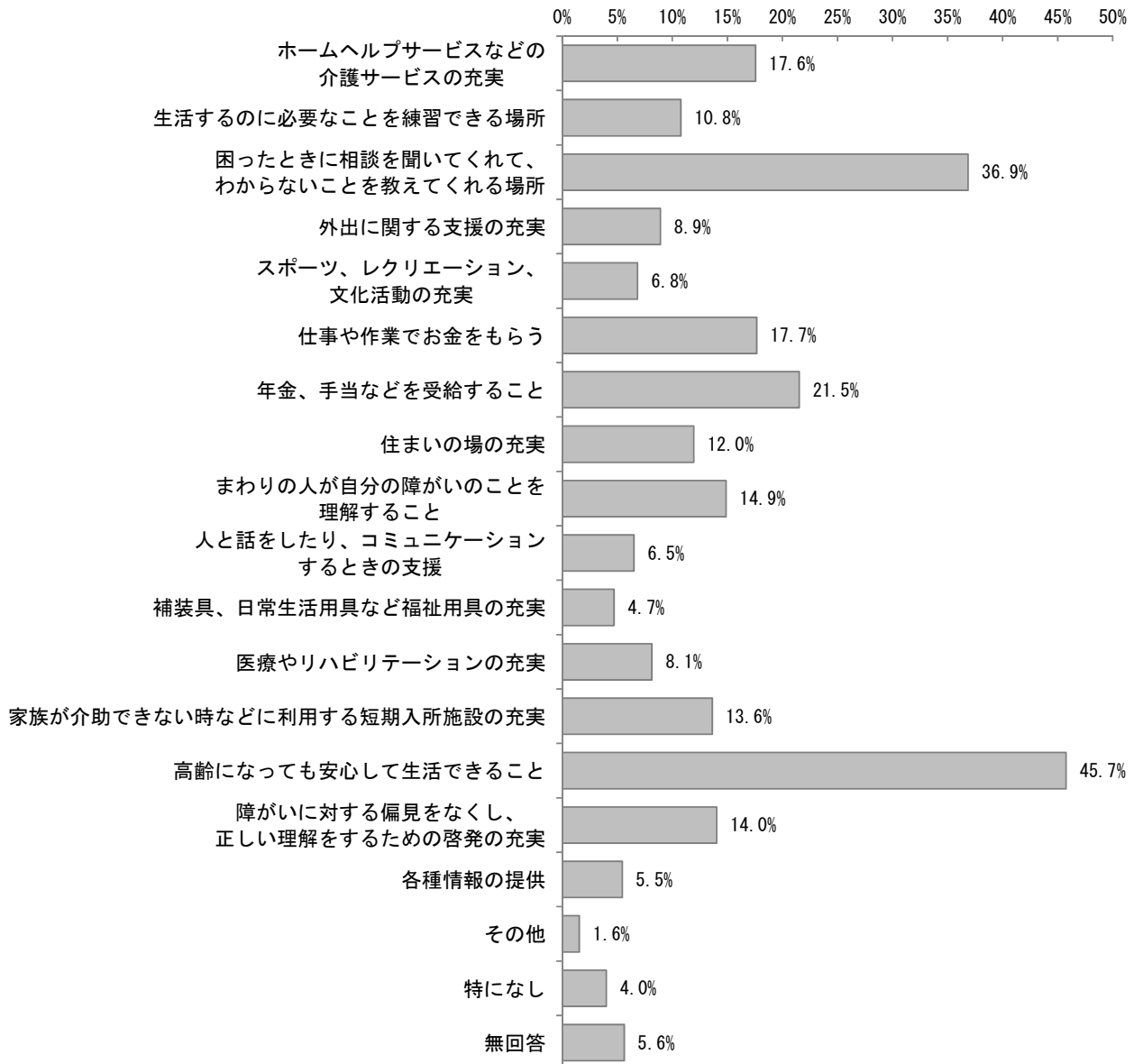


(5) 希望する生活をするためにあればよいこと

問 22 あなたが今後、希望する生活をするためには、どのようなことがあればよいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

希望する生活をするためにあればよいことは、「高齢になっても安心して生活できること」が 45.7%と最も高く、次いで「困ったときに相談を聞いてくれて、わからないことを教えてくれる場所」が 36.9%となっている。

図表Ⅱ-1-45 希望する生活をするためにあればよいこと（複数回答、N=2,951）



Ⅱ-2 障がい児調査

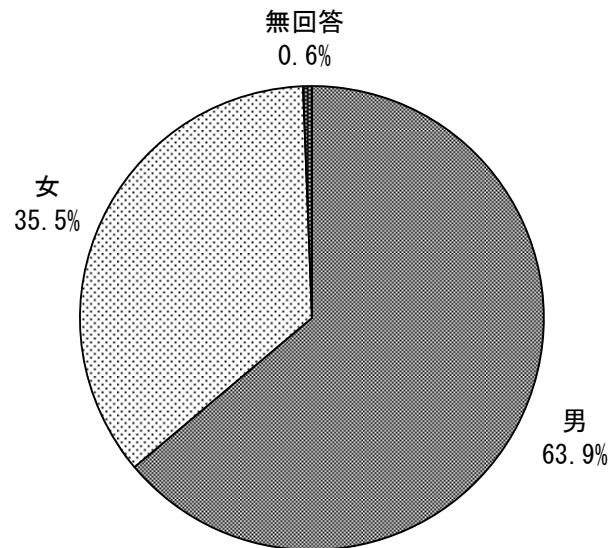
1 あなたのこと、世帯の状況について

(1) 性別

問 1 あなたの性別に○をつけてください

性別は、「男性」が 63.9%と高く、「女性」が 35.5%となっている。

図表Ⅱ-2-1 性別 (N=490)

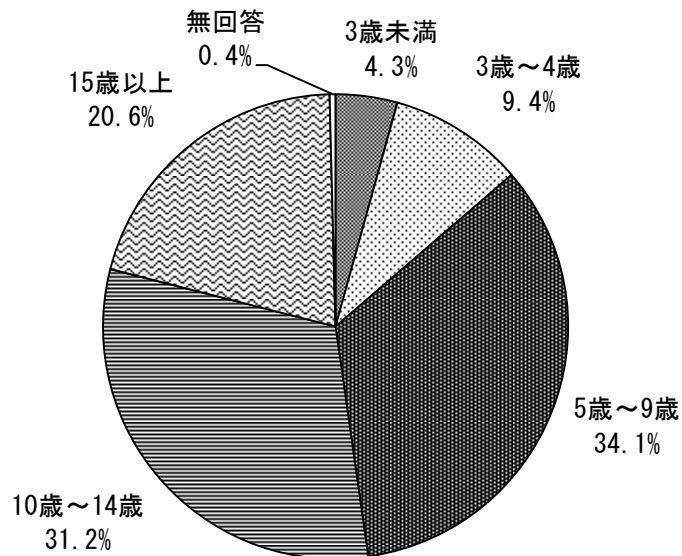


(2) 年齢

問 2 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

年齢は、「5歳～9歳」が 34.1%と最も高く、次いで「10歳～14歳」が 31.2%となっている。

図表Ⅱ-2-2 年齢 (N=490)

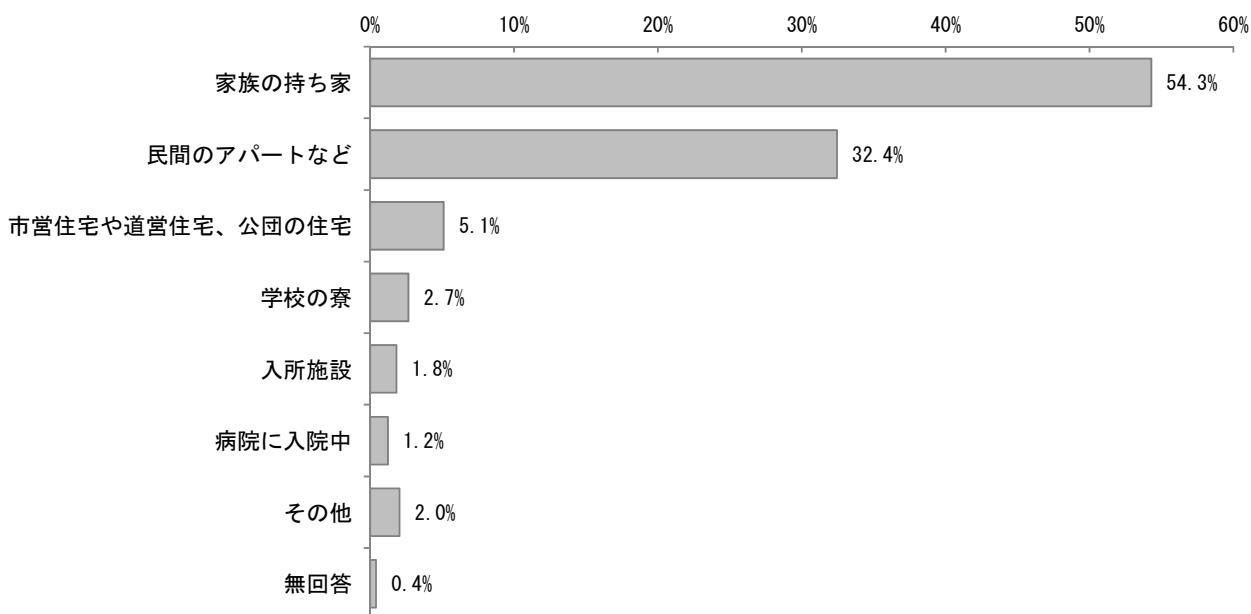


(3) 生活している場所

問3 あなたは、現在どこで生活していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

生活している場所は、「家族の持ち家」が 54.3%と最も高く、次いで「民間のアパートなど」が 32.4%となっている。

図表Ⅱ-2-3 生活している場所 (N=490)

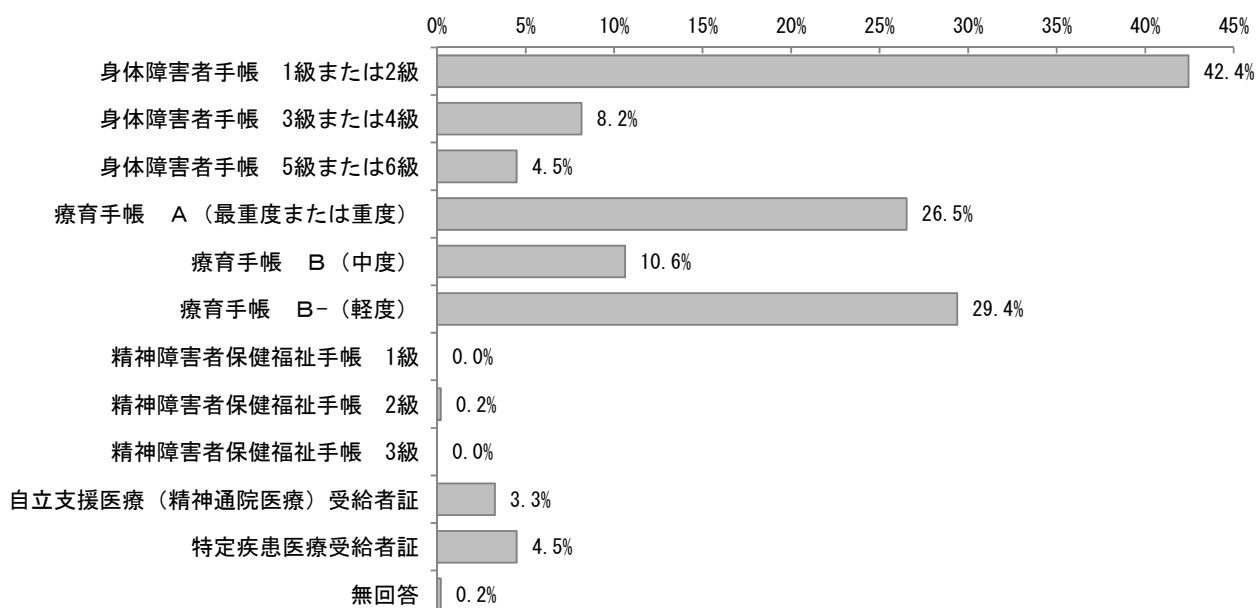


(4) 障がい者手帳などの種類

問4 あなたが持っている障がい者手帳などの種類はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がい者手帳などの種類は、「身体障害者手帳 1 級または 2 級」が 42.4%と最も高く、次いで「療育手帳 B-（軽度）」が 29.4%となっている。

図表Ⅱ-2-4 障がい者手帳などの種類 (複数回答、N=490)

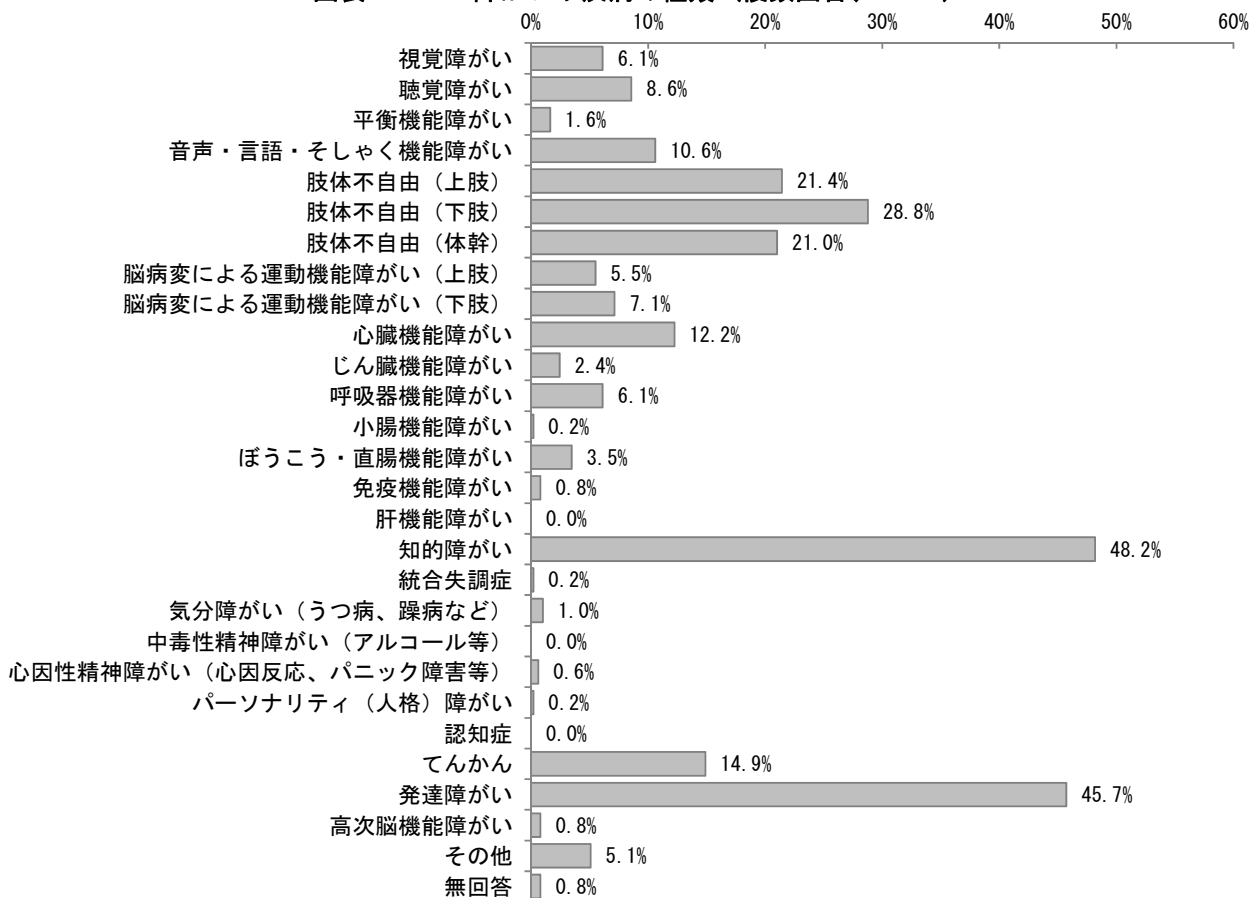


(5) 障がいや疾病の種類

問 5 あなたの障がいや疾病で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいや疾病の種類は、「知的障がい」が 48.2%と最も高く、次いで「発達障がい」が 45.7%となっている。

図表Ⅱ-2-5 障がいや疾病の種類（複数回答、N=490）



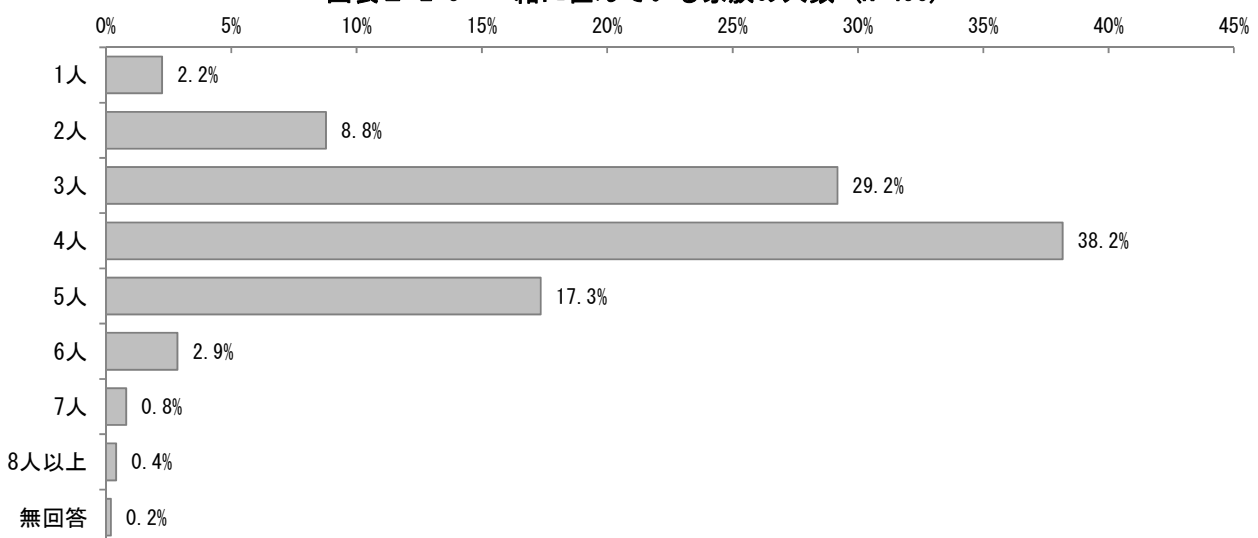
(6) 一緒に住んでいる家族の人数

問 6 家族のことについておしえてください。

(1) あなたは何人家族ですか。

一緒に住んでいる家族の人数は、「4人」が 38.2%と最も高く、次いで「3人」が 29.2%となっている。

図表Ⅱ-2-6 一緒に住んでいる家族の人数（N=490）



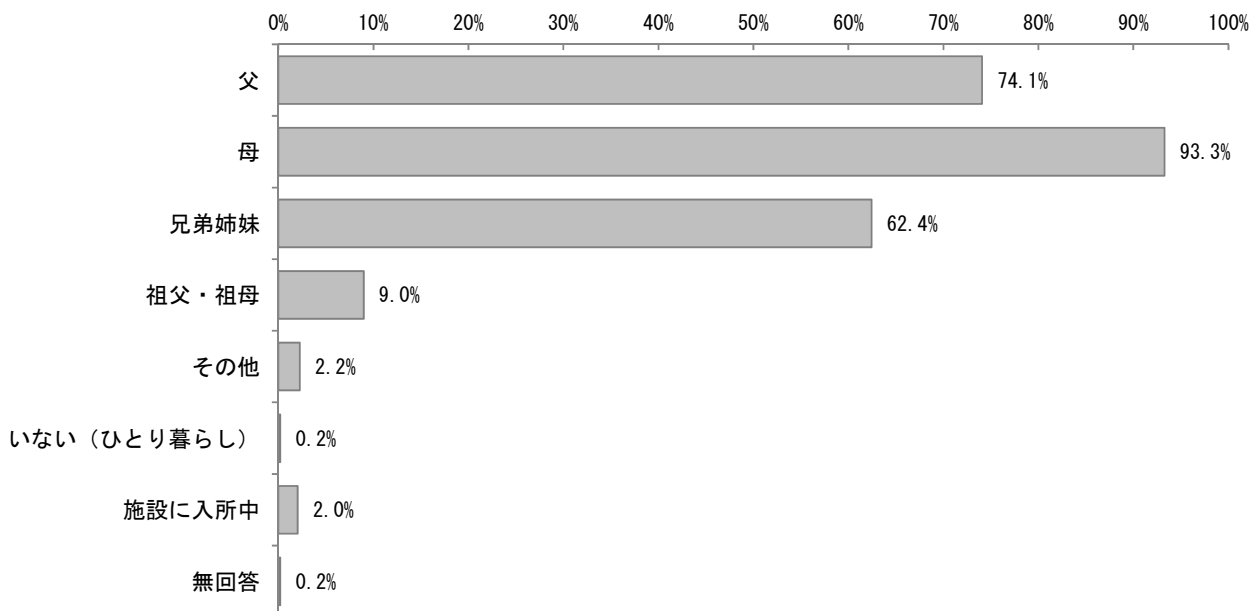
(7) 一緒に住んでいる人

問 6 家族のことについておしえてください。

(2) 一緒に住んでいる人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

一緒に住んでいる人は、「母」が 93.3%と最も高く、次いで「父」が 74.1%となっている。

図表Ⅱ-2-7 一緒に住んでいる人（複数回答、N=490）



2 心身の状況について

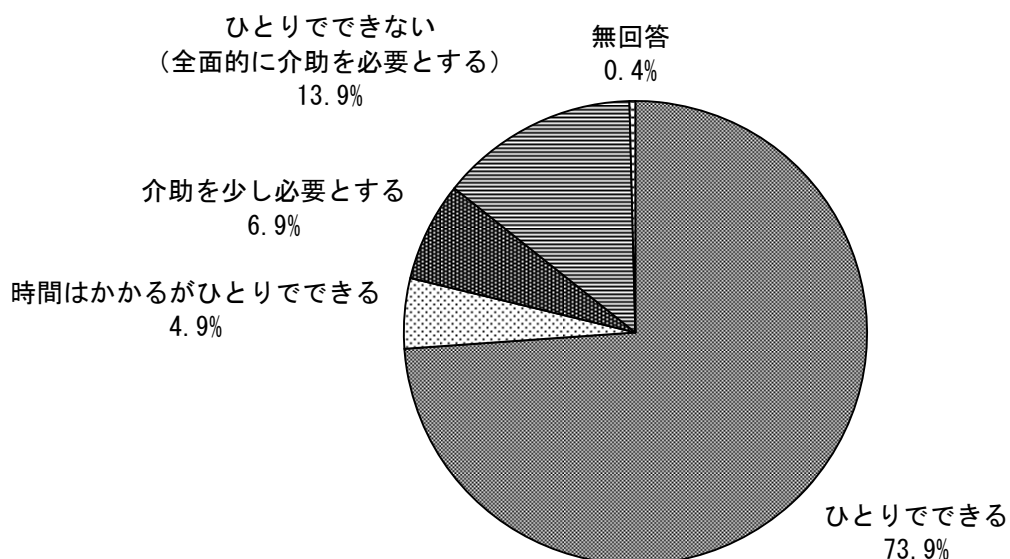
(1) 自立性

問 7 あなたは、日常生活の中で、次の項目をひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

① 家の中の移動

家の中の移動は、「ひとりでできる」が 73.9%と最も高く、次いで「ひとりでできない(全面的に介助を必要とする)」が 13.9%となっている。

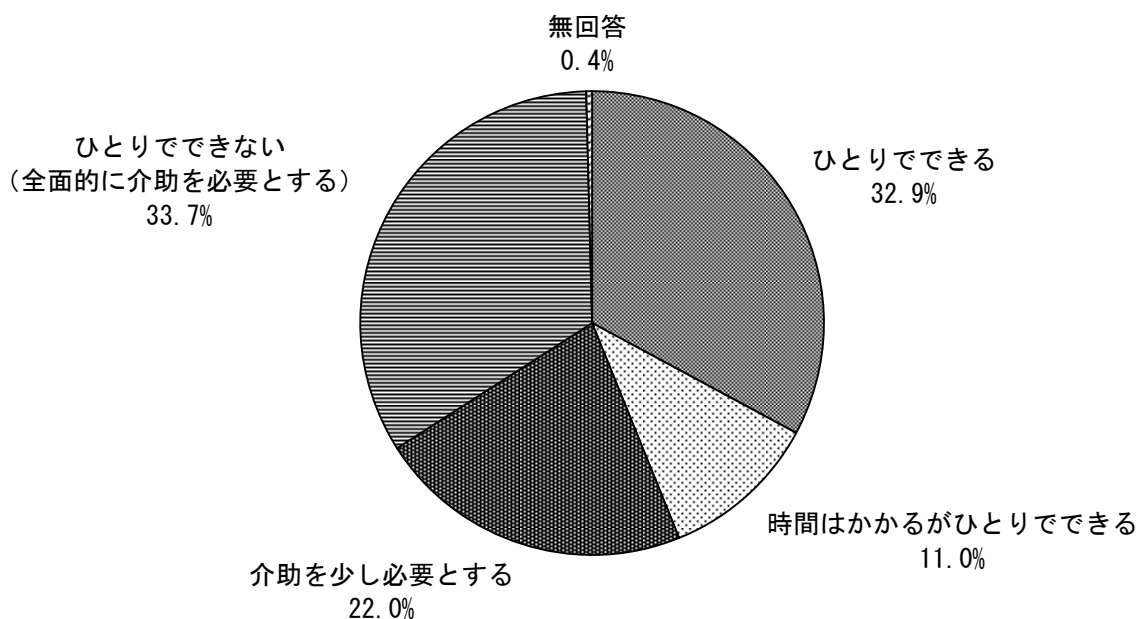
図表Ⅱ-2-8 家の中の移動 (N=490)



② 入浴

入浴は、「ひとりでできない(全面的に介助を必要とする)」が 33.7%と最も高く、次いで「ひとりでできる」が 32.9%となっている。

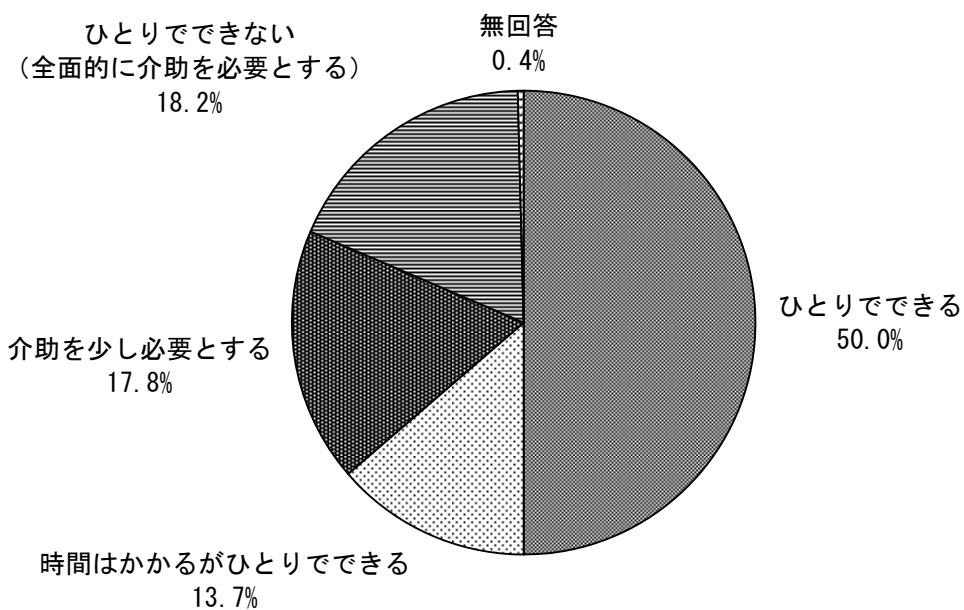
図表Ⅱ-2-9 入浴 (N=490)



③ 食事

食事は、「ひとりでできる」が 50.0%と最も高く、次いで「ひとりでできない(全面的に介助を必要とする)」が 18.2%となっている。

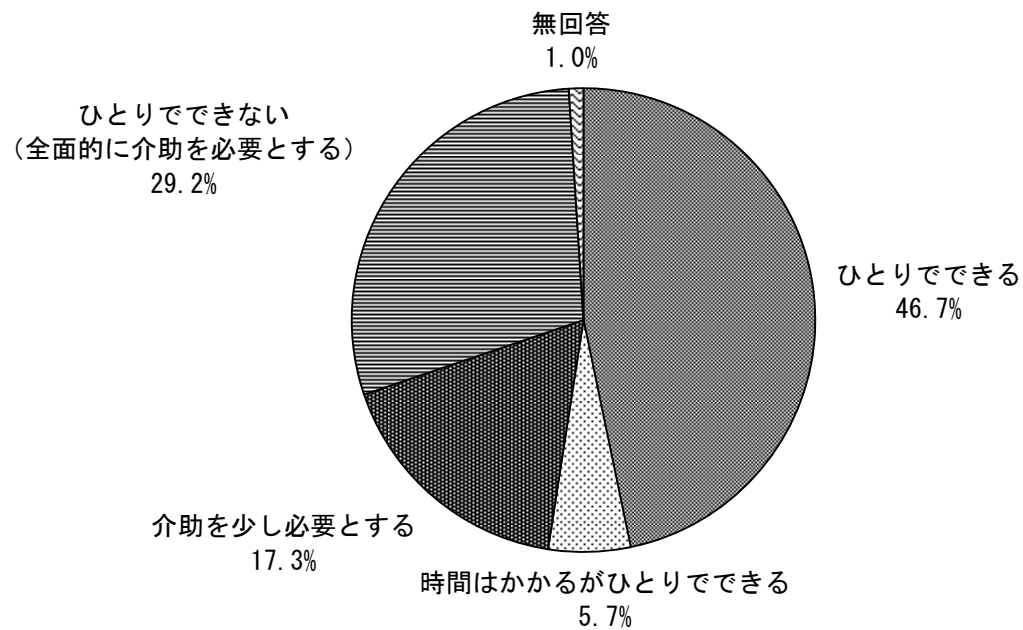
図表Ⅱ-2-10 食事 (N=490)



④ トイレ

トイレは、「ひとりでできる」が 46.7%と最も高く、次いで「ひとりでできない(全面的に介助を必要とする)」が 29.2%となっている。

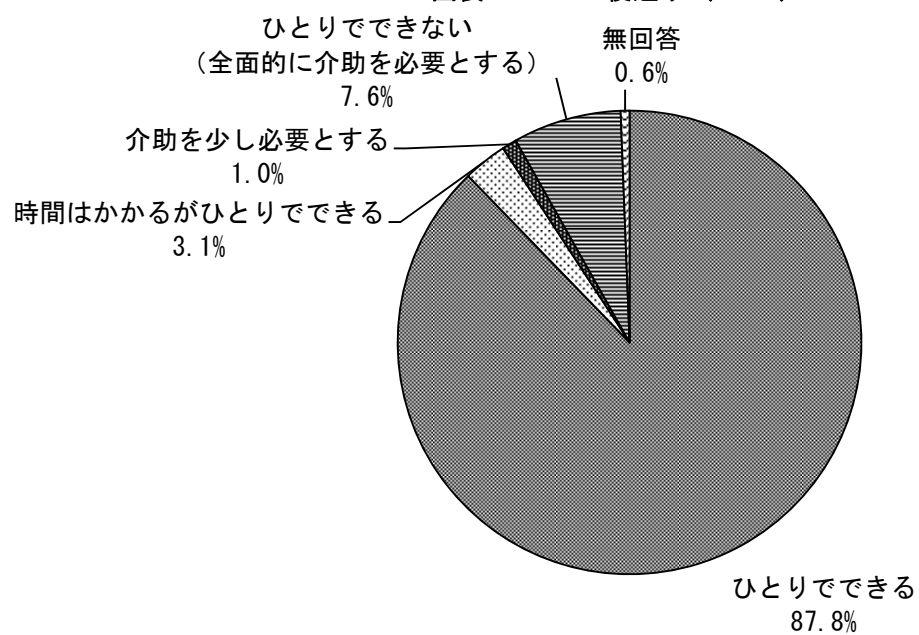
図表Ⅱ-2-11 トイレ (N=490)



⑤ 寝返り

寝返りは、「ひとりでできる」が 87.8%と最も高く、次いで「ひとりでできない(全面的に介助を必要とする)」が 7.6%となっている。

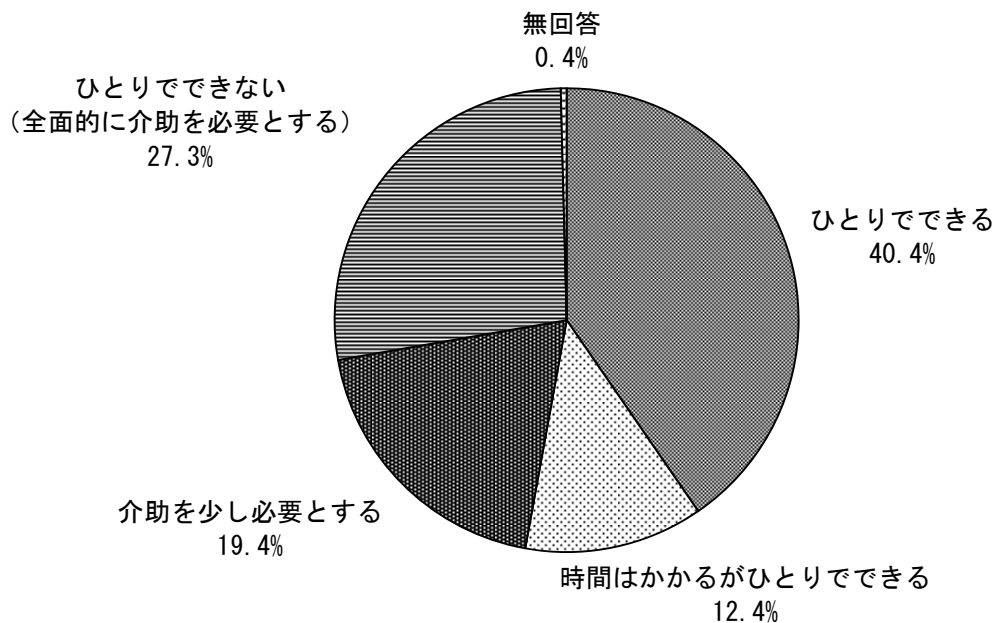
図表Ⅱ-2-12 寝返り (N=490)



⑥ 着替えや洗顔、歯みがきなど

着替えや洗顔、歯みがきなどは、「ひとりでできる」が 40.4%と最も高く、次いで「ひとりでできない(全面的に介助を必要とする)」が 27.3%となっている。

図表Ⅱ-2-13 着替えや洗顔、歯みがきなど (N=490)



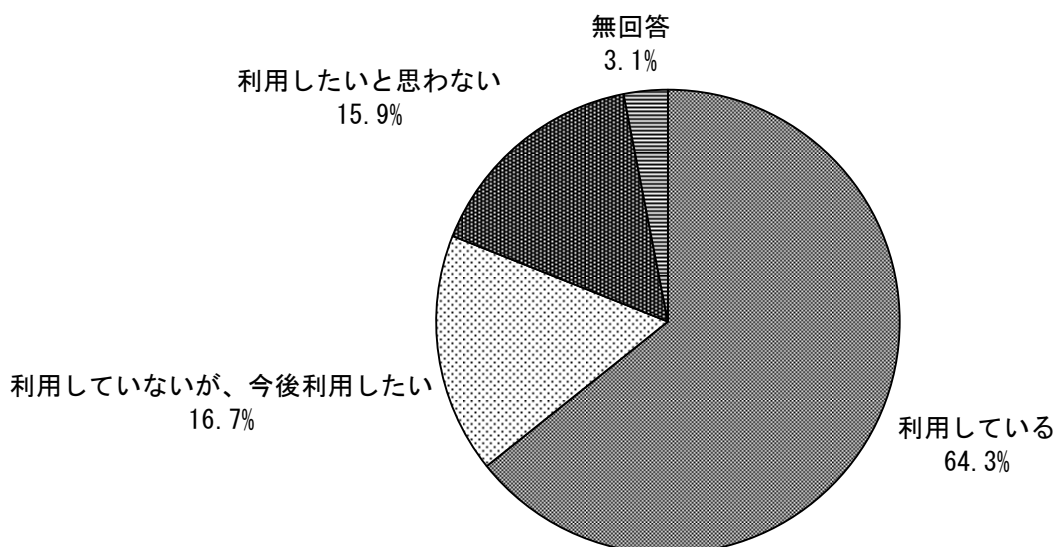
3 障がい福祉サービスについて

(1) 障がい福祉サービス(障害者総合支援法)または障がい児通所支援(児童福祉法)の利用

問 8 あなたは、現在、障がい福祉サービス(障害者総合支援法)または障がい児通所支援(児童福祉法)を利用していますか。

障がい福祉サービス(障害者総合支援法)または障がい児通所支援(児童福祉法)の利用は、「利用している」が 64.3%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 16.7%となっている。

図表Ⅱ-2-14 障がい福祉サービス(障害者総合支援法)または障がい児通所支援(児童福祉法)の利用 (N=490)



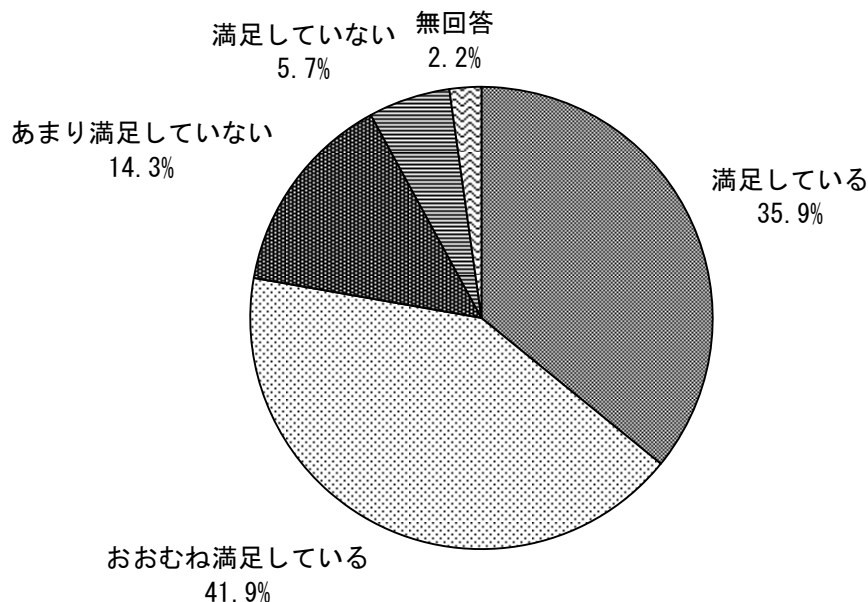
(2) 満足度

問 8-1 あなたや保護者の方は、現在受けている障がい福祉サービス(障害者総合支援法)または障がい児通所支援(児童福祉法)に満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

① 支給決定の内容(サービスを利用できる時間数)

支給決定の内容(サービスを利用できる時間数)は、「おおむね満足している」が 41.9%と最も高く、次いで「満足している」が 35.9%となっている。

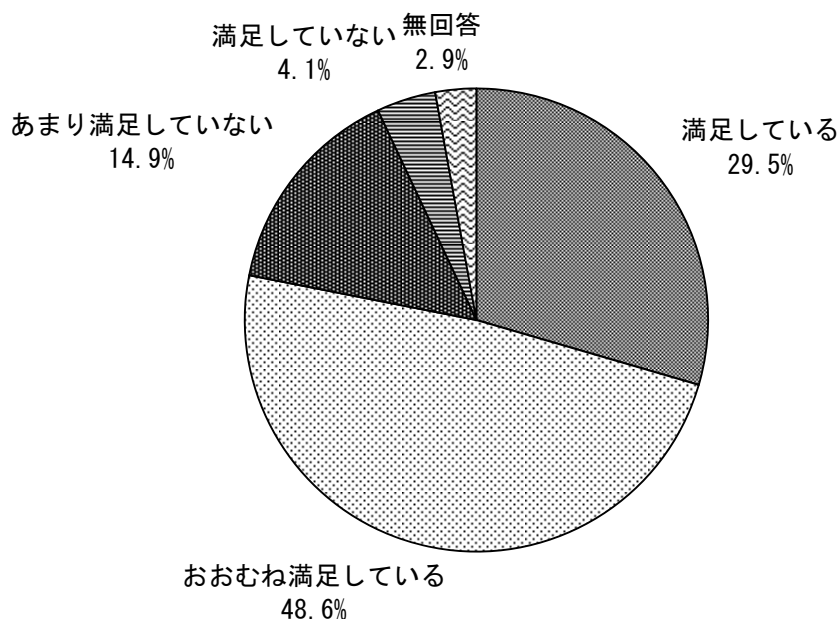
図表Ⅱ-2-15 満足度 【支給決定の内容(サービスを利用できる時間数)】 (N=315)



② サービスの内容

サービスの内容は、「おおむね満足している」が 48.6%と最も高く、次いで「満足している」が 29.5%となっている。

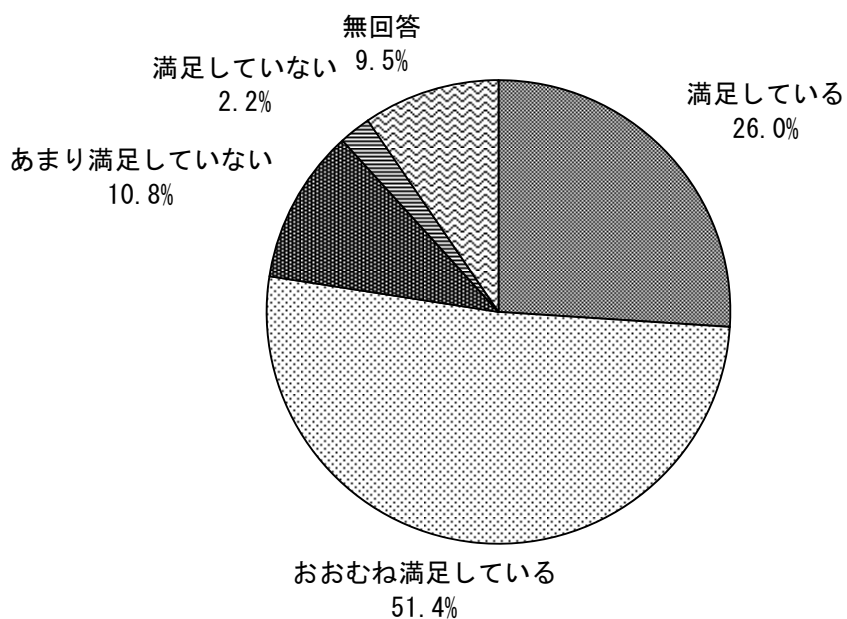
図表Ⅱ-2-16 満足度 【サービスの内容】 (N=315)



③ ヘルパーの技術

ヘルパーの技術は、「おおむね満足している」が51.4%と最も高く、次いで「満足している」が26.0%となっている。

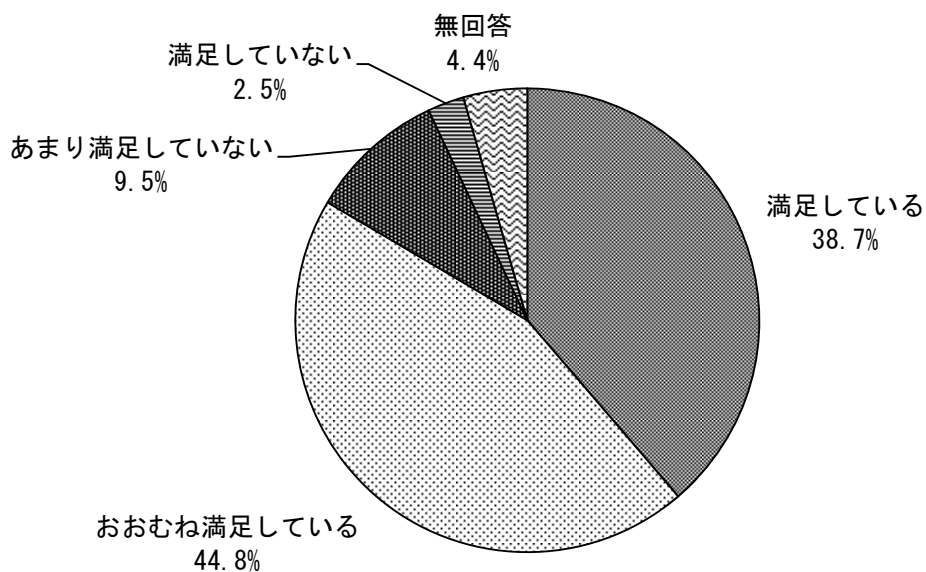
図表Ⅱ-2-17 満足度 【ヘルパーの技術】 (N=315)



④ 事業所の対応(わかりやすく説明してくれるか等)

事業所の対応(わかりやすく説明してくれるか等)は、「おおむね満足している」が44.8%と最も高く、次いで「満足している」が38.7%となっている。

図表Ⅱ-2-18 満足度 【事業所の対応(わかりやすく説明してくれるか等)】 (N=315)

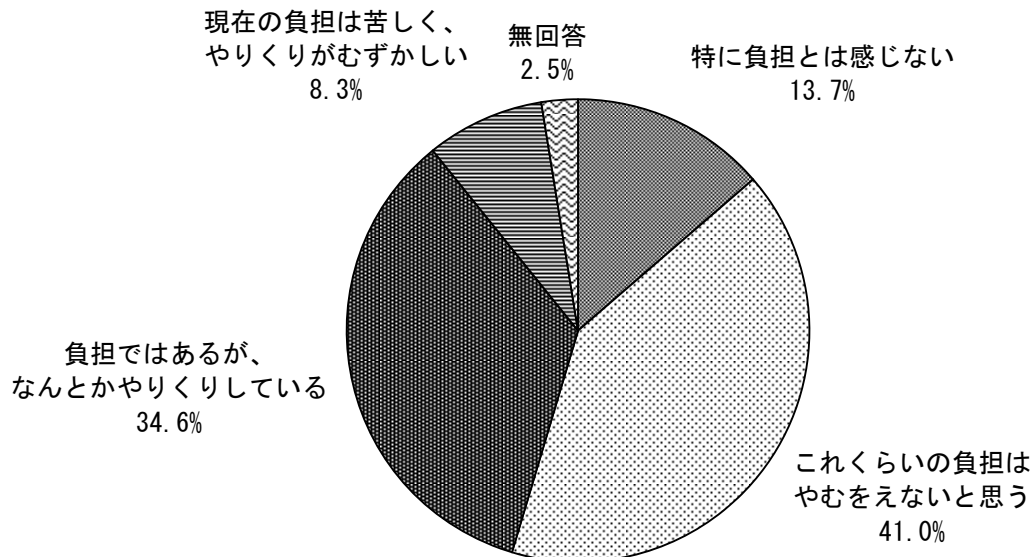


(3) 支払っている利用者負担額の負担感

問 8-2 保護者の方にお聞きます。現在支払っている利用者負担について、どう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

支払っている利用者負担額の負担感は、「これくらいの負担はやむをえないと思う」が 41.0%と最も高く、次いで「負担ではあるが、なんとかやりくりしている」が 34.6%となっている。

図表Ⅱ-2-19 支払っている利用者負担額の負担感 (N=315)

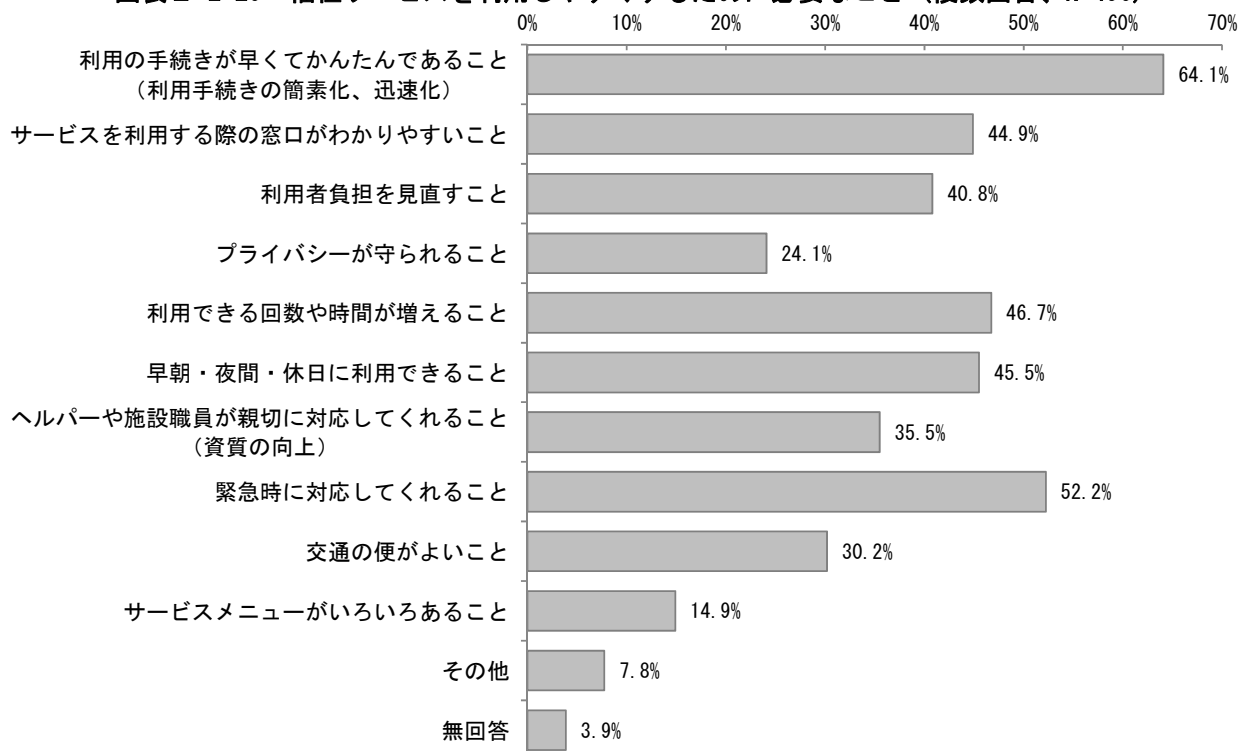


(4) 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと

問 9 あなたや保護者の方は、福祉サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

福祉サービスを利用しやすくするために必要なことは、「利用の手続きが早くてかんたんであること(利用手続きの簡素化、迅速化)」が 64.1%と最も高く、次いで「緊急時に対応してくれること」が 52.2%となっている。

図表Ⅱ-2-20 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと (複数回答、N=490)



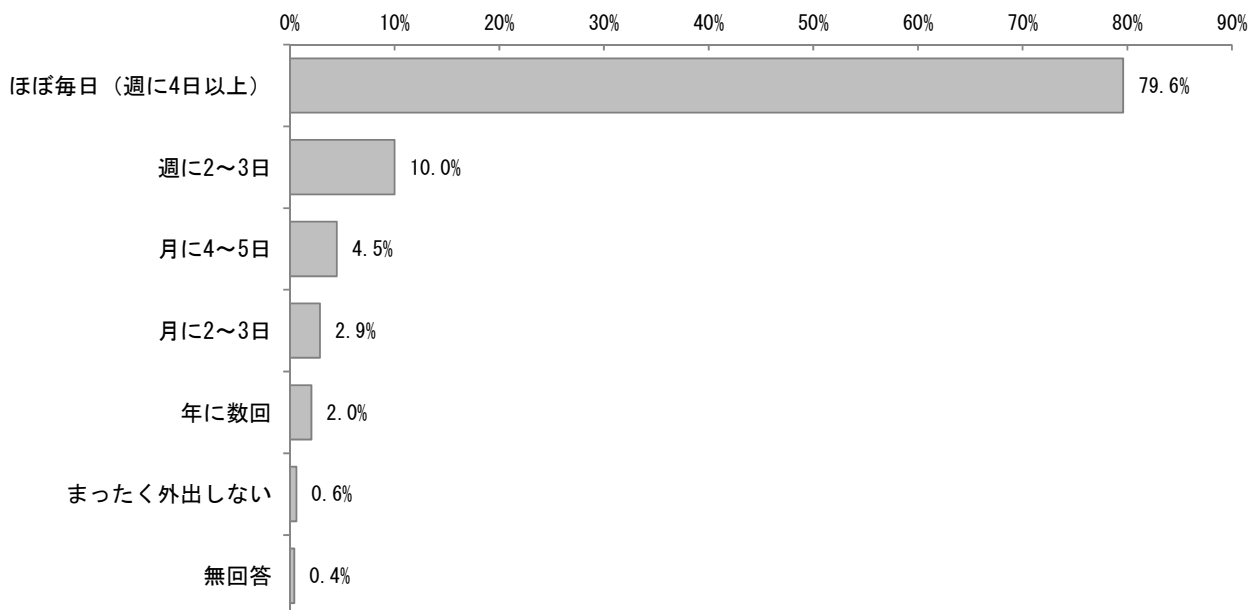
4 外出の状況

(1) 外出頻度

問 10 あなたは、普段どのくらい外出しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

外出頻度は、「ほぼ毎日(週に4日以上)」が79.6%と最も高く、次いで「週に2~3日」が10.0%となっている。

図表Ⅱ-2-21 外出頻度 (N=490)

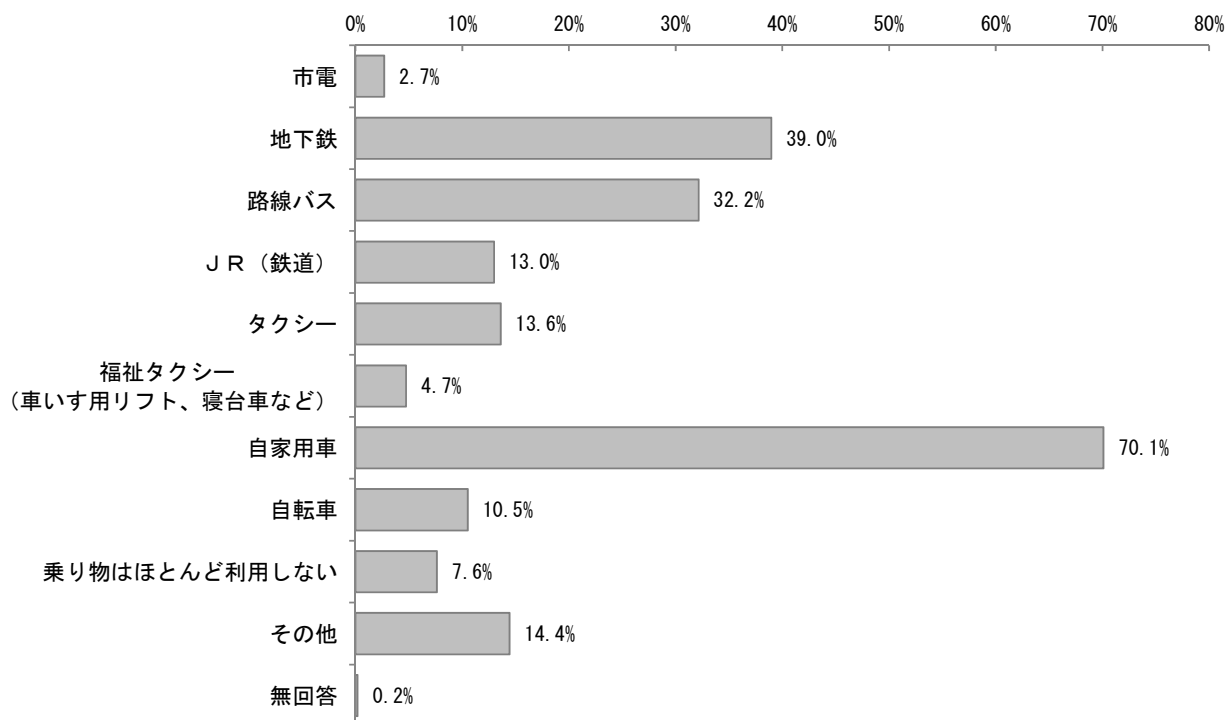


(2) 外出する時に利用する乗り物

問 10-1 外出する時に利用する乗り物は何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

外出する時に利用する乗り物は、「自家用車」が70.1%と最も高く、次いで「地下鉄」が39.0%となっている。

図表Ⅱ-2-22 外出する時に利用する乗り物 (複数回答、N=485)

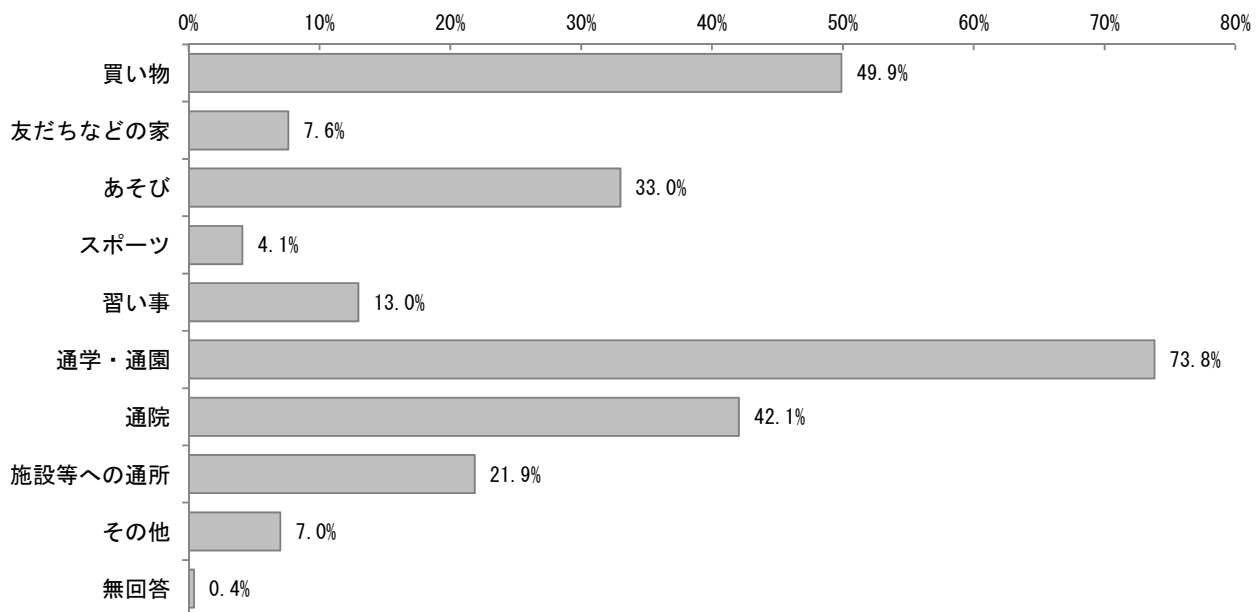


(3) 主な外出目的

問 10-2 外出の目的は何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

主な外出目的は、「通学・通園」が 73.8%と最も高く、次いで「買い物」が 49.9%となっている。

図表Ⅱ-2-23 主な外出目的（複数回答、N=485）

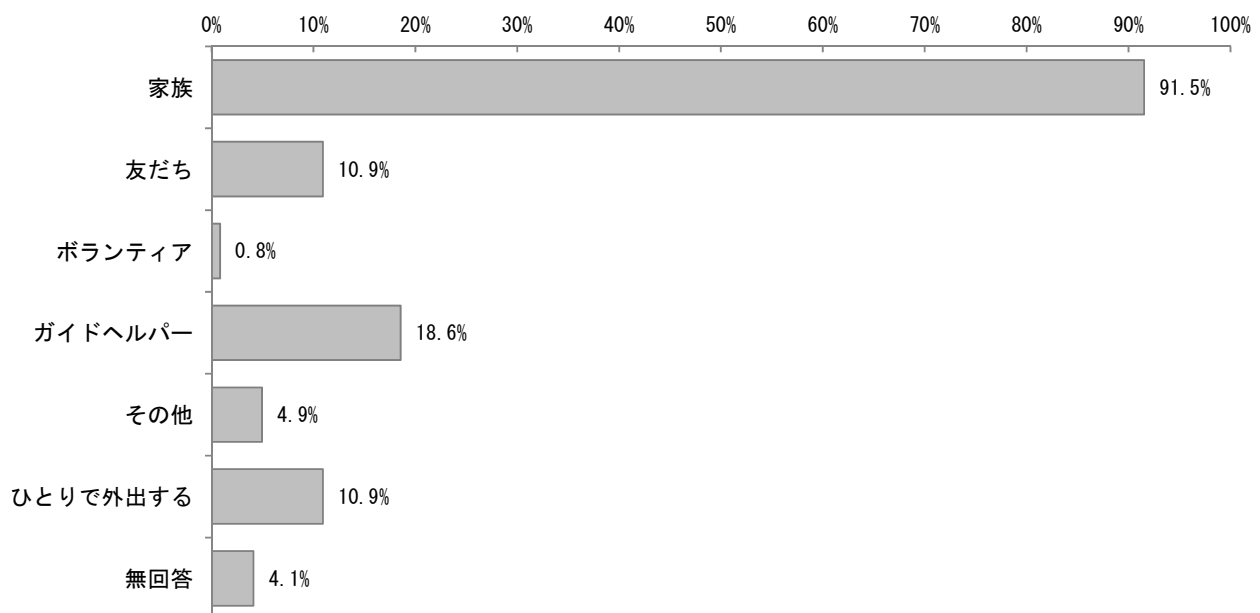


(4) 主な外出同伴者

問 10-3 だれと一緒に外出することが多いですか。主な方を2人まで選んで○をつけてください。

主な外出同伴者は、「家族」が 91.5%と最も高く、次いで「ガイドヘルパー」が 18.6%となっている。

図表Ⅱ-2-24 主な外出同伴者（複数回答、N=485）

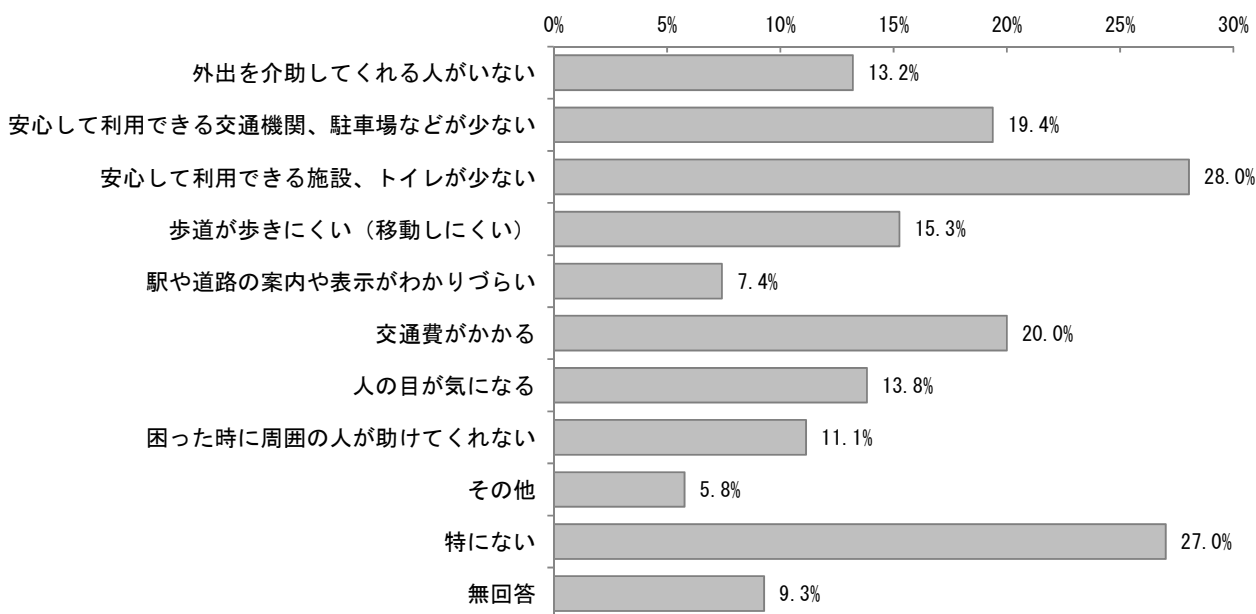


(5) 外出する際に、困っていること

問 10-4 外出する際に、困っていることは何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

外出する際に、困っていることは、「安心して利用できる施設、トイレが少ない」が 28.0%と最も高く、次いで「特にない」が 27.0%となっている。

図表Ⅱ-2-25 外出する際に困っていること（複数回答、N=485）



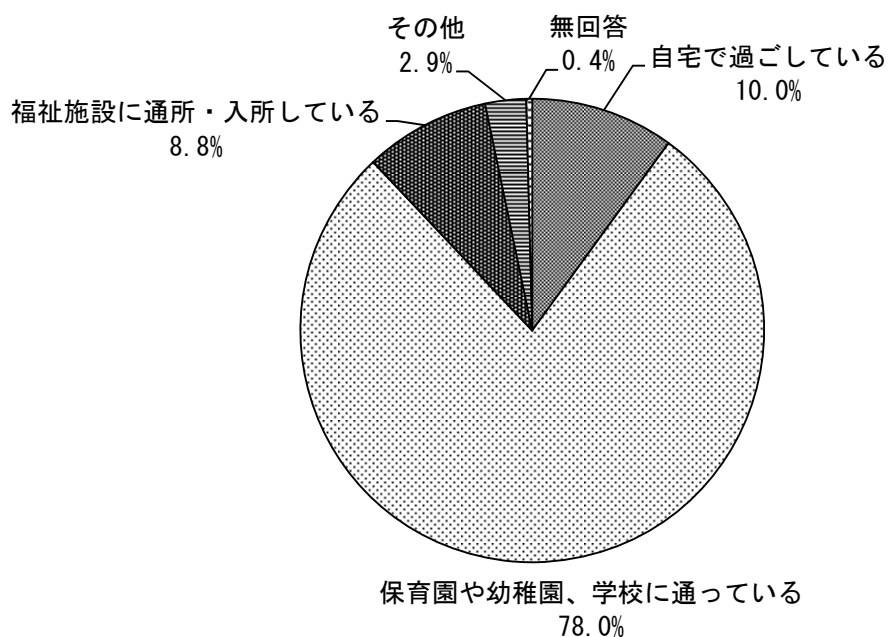
5 学校・日中の過ごし方など

(1) 平日の昼間の過ごし方

問 11 あなたは、平日の昼間を主にどこで過ごしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

平日の昼間の過ごし方は、「保育園や幼稚園、学校に通っている」が 78.0%と最も高く、次いで「自宅で過ごしている」が 10.0%となっている。

図表Ⅱ-2-26 平日の昼間の過ごし方（N=490）

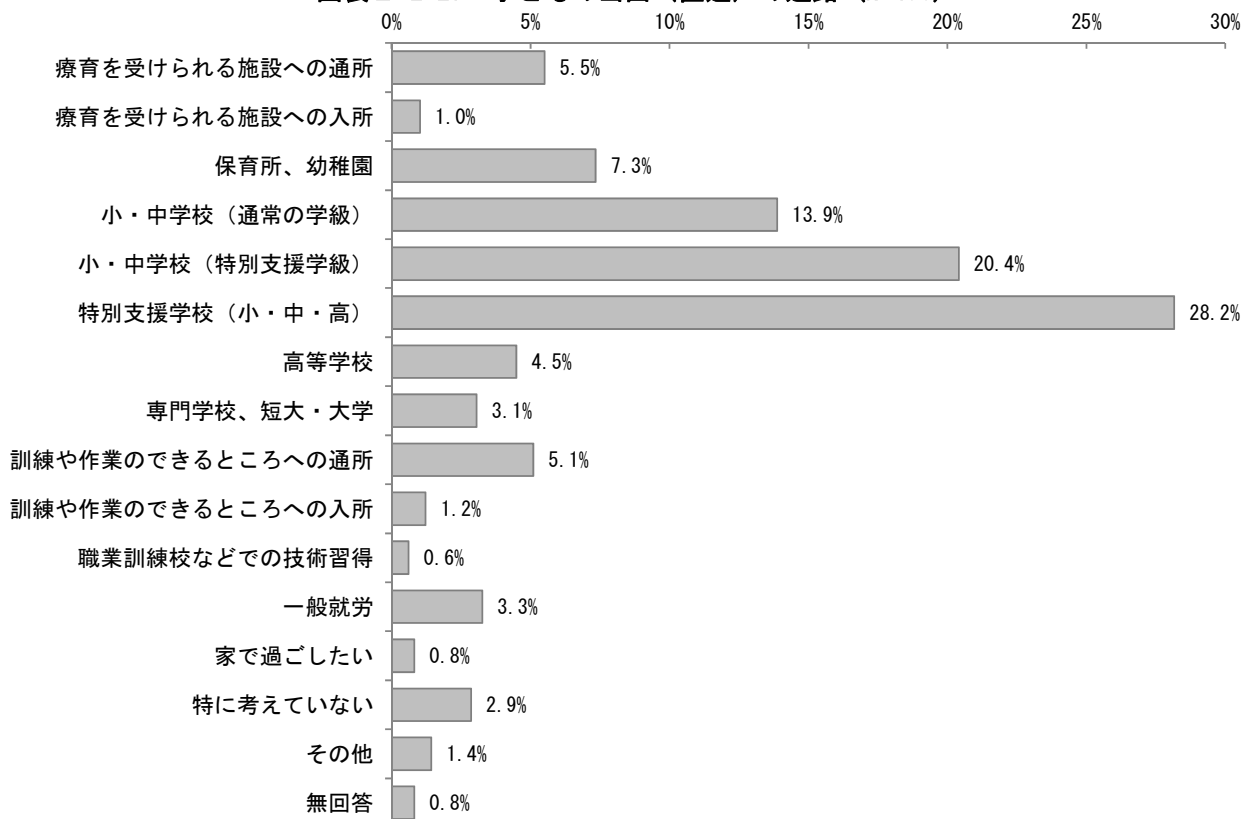


(2) 子どもの当面(直近)の進路

問 12 あなたは、当面(直近)の進路として何を希望していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

当面(直近)の進路は、「特別支援学校(小・中・高)」が 28.2%と最も高く、次いで「小・中学校(特別支援学級)」が 20.4%となっている。

図表Ⅱ-2-27 子どもの当面(直近)の進路 (N=490)

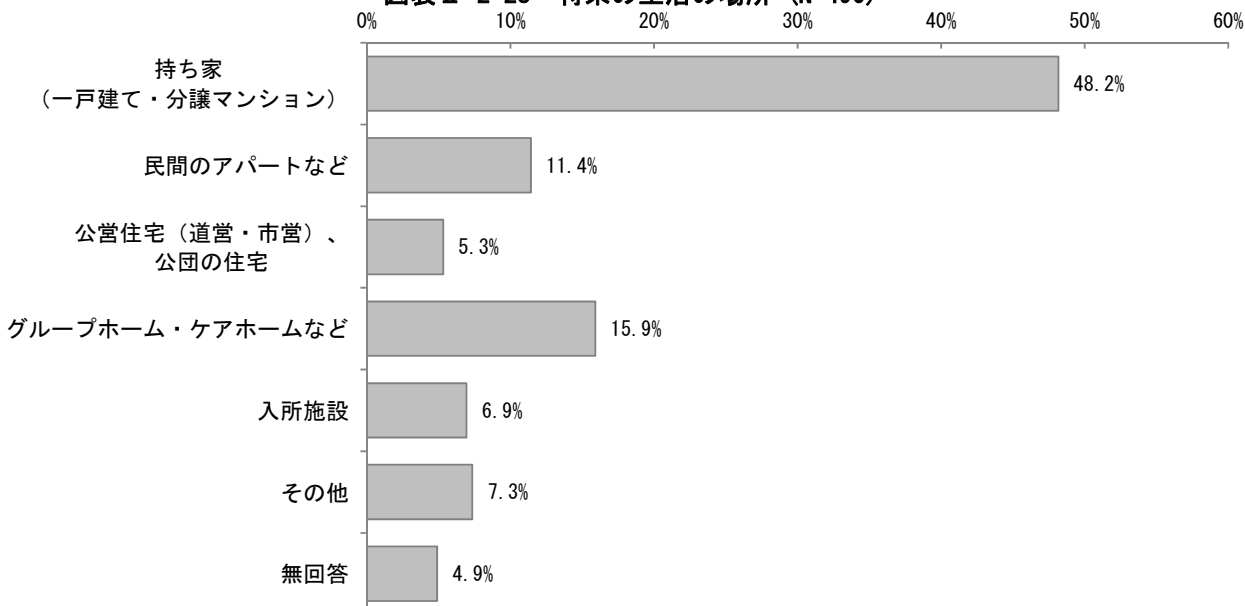


(3) 将来の生活の場所

問 13 あなたは将来、どのような場所で生活したいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

生活したい場所は、「持ち家(一戸建て・分譲マンション)」が 48.2%と最も高く、次いで「グループホーム・ケアホームなど」が 15.9%となっている。

図表Ⅱ-2-28 将来の生活の場所 (N=490)

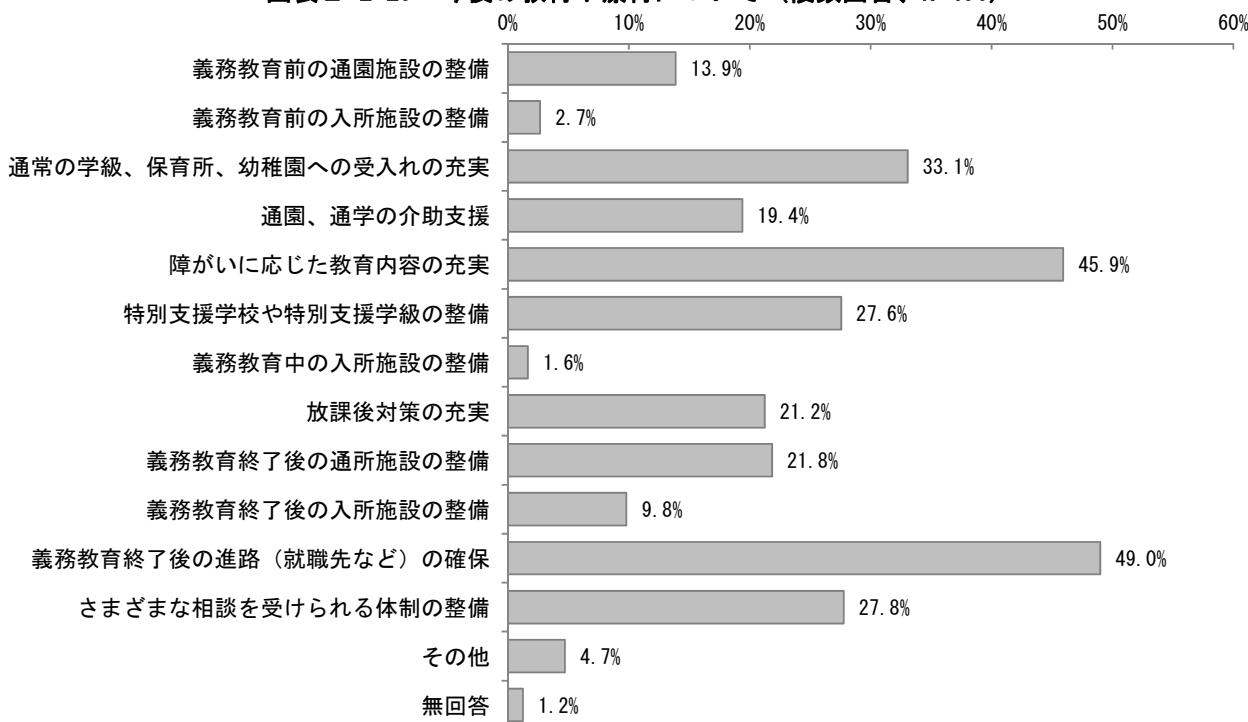


(4) 今後の教育や療育について

問 14 保護者の方にお聞きします。今後の教育や療育について、どのような点に力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

今後の教育や療育については、「義務教育終了後の進路（就職先など）の確保」が 49.0%と最も高く、次いで「障がいに応じた教育内容の充実」が 45.9%となっている。

図表 II-2-29 今後の教育や療育について（複数回答、N=490）



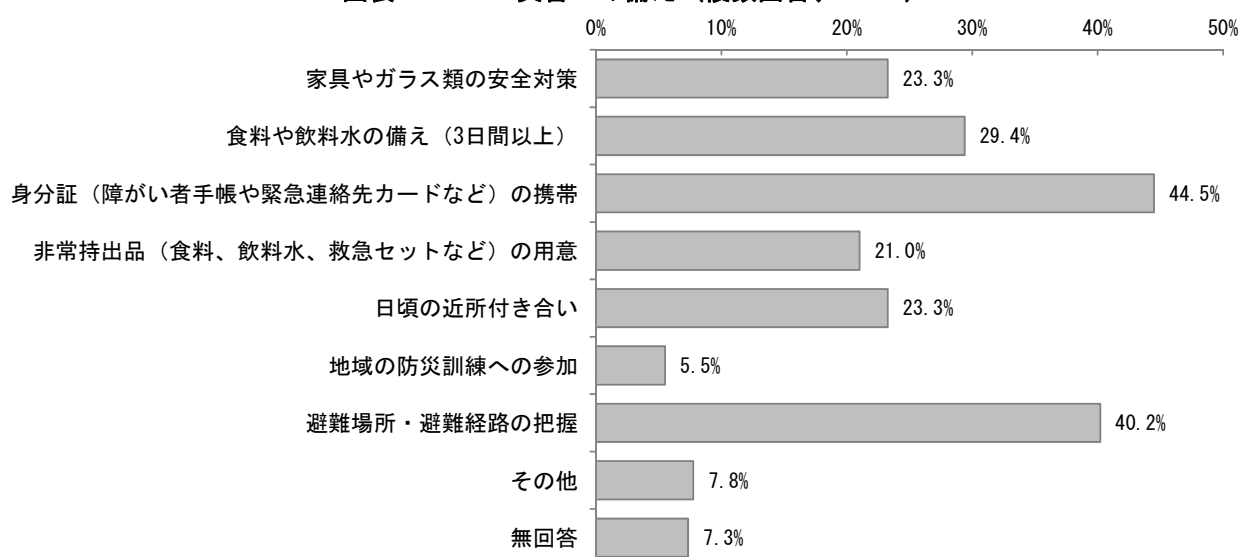
6 防災について

(1) 災害への備え

問 15 あなたや保護者の方は、地震などの災害への備えとして、普段どのようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害への備えは、「身分証（障がい者手帳や緊急連絡先カードなど）の携帯」が 44.5%と最も高く、次いで「避難場所・避難経路の把握」が 40.2%となっている。

図表 II-2-30 災害への備え（複数回答、N=490）

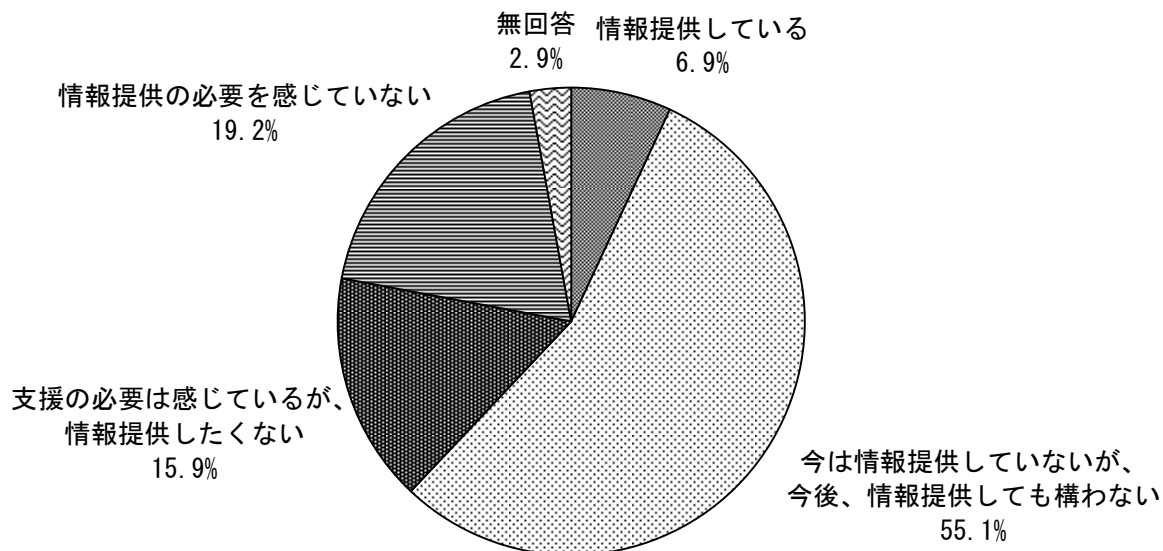


(2) 個人情報の提供

問 16 あなたや保護者の方は、災害などに備えるために、町内会や民生委員など地域に対し、個人情報(障がいの状況や、災害時における支援の必要性など)の提供をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

個人情報の提供は、「今は情報提供していないが、今後、情報提供しても構わない」が 55.1%と最も高く、次いで「情報提供の必要を感じていない」が 19.2%となっている。

図表Ⅱ-2-31 個人情報の提供 (N=490)

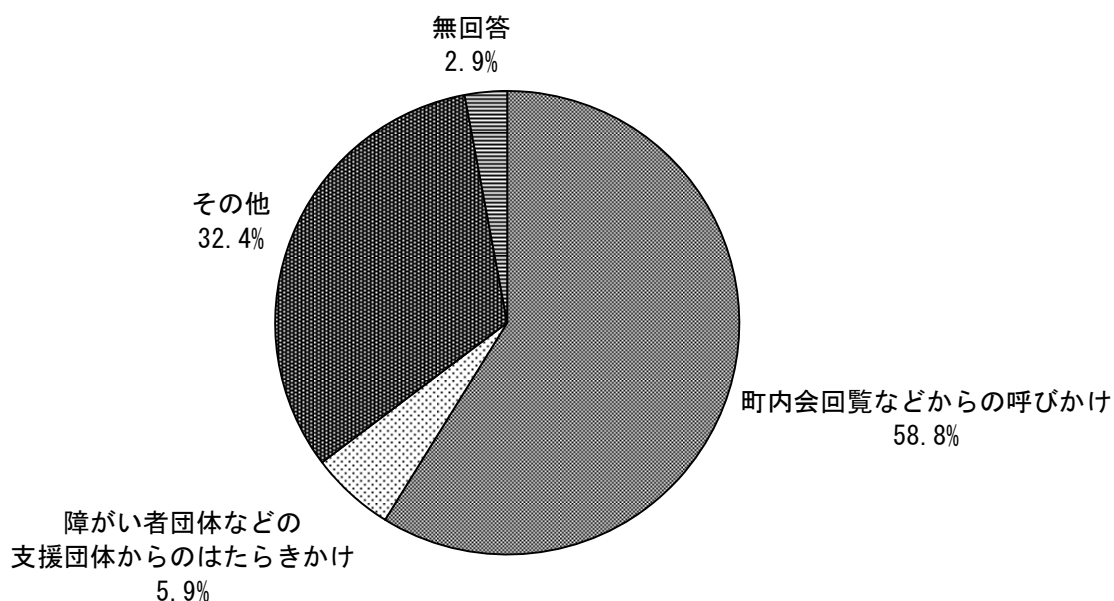


(3) 個人情報を提供したきっかけ

問 16-1 どのようなきっかけで情報提供しましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

個人情報を提供したきっかけは、「その他」を除くと、「町内会回覧などからの呼びかけ」が 58.8%と高く、「障がい者団体などの支援団体からのはたらきかけ」が 5.9%となっている。

図表Ⅱ-2-32 個人情報を提供したきっかけ (N=34)

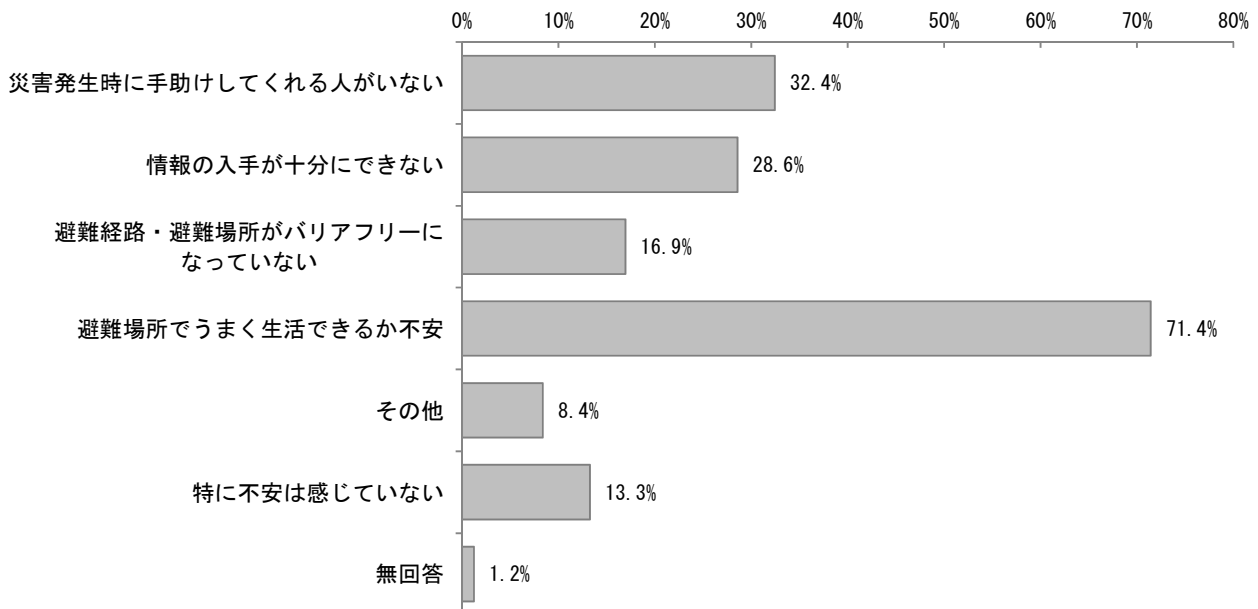


(4) 防災に関しての不安

問 17 あなたや保護者の方は、防災に関して不安に感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

防災に関しての不安は、「避難場所ですぐ生活できるか不安」が 71.4%と最も高く、次いで「災害発生時に手助けしてくれる人がいない」が 32.4%となっている。

図表Ⅱ-2-33 防災に関しての不安（複数回答、N=490）



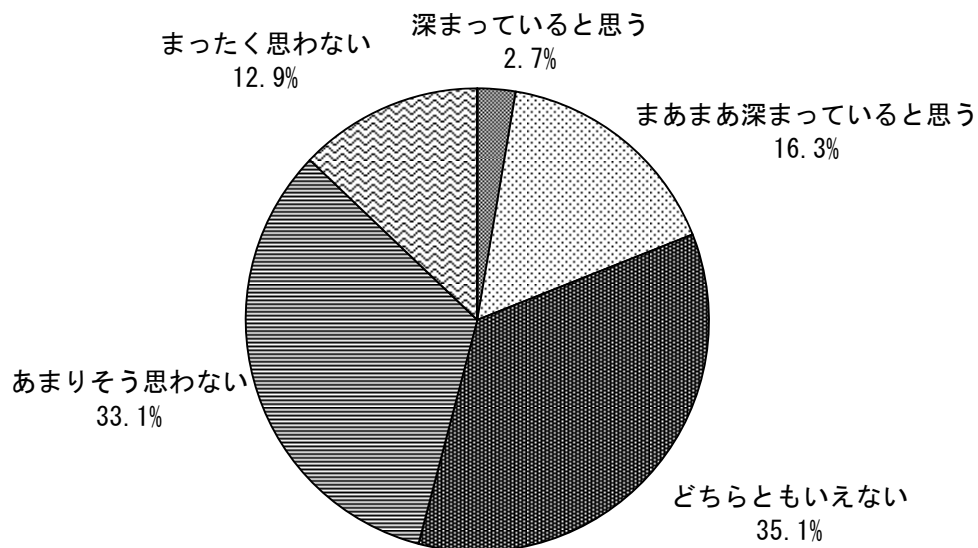
7 制度や政策等について

(1) 障がいのある人に対する市民の理解度

問 18 あなたや保護者の方は、障がいのある人に対する市民の理解が深まってきていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

障がいのある人に対する市民の理解度は、「どちらともいえない」が 35.1%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 33.1%となっている。

図表Ⅱ-2-34 障がいのある人に対する市民の理解度（N=490）

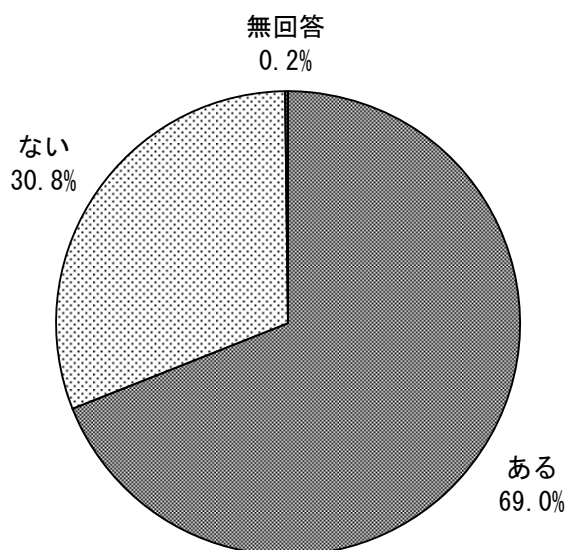


(2) 障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無

問 19 あなたはこれまでに、障がいがあるために差別をうけたり、いやな思いをしたことがありますか。

障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無は、「ある」が69.0%と高く、「ない」が30.8%となっている。

図表Ⅱ-2-35 障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無 (N=490)

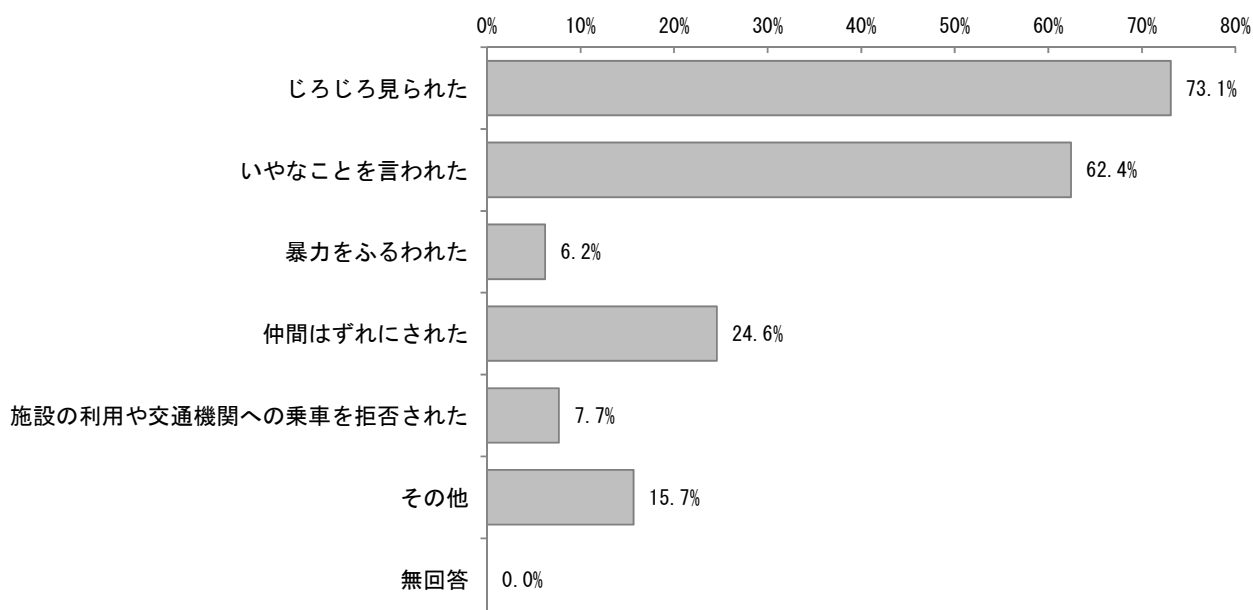


(3) 障がいがあるために受けた差別やいやな思い

問 19-1 それはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいがあるために受けた差別やいやな思いは、「じろじろ見られた」が73.1%と最も高く、次いで「いやなことを言われた」が62.4%となっている。

図表Ⅱ-2-36 障がいがあるために受けた差別やいやな思い (複数回答、N=338)

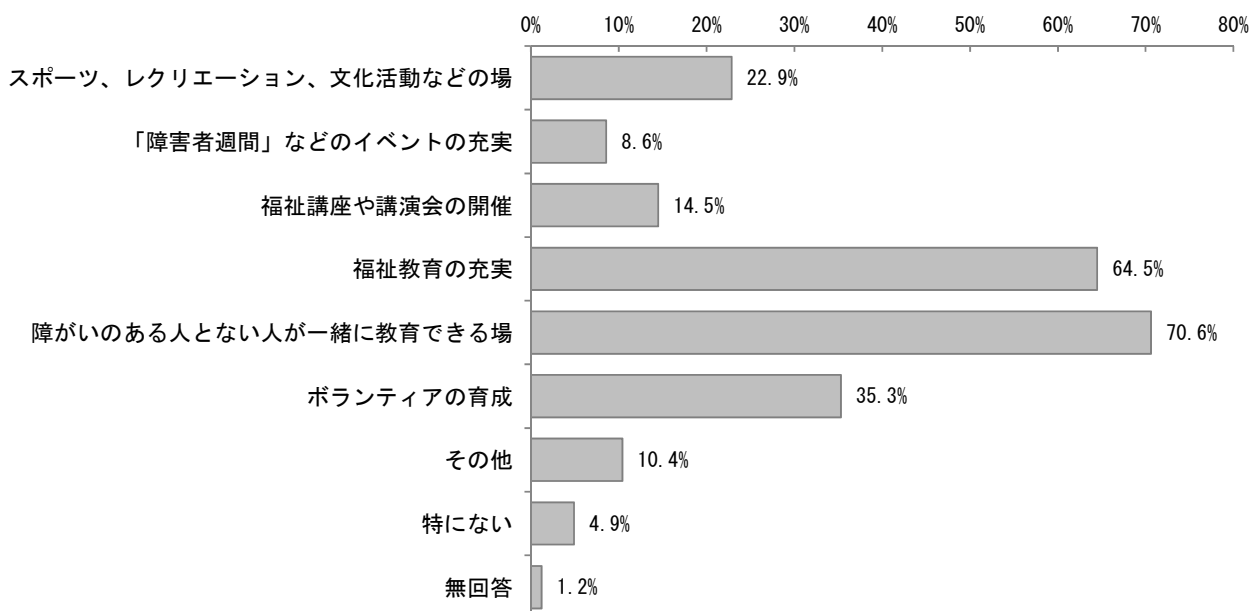


(4) 障がい者への理解が深まるために必要なこと

問 20 あなたや保護者の方は、障がいのある人への理解が深まるためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

障がい者への理解が深まるために必要なことは、「障がいのある人となない人が一緒に教育できる場」が70.6%と最も高く、次いで「福祉教育の充実」が64.5%となっている。

図表Ⅱ-2-37 障がい者への理解が深まるために必要なこと（複数回答、N=490）

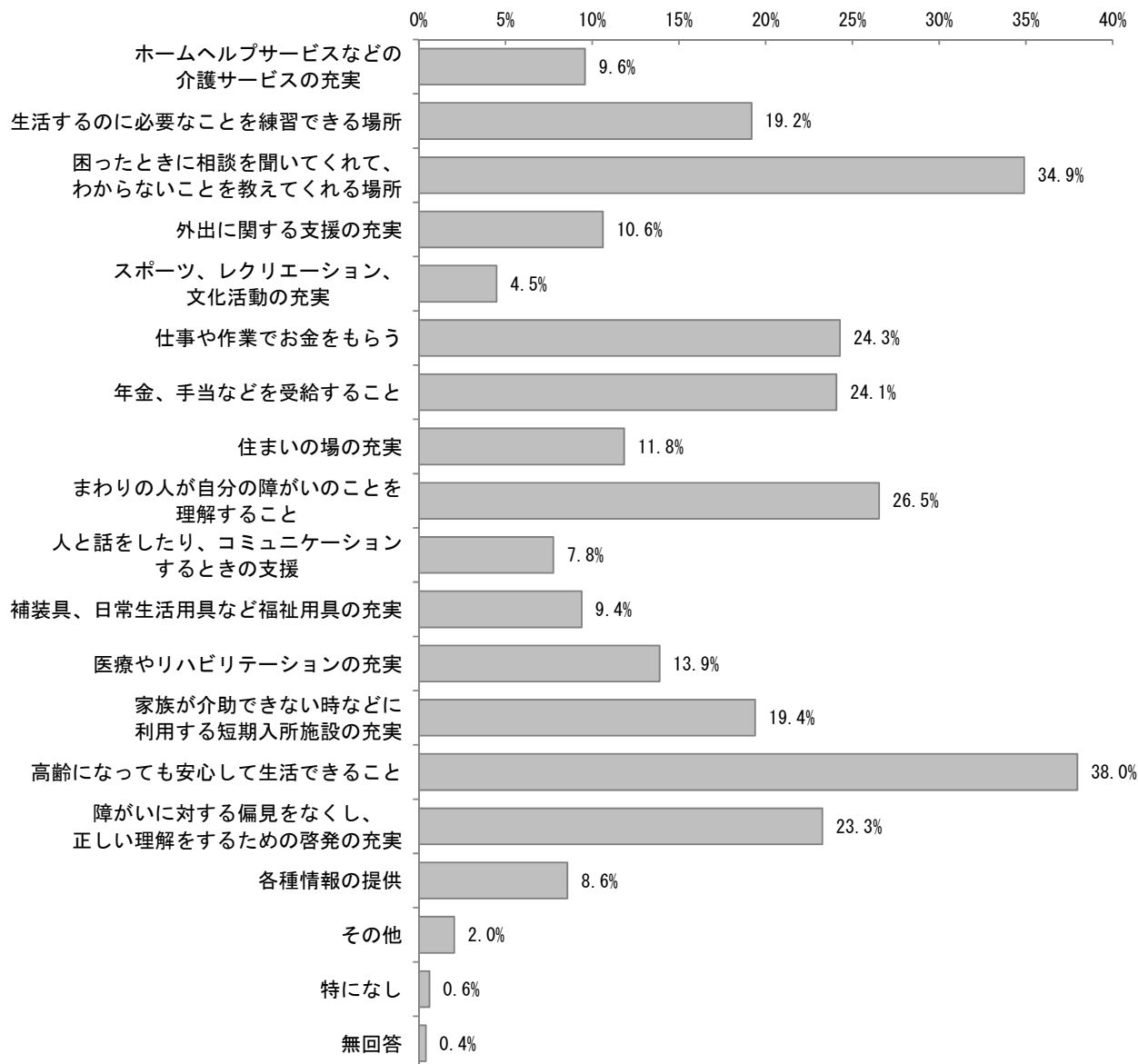


(5) 希望する生活をするためにあればよいこと

問 21 あなたや保護者の方は、今後あなたが希望する生活をするためには、どのようなことがあればよいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

希望する生活をするためにあればよいことは、「高齢になっても安心して生活できること」が 38.0%と最も高く、次いで「困ったときに相談を聞いてくれて、わからないことを教えてくれる場所」が 34.9%となっている。

図表Ⅱ-2-38 希望する生活をするためにあればよいこと（複数回答、N=490）



Ⅱ-3 難病患者調査

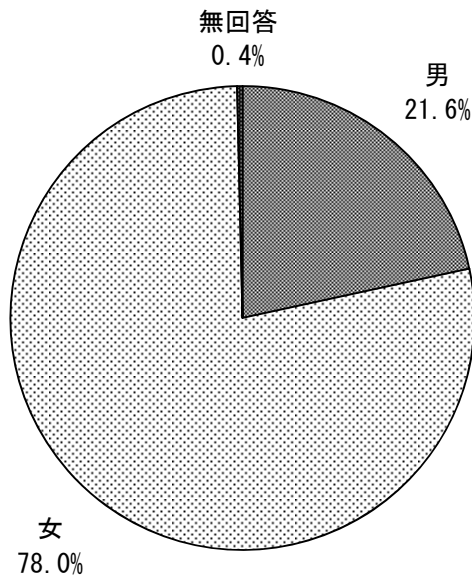
1 あなたのこと、世帯の状況について

(1) 性別

問 1 あなたの性別に○をつけてください。

性別は、「女性」が 78.0%と高く、「男性」が 21.6%となっている。

図表Ⅱ-3-1 性別 (N=264)

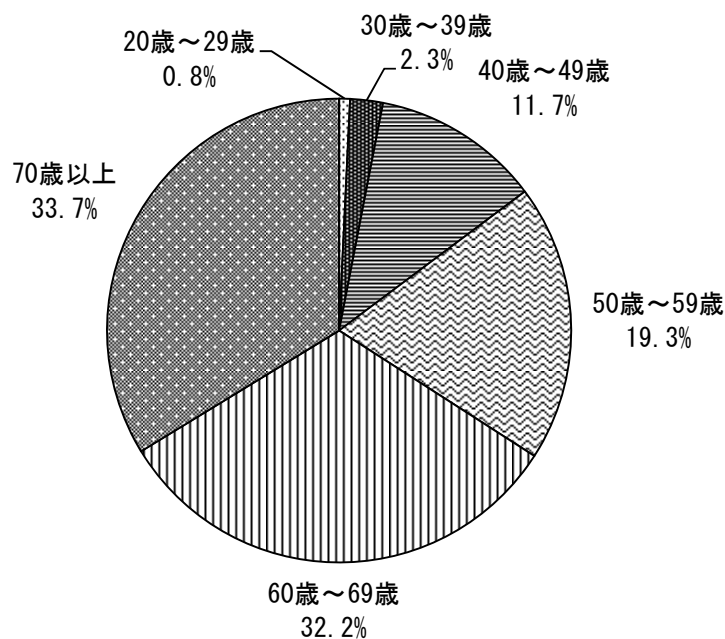


(2) 年齢

問 2 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

年齢は、「70歳以上」が 33.7%と最も高く、次いで「60歳～69歳」が 32.2%となっている。

図表Ⅱ-3-2 年齢 (N=264)

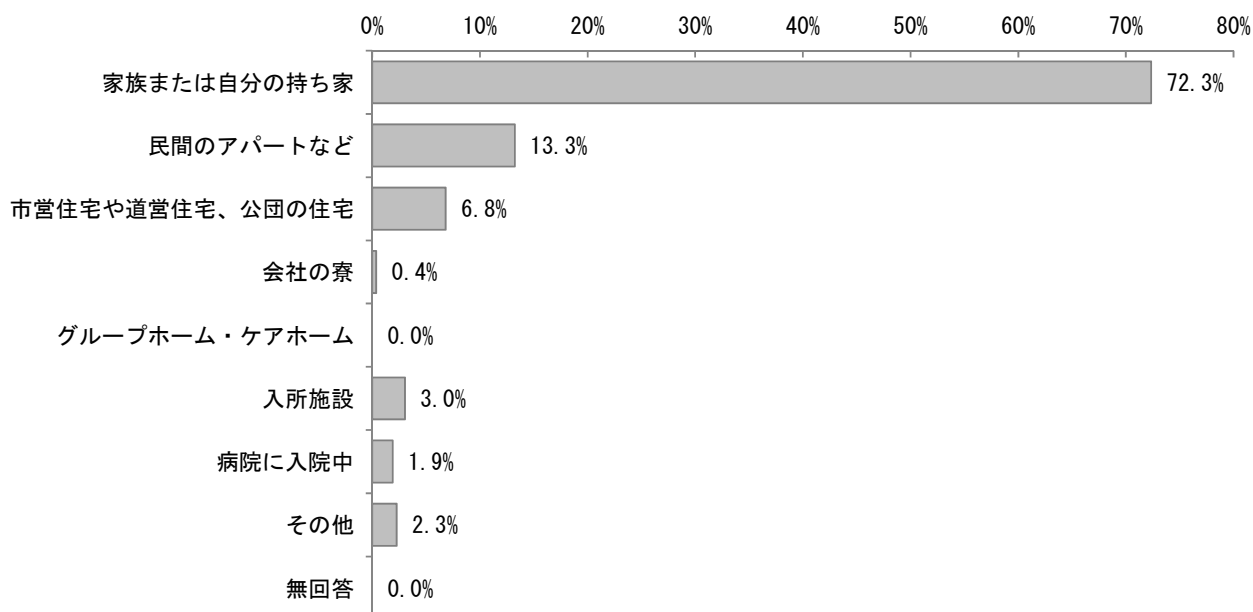


(3) 生活している場所

問3 あなたは、現在どこで生活していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

生活している場所は、「家族または自分の持ち家」が 72.3%と最も高く、次いで「民間のアパートなど」が 13.3%となっている。

図表Ⅱ-3-3 生活している場所 (N=264)

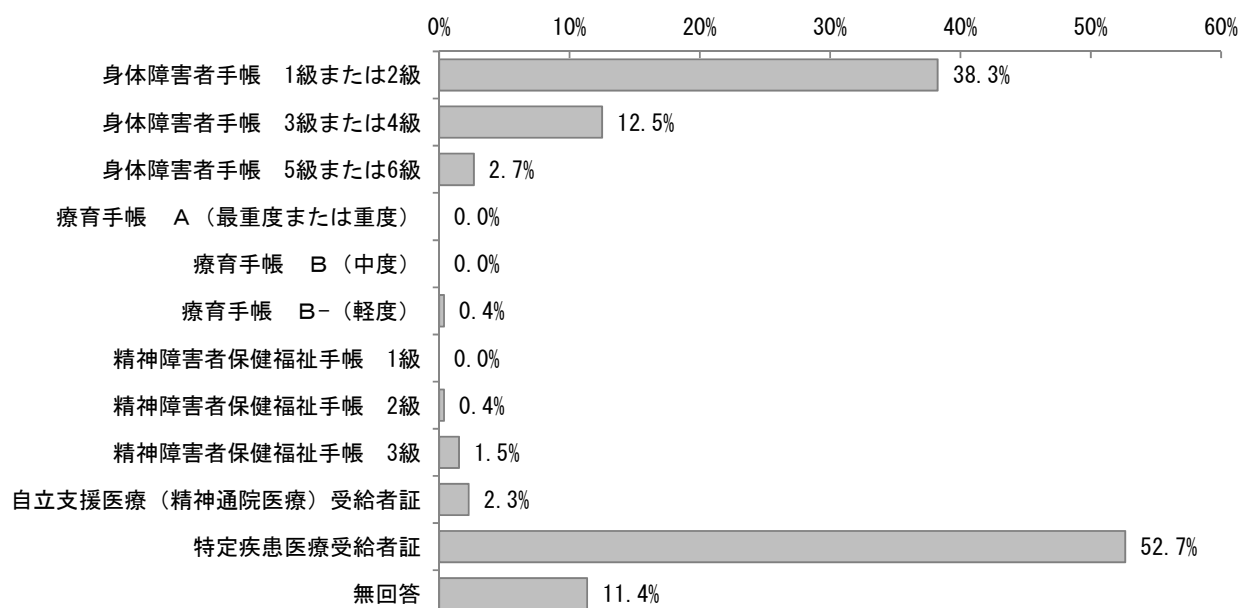


(4) 障がい者手帳などの種類

問4 あなたが持っている障がい者手帳などの種類はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がい者手帳などの種類は、「特定疾患医療受給者証」が 52.7%と最も高く、次いで「身体障害者手帳 1級または2級」が 38.3%となっている。

図表Ⅱ-3-4 障がい者手帳などの種類 (複数回答、N=264)

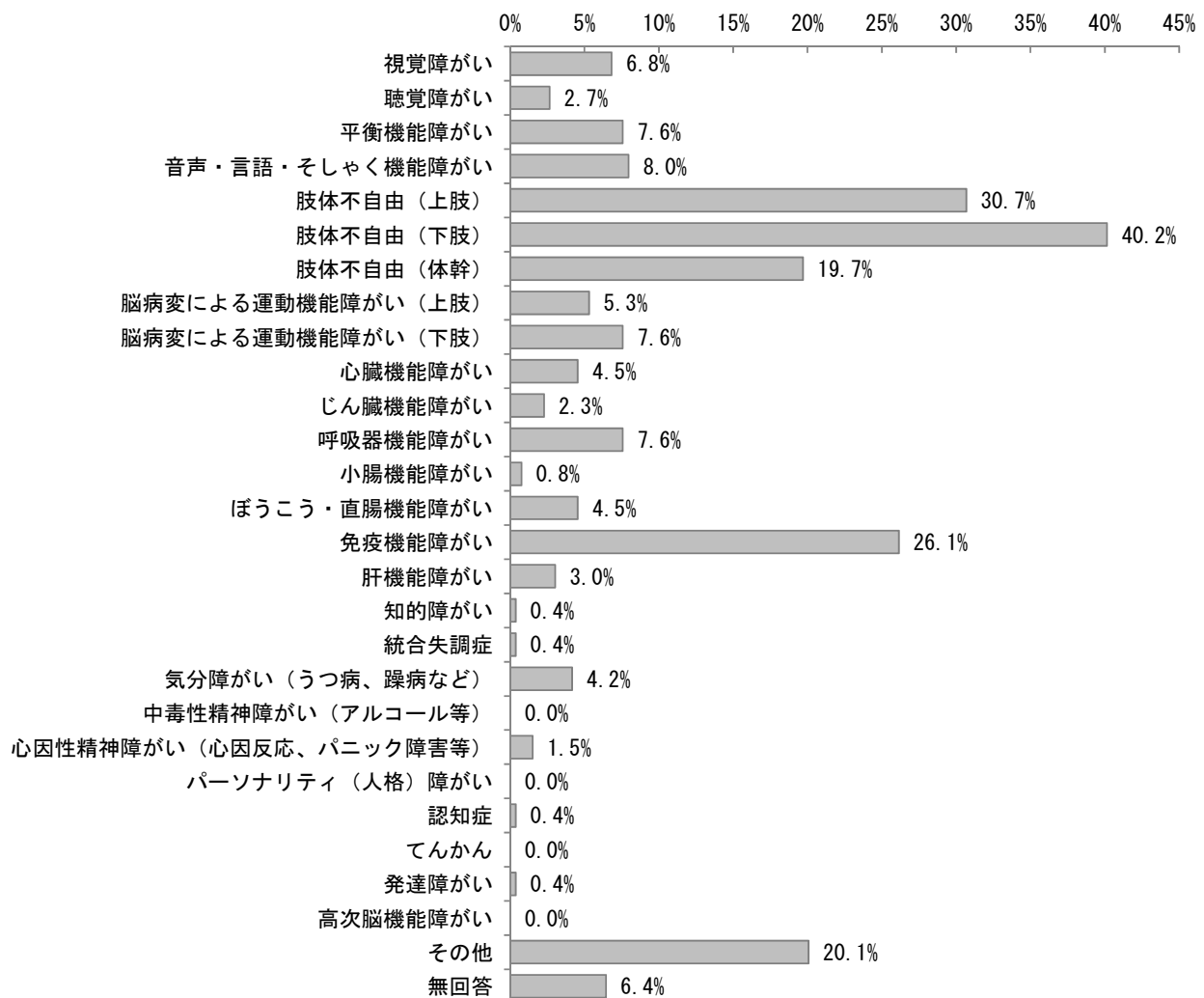


(5) 障がいや疾病の種類

問5 あなたの障がいや疾病で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいや疾病の種類は、「肢体不自由(下肢)」が40.2%と最も高く、次いで「肢体不自由(上肢)」が30.7%となっている。

図表Ⅱ-3-5 障がいや疾病の種類（複数回答、N=264）



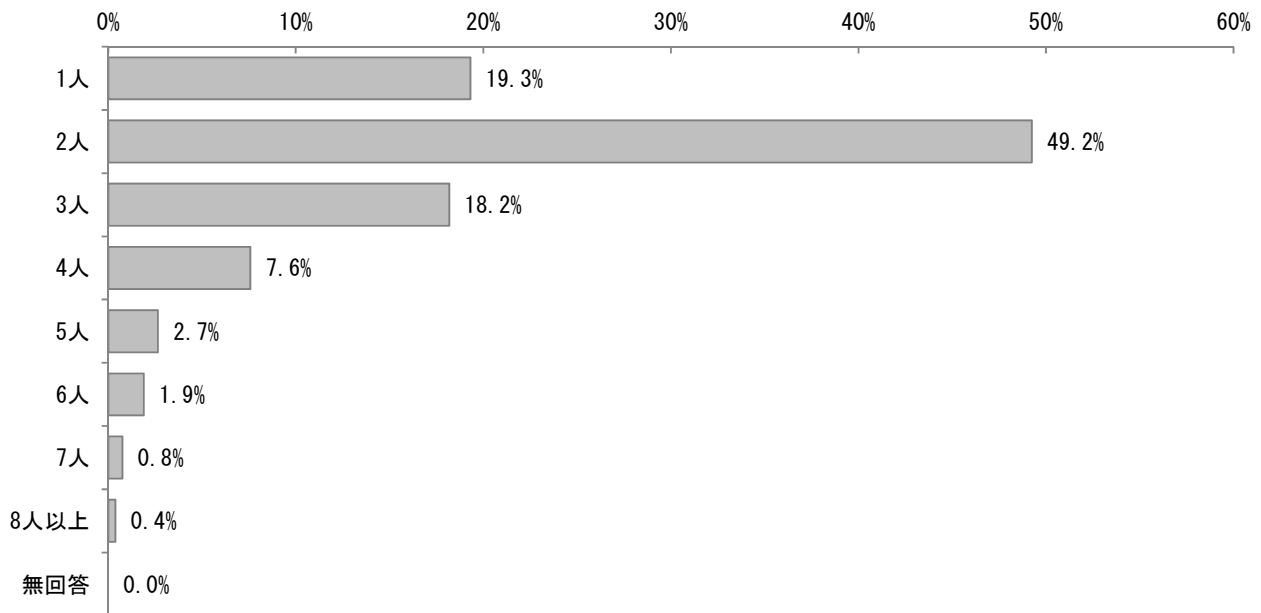
(6) 一緒に住んでいる家族の人数

問 6 家族のことにしておしえてください。

(1) あなたは何人家族ですか。

一緒に住んでいる家族の人数は、「2人」が 49.2%と最も高く、次いで「1人」が 19.3%となっている。

図表Ⅱ-3-6 一緒に住んでいる家族の人数 (N=264)



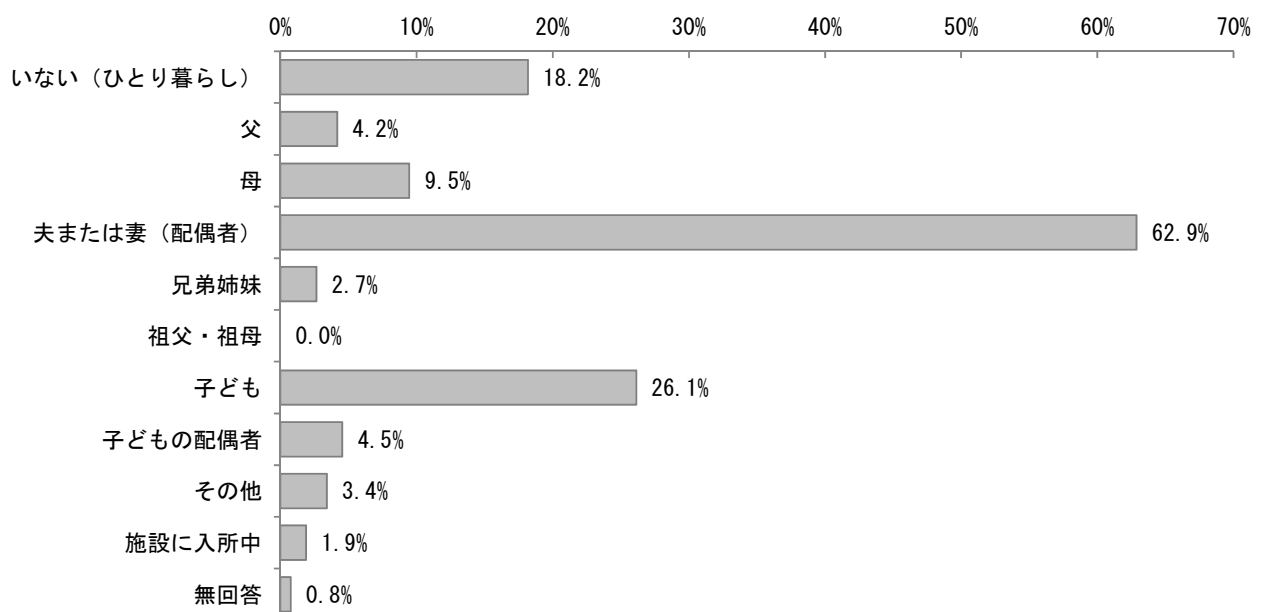
(7) 一緒に住んでいる人

問 6 家族のことにしておしえてください。

(2) 一緒に住んでいる人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

一緒に住んでいる人は、「夫または妻（配偶者）」が 62.9%と最も高く、次いで「子ども」が 26.1%となっている。

図表Ⅱ-3-7 一緒に住んでいる人（複数回答、N=264）



2 心身の状況について

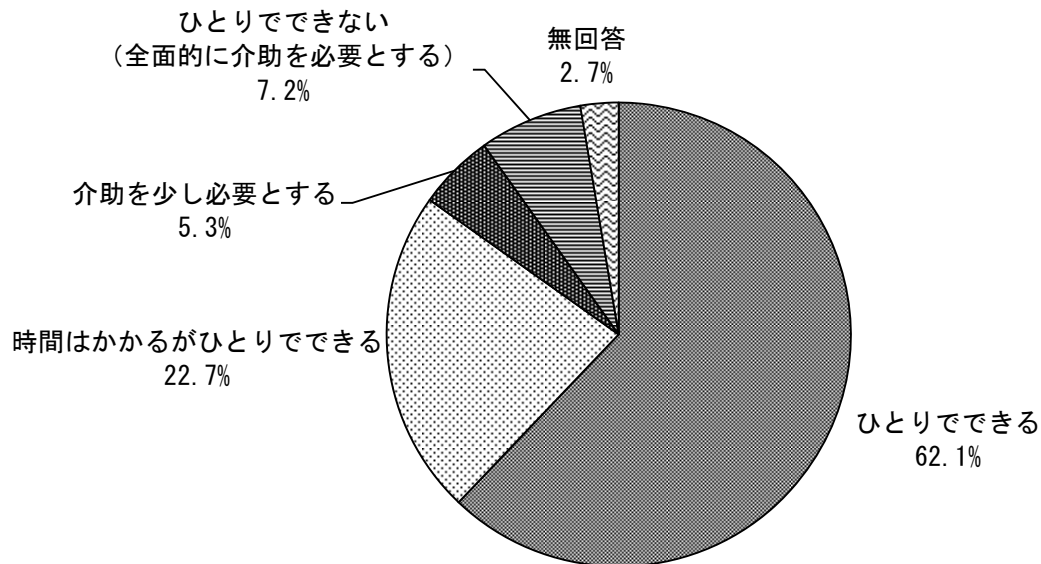
(1) 自立性

問7 あなたは、日常生活の中で、次の項目をひとりでできますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

① 家の中の移動

家の中の移動は、「ひとりでできる」が 62.1%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が 22.7%となっている。

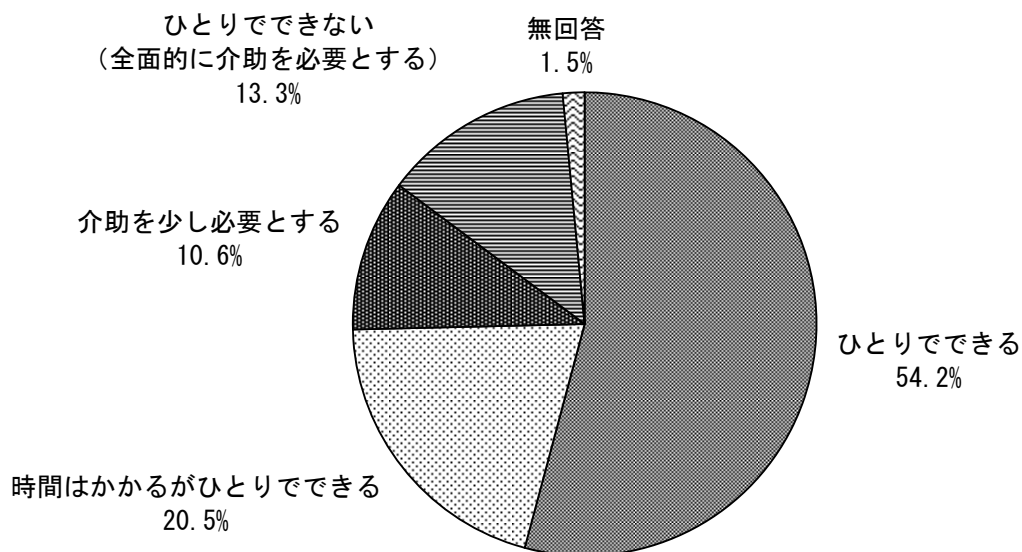
図表Ⅱ-3-8 家の中の移動 (N=264)



② 入浴

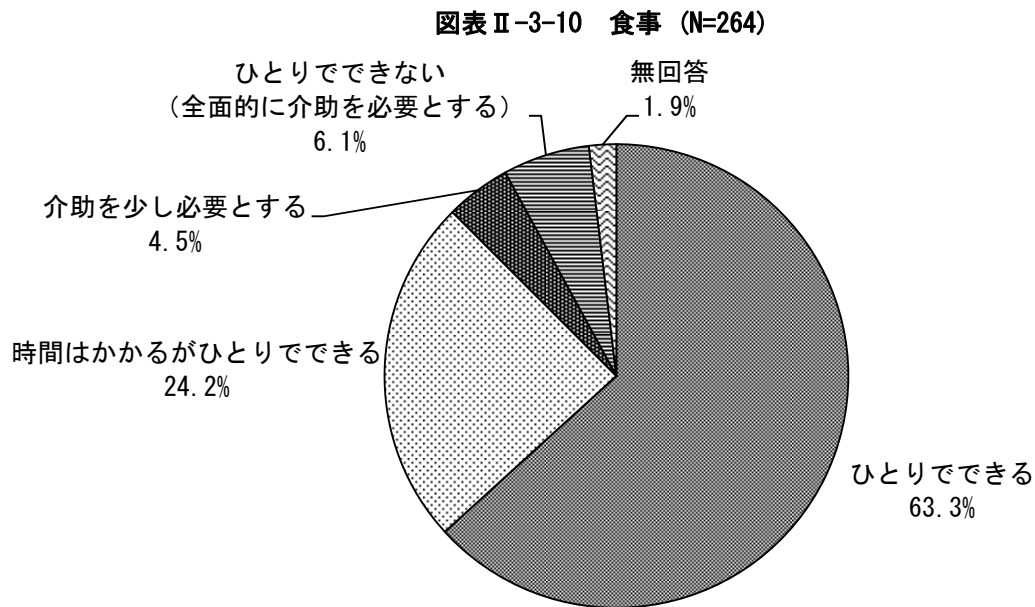
入浴は、「ひとりでできる」が 54.2%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が 20.5%となっている。

図表Ⅱ-3-9 入浴 (N=264)



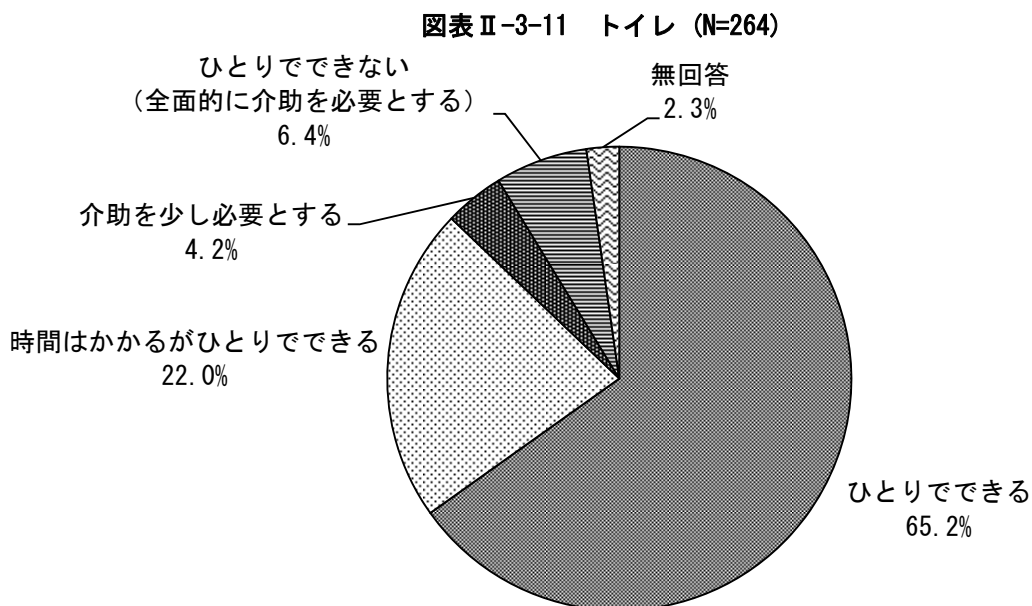
③ 食事

食事は、「ひとりでできる」が 63.3%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が 24.2%となっている。



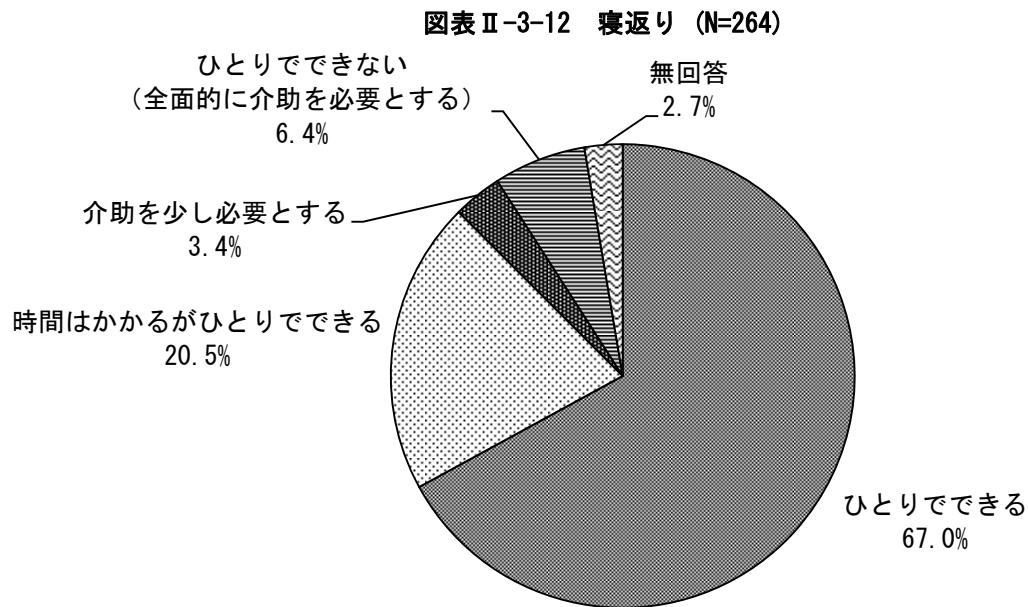
④ トイレ

トイレは、「ひとりでできる」が 65.2%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が 22.0%となっている。



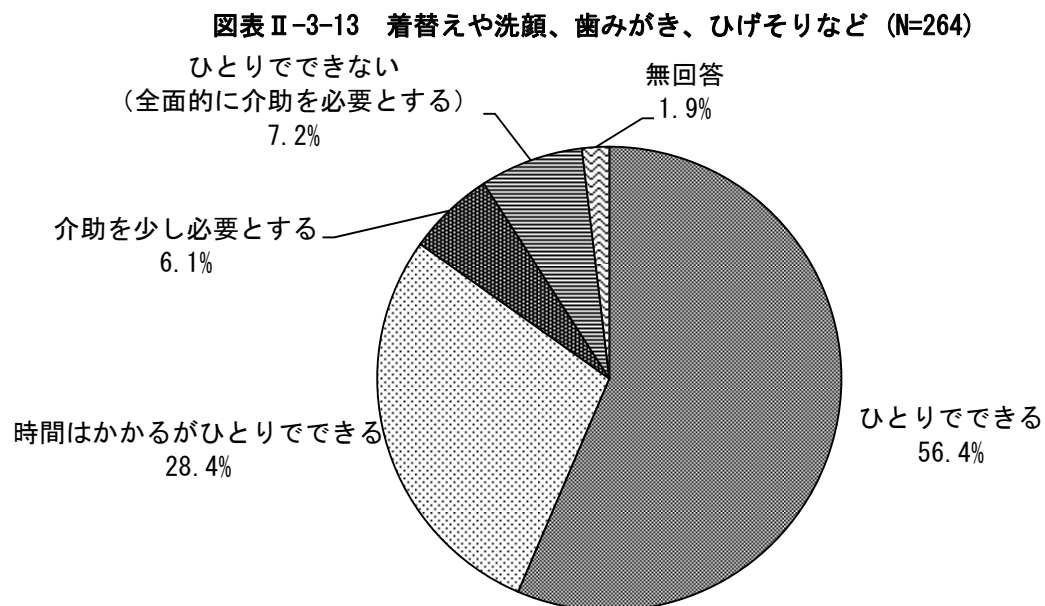
⑤ 寝返り

寝返りは、「ひとりでできる」が67.0%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が20.5%となっている。



⑥ 着替えや洗顔、歯みがき、ひげそりなど

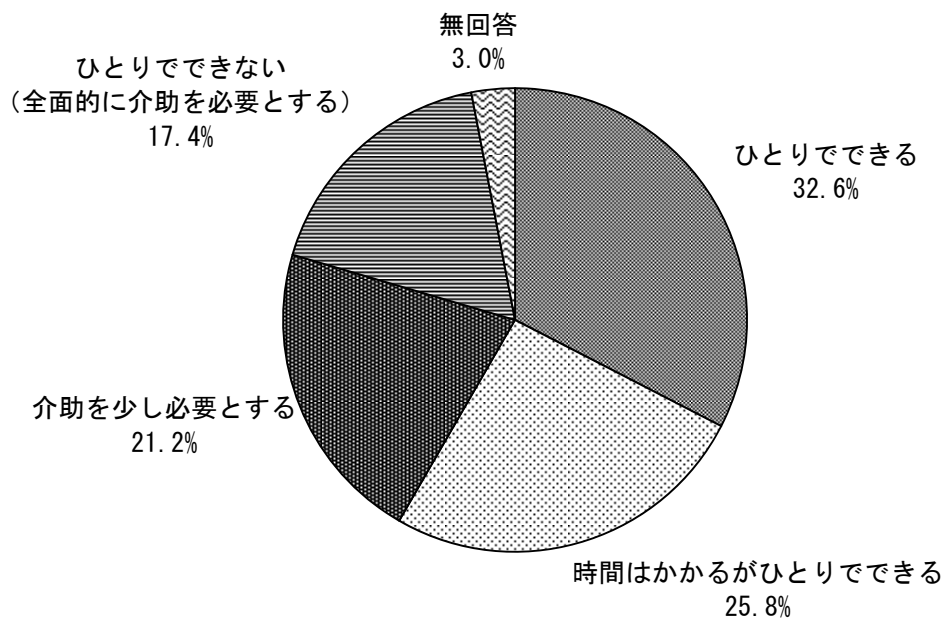
着替えや洗顔、歯みがき、ひげそりなどは、「ひとりでできる」が 56.4%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が 28.4%となっている。



⑦ 家事(調理・掃除・洗濯等)

家事(調理・掃除・洗濯等)は、「ひとりでできる」が 32.6%と最も高く、次いで「時間はかかるがひとりでできる」が 25.8%となっている。

図表Ⅱ-3-14 家事(調理・掃除・洗濯等) (N=264)



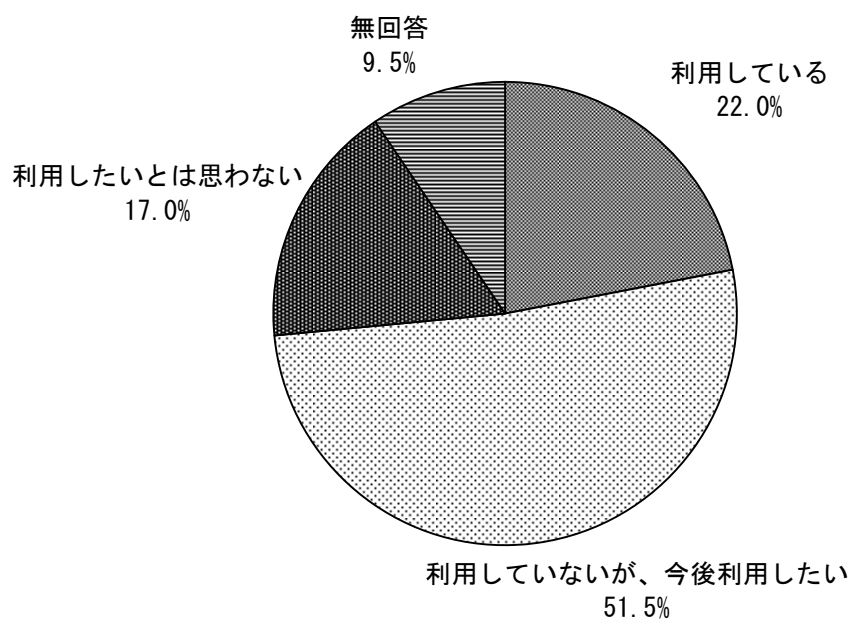
3 障がい福祉サービスについて

(1) 障がい福祉サービス(障害者総合支援法)の利用

問 8 あなたは、現在、障がい福祉サービス(障害者総合支援法)を利用していますか。

障がい福祉サービス(障害者総合支援法)の利用は、「利用していないが今後利用したい」が 51.5%と最も高く、次いで「利用している」が 22.0%となっている。

図表Ⅱ-3-15 障がい福祉サービス(障害者総合支援法)の利用 (N=264)



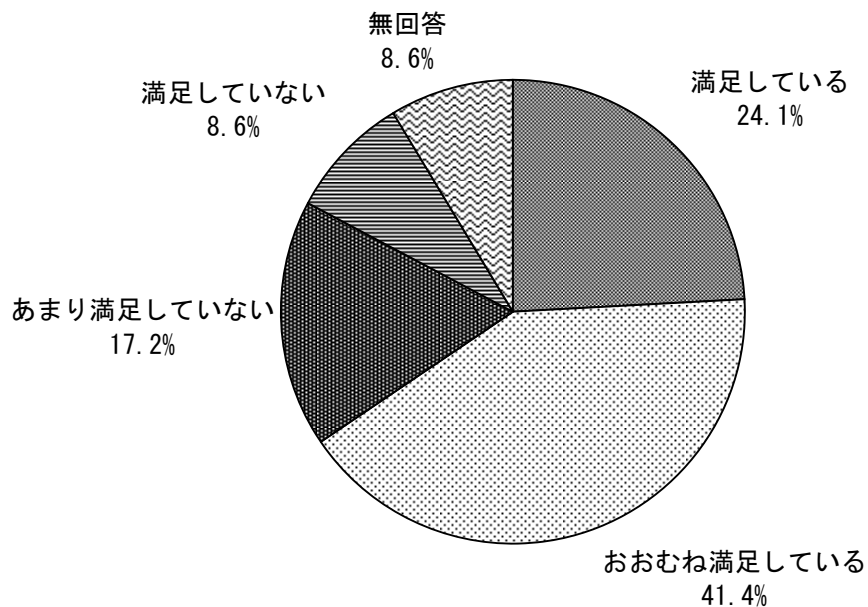
(2) 満足度

問 8-1 あなたは、現在受けている障がい福祉サービス(障害者総合支援法)に満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

① 支給決定の内容(サービスを利用できる時間数)

支給決定の内容(サービスを利用できる時間数)は、「おおむね満足している」が 41.4%と最も高く、次いで「満足している」が 24.1%となっている。

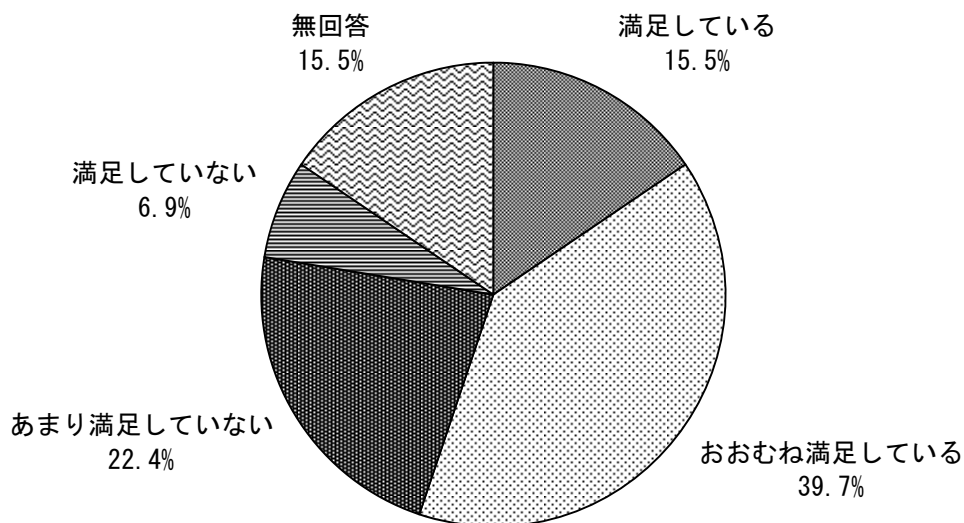
図表Ⅱ-3-16 満足度 【支給決定の内容(サービスを利用できる時間数)】 (N=58)



② サービスの内容

サービスの内容は、「おおむね満足している」が 39.7%と最も高く、次いで「あまり満足していない」が 22.4%となっている。

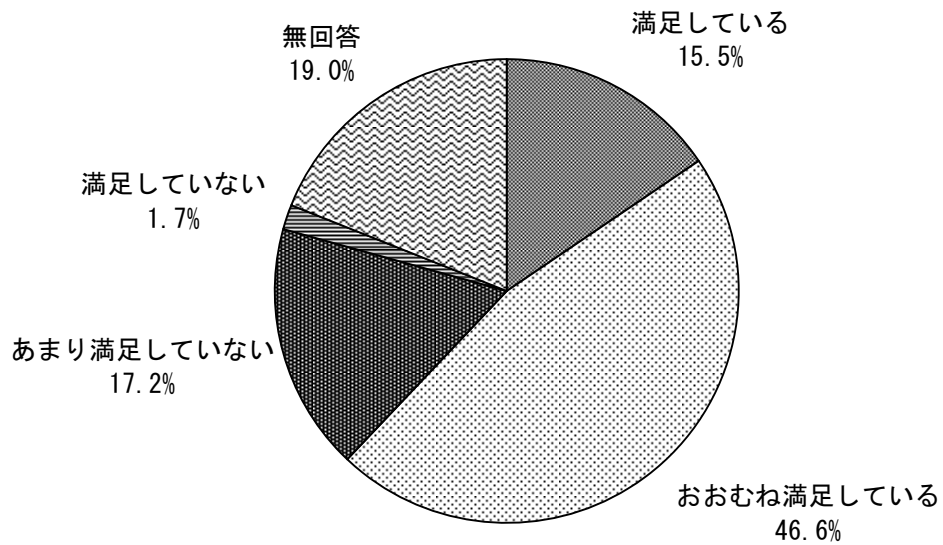
図表Ⅱ-3-17 満足度 【サービスの内容】 (N=58)



③ ヘルパーの技術

ヘルパーの技術は、「おおむね満足している」が46.6%と最も高く、次いで「あまり満足していない」が17.2%となっている。

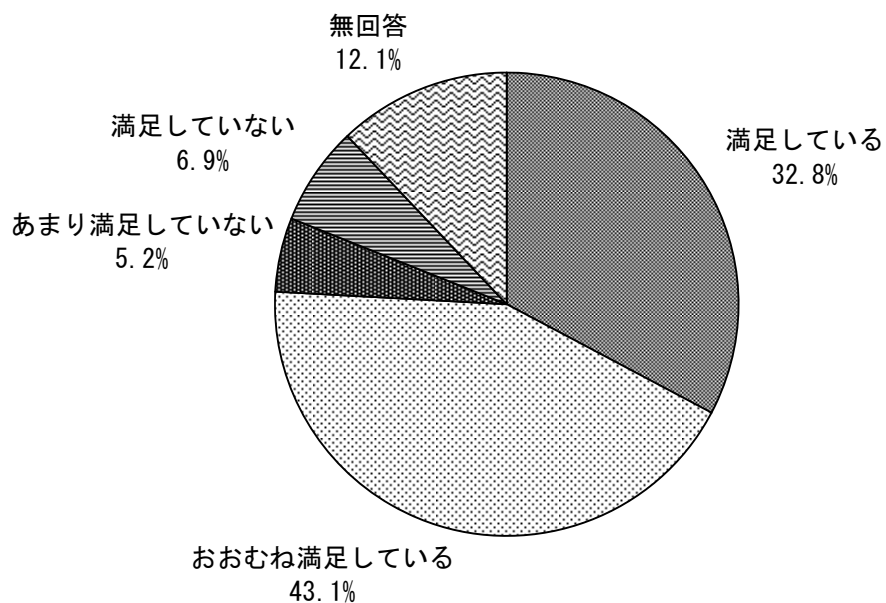
図表Ⅱ-3-18 満足度 【ヘルパーの技術】 (N=58)



④ 事業所の対応(わかりやすく説明してくれるか等)

事業所の対応(わかりやすく説明してくれるか等)は、「おおむね満足している」が43.1%と最も高く、次いで「満足している」が32.8%となっている。

図表Ⅱ-3-19 満足度 【事業所の対応(わかりやすく説明してくれるか等)】 (N=58)

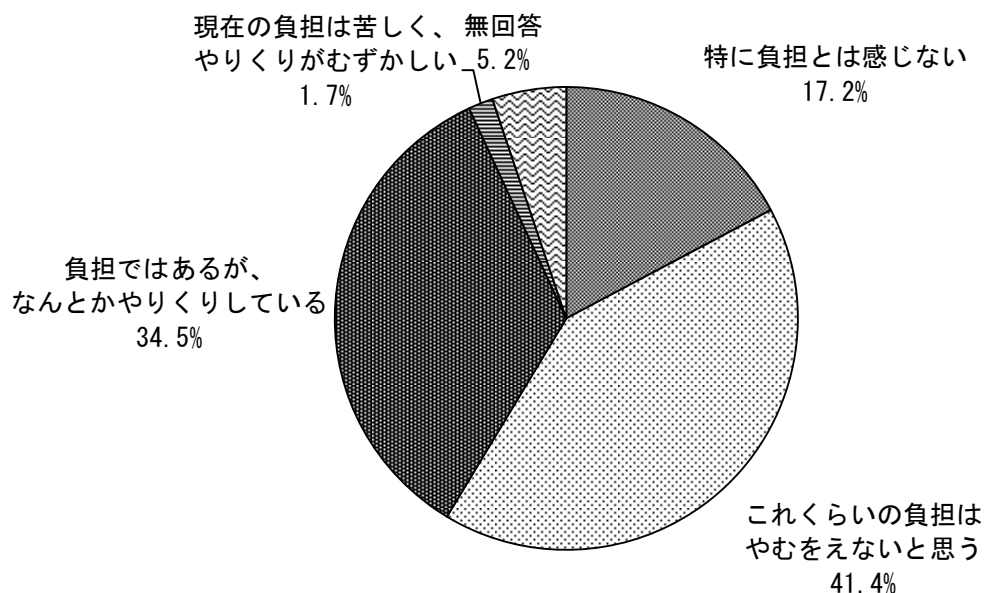


(3) 支払っている利用者負担額の負担感

問 8-2 現在支払っている利用者負担について、どう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

支払っている利用者負担額の負担感は、「これくらいの負担はやむをえないと思う」が 41.4%と最も高く、次いで「負担ではあるが、なんとかやりくりしている」が 34.5%となっている。

図表Ⅱ-3-20 支払っている利用者負担額の負担感 (N=58)

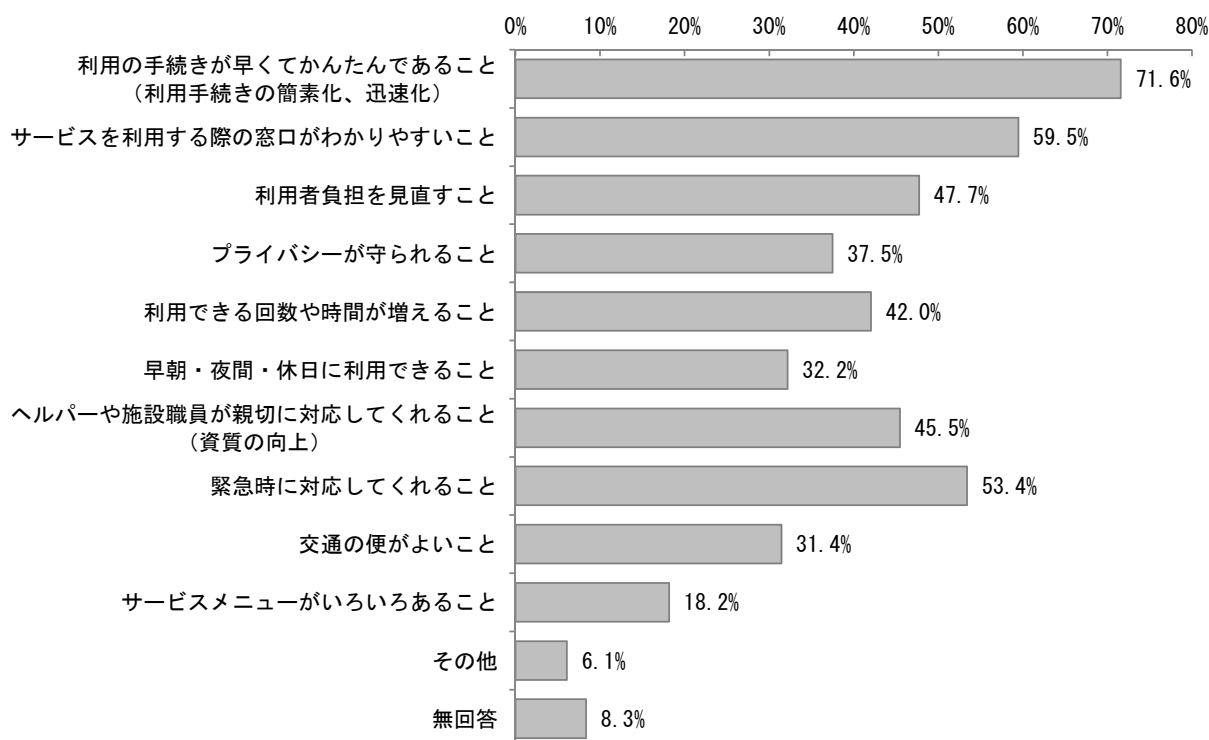


(4) 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと

問 9 あなたは、福祉サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

福祉サービスを利用しやすくするために必要なことは、「利用の手続きが早くてかんたんであること(利用手続きの簡素化、迅速化)」が 71.6%と最も高く、次いで「サービスを利用する際の窓口がわかりやすいこと」が 59.5%となっている。

図表Ⅱ-3-21 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと (複数回答、N=264)

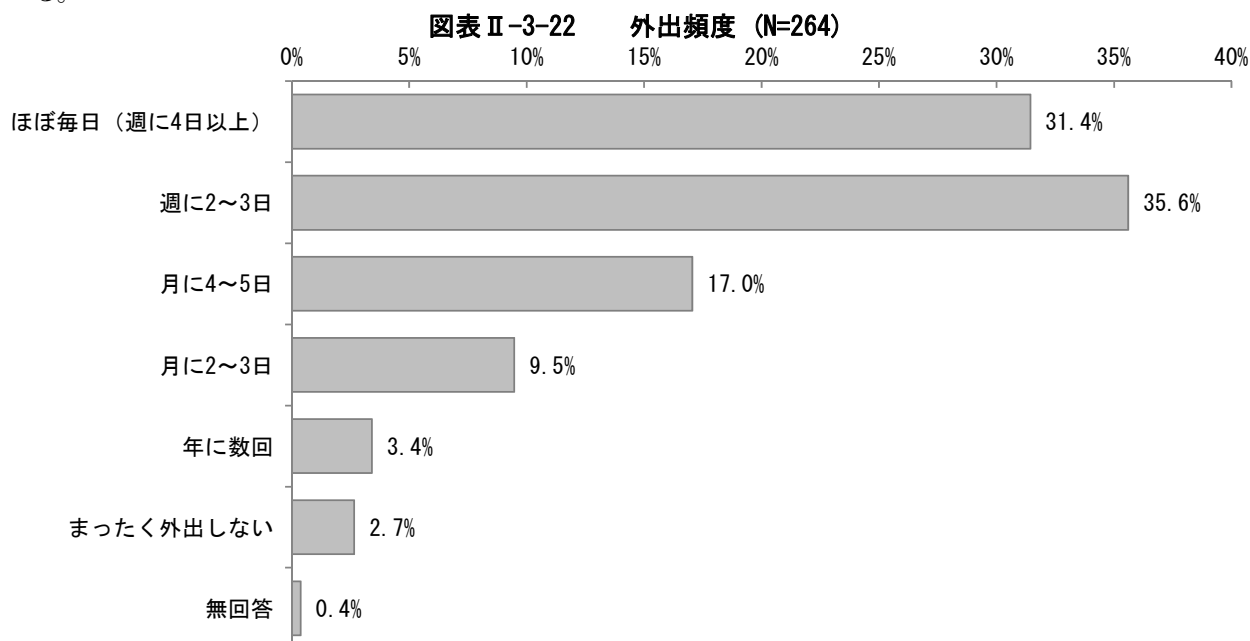


4 外出の状況

(1) 外出頻度

問 10 あなたは、普段どのくらい外出しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

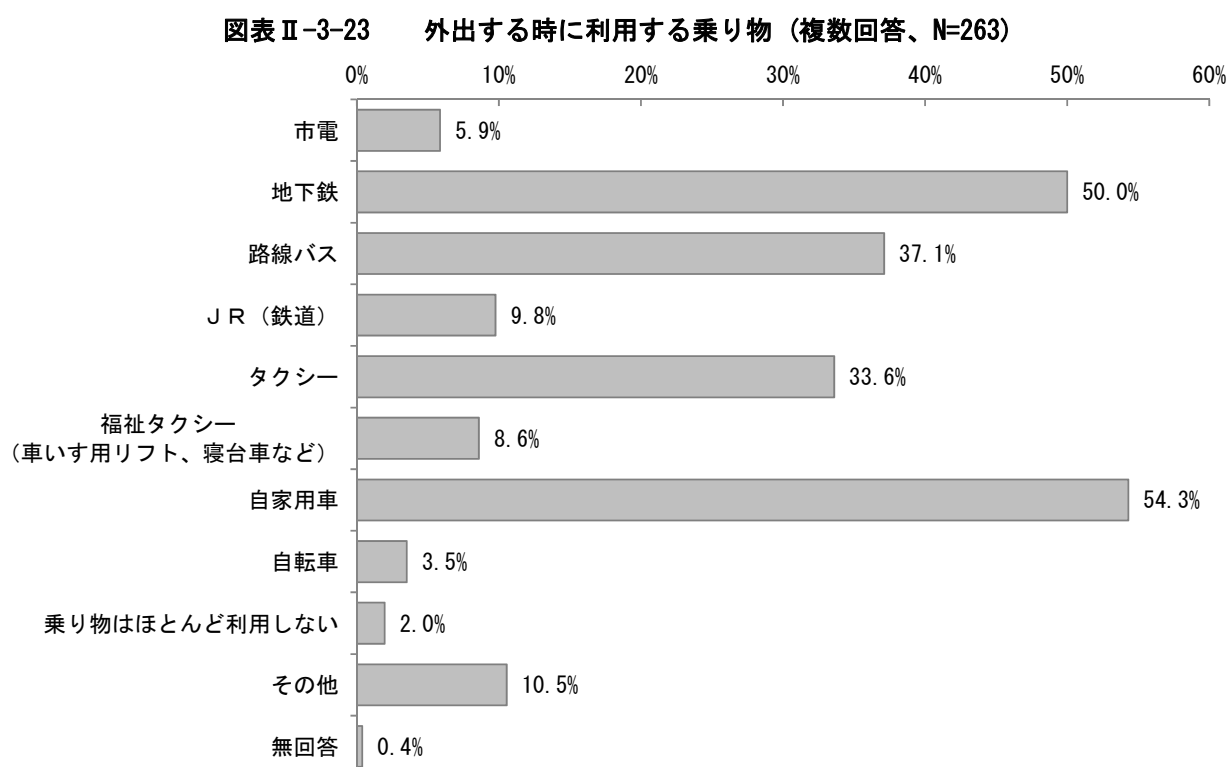
外出頻度は、「週に2～3日」が35.6%と最も高く、次いで「ほぼ毎日(週に4日以上)」が31.4%となっている。



(2) 外出する時に利用する乗り物

問 10-1 外出する時に利用する乗り物は何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

外出する時に利用する乗り物は、「自家用車」が54.3%と最も高く、次いで「地下鉄」が50.0%となっている。

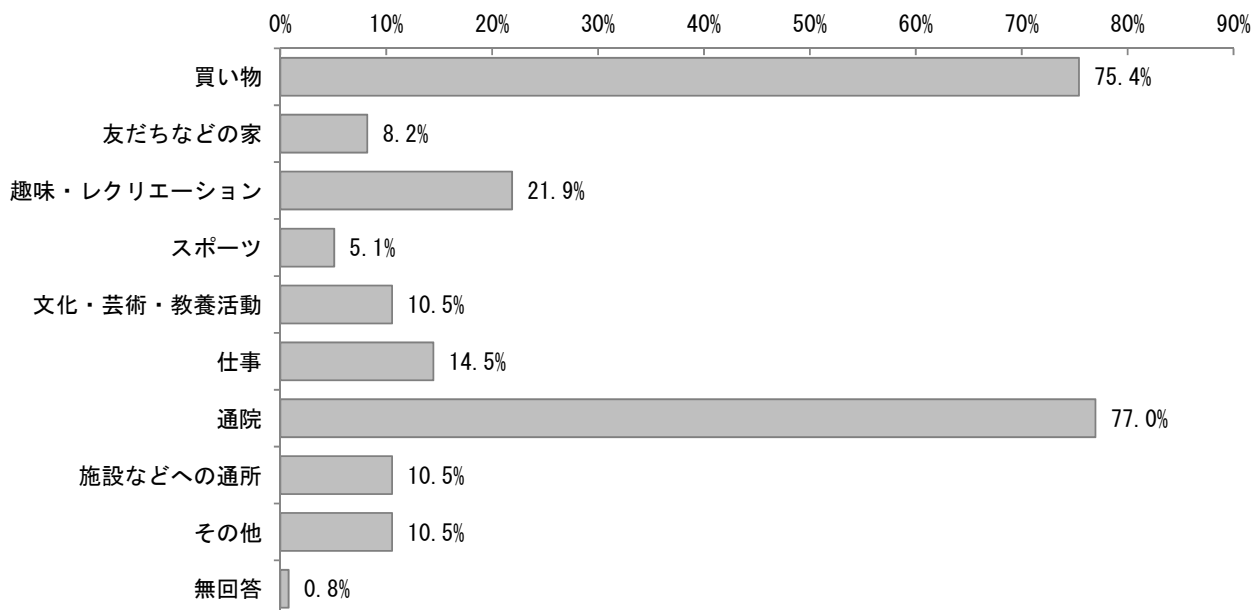


(3) 主な外出目的

問 10-2 外出の目的は何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

主な外出目的は、「通院」が 77.0%と最も高く、次いで「買い物」が 75.4%となっている。

図表Ⅱ-3-24 主な外出目的（複数回答、N=263）

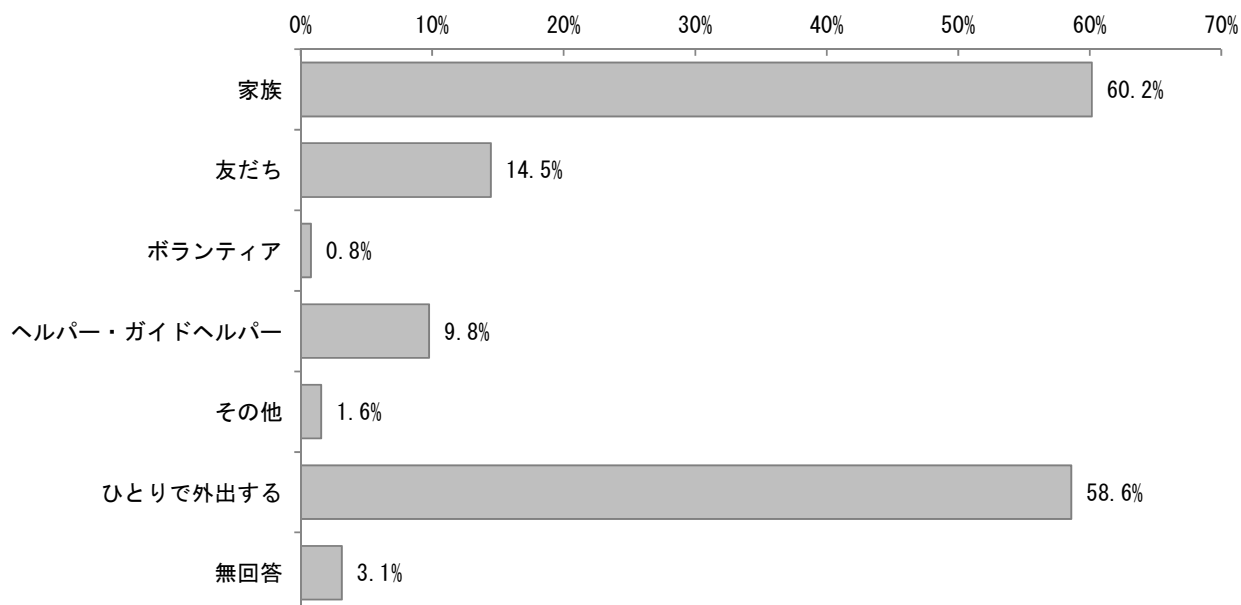


(4) 主な外出同伴者

問 10-3 だれと一緒に外出することが多いですか。主な方を2人まで選んで○をつけてください。

主な外出同伴者は、「家族」が 60.2%と最も高く、次いで「ひとりで外出する」が 58.6%となっている。

図表Ⅱ-3-25 主な外出同伴者（複数回答、N=263）

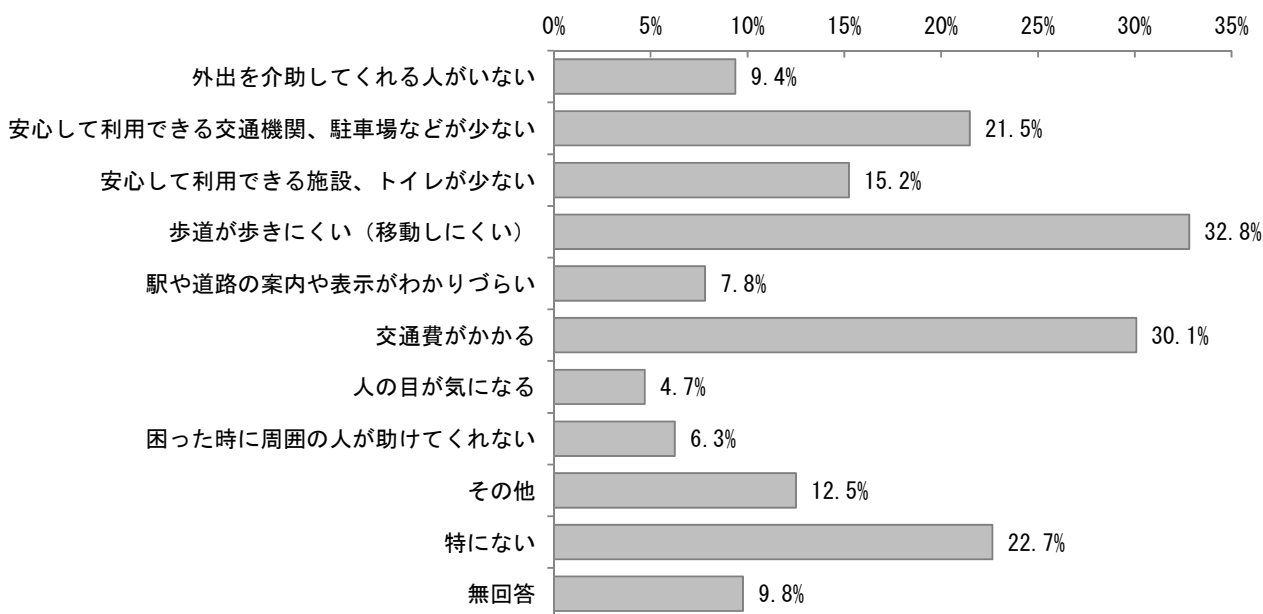


(5) 外出するときに、困っていること

問 10-4 外出するときに困っていることは何ですか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

外出するときに、困っていることは、「歩道が歩きにくい（移動しにくい）」が 32.8%と最も高く、次いで「交通費がかかる」が 30.1%となっている。

図表Ⅱ-3-26 外出するときに、困っていること（複数回答、N=263）

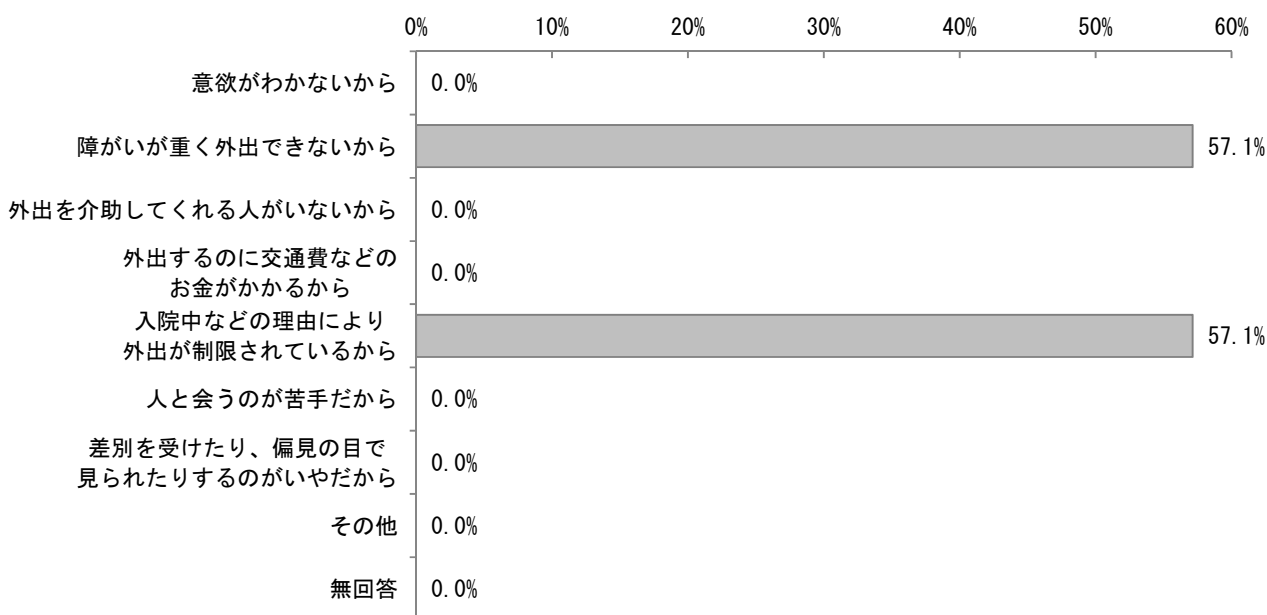


(6) 外出しない理由

問 10-5 まったく外出しない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

外出しない理由は、「障がいが高く外出できないから」と「入院中などの理由により外出が制限されているから」が 57.1%となっている。

図表Ⅱ-3-27 外出しない理由（複数回答、N=7）



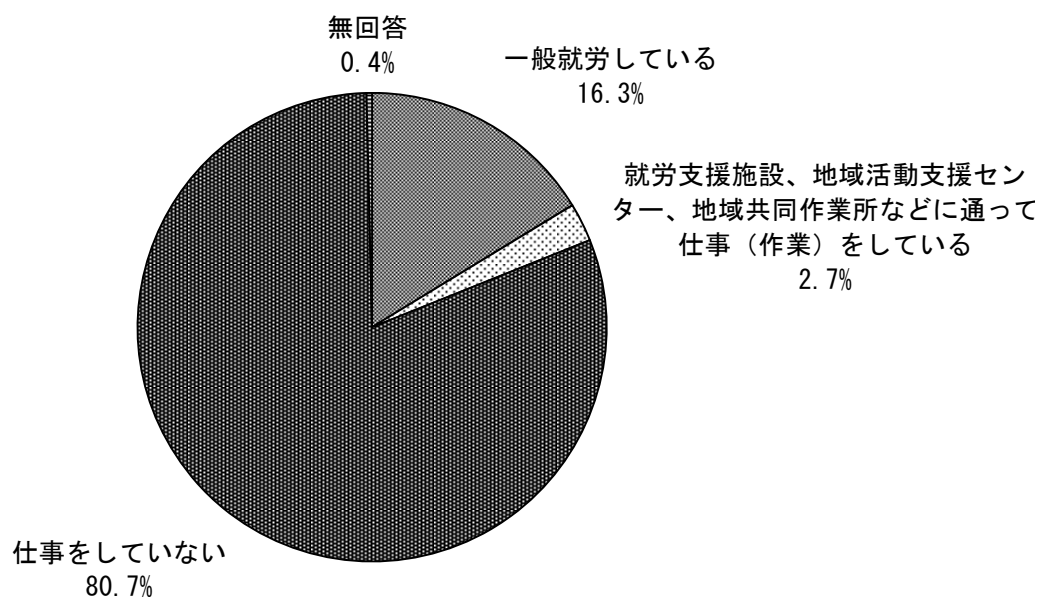
5 仕事など

(1) 仕事や作業の有無

問 11 あなたは現在、仕事をしていますか。

仕事や作業の有無は、「仕事をしていない」が80.7%と最も高く、次いで「一般就労している」が16.3%となっている。

図表Ⅱ-3-28 仕事や作業の有無 (N=264)

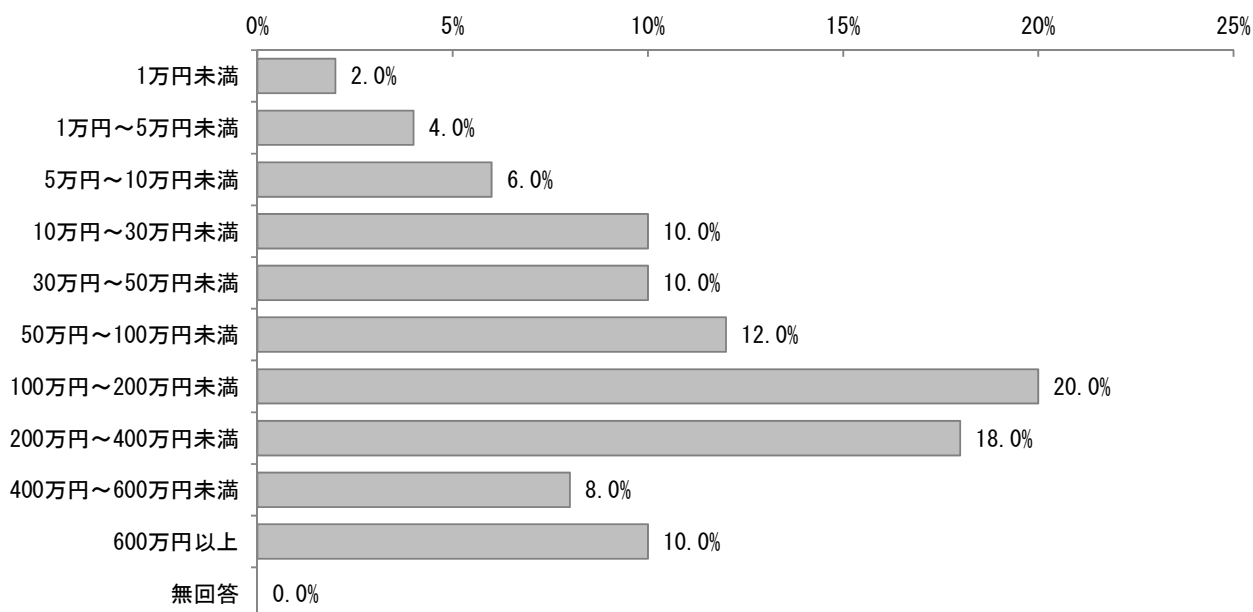


(2) 仕事や作業の年収

(1) あなたの仕事（作業）の年収はどれくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

仕事や作業の年収は、「100万円～200万円未満」が20.0%と最も高く、次いで「200万円～400万円未満」が18.0%となっている。

図表Ⅱ-3-29 仕事や作業の年収 (N=50)

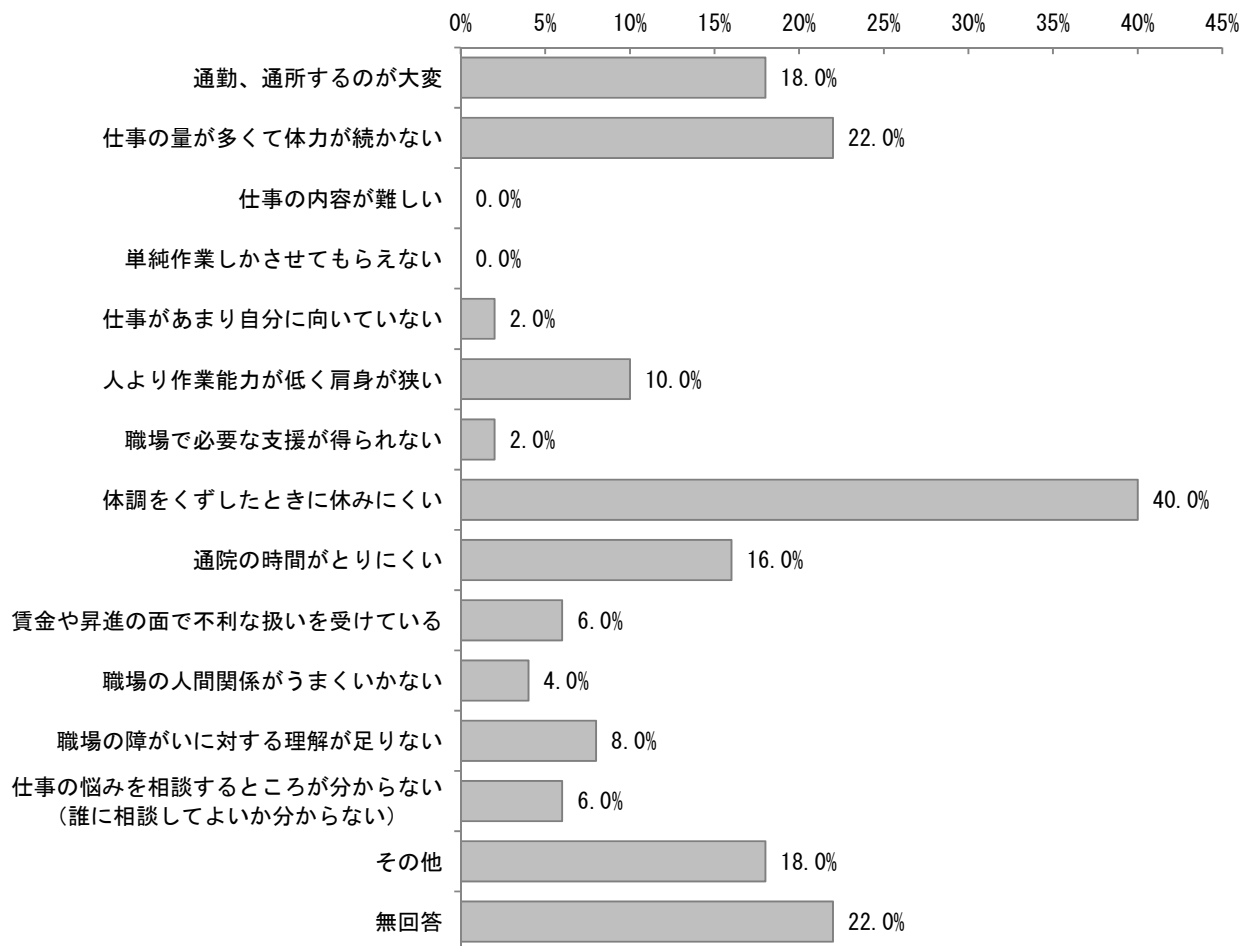


(3) 現在の仕事(作業)を続けていくうえで、困っていること

(2) あなたが現在の仕事(作業)を続けていくうえで、困っていることはありますか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

現在の仕事(作業)を続けていくうえで、困っていることは、「体調をくずしたときに休みにくい」が 40.0%と最も高く、次いで「仕事の量が多くて体力が続かない」が 22.0%となっている。

図表Ⅱ-3-30 現在の仕事(作業)を続けていくうえで、困っていること(複数回答、N=50)

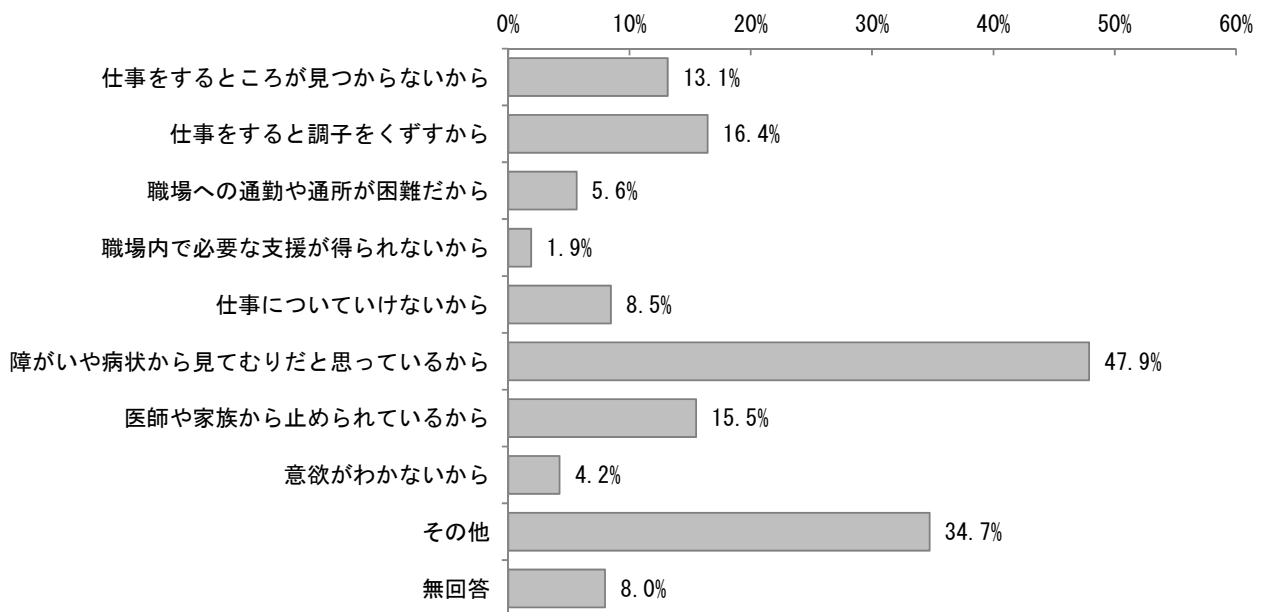


(4) 仕事をしていない理由

問 12 あなたが仕事をしていない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

仕事をしていない理由は、「障がいや病状から見てむりだと思っているから」が 47.9%と最も高く、次いで「その他」が 34.7%となっている。

図表Ⅱ-3-31 仕事をしていない理由（複数回答、N=213）

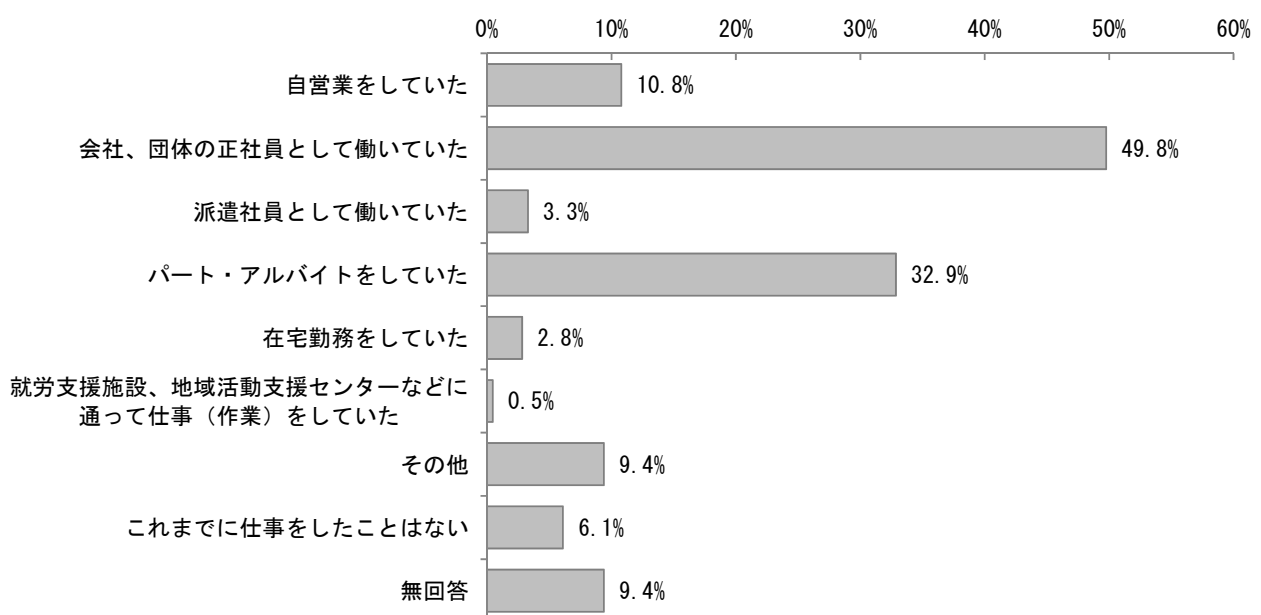


(5) これまでに経験した就労形態

問 13 あなたはこれまでに、仕事をすることがあります。仕事をしたことがある場合、どのような形でしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

これまでに経験した就労形態は、「会社、団体の正社員として働いていた」が 49.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイトをしていた」が 32.9%となっている。

図表Ⅱ-3-32 これまでに経験した就労形態（複数回答、N=213）

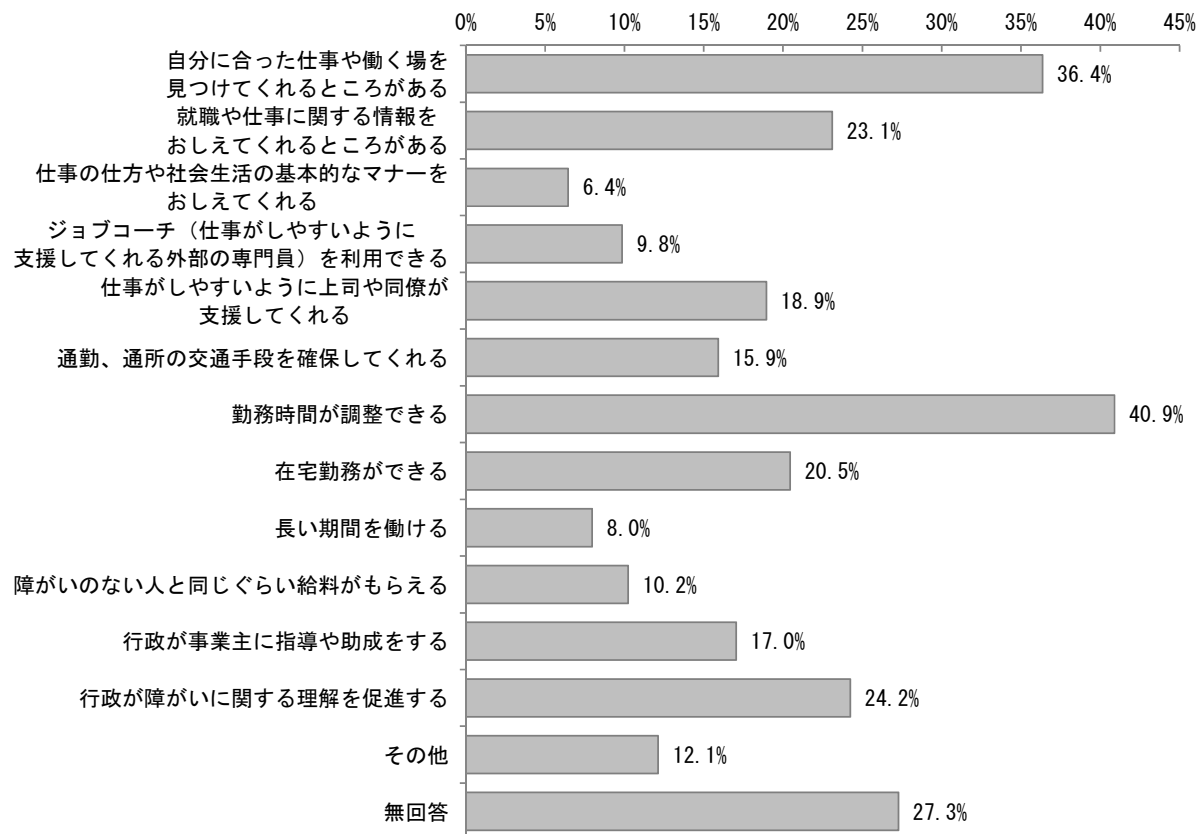


(6) 仕事を続ける(あるいは仕事を始める)上で必要なこと

問 14 あなたが仕事を続ける(あるいは仕事を始める)上で必要なことは何だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

仕事を続ける(あるいは仕事を始める)上で必要なことは、「勤務時間が調整できる」が 40.9%と最も高く、次いで「自分に合った仕事や働く場を見つけてくれるところがある」が 36.4%となっている。

図表Ⅱ-3-33 仕事を続ける(あるいは仕事を始める)上で必要なこと(複数回答、N=264)



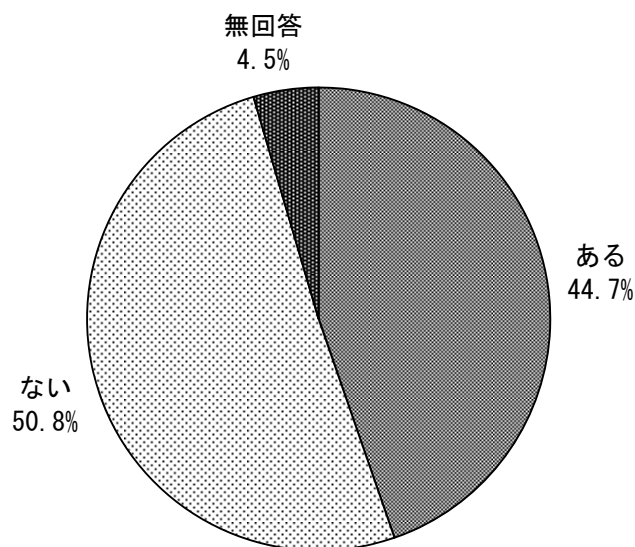
6 生活の場について

(1) 民間のアパート、公営住宅などで生活した経験

問 15 これまでに「民間のアパート」や「公営住宅(道営・市営)」、公団の住宅で生活したことがありますか。

民間のアパート、公営住宅などで生活した経験は、「ない」が 50.8%と高く、「ある」が 44.7%となっている。

図表Ⅱ-3-34 民間のアパート、公営住宅などで生活した経験(N=264)

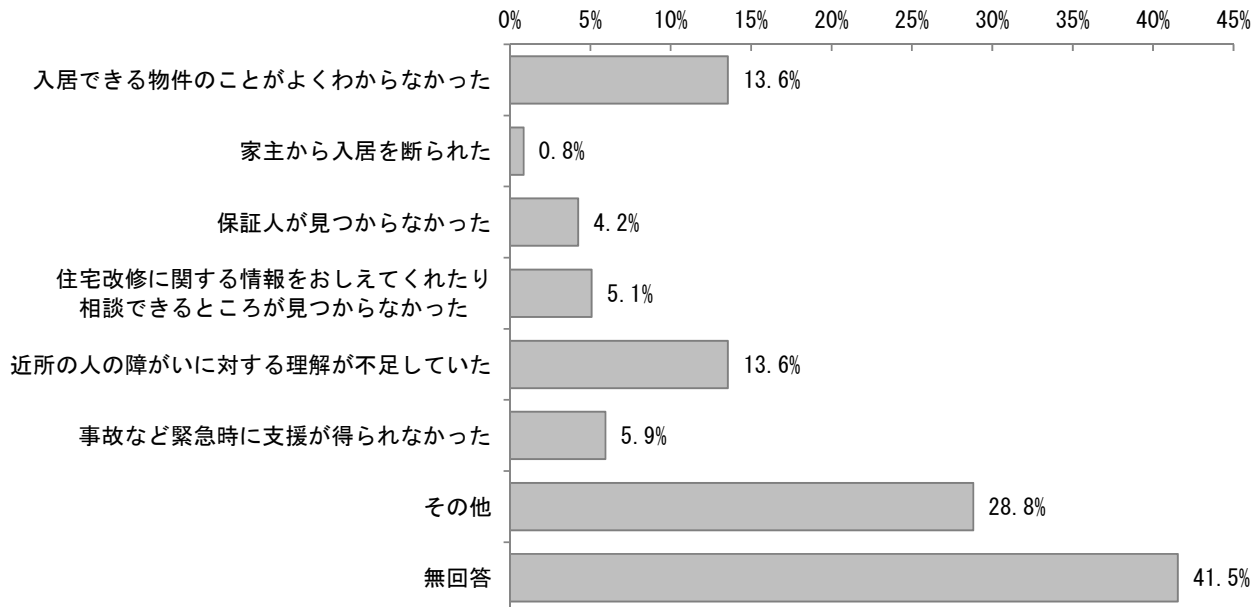


(2) 民間のアパート、公営住宅などの入居時、入居後に困ったこと

問 15-1 入居するまでに、または入居後に困ったことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

民間のアパート、公営住宅などの入居時、入居後に困ったことは、「その他」と「無回答」を除くと、「入居できる物件のことがよくわからなかった」と「近所の人の障がいに対する理解が不足していた」が 13.6%と最も高くなっている。

図表Ⅱ-3-35 民間のアパート、公営住宅などの入居時、入居後に困ったこと（複数回答、N=118）

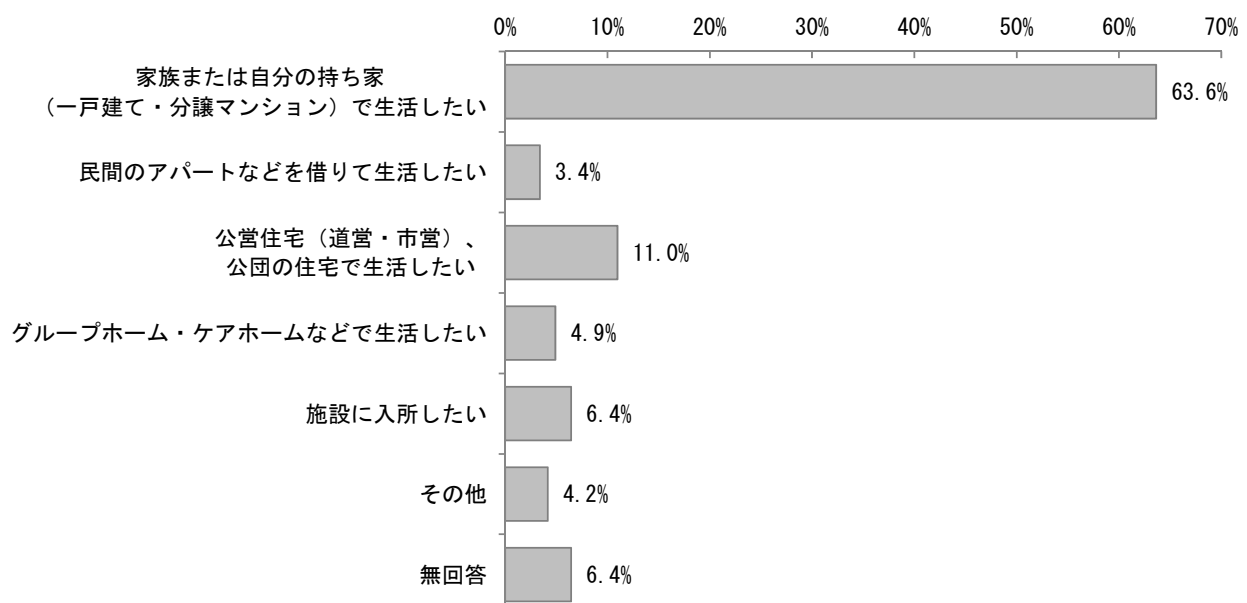


(3) 生活したい場所

問 15-2 あなたは今後、どのような場所で生活したいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

生活したい場所は、「家族または自分の持ち家（一戸建て・分譲マンション）で生活したい」が 63.6%と最も高く、次いで「公営住宅（道営・市営）、公団の住宅で生活したい」が 11.0%となっている。

図表Ⅱ-3-36 生活したい場所（N=264）



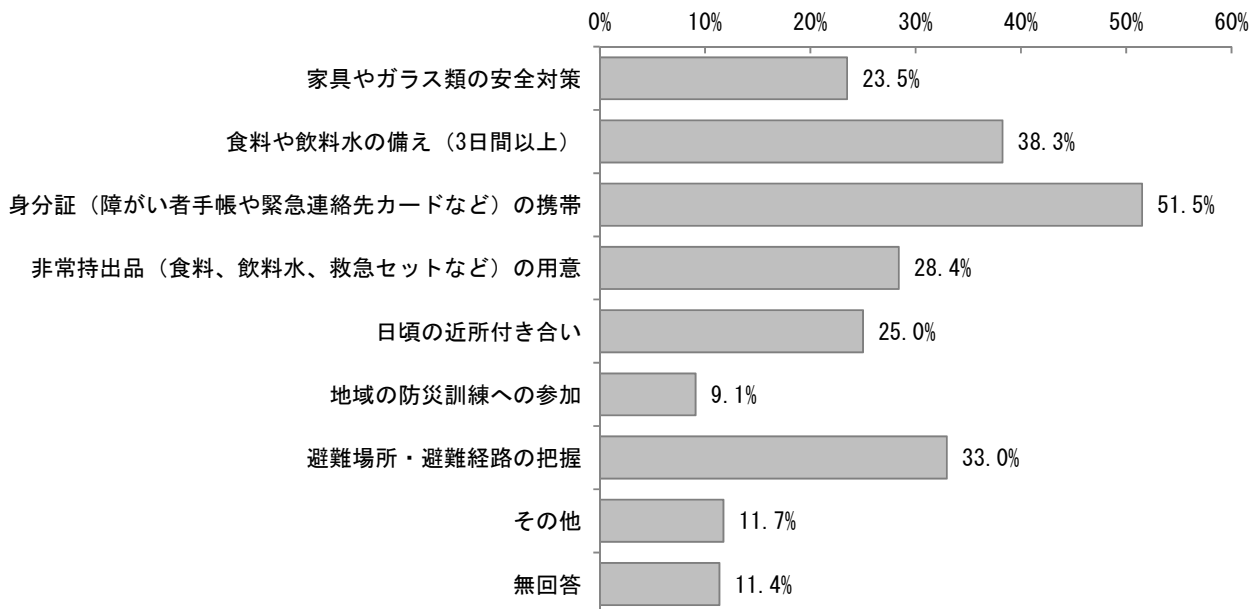
7 防災について

(1) 災害への備え

問 16 あなたは、地震などの災害への備えとして、普段どのようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害への備えは、「身分証(障がい者手帳や緊急連絡先カードなど)の携帯」が 51.5%と最も高く、次いで「食料や飲料水の備え(3日間以上)」が 38.3%となっている。

図表Ⅱ-3-37 災害への備え (複数回答、N=264)

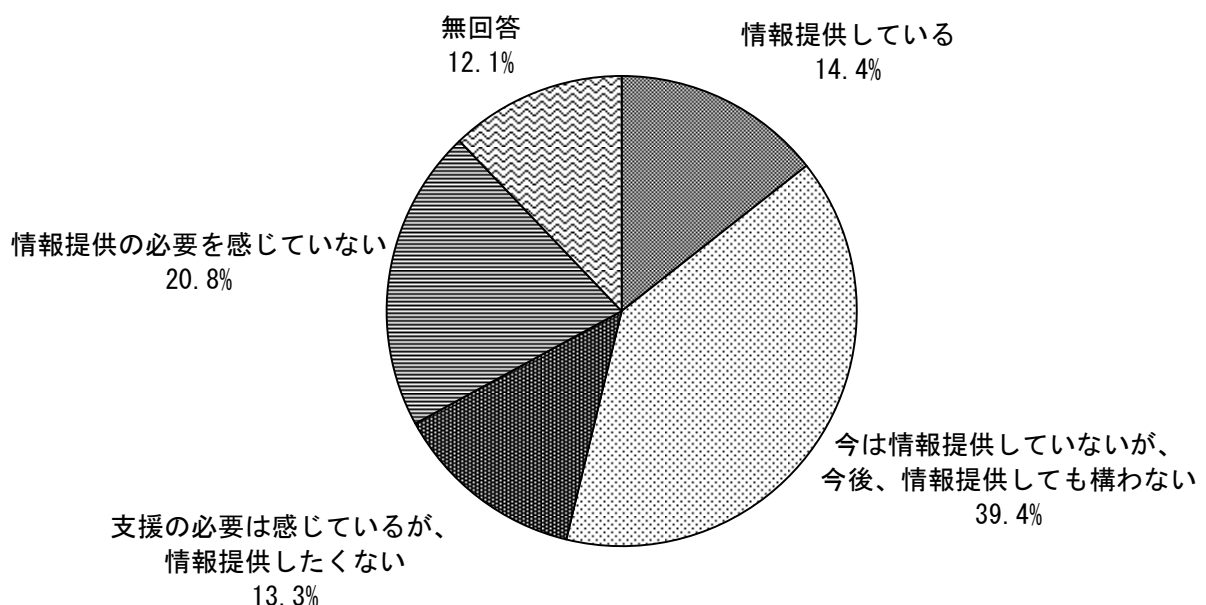


(2) 個人情報の提供

問 17 あなたは、災害に備えるために、町内会や民生委員など地域に対し、個人情報(障がいの状況や、災害時における支援の必要性など)の提供をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

個人情報の提供は、「今は情報提供していないが、今後、情報提供しても構わない」が 39.4%と最も高く、次いで「情報提供の必要を感じていない」が 20.8%となっている。

図表Ⅱ-3-38 個人情報の提供 (N=264)

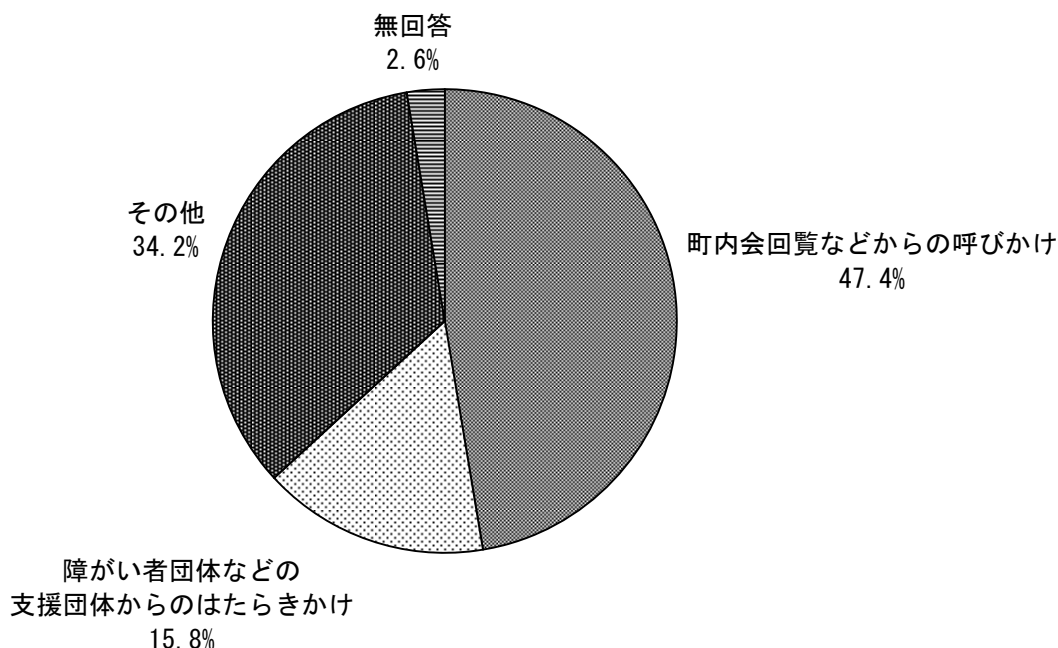


(3) 個人情報を提供したきっかけ

問 17-1 どのようなきっかけで情報提供しましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

個人情報を提供したきっかけは、「その他」を除くと、「町内会回覧などからの呼びかけ」が 47.4%と高く、「障がい者団体などの支援団体からのはたらきかけ」が 15.8%となっている。

図表Ⅱ-3-39 個人情報を提供したきっかけ (N=38)

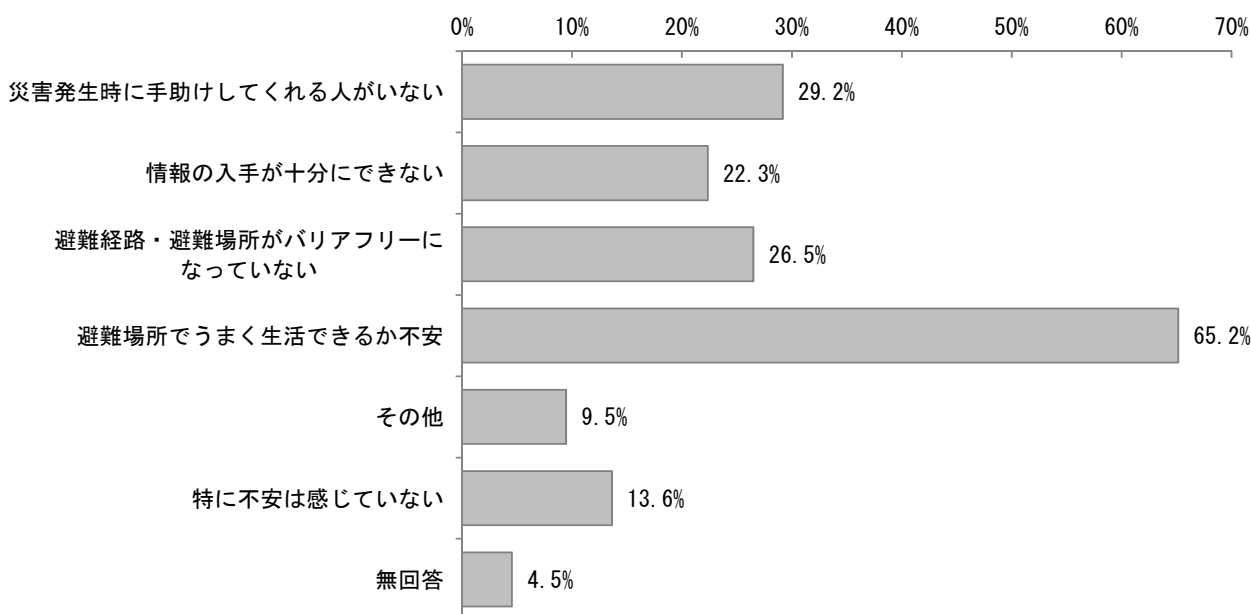


(4) 防災に関しての不安

問 18 あなたは、防災に関して不安に感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

防災に関しての不安は、「避難場所でうまく生活できるか不安」が 65.2%と最も高く、次いで「災害発生時に手助けしてくれる人がいない」が 29.2%となっている。

図表Ⅱ-3-40 防災に関しての不安 (複数回答、N=264)



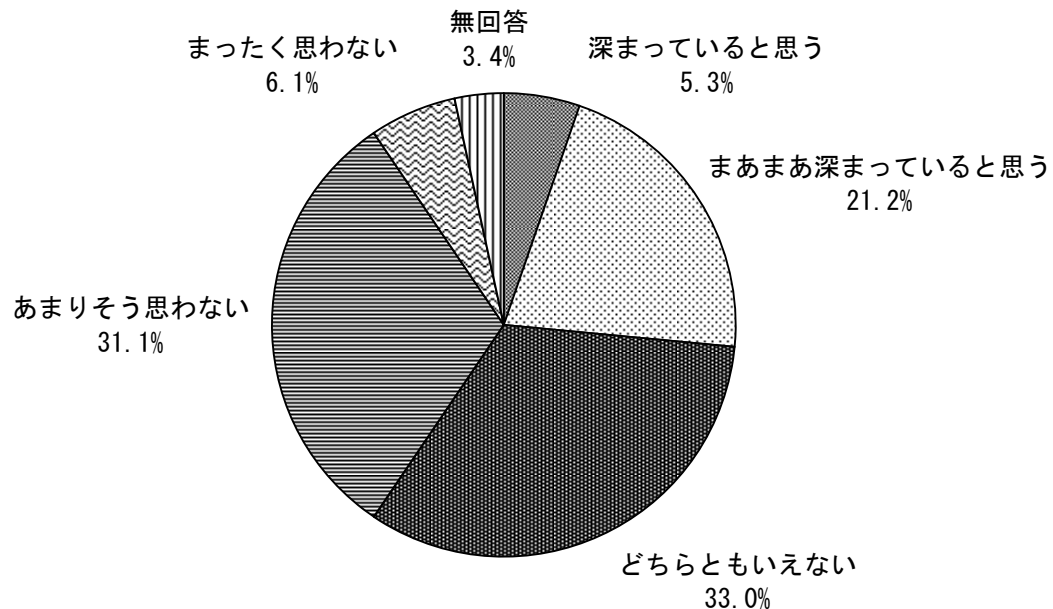
8 制度や政策等について

(1) 障がいのある人に対する市民の理解度

問 19 あなたは、障がいのある人に対する市民の理解が深まってきていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

障がいのある人に対する市民の理解度は、「どちらともいえない」が 33.0%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 31.1%となっている。

図表Ⅱ-3-41 障がいのある人に対する市民の理解度 (N=264)

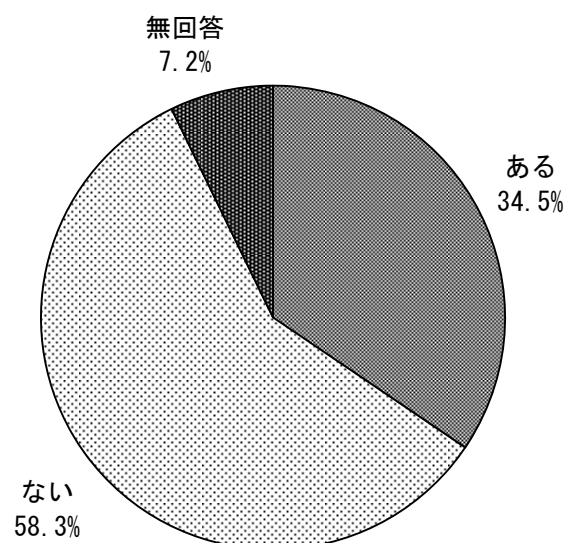


(2) 障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無

問 20 あなたはこれまでに、障がいがあるために差別をうけたり、いやな思いをしたことがありますか。

障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無は、「ない」が 58.3%と高く、「ある」が 34.5%となっている。

図表Ⅱ-3-42 障がいがあるために受けた差別やいやな思いの有無 (N=264)

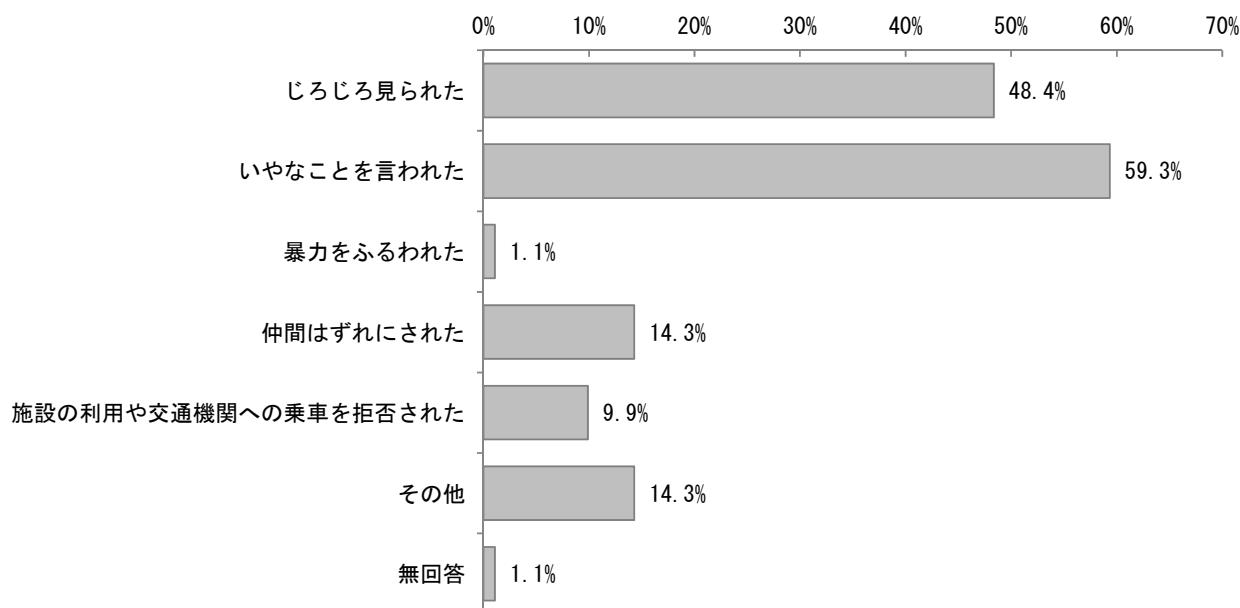


(3) 障がいがあるために受けた差別やいやな思い

問 20-1 それはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいがあるために受けた差別やいやな思いは、「いやなことを言われた」が 59.3%と最も高く、次いで「じろじろ見られた」が 48.4%となっている。

図表Ⅱ-3-43 障がいがあるために受けた差別やいやな思い（複数回答、N=135）

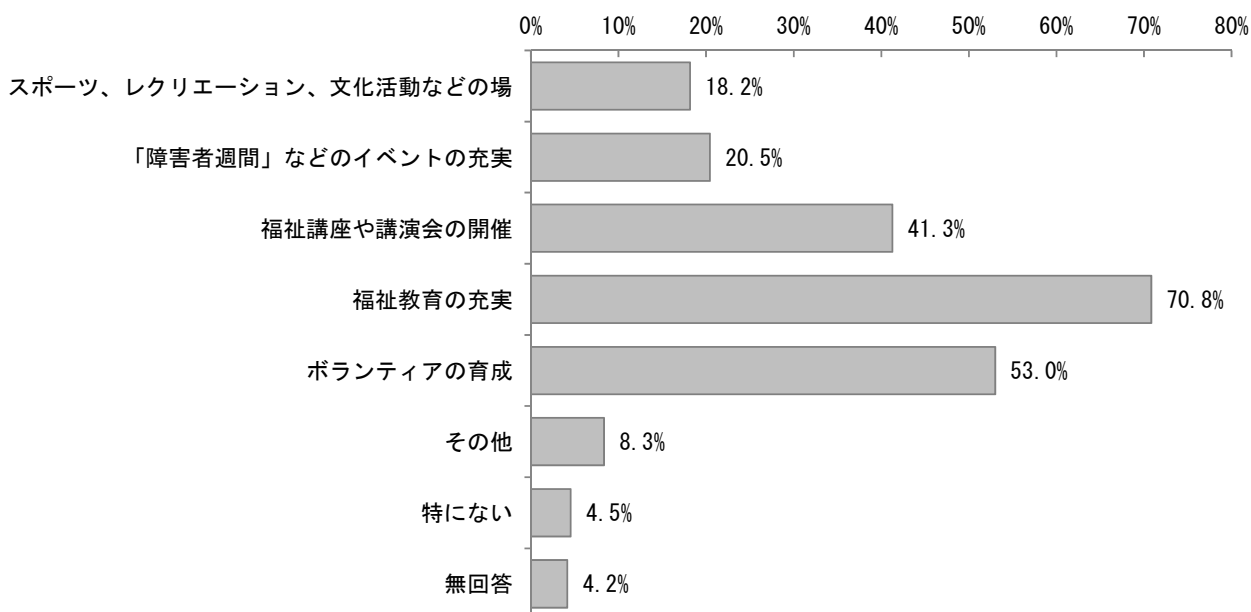


(4) 障がい者への理解が深まるために必要なこと

問 21 あなたは、障がいのある人への理解が深まるためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

障がい者への理解が深まるために必要なことは、「福祉教育の充実」が 70.8%と最も高く、次いで「ボランティアの育成」が 53.0%となっている。

図表Ⅱ-3-44 障がい者への理解が深まるために必要なこと（複数回答、N=264）

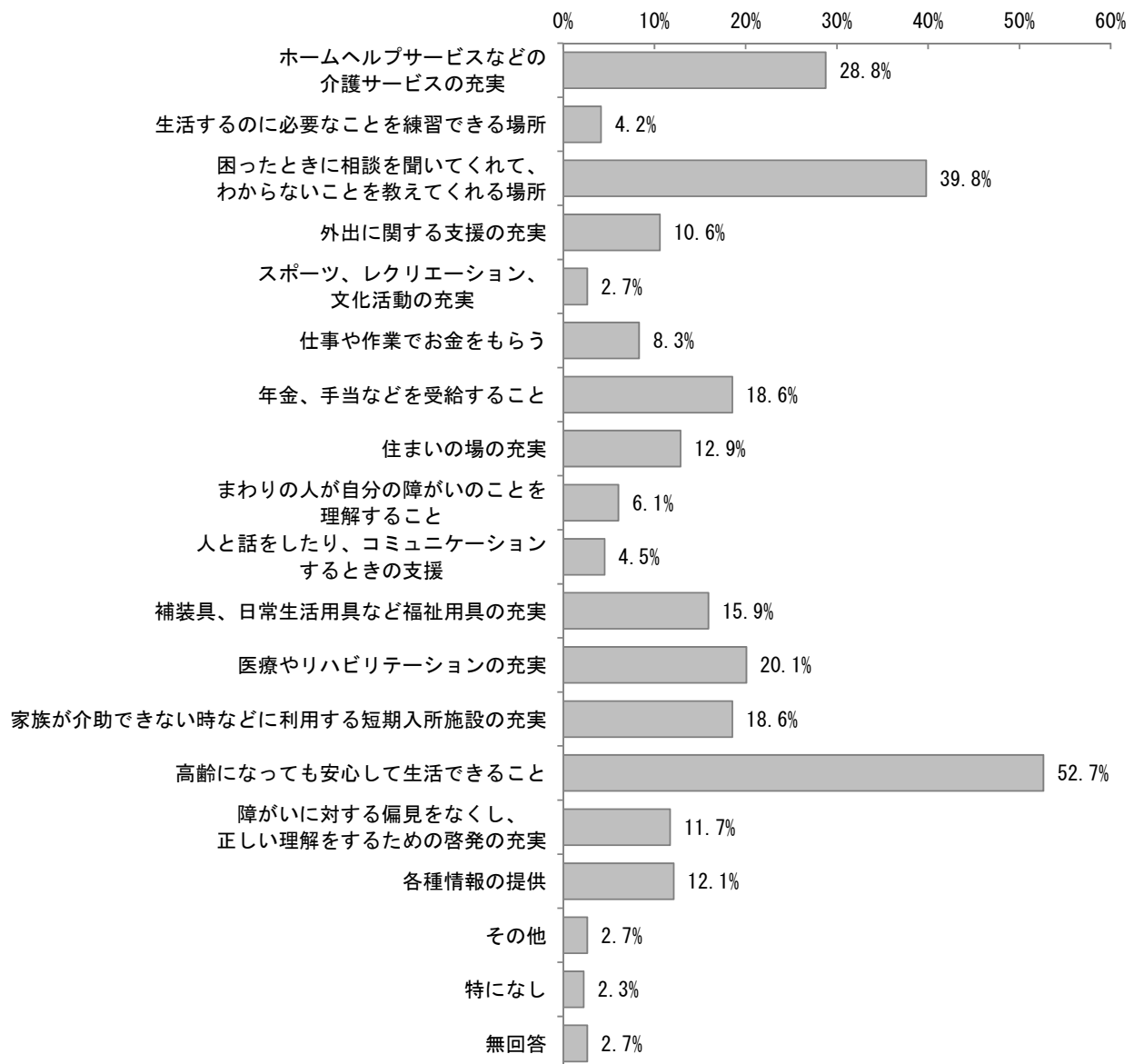


(5) 希望する生活をするためにあればよいこと

問 22 あなたが今後、希望する生活をするためには、どのようなことがあればよいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

希望する生活をするためにあればよいことは、「高齢になっても安心して生活できること」が 52.7%と最も高く、次いで「困ったときに相談を聞いてくれて、わからないことを教えてくれる場所」が 39.8%となっている。

図表Ⅱ-3-45 希望する生活をするためにあればよいこと（複数回答、N=264）



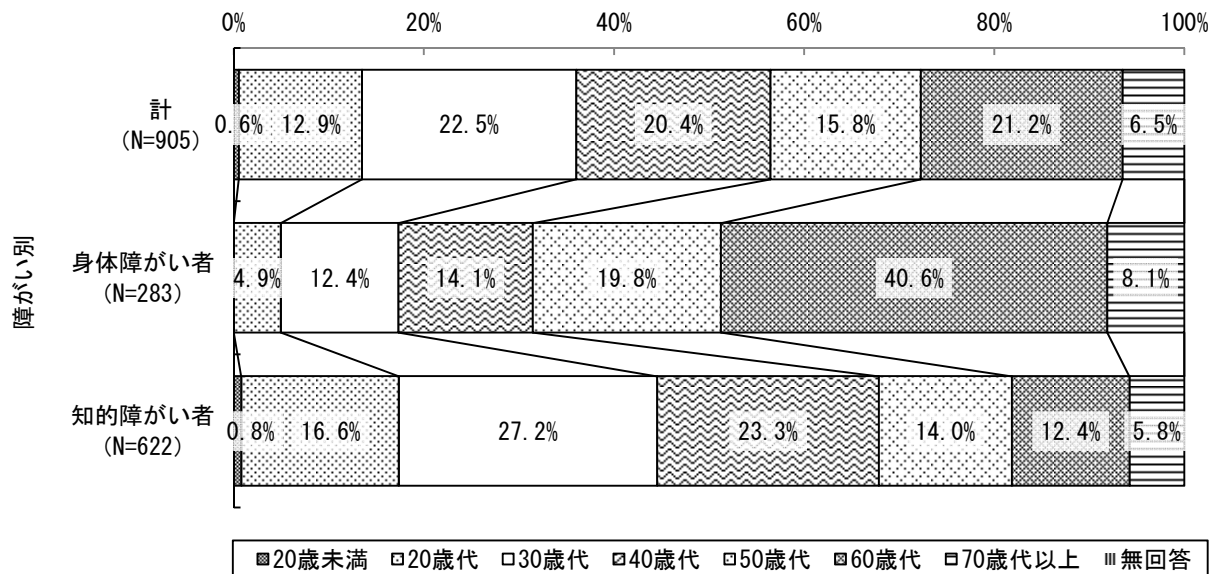
Ⅱ-4 施設入所者調査

1 年齢

平成 25 年 11 月 1 日現在の満年齢を記入してください。

年齢は、「身体障がい者」では「60 歳代」が 40.6%と最も高く、「知的障がい者」では「30 歳代」が 27.2%となっている。

図表Ⅱ-4-1 年齢

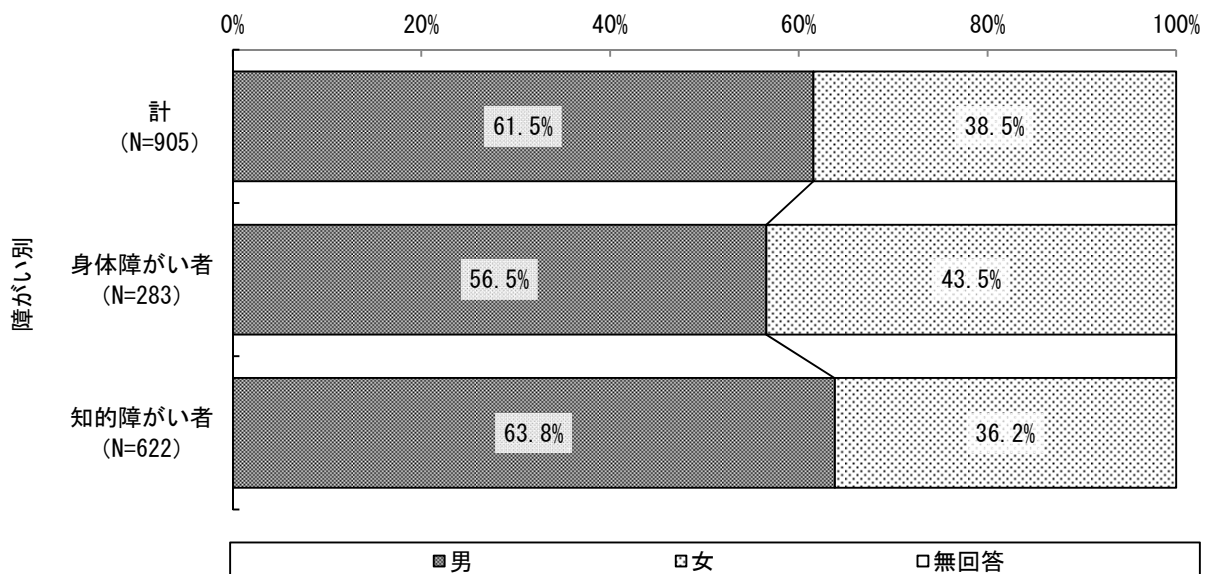


2 性別

性別を次の区分により記入してください。

性別は、どちらの障がいにおいても、「男性」が高く、「身体障がい者」では、56.5%、「知的障がい者」では63.8%となっている。

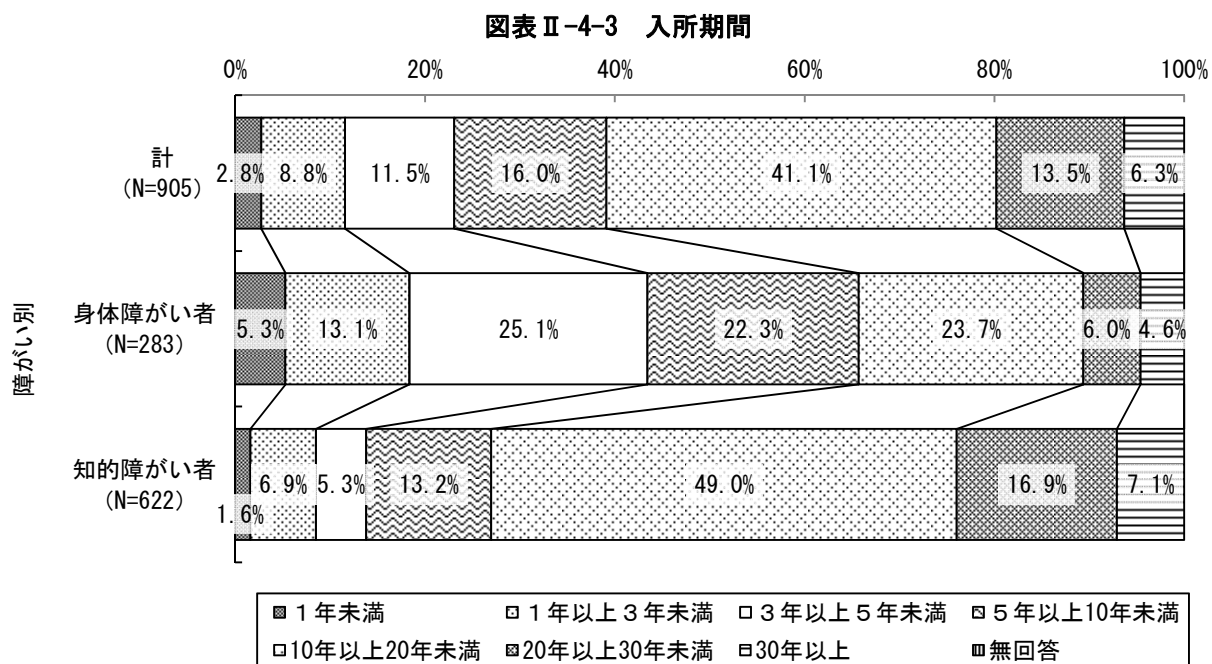
図表Ⅱ-4-2 性別



3 入所期間

入所期間を次の区分により記入してください。

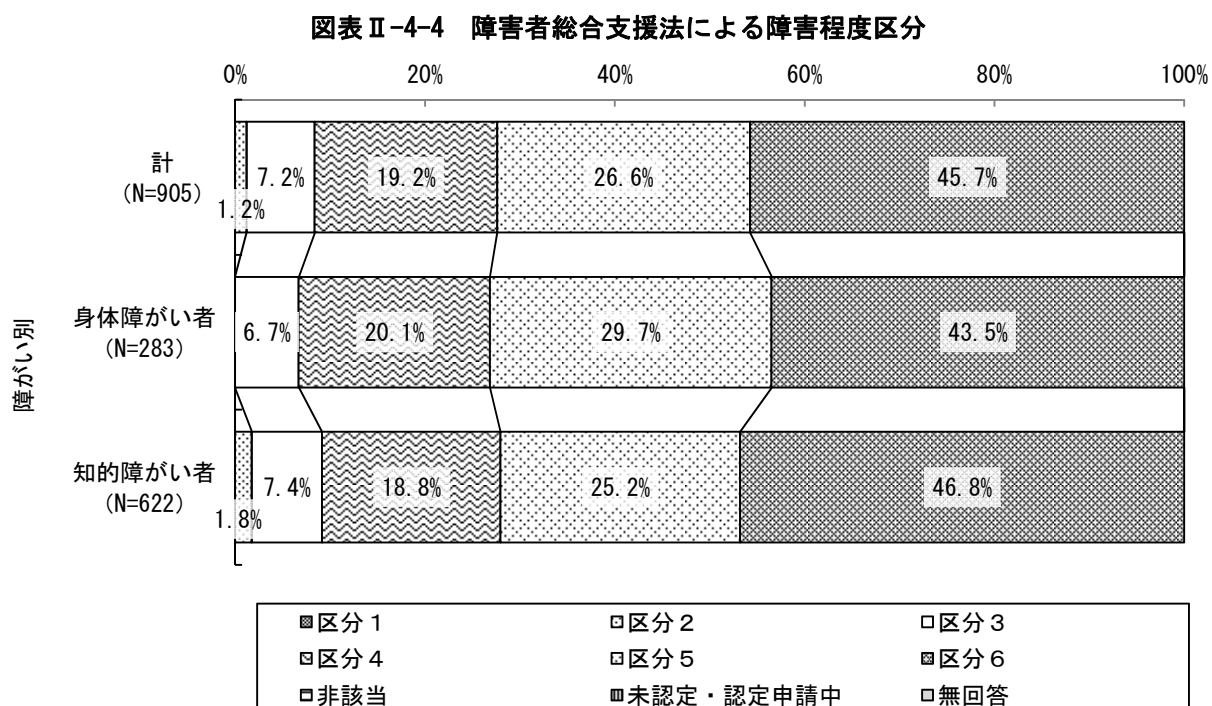
入所期間は、「身体障がい者」では「3年以上5年未満」が25.1%と最も高く、「知的障がい者」では「10年以上20年未満」が49.0%となっている。



4 障害者総合支援法による障害程度区分について

障害者総合支援法による障害程度区分の認定状況を記入してください。

障害者総合支援法による障害程度区分は、どちらの障がいにおいても、「区分6」が最も高く、「身体障がい者」では43.5%、「知的障がい者」では、46.8%となっている。



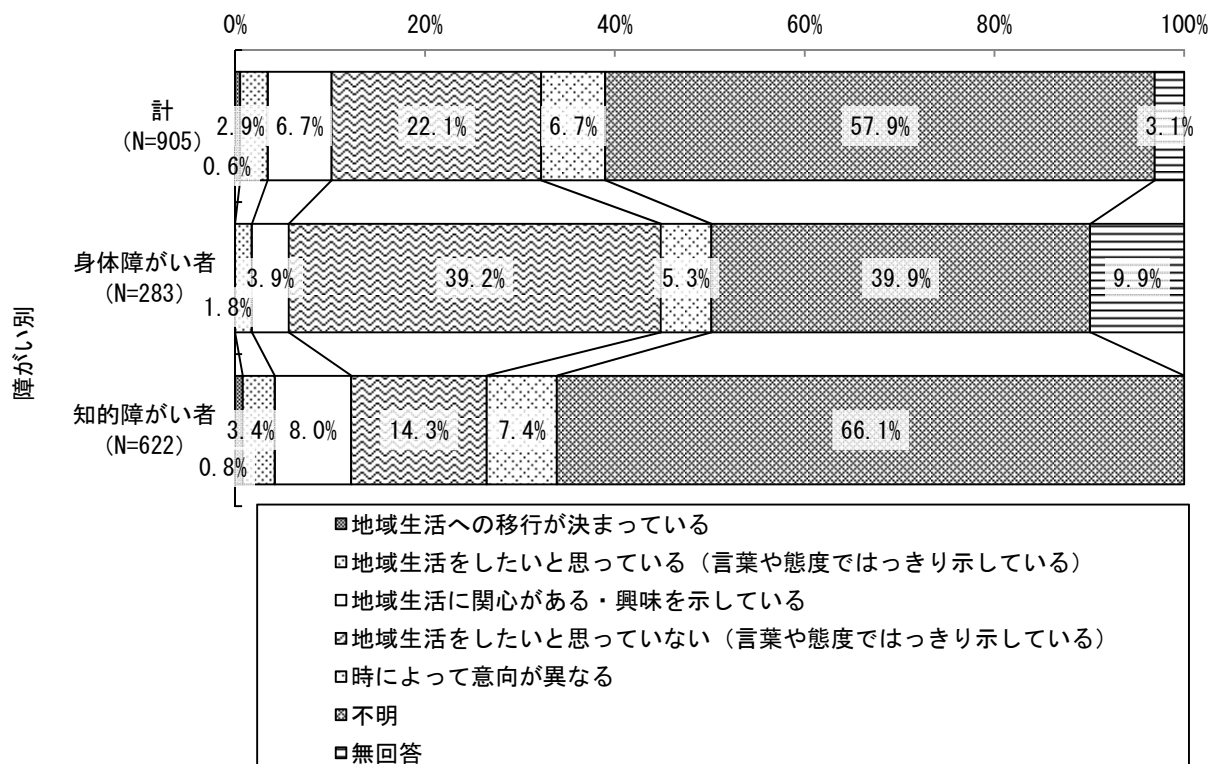
5 地域生活への移行について

(1) 本人の意向

地域生活への移行について次の区分により記入してください。

地域生活への移行(本人の意向)は、どちらの障がいにおいても、「不明」が最も高く、「身体障がい者」では、39.9%、「知的障がい者」では66.1%となっている。

図表Ⅱ-4-5 地域生活への移行(本人の意向)

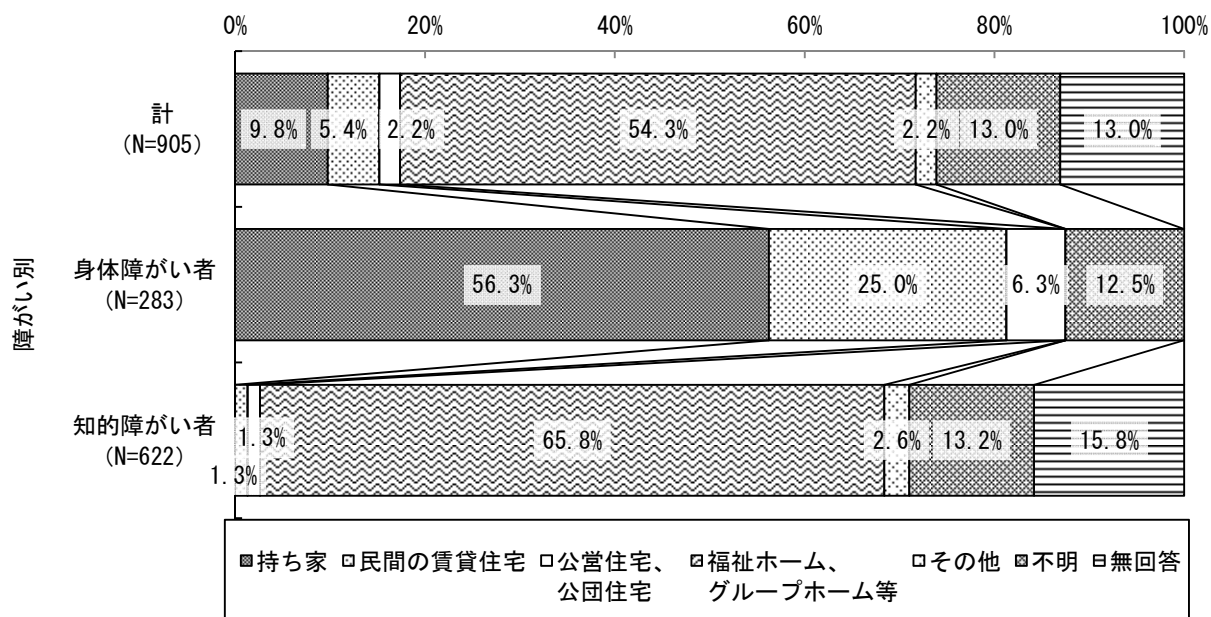


(2) 希望する居住形態

希望する居住形態について次の区分により記入してください。

希望する居住形態は、「身体障がい者」では「持ち家」が56.3%と最も高く、「知的障がい者」では、「福祉ホーム、グループホーム等」が65.8%となっている。

図表Ⅱ-4-6 希望する居住形態

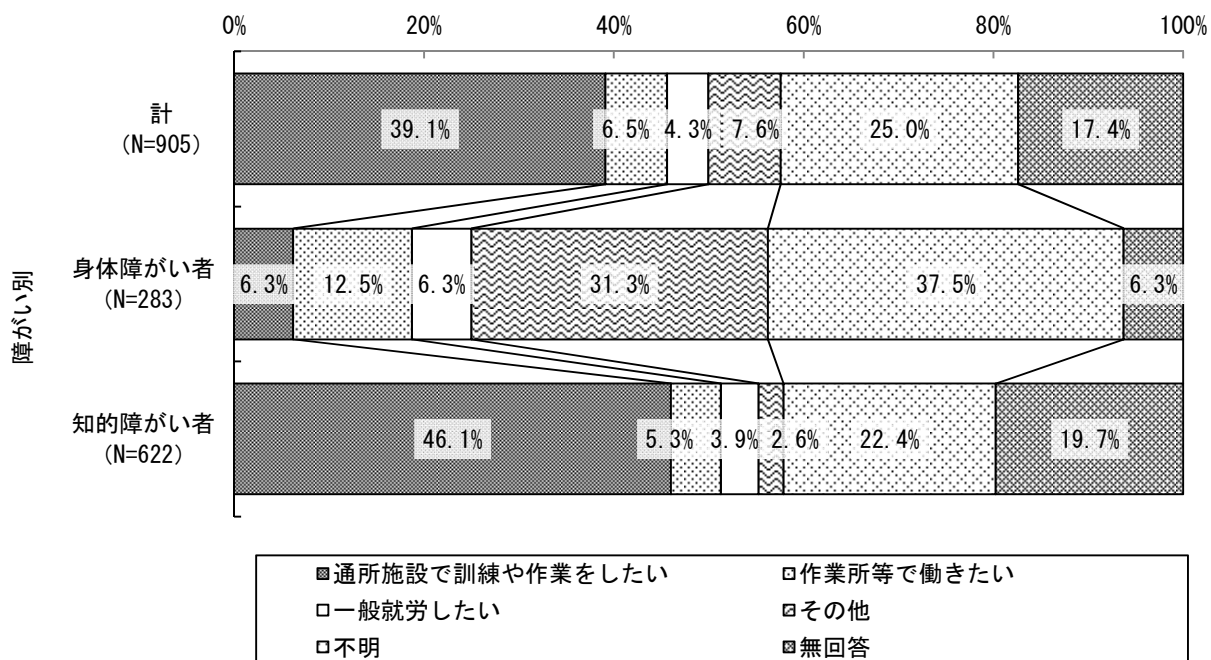


(3) 希望する日中活動

希望する日中活動について次の区分により記入してください。

希望する日中活動は、「身体障がい者」では「不明」が37.5%と最も高く、「知的障がい者」では「通所施設で訓練や作業をしたい」が46.1%となっている。

図表Ⅱ-4-7 希望する日中活動



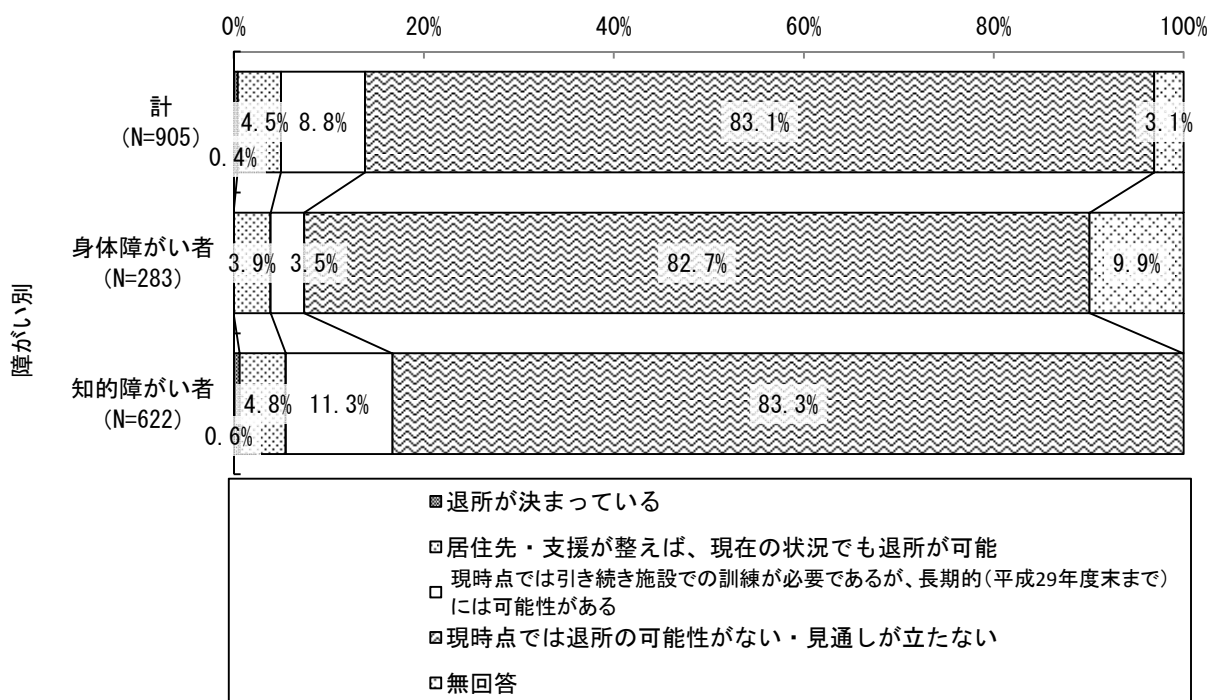
6 退所の可能性について

(1) 退所の可能性

退所の可能性について次の区分により記入してください。

退所の可能性は、どちらの障がいにおいても、「現時点では退所の可能性がない・見通しが立たない」が最も高く、「身体障がい者」では82.7%、「知的障がい者」では83.3%となっている。

図表Ⅱ-4-8 退所の可能性

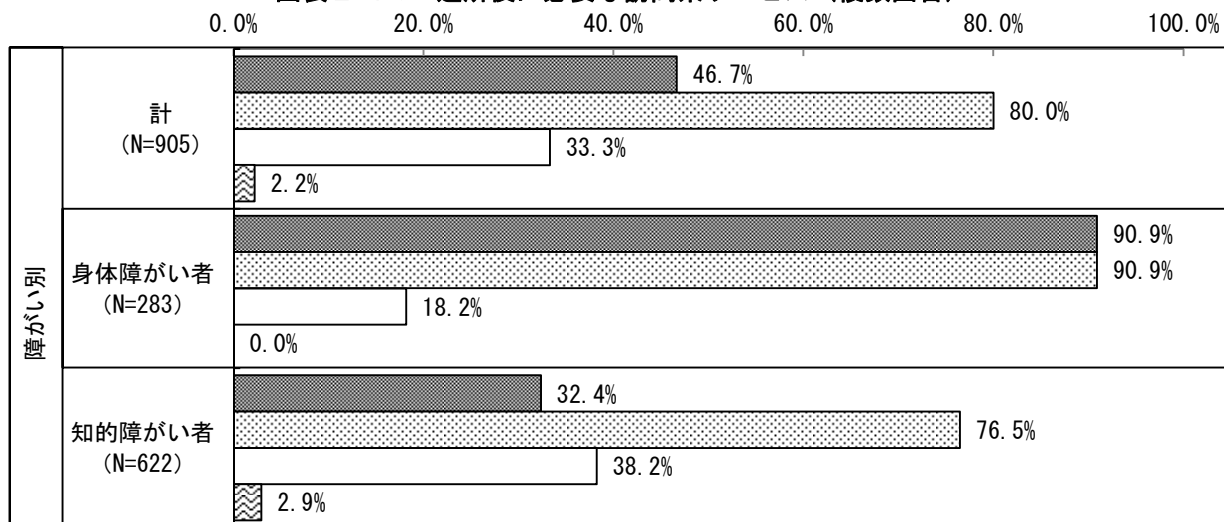


(2) 退所後に必要な訪問系サービス

退所後に必要と思われる訪問系サービスについて次の区分により記入してください。(複数回答可)

退所後に必要な訪問系サービスは、「身体障がい者」では「居宅介護・重度訪問介護」と「行動援護・同行援護・移動支援」が90.9%と最も高く、「知的障がい者」では「行動援護・同行援護・移動支援」が76.5%となっている。

図表Ⅱ-4-9 退所後に必要な訪問系サービス (複数回答)



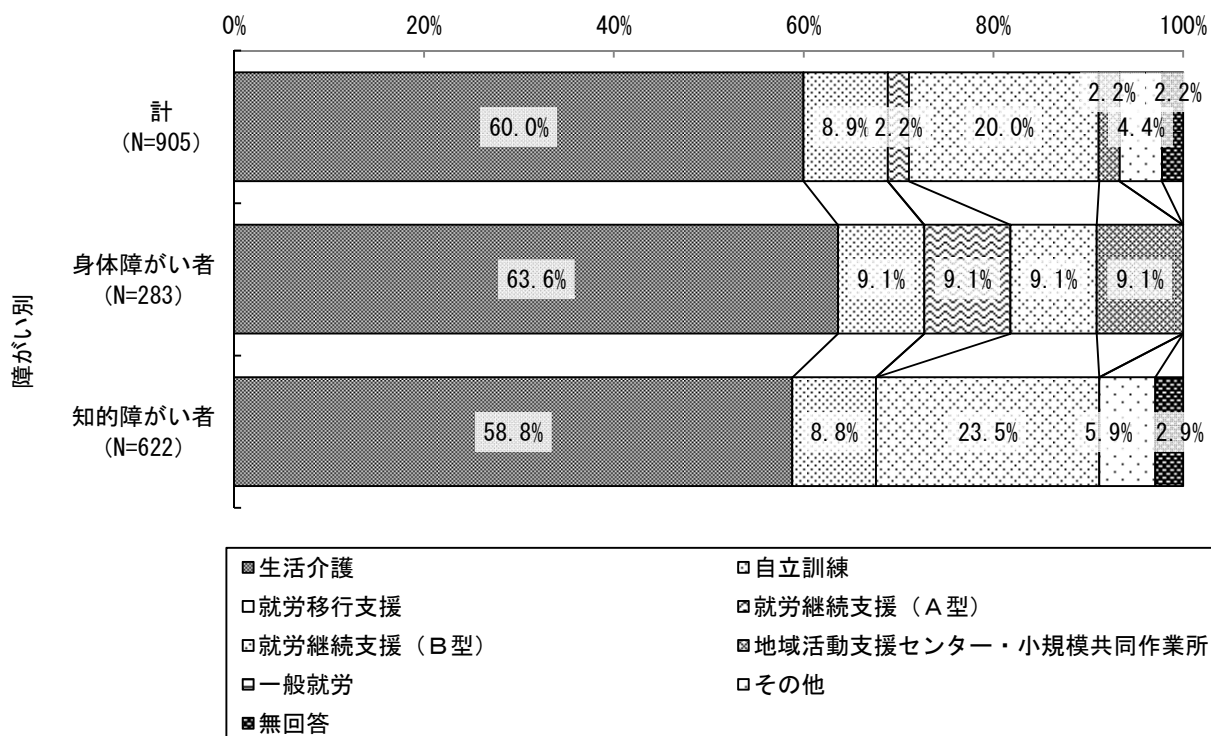
■居宅介護・重度訪問介護 □行動援護・同行援護・移動支援 □短期入所・日中一時支援 □無回答

(3) 退所後にふさわしい日中活動

退所後にふさわしいと思われる日中活動について次の区分により記入してください。

退所後にふさわしい日中活動は、どちらの障がいにおいても、「生活介護」が最も高く、「身体障がい者」では63.6%、「知的障がい者」では58.8%となっている。

図表Ⅱ-4-10 退所後にふさわしい日中活動



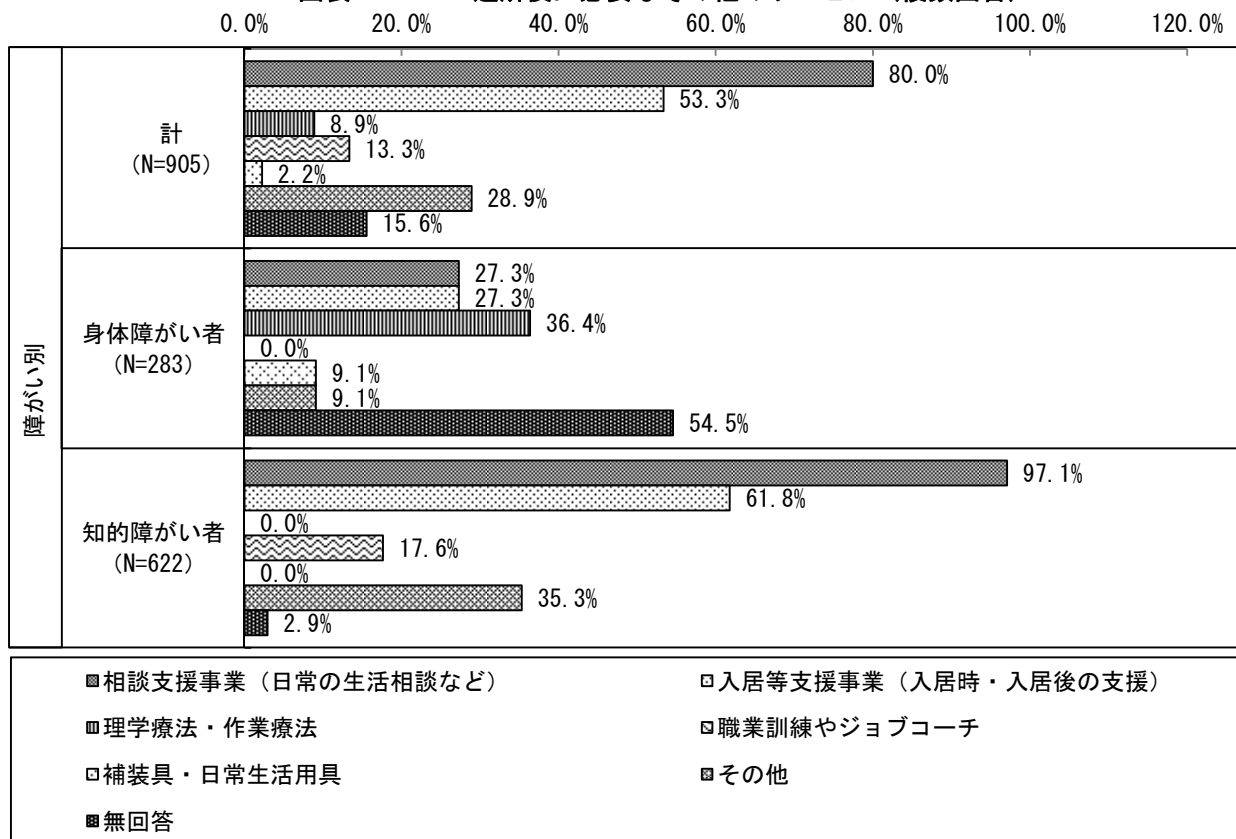
■生活介護 □自立訓練
 □就労移行支援 □就労継続支援 (A型)
 □就労継続支援 (B型) □地域活動支援センター・小規模共同作業所
 □一般就労 □その他
 ■無回答

(4) 退所後に必要なその他のサービス

退所後に必要となるその他のサービスについて次の区分により記入してください。(複数回答可)

退所後に必要なその他のサービスは、「身体障がい者」では「理学療法・作業療法」が36.4%と最も高く、「知的障がい者」では「相談支援事業(日常の生活相談など)」が97.1%となっている。

図表Ⅱ-4-11 退所後に必要なその他のサービス (複数回答)



(5) 退所に向けての問題点(不安な点)【本人の状態像】

退所に向けての問題点(不安な点)について次の区分で記入してください。(複数回答可)

退所に向けての問題点(不安な点)【本人の状態像】は、どちらの障がいにおいても、「介護や見守り等の支援が常時必要である」が最も高く、「身体障がい者」では41.3%、「知的障がい者」では63.3%となっている。

図表Ⅱ-4-12 退所に向けての問題点(不安な点)【本人の状態像】(複数回答)

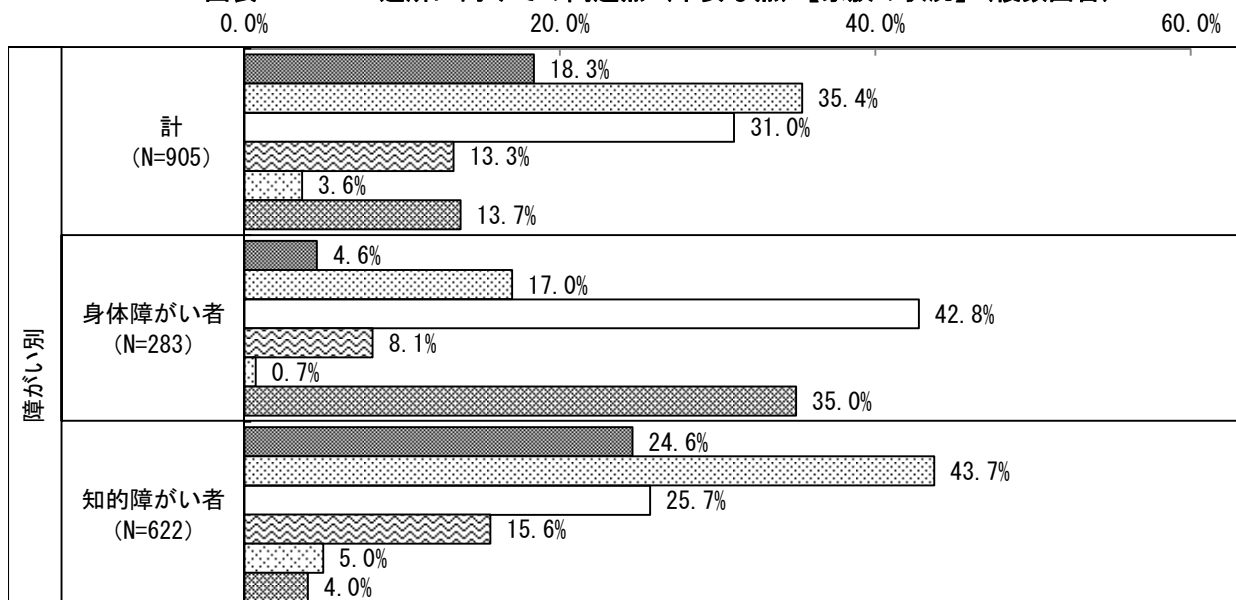
調査の種類	1位		2位		3位		特に問題はない
	項目	割合	項目	割合	項目	割合	
身体障がい者 (N=19)	介護や見守り等の支援が常時必要である	41.3%	退所に向けた意識が乏しい	37.1%	環境変化への不安が強い	33.6%	0.0%
知的障がい者 (N=95)	介護や見守り等の支援が常時必要である	63.3%	退所したいかどうか、本人の意思が確認できない	31.0%	家事(調理、洗濯等)や金銭管理ができない	26.7%	0.0%

(6) 退所に向けての問題点(不安な点)【家族の状況】

退所に向けての問題点(不安な点)について次の区分で記入してください。(複数回答可)

退所に向けての問題点(不安な点)【家族の状況】は、「身体障がい者」では「本人の退所に対する家族の考え方は不明である」が 42.8%と最も高く、「知的障がい者」では「家族が退所に反対している」が 43.7%となっている。

図表Ⅱ-4-13 退所に向けての問題点(不安な点)【家族の状況】(複数回答)



- ☐ 家族がいなくてサポートがまったく期待できない
☐ 1～3以外の問題点がある
☐ 家族が退所に反対している
☐ 退所に向けて、家族の積極的なかわり(支援)が期待できる
☐ 本人の退所に対する家族の考え方は不明である
☐ 無回答

(7) 退所に向けての問題点(不安な点)【地域の状況】

退所に向けての問題点(不安な点)について次の区分で記入してください。(複数回答可)

退所に向けての問題点(不安な点)【地域の状況】は、「身体障がい者」では「一度退所すると再入所できないのではないかという不安がある」が 42.8%と最も高く、「知的障がい者」では「夜間や緊急時の支援を十分に受けることができないという不安がある」が 42.3%となっている。

図表Ⅱ-4-14 退所に向けての問題点(不安な点)【地域の状況】(複数回答)

調査の種類	1位		2位		3位		特に問題はない
	項目	割合	項目	割合	項目	割合	
身体障がい者 (N=19)	一度退所すると再入所できないのではないかという不安がある	42.8%	夜間や緊急時の支援を十分に受けることができないという不安がある	34.3%	服薬管理などを含めた適切な医療ケアを受けられるかどうか不安がある	33.6%	0.4%
知的障がい者 (N=39)	夜間や緊急時の支援を十分に受けることができないという不安がある	42.3%	住まいの確保が困難	34.2%	服薬管理などを含めた適切な医療ケアを受けられるかどうか不安がある	33.6%	0.2%

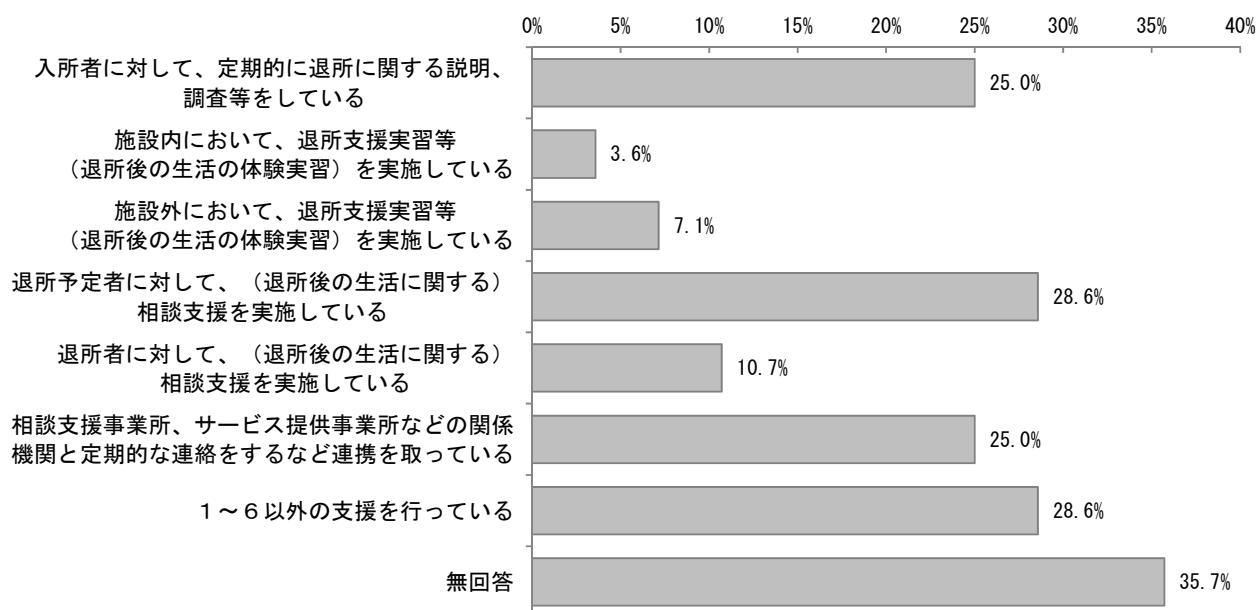
7 施設の取組など

(1) 退所に向けての支援

入所者の退所に向けて行っている支援について次の区分で記入してください。(複数回答可)

退所に向けての支援は、「無回答」を除くと、「退所予定者に対して、(退所後の生活に関する)相談支援を実施している」と「1～6以外の支援を行っている」が28.6%と最も高くなっている。

図表Ⅱ-4-15 退所に向けての支援 (複数回答、N=28)

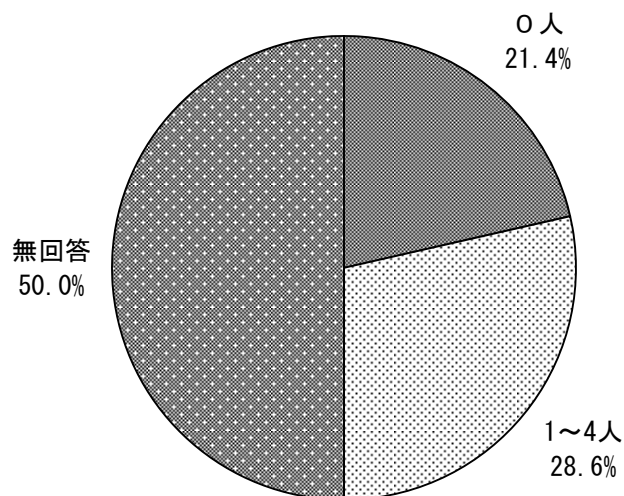


(2) 退所目標数

今後、毎年1年間の退所者の目標数を記入してください。

退所目標数は、「無回答」を除くと、「1～4人」が28.6%と最も高く、次いで「0人」が21.4%となっている。

図表Ⅱ-4-16 退所目標数 (N=28)



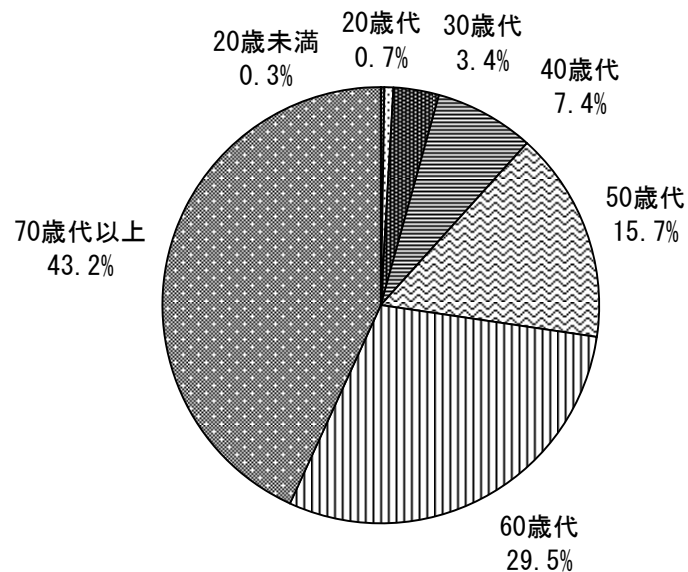
Ⅱ-5 精神科病院入院患者調査

1 年齢

A 平成 25 年 11 月 1 日現在の満年齢を記入してください。

年齢は、「70 歳代以上」が 43.2%と最も高く、次いで「60 歳代」が 29.5%となっている。

図表Ⅱ-5-1 年齢 (N=3,118)

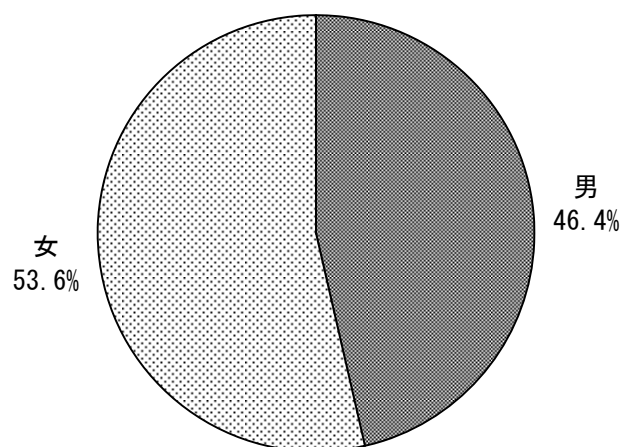


2 性別

B 性別を次の区分により記入してください。

性別は、「女性」が 53.6%と高く、「男性」が 46.4%となっている。

図表Ⅱ-5-2 性別 (N=3,118)

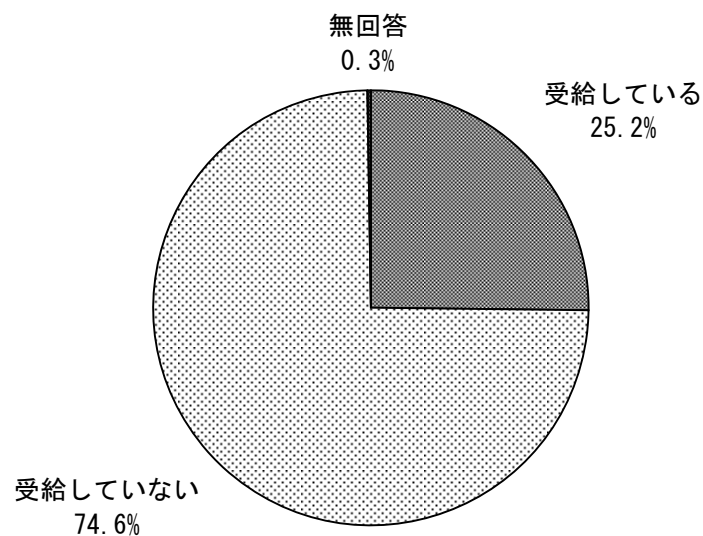


3 生活保護

C 生活保護受給について次の区分により記入してください。

生活保護は、「受給していない」が74.6%と高く、「受給している」が25.2%となっている。

図表Ⅱ-5-3 生活保護 (N=3,118)

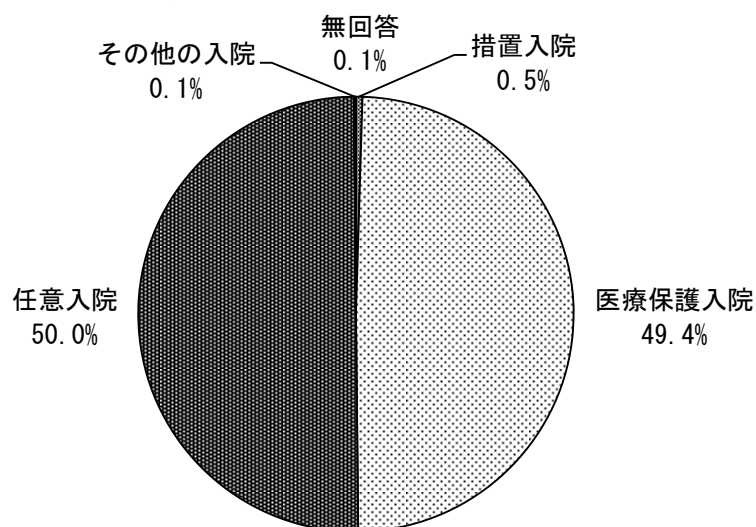


4 入院形態

D 入院形態を次の区分により記入してください。

入院形態は、「任意入院」が50.0%と最も高く、次いで「医療保護入院」が49.4%となっている。

図表Ⅱ-5-4 入院形態 (N=3,118)

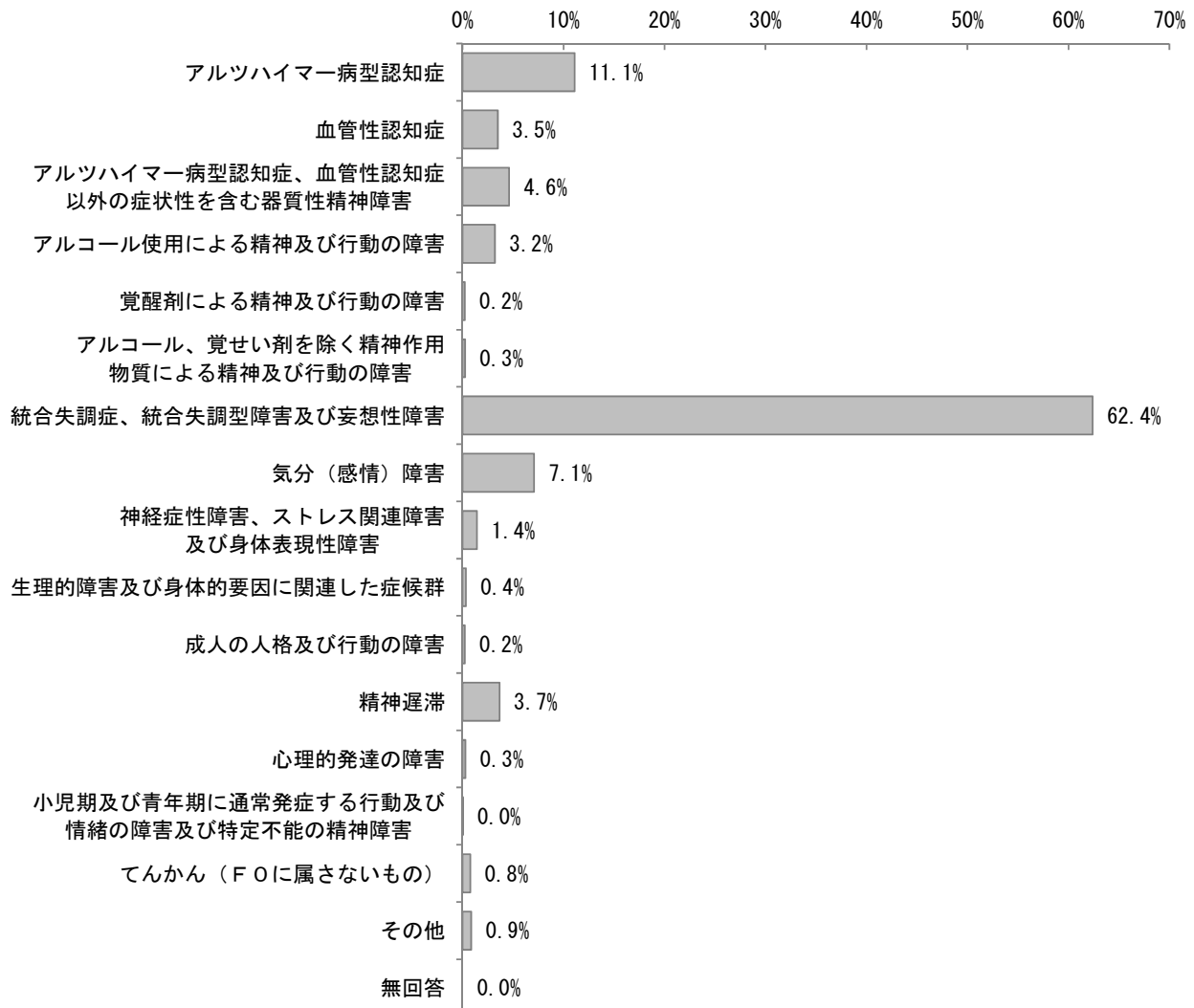


5 疾患名

E 疾患名を次の区分により記入してください(厚生労働省調査と同じ区分です)。

疾患名は、「統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害」が 62.4%と最も高く、次いで「アルツハイマー病型認知症」が 11.1%となっている。

図表Ⅱ-5-5 疾患名 (N=3,118)

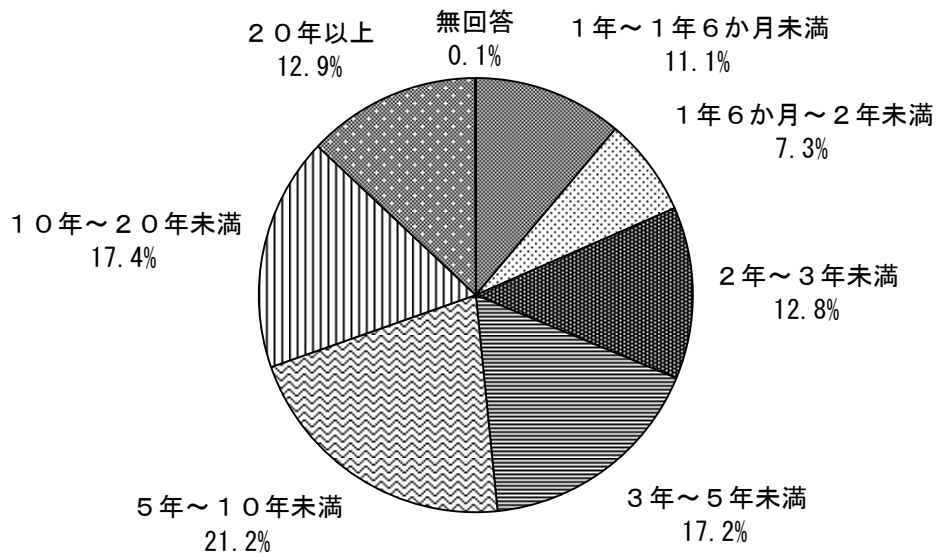


6 在院期間

F 在院期間を次の区分により記入してください。

在院期間は、「5年～10年未満」が21.2%と最も高く、次いで「10年～20年未満」が17.4%となっている。

図表Ⅱ-5-6 在院期間 (N=3,118)

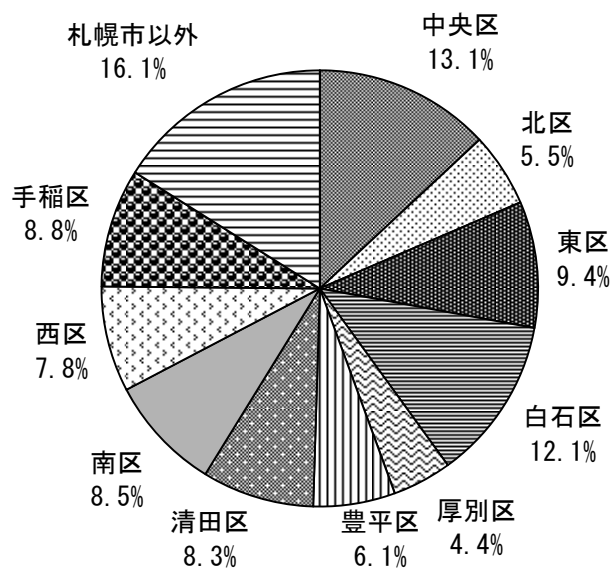


7 入院時の住所

G 入院時の住所(区)を記入してください。

入院時の住所は、「札幌市以外」が16.1%と最も高く、次いで「中央区」が13.1%となっている。

図表Ⅱ-5-7 入院時の住所 (N=3,118)



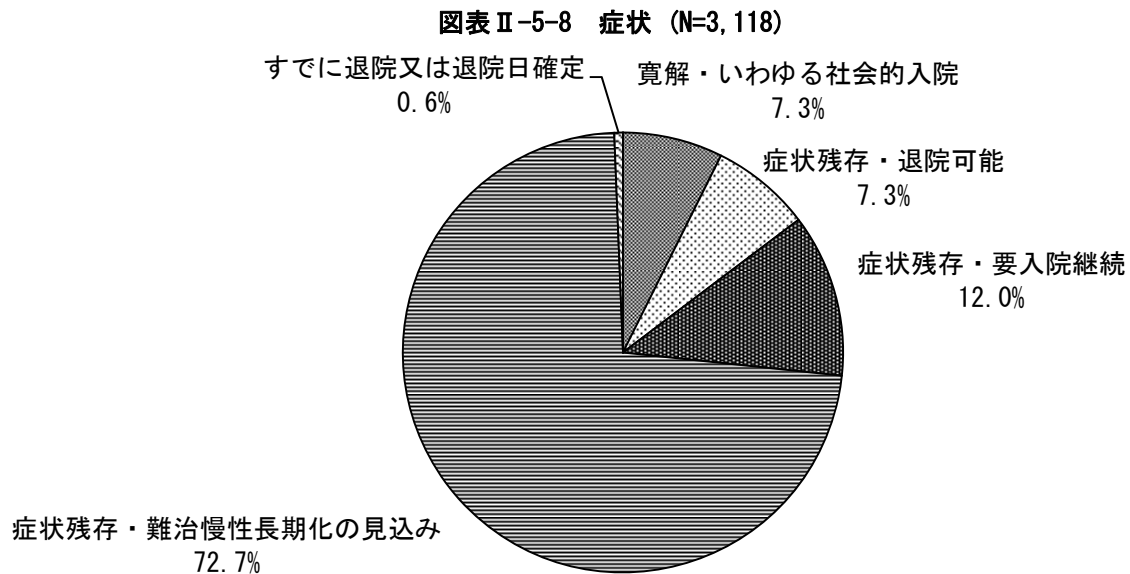
8 症状

H 症状を次の区分で記入してください。

以降、次のように略語を用いる。

- ・「症状は寛解(院内寛解)しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難などの要因により入院継続」は「寛解・いわゆる社会的入院」
- ・「症状残存だが改善傾向にあり支援により退院可能」は「症状残存・退院可能」
- ・「症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で退院に向けて要入院継続」は「症状残存・要入院継続」
- ・「症状残存で難治又は慢性長期化の見込み」を「症状残存・難治慢性長期化の見込み」
- ・「調査日には既に退院又は調査日には退院日確定」は「すでに退院又は退院日確定」

症状は、「症状残存・難治慢性長期化の見込み」が 72.7%と最も高く、次いで「症状残存・要入院継続」が 12.0%となっている。



9 退院に向けての要件について

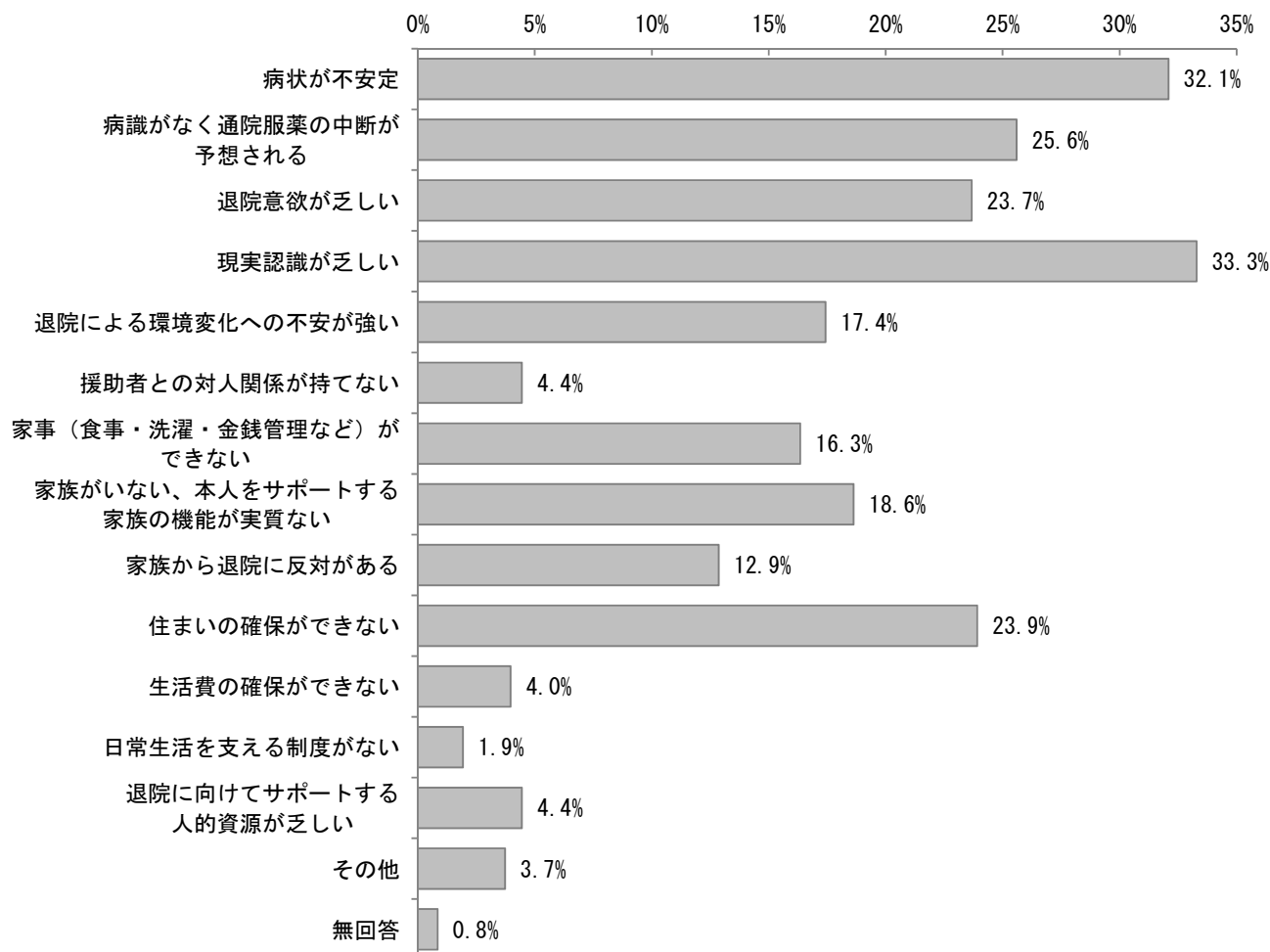
(1) 退院ができない要因

<<Hの回答が1～3の方について記入してください。>>

I 退院に向けての課題となっている要因を記入してください(複数回答可)。

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」、「症状残存・退院可能」、「症状残存・要入院継続」の人の退院ができない要因は、「現実認識が乏しい」が33.3%と最も高く、次いで「病状が不安定」が32.1%となっている。

図表Ⅱ-5-9 退院ができない要因（複数回答、N=832）



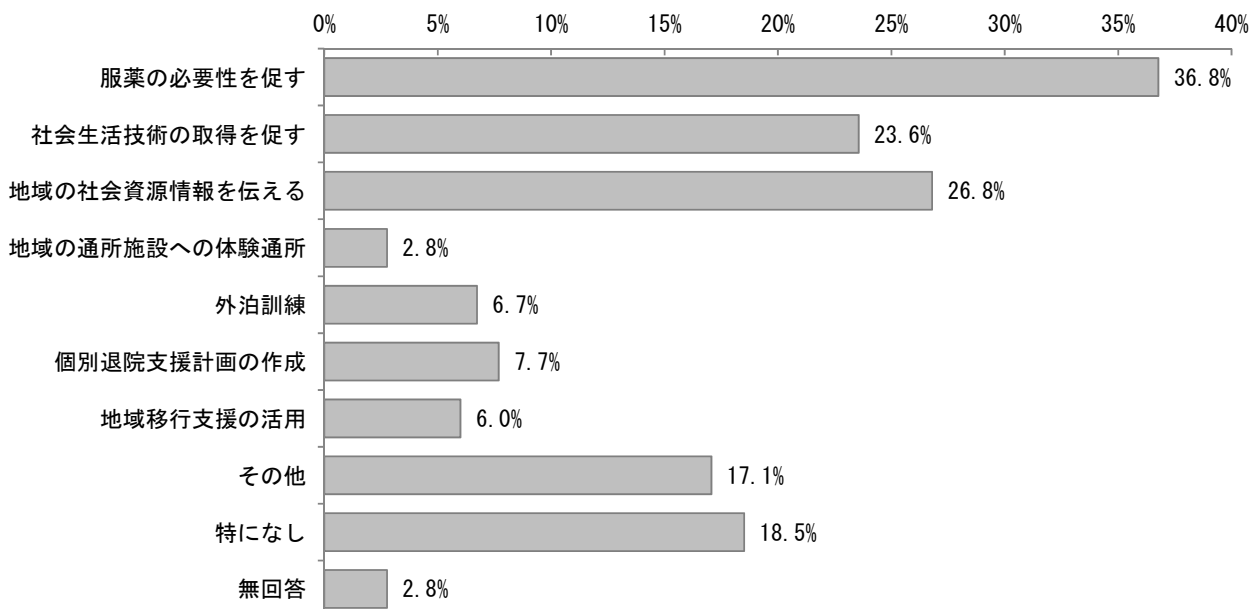
(2) 退院に向けての支援プログラム

<<Hの回答が1～3の方について記入してください。>>

J 病院内にて行っている支援プログラムについて記入してください(複数回答可)。

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」、「症状残存・退院可能」、「症状残存・要入院継続」の人の退院に向けての支援プログラムは、「服薬の必要性を促す」が 36.8%と最も高く、次いで「地域の社会資源情報を伝える」が 26.8%となっている。

図表Ⅱ-5-10 退院に向けての支援プログラム (複数回答、N=832)



10 退院に向けての必要資源について

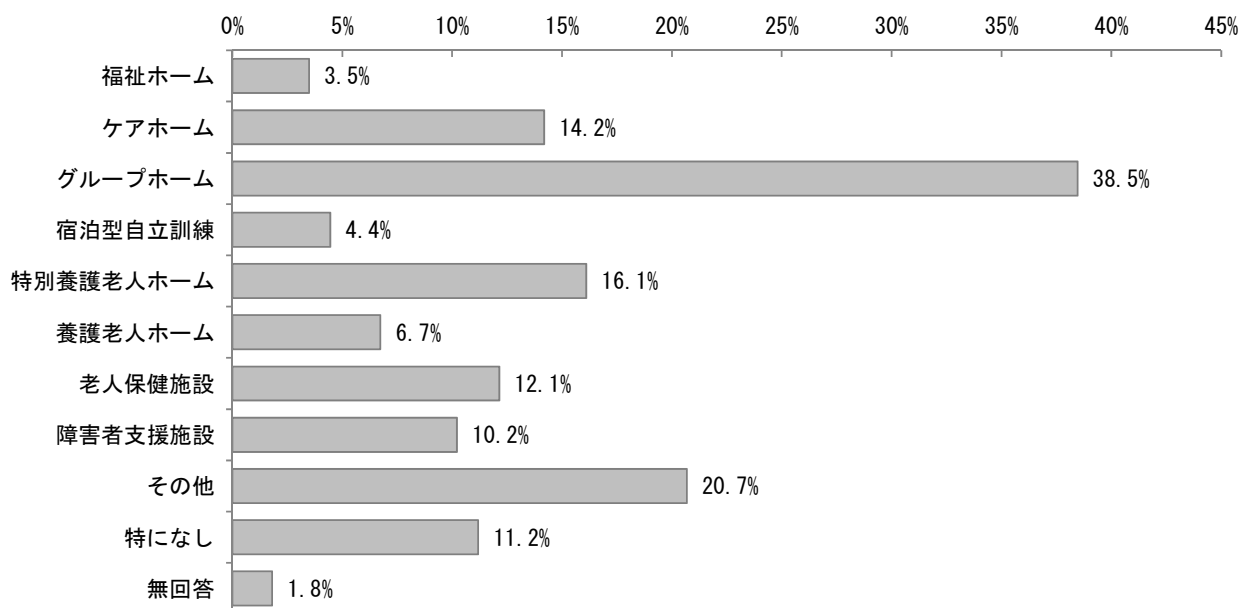
(1) 住まい

<<Hの回答が1～3の方について記入してください。>>

K 退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください(複数回答可)。

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」、「症状残存・退院可能」、「症状残存・要入院継続」の人の退院に向けての必要資源【住まい】は、「グループホーム」が 38.5%と最も高く、次いで「その他」を除くと、「特別養護老人ホーム」が 16.1%となっている。

図表Ⅱ-5-11 退院に向けての必要資源【住まい】 (複数回答、N=832)



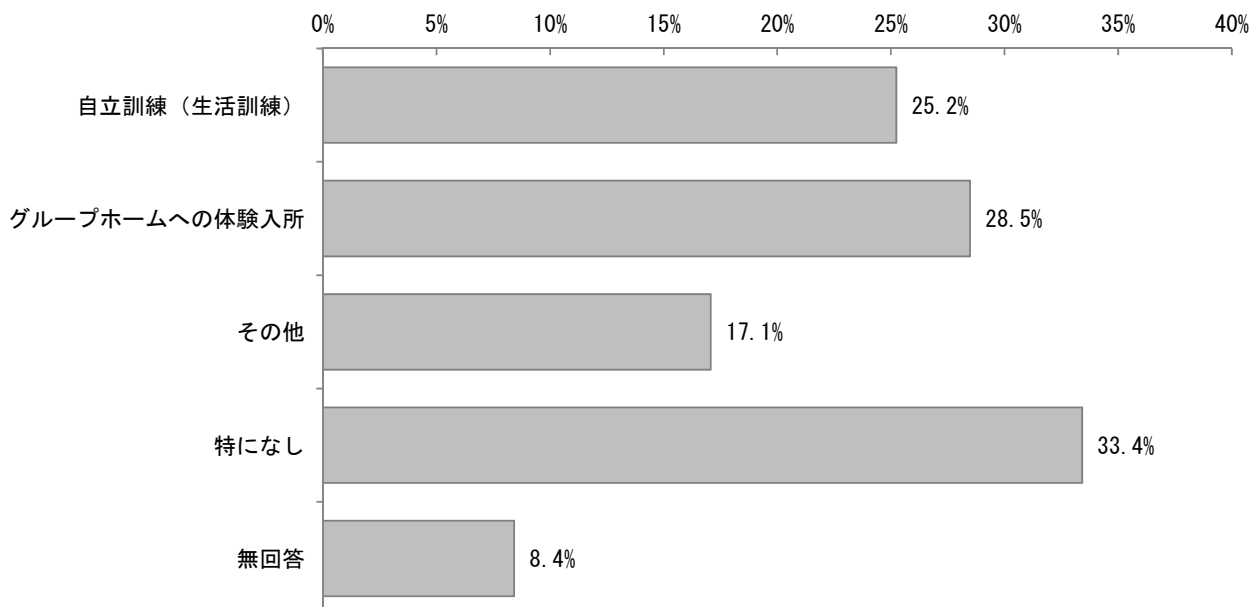
(2) 生活訓練

<<Hの回答が1～3の方について記入してください。>>

L 退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください(複数回答可)。

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」、「症状残存・退院可能」、「症状残存・要入院継続」の人の退院に向けての必要資源【生活訓練】は、「特になし」が 33.4%と最も高く、次いで「グループホームへの体験入所」が 28.5%となっている。

図表Ⅱ-5-12 退院に向けての必要資源【生活訓練】(複数回答、N=832)



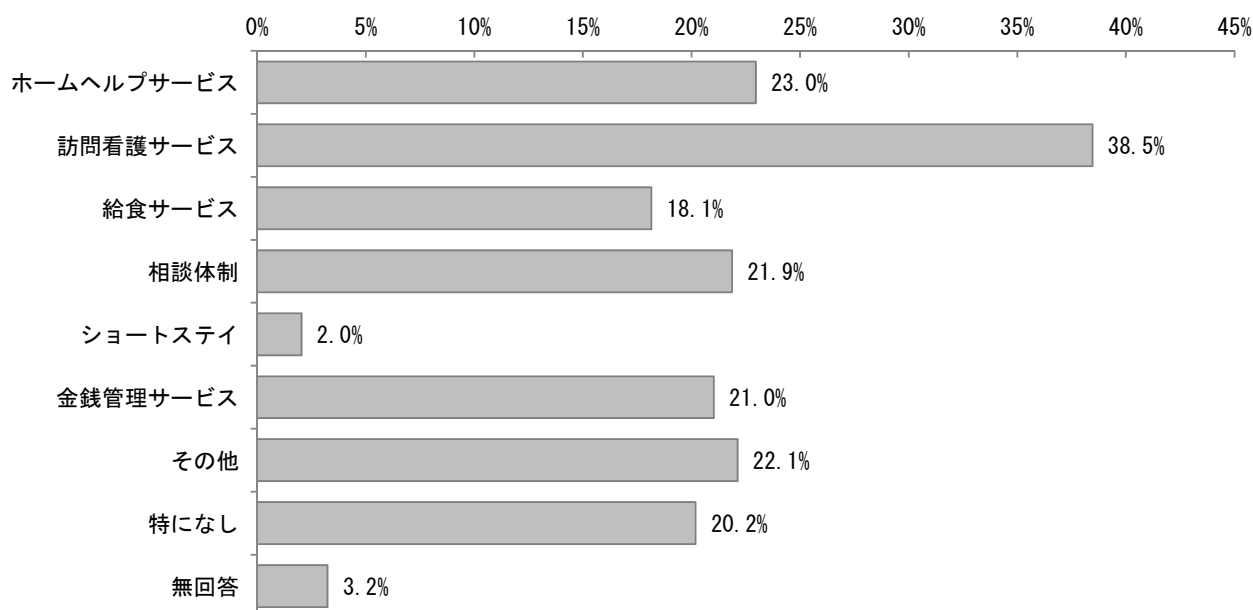
(3) 生活支援

<<Hの回答が1～3の方について記入してください。>>

M 退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください(複数回答可)。

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」、「症状残存・退院可能」、「症状残存・要入院継続」の人の退院に向けての必要資源【生活支援】は、「訪問看護サービス」が 38.5%と最も高く、次いで「ホームヘルプサービス」が 23.0%となっている。

図表Ⅱ-5-13 退院に向けての必要資源【生活支援】(複数回答、N=832)



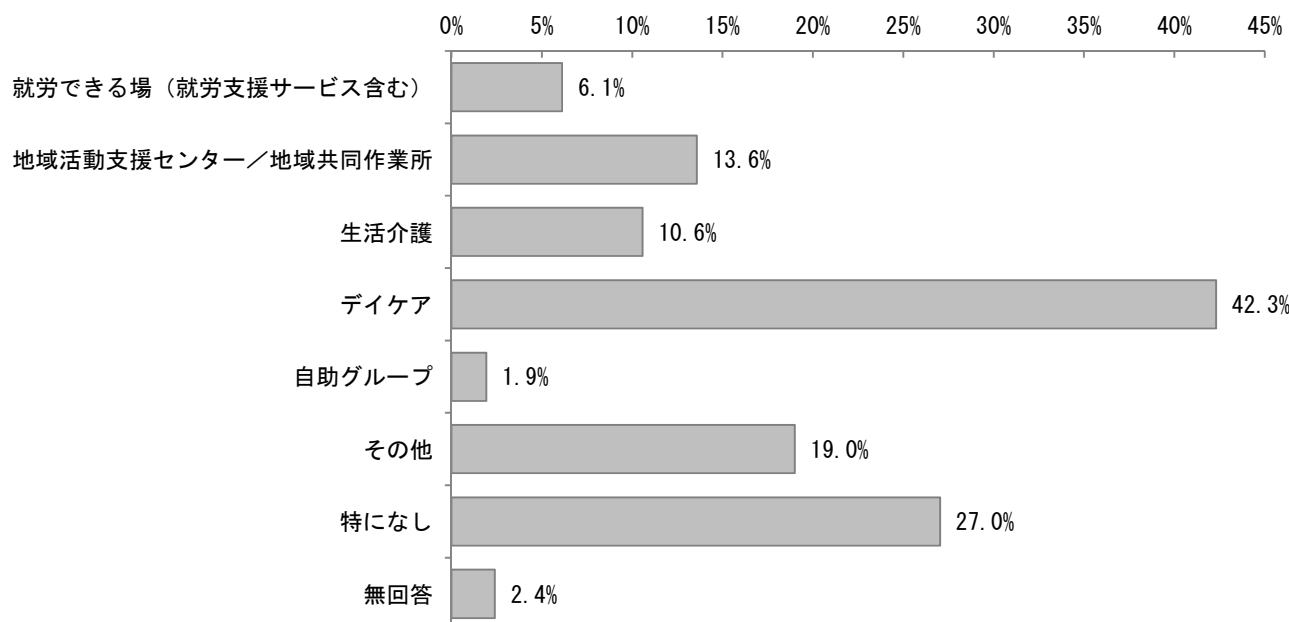
(4) 活動の場

<<Hの回答が1～3の方について記入してください。>>

N 退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください(複数回答可)。

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」、「症状残存・退院可能」、「症状残存・要入院継続」の人の退院に向けての必要資源【活動の場】は、「デイケア」が42.3%と最も高く、次いで「特になし」が27.0%となっている。

図表Ⅱ-5-14 退院に向けての必要資源【活動の場】(複数回答、N=832)



Ⅱ-6 市民意識調査

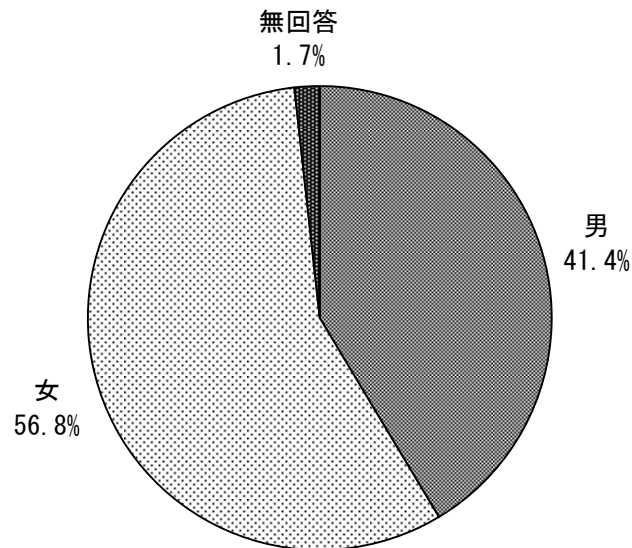
1 あなたのことについて

(1) 性別

問 1 あなたの性別に○をつけてください。

性別は、「女性」が 56.8%と高く、「男性」が 41.4%となっている。

図表Ⅱ-6-1 性別 (N=1,316)

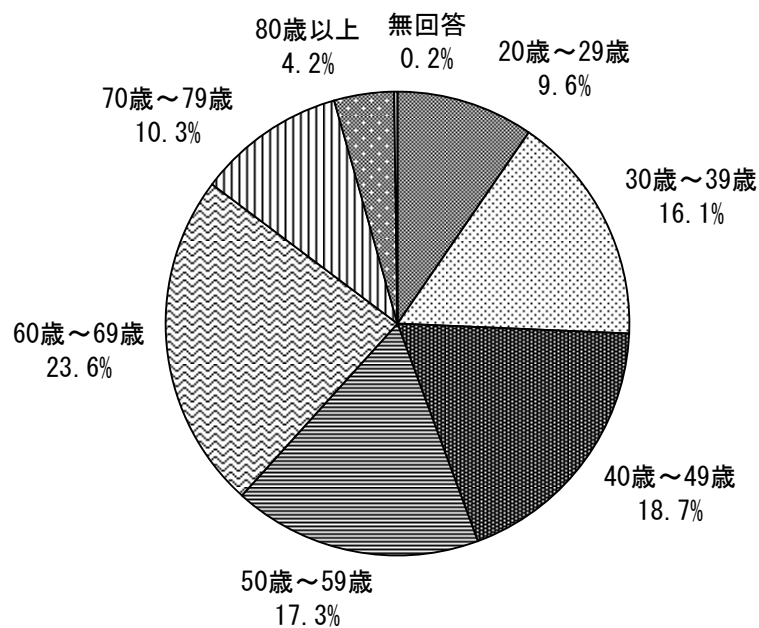


(2) 年齢

問 2 あなたの年齢について、あてはまるものに○をつけてください。

年齢は、「60歳～69歳」が 23.6%と最も高く、次いで「40歳～49歳」が 18.7%となっている。

図表Ⅱ-6-2 年齢 (N=1,316)



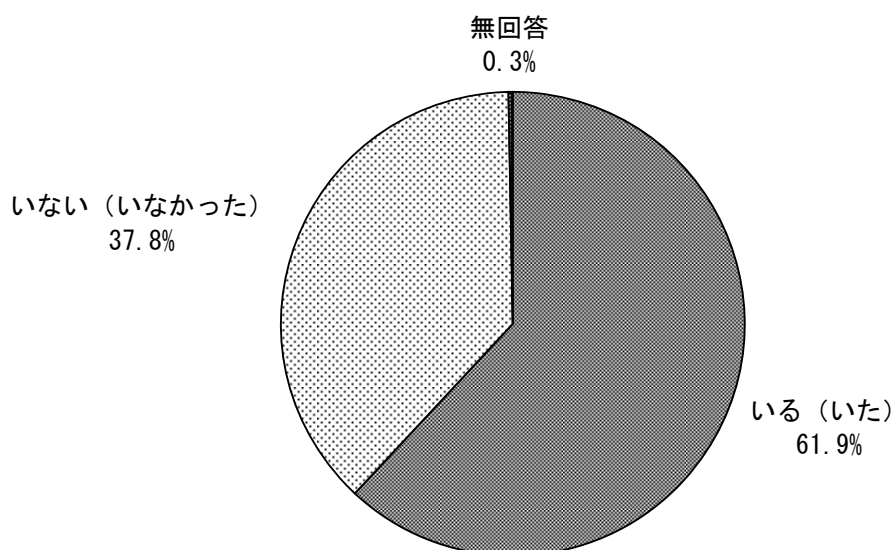
2 障がいのある人とのかかわりについて

(1) 身近に障がいのある人の有無

問3 あなたの身近に障がいのある人はいますか、または、これまでいたことがありますか。

身近に障がいのある人の有無は、「いる(いた)」が61.9%と高く、「いない(いなかった)」が37.8%となっている。

図表Ⅱ-6-3 身近に障がいのある人の有無 (N=1,316)

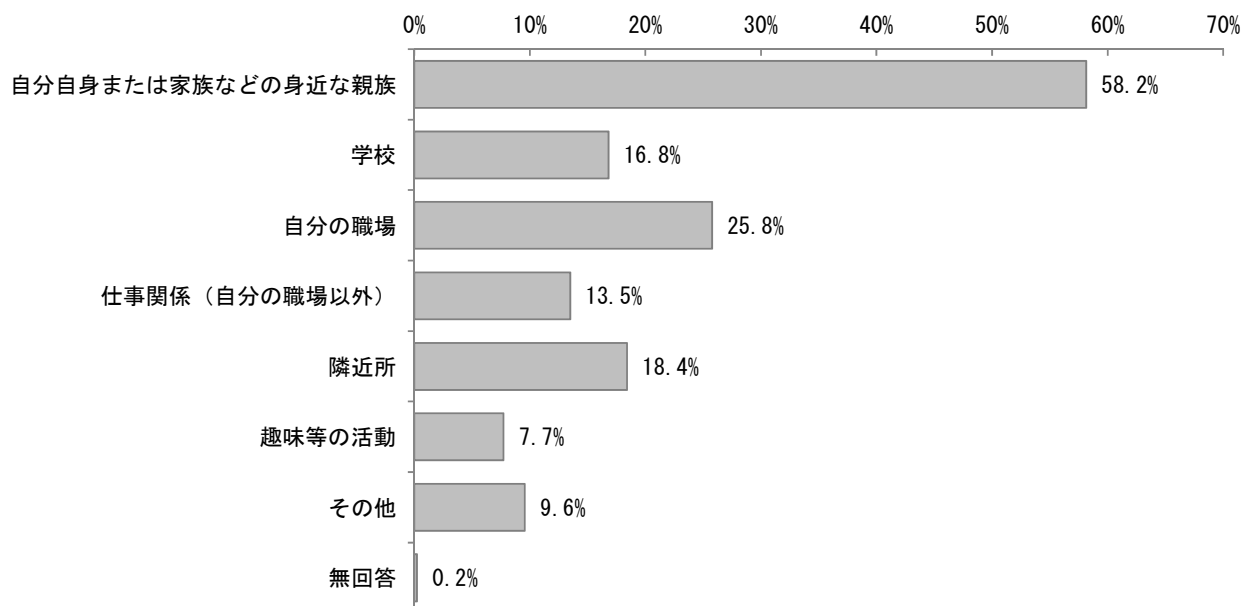


(2) 身近にいる(いた)障がいのある人について

問3-1 あなたの身近にいる(いた)障がいのある人は、どのようなところにいますか(いましたか)。あてはまるものすべてに○をつけてください。

身近にいる(いた)障がいのある人が、どのようなところにいますか(いましたか)は、「自分自身または家族などの身近な親族」が58.2%と最も高く、次いで「自分の職場」が25.8%となっている。

図表Ⅱ-6-4 身近にいる (いた) 障がいのある人について (複数回答、N=815)

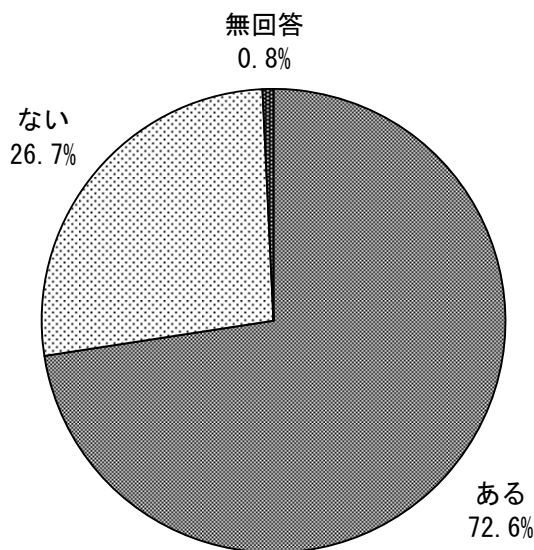


(3) 障がいのある人との会話や手助け

問 4 あなたは、障がいのある人と気軽に話したり、障がいのある人の手助けをしたりしたことがありますか。

障がいのある人との会話や手助けは、「ある」が 72.6%と高く、「ない」が 26.7%となっている。

図表Ⅱ-6-5 障がいのある人との会話や手助け (N=1,316)

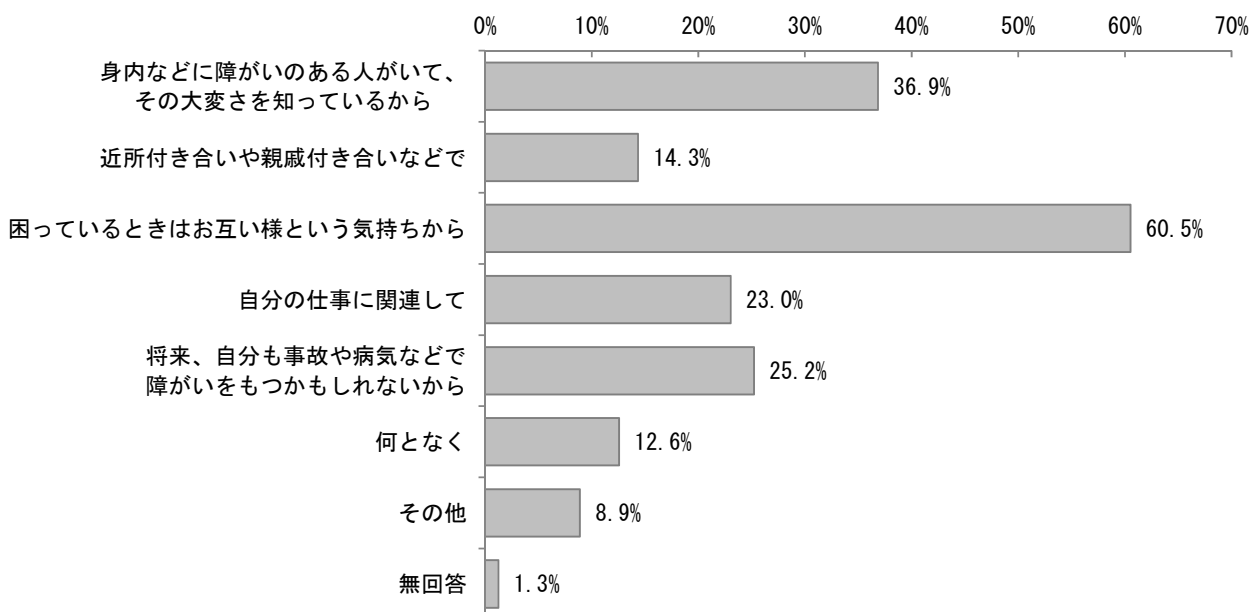


(4) 会話や手助け時の気持ち

問 4-1 それは、どのような気持ちからでしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

会話や手助け時の気持ちは、「困っているときはお互い様という気持ちから」が 60.5%と最も高く、次いで「身内などに障がいのある人がいて、その大変さを知っているから」が 36.9%となっている。

図表Ⅱ-6-6 会話や手助け時の気持ち (複数回答、N=955)

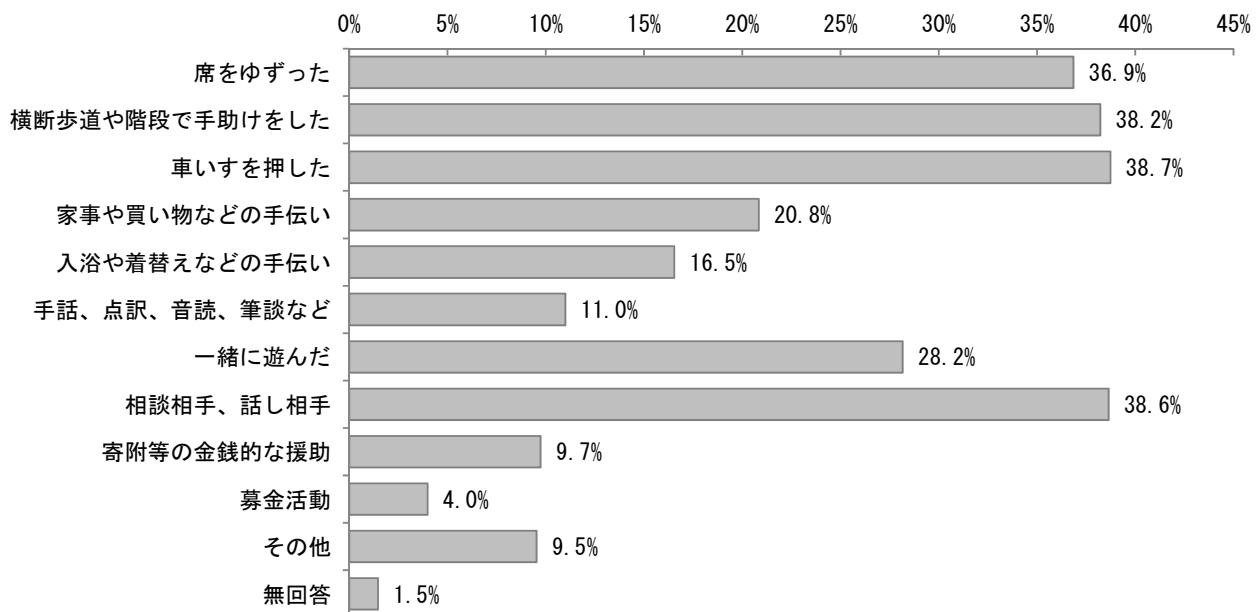


(5) 会話や手助けの内容

問 4-2 それは、どのような話や手助けでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

会話や手助けの内容は、「車いすを押した」が 38.7%と最も高く、次いで「相談相手、話し相手」が 38.6%となっている。

図表Ⅱ-6-7 会話や手助けの内容（複数回答、N=955）

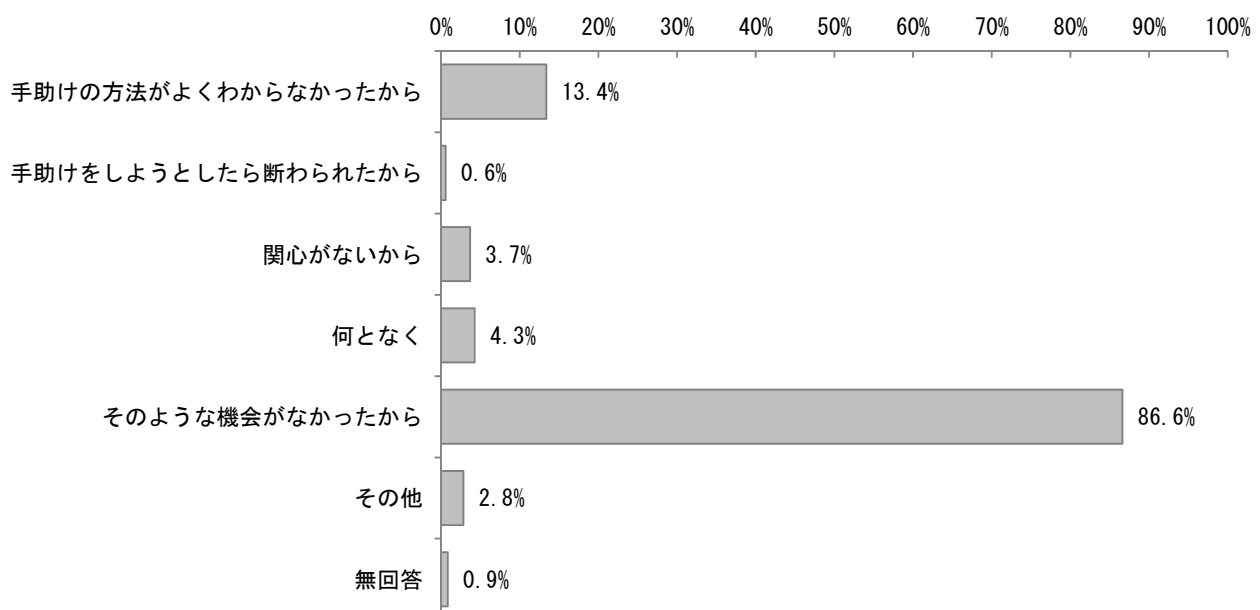


(6) 障がいのある人との会話や手助けをしたことがない理由

問 4-3 それは、どうしてですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいのある人との会話や手助けをしたことがない理由は、「そのような機会がなかったから」が 86.6%と最も高く、次いで「手助けの方法がよくわからなかったから」が 13.4%となっている。

図表Ⅱ-6-8 障がいのある人との会話や手助けをしたことがない理由（複数回答、N=351）

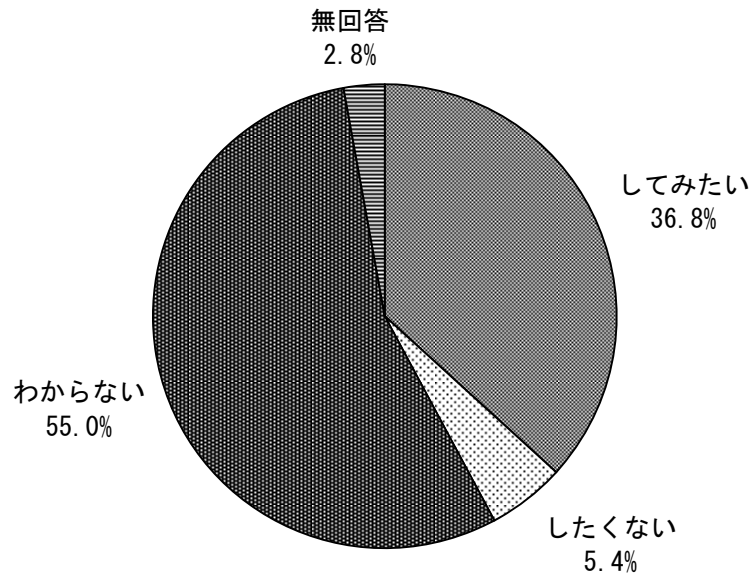


(7) 障がいのある人との会話や手助けへの意向

問 4-4 今後、障がいのある人の手助けなどをしてみたいと思いますか。

障がいのある人との会話や手助けへの意向は、「わからない」が 55.0%と最も高く、次いで「してみたい」が 36.8%となっている。

図表Ⅱ-6-9 障がいのある人との会話や手助けへの意向 (N=351)

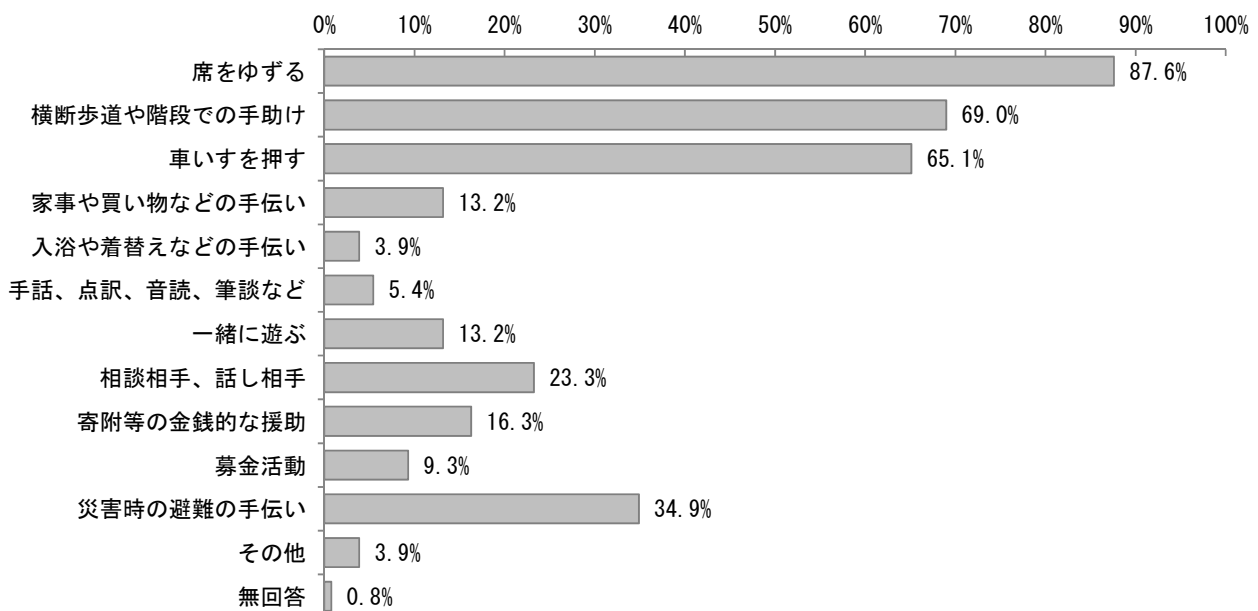


(8) 障がいのある人との会話や手助けへの内容

問 4-5 それは、どのような手助けですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいのある人との会話や手助けへの内容は、「席をゆずる」が 87.6%と最も高く、次いで「横断歩道や階段での手助け」が 69.0%となっている。

図表Ⅱ-6-10 障がいのある人との会話や手助けへの内容 (複数回答、N=129)



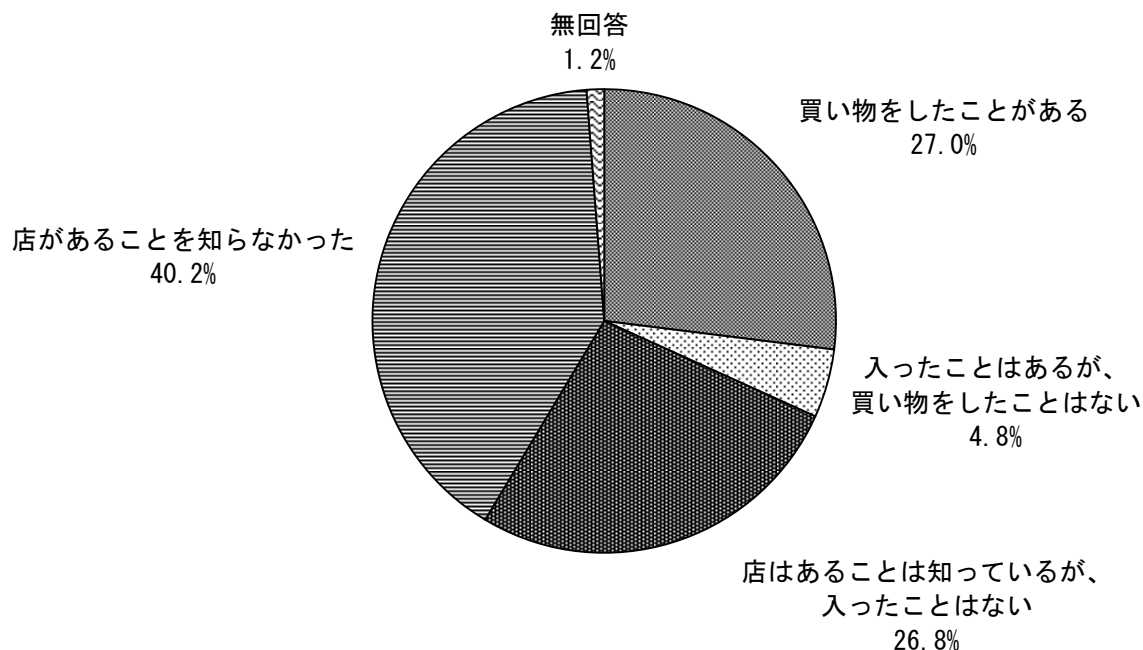
3 障がいのある人が働く店について

(1) 「元気ショップ」と「元気ショップいこ〜る」での買い物の有無

問 5 札幌市には、障がいのある人が作業所等で制作した製品を売る店として、「元気ショップ」と「元気ショップいこ〜る」があります。あなたは、これらの店で買い物をしたことがありますか。

「元気ショップ」と「元気ショップいこ〜る」での買い物の有無は、「店があることを知らなかった」が 40.2%と最も高く、次いで「買い物をしたことがある」が 27.0%となっている。

図表Ⅱ-6-11 「元気ショップ」と「元気ショップいこ〜る」での買い物の有無 (N=1,316)

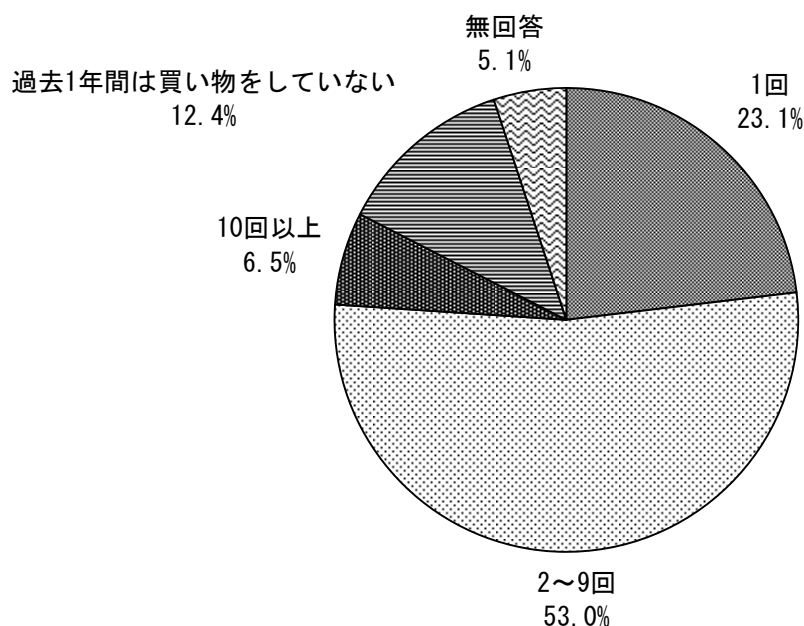


(2) 過去1年間の「元気ショップ」と「元気ショップいこ〜る」での買い物の回数

問 5-1 あなたは、これらの店で、過去1年間に何回買い物をしましたか。

過去1年間の「元気ショップ」と「元気ショップいこ〜る」での買い物の回数は、「2〜9回」が 53.0%と最も高く、次いで「1回」が 23.1%となっている。

図表Ⅱ-6-12 過去1年間の「元気ショップ」と「元気ショップいこ〜る」での買い物の回数 (N=355)



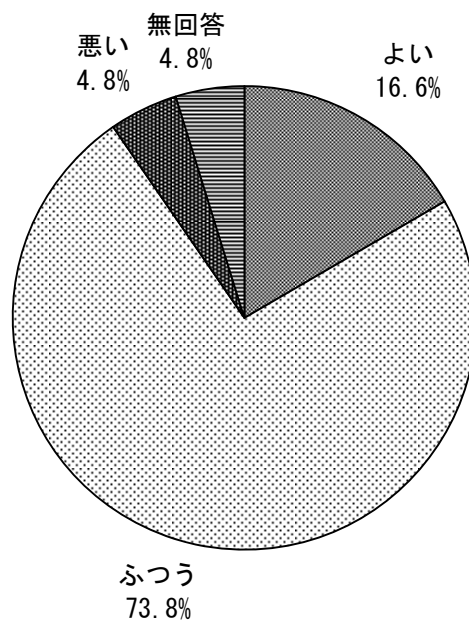
(3) 「元気ショップ」と「元気ショップいこ〜る」の評価

問 5-2 品揃えや値段、(お買い物された)商品の質、接客はどうでしたか。それぞれの項目について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

① 品揃え

品揃えは、「ふつう」が 73.8%と最も高く、次いで「よい」が 16.6%となっている。

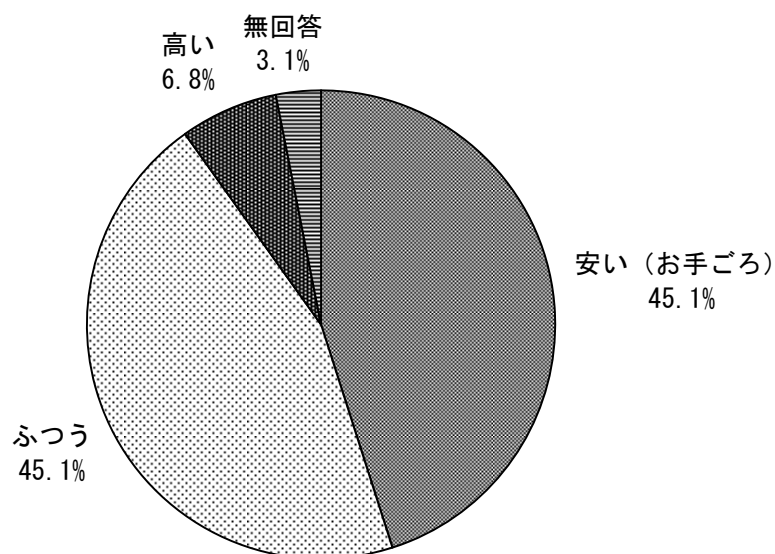
図表Ⅱ-6-13 品揃え (N=355)



② 値段

値段は、「安い(お手ごろ)」と「ふつう」が 45.1%と高く、「高い」が 6.8%となっている。

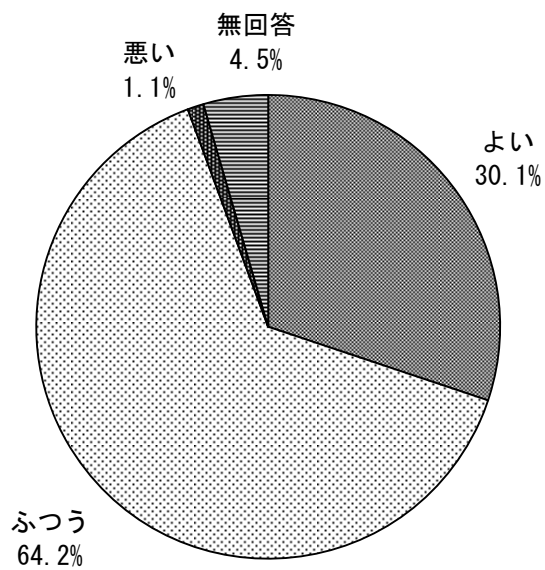
図表Ⅱ-6-14 値段 (N=355)



③ 商品の質

商品の質は、「ふつう」が64.2%と最も高く、次いで「よい」が30.1%となっている。

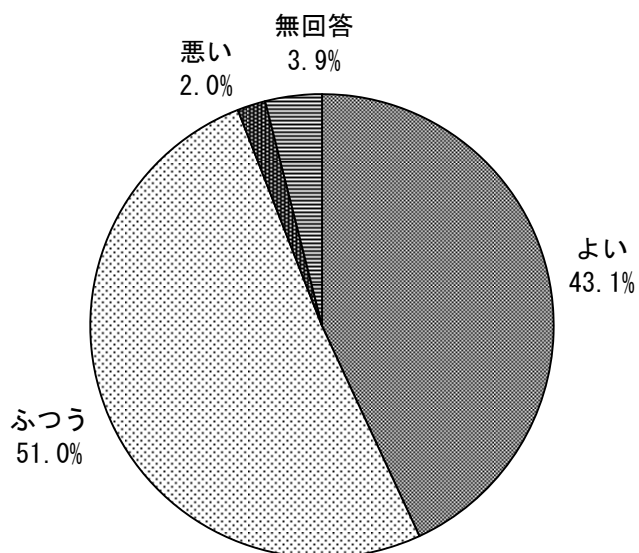
図表Ⅱ-6-15 商品の質 (N=355)



④ 接客

接客は、「ふつう」が51.0%と最も高く、次いで「よい」が43.1%となっている。

図表Ⅱ-6-16 接客 (N=355)

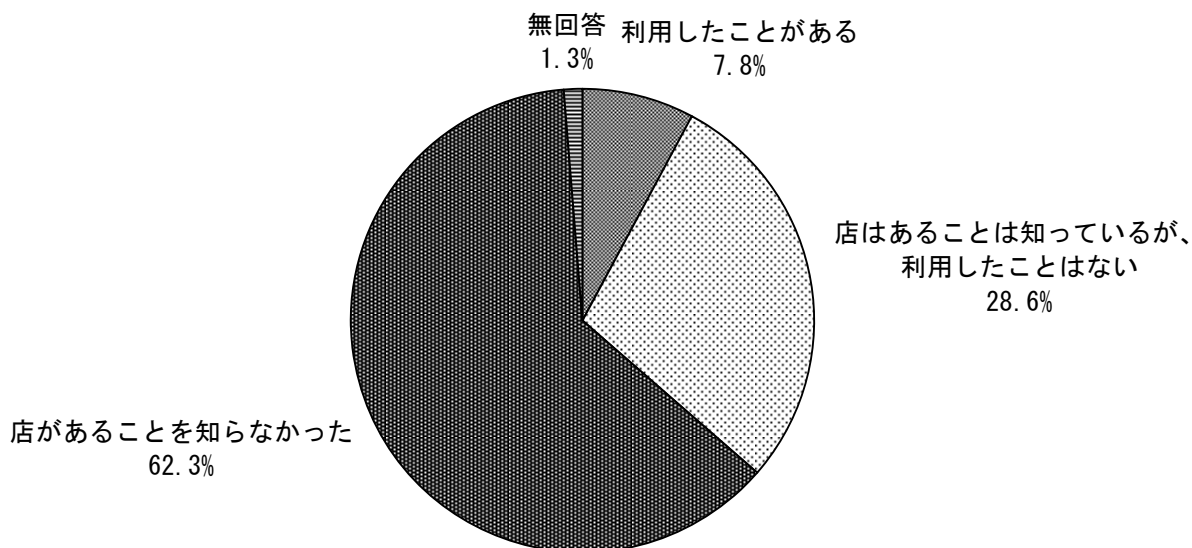


(4) 「元気カフェ」の利用の有無

問 6 札幌市では、多くの市民が訪れる公共施設等の空間を生かし、障がいのある人が接客等を通じてさまざまな方と交流することで、障がいに対する市民の理解促進につなげていくことなどを目的として、「元気カフェ」を設置しています(運営事業者に対する補助)。あなたは、「元気カフェ」を利用したことがありますか。

「元気カフェ」の利用の有無は、「店があることを知らなかった」が 62.3%と最も高く、次いで「店はあることは知っているが、利用したことはない」が 28.6%となっている。

図表Ⅱ-6-17 「元気カフェ」の利用の有無 (N=1,316)

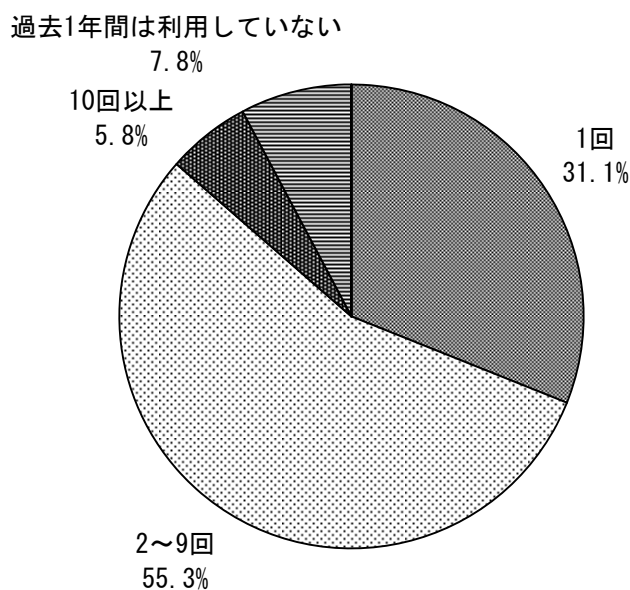


(5) 過去 1 年間の「元気カフェ」の利用回数

問 6-1 あなたは、「元気カフェ」を、過去 1 年間で何回利用しましたか。

過去 1 年間の「元気カフェ」の利用回数は、「2～9 回」が 55.3%と最も高く、次いで「1 回」が 31.1%となっている。

図表Ⅱ-6-18 過去 1 年間の「元気カフェ」の利用回数 (N=103)



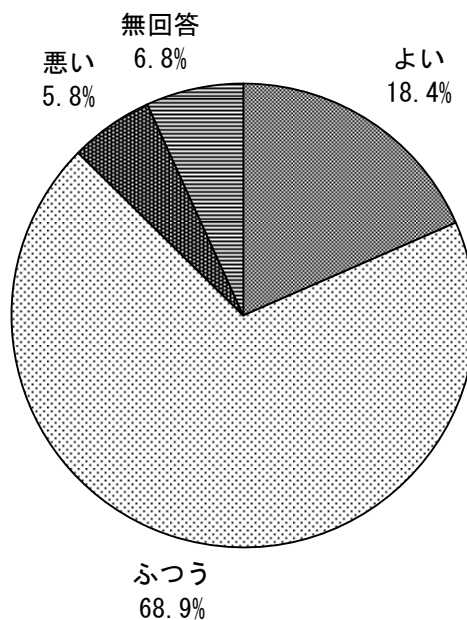
(6)「元気カフェ」の評価

問 6-2 品揃えや値段、(お買い物された)商品の質、接客はどうでしたか。それぞれの項目について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

① 品揃え

品揃えは、「ふつう」が 68.9%と最も高く、次いで「よい」が 18.4%となっている。

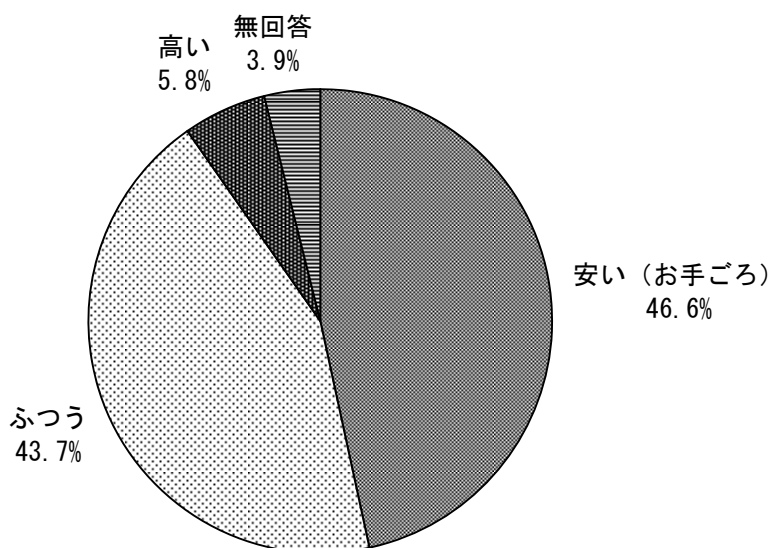
図表Ⅱ-6-19 品揃え (N=103)



② 値段

値段は、「安い(お手ごろ)」が 46.6%と最も高く、次いで「ふつう」が 43.7%となっている。

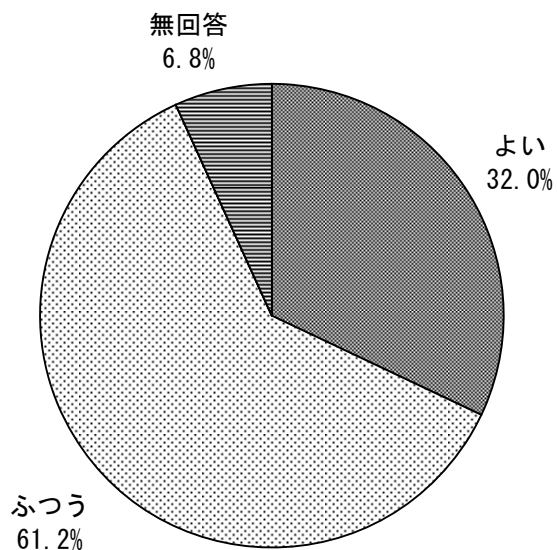
図表Ⅱ-6-20 値段 (N=103)



③ 商品の質

商品の質は、「ふつう」が61.2%と最も高く、次いで「よい」が32.0%となっている。

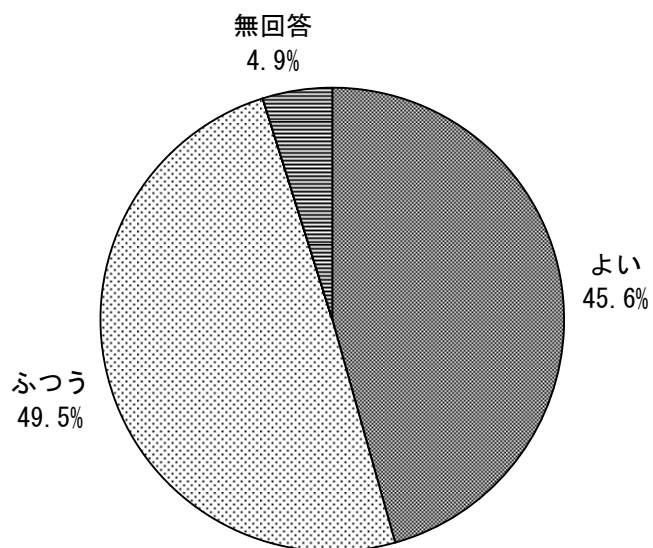
図表Ⅱ-6-21 商品の質 (N=103)



④ 接客

接客は、「ふつう」が49.5%と最も高く、次いで「よい」が45.6%となっている。

図表Ⅱ-6-22 接客 (N=103)



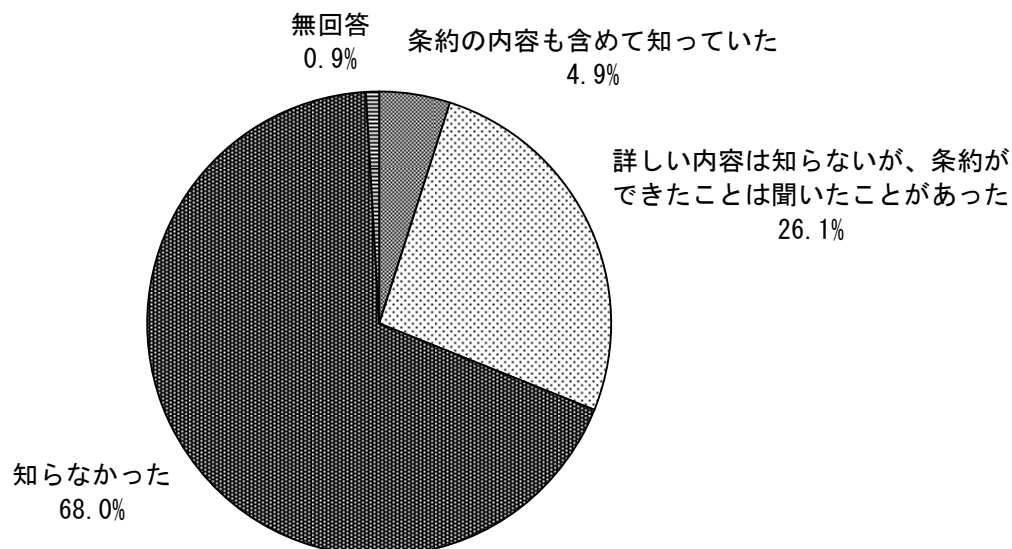
4 障害者権利条約などについて

(1) 「障害者権利条約」の認知度

問7 国連は、平成18年12月に「障害者権利条約」を採択しました。この条約は、障がいのある人の権利や尊厳を保護するため、障がいを理由とする差別の禁止や、障がいのある人が障がいのない人と同じように暮らすための様々な施策を包括的に定めるもので、平成19年9月に、日本もこの条約に署名しました。あなたは、この条約について知っていましたか。

「障害者権利条約」の認知度は、「知らなかった」が68.0%と最も高く、次いで「詳しい内容は知らないが、条約ができたことは聞いたことがあった」が26.1%となっている。

図表Ⅱ-6-23 「障害者権利条約」の認知度 (N=1,316)

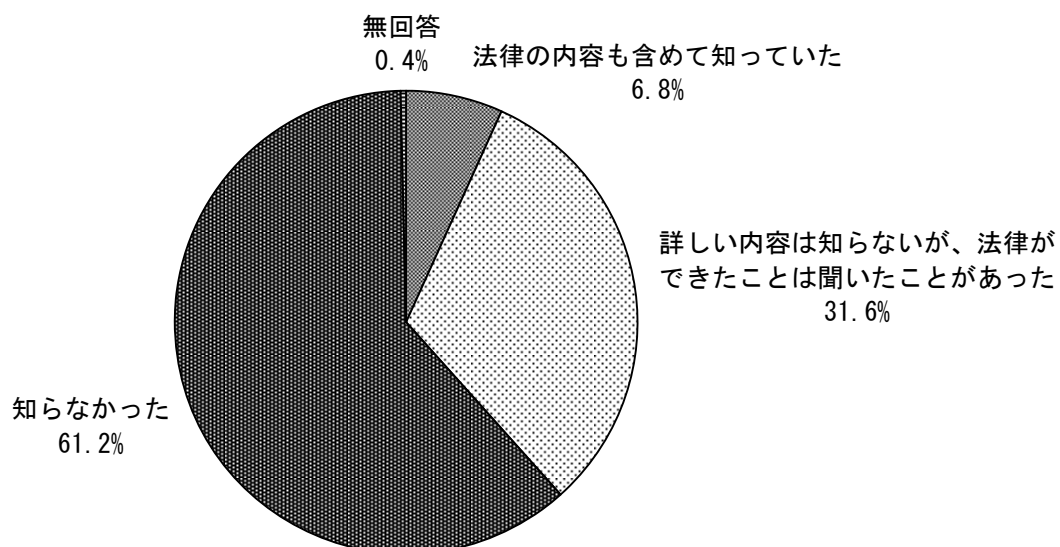


(2) 「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)」の認知度

問8 平成24年10月に「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)」が施行されました。この法律は、国や地方公共団体、障害福祉サービス従事者等、雇用主などに障がい者虐待の防止等のための責務を課すとともに、障がい者虐待を受けたと思われる障がい者を発見した人に対して通報義務を課しています。あなたは、この法律について知っていましたか。

「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)」の認知度は、「知らなかった」が61.2%と最も高く、次いで「詳しい内容は知らないが、法律ができたことは聞いたことがあった」が31.6%となっている。

図表Ⅱ-6-24 「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)」の認知度 (N=1,316)

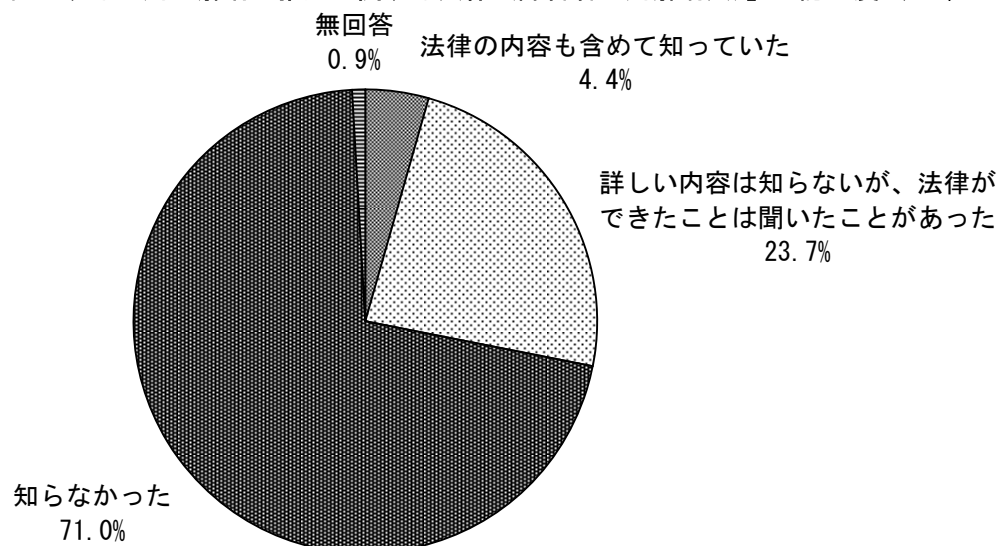


(3)「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」の認知度

問 9 平成 25 年 6 月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」が公布されました。この法律では、国や地方公共団体、民間事業者に差別的取扱いの禁止などを規定するとともに、差別を解消するための措置などを規定しています。あなたは、この法律について知っていましたか。

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」の認知度は、「知らなかった」が 71.0%と最も高く、次いで「詳しい内容は知らないが、法律ができたことは聞いたことがあった」が 23.7%となっている。

図表Ⅱ-6-25 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」の認知度 (N=1,316)



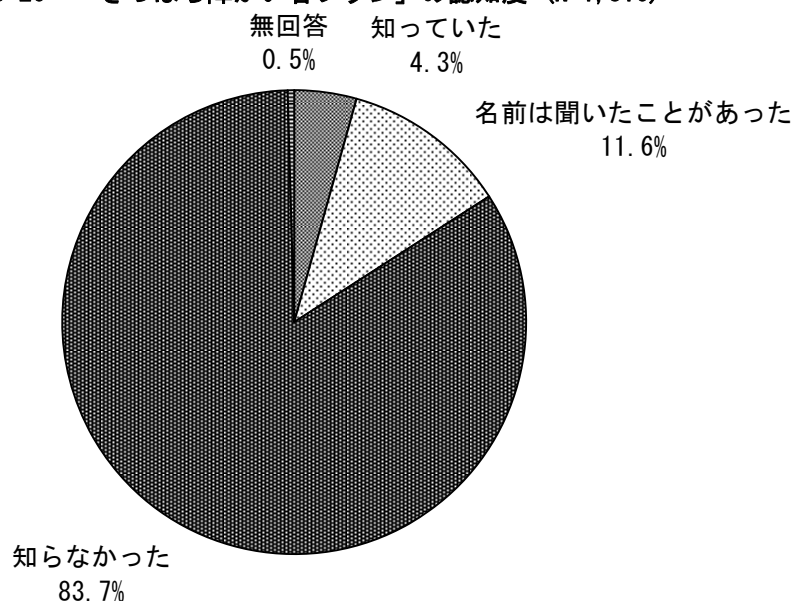
5 札幌市の施策について

(1)「さっぽろ障がい者プラン」の認知度

問 10 札幌市では、「さっぽろ障がい者プラン」(計画期間:平成 24 年度～平成 29 年度)を策定しています。これは、障がいのある方の自立や社会参加の支援等について、その基本的な施策を定めるとともに、障害福祉サービス等に係る提供体制の確保に関し、サービスごとの必要な量の見込みなどについて定めています。あなたは、この計画があることを知っていましたか。

「さっぽろ障がい者プラン」の認知度は、「知らなかった」が 83.7%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあった」が 11.6%となっている。

図表Ⅱ-6-26 「さっぽろ障がい者プラン」の認知度 (N=1,316)



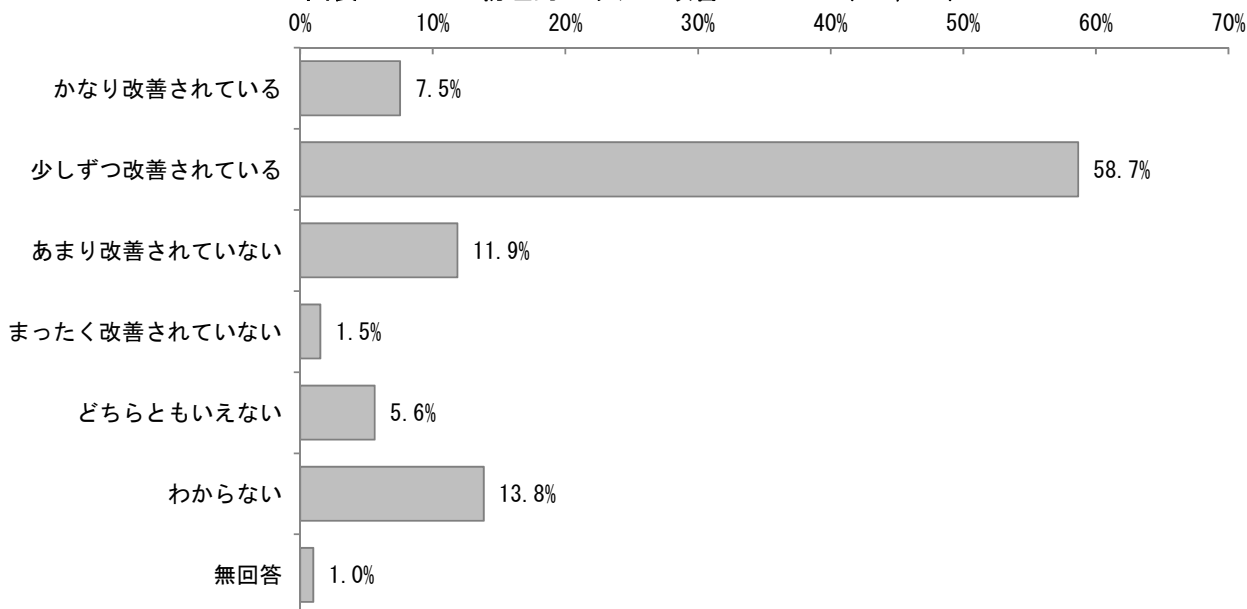
(2) 物理的バリアの改善について

問11 札幌市では、障がいのある人もない人も、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支え合う「共生社会の実現」のために、4つの障壁・バリア(物理的バリア、制度的バリア、文化・情報面でのバリア、意識上のバリア)を取り除き、障がいについての理解促進を図ることとしています。この取組に関して、次の問いにお答えください。

(1) 3年前と比べて、物理的バリア(建物の出入口や通路に段差があり、車いすなどが利用できない)は、改善されていると感じますか。

物理的バリアの改善については、「少しずつ改善されている」が58.7%と最も高く、次いで「わからない」が13.8%となっている。

図表Ⅱ-6-27 物理的バリアの改善について (N=1,316)

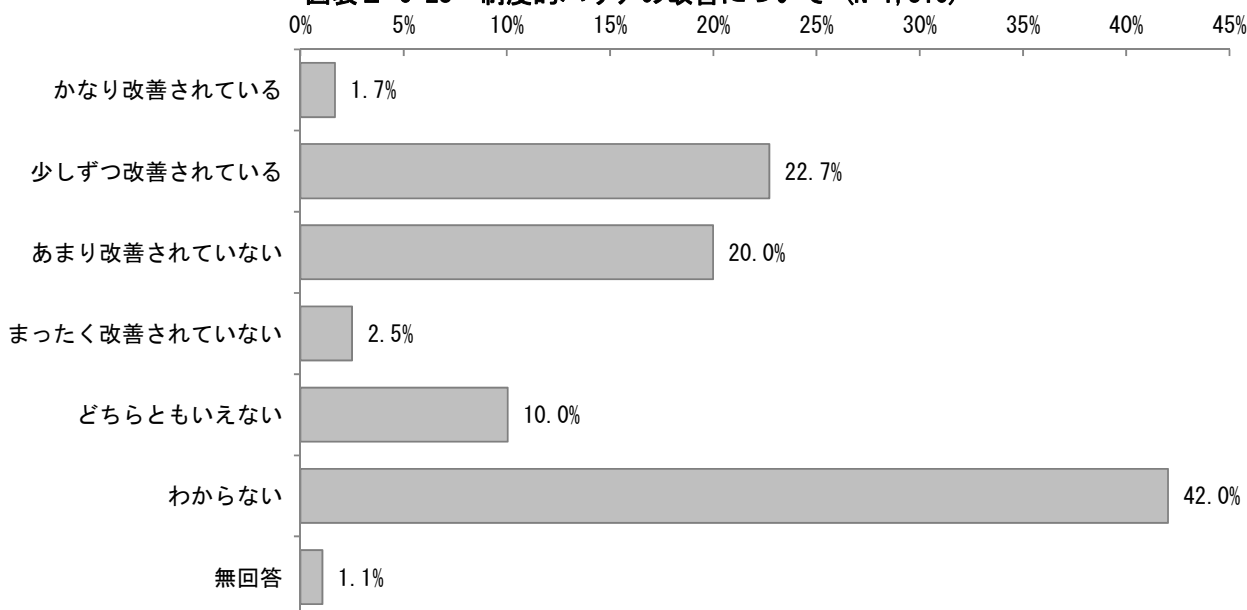


(3) 制度的バリアの改善について

(2) 3年前と比べて、制度的バリア(障がいがあることで資格が制限され、十分な社会活動ができない)は、改善されていると感じますか。

制度的バリアの改善については、「わからない」が42.0%と最も高く、次いで「少しずつ改善されている」が22.7%となっている。

図表Ⅱ-6-28 制度的バリアの改善について (N=1,316)

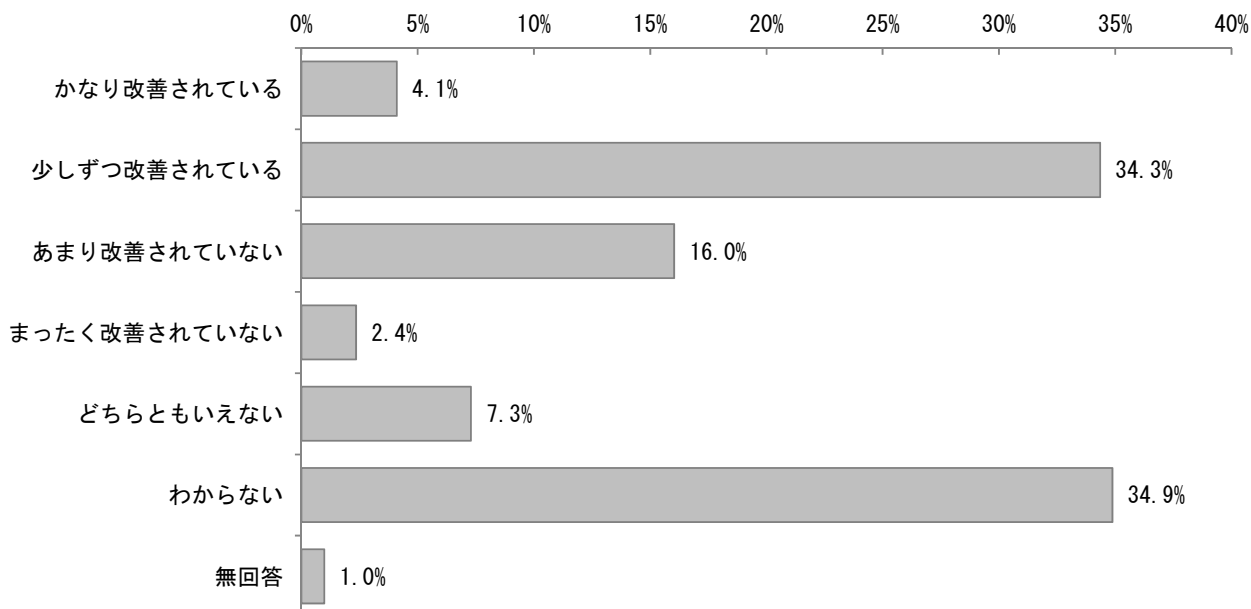


(4) 文化・情報面でのバリアの改善について

(3) 3年前と比べて、文化・情報面でのバリア(点字や音声案内、手話通訳などがなく情報が伝わらない)は、改善されていると感じますか。

文化・情報面でのバリアの改善については、「わからない」が34.9%と最も高く、次いで「少しずつ改善されている」が34.3%となっている。

図表Ⅱ-6-29 文化・情報面でのバリアの改善について (N=1,316)

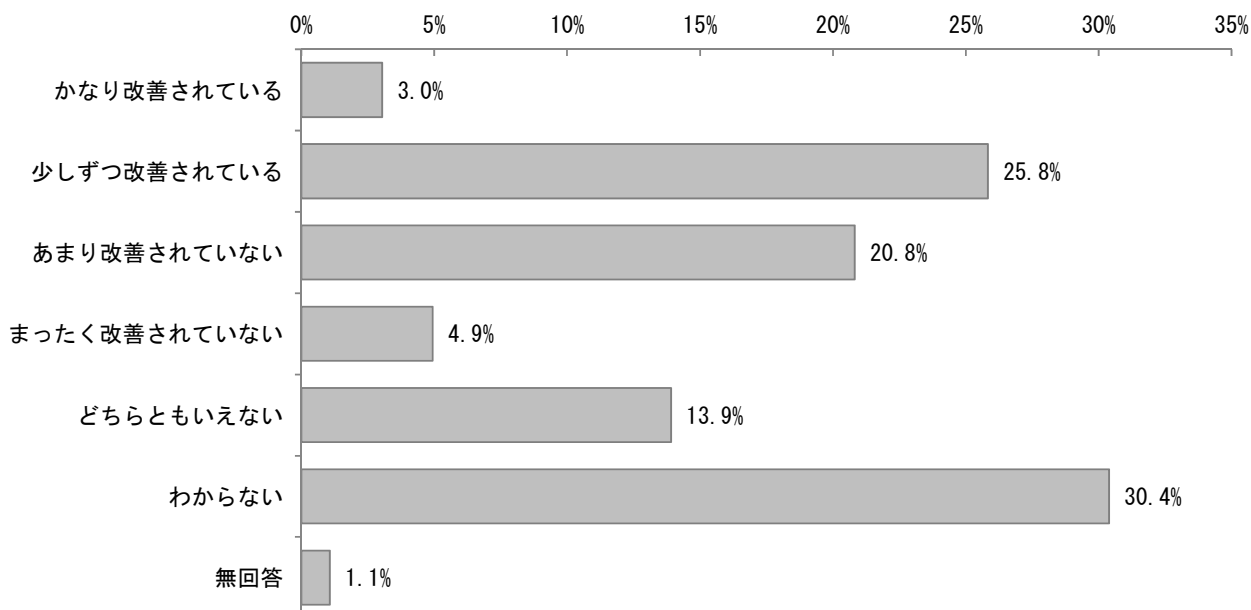


(5) 意識上のバリアの改善について

(4) 3年前と比べて、意識上のバリア(障がいのある人などへの偏見や哀れみ感情を抱き、平等な交流ができない)は、改善されていると感じますか。

意識上のバリアの改善については、「わからない」が30.4%と最も高く、次いで「少しずつ改善されている」が25.8%となっている。

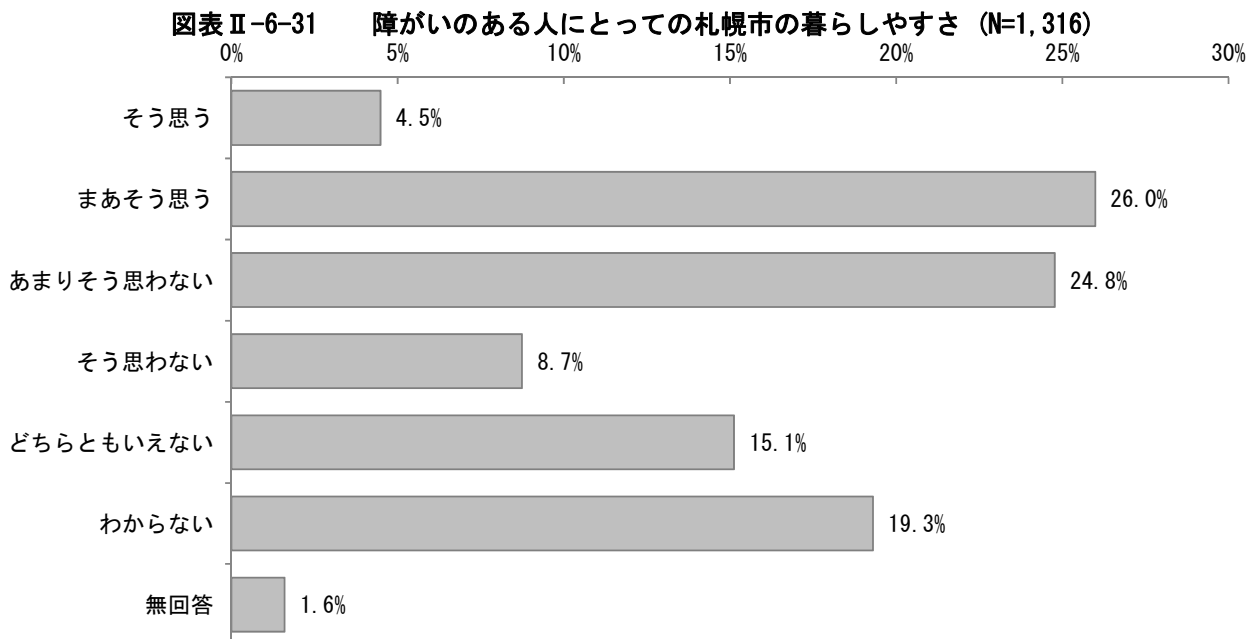
図表Ⅱ-6-30 意識上のバリアの改善について (N=1,316)



(6) 障がいのある人にとっての札幌市の暮らしやすさ

問 12 あなたは、札幌市が障がいのある人にとって地域で普通に暮らしやすい都市であると思いますか。

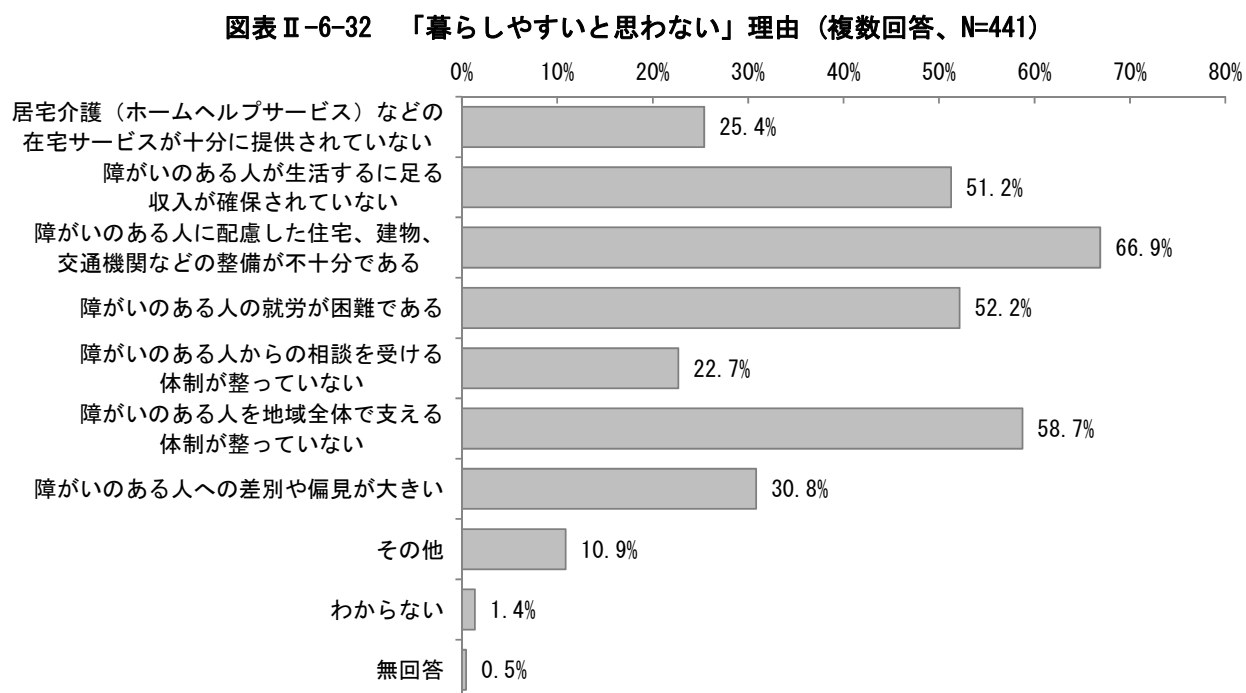
障がいのある人にとっての札幌市の暮らしやすさは、「まあそう思う」が 26.0%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 24.8%となっている。



(7) 「暮らしやすいと思わない」理由

問 12-1 「そう思わない」理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「暮らしやすいと思わない」理由は、「障がいのある人に配慮した住宅、建物、交通機関などの整備が不十分である」が 66.9%と最も高く、次いで「障がいのある人を地域全体で支える体制が整っていない」が 58.7%となっている。

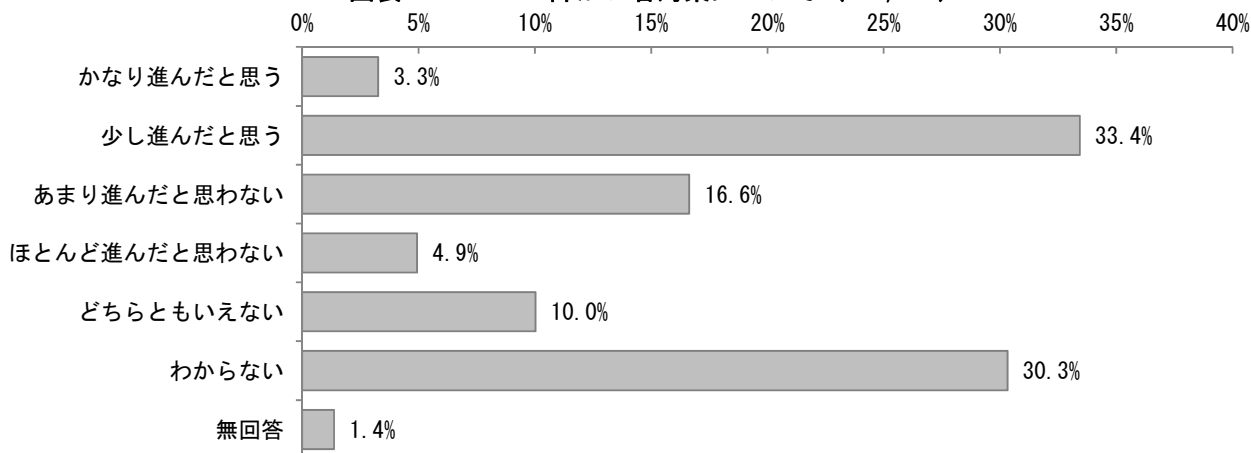


(8) 障がい者対策について

問 13 あなたは、3年前と比べて、福祉・教育・まちづくりなどの障がい者施策は進んだと思いますか。

3年前と比べて、福祉・教育・まちづくりなどの障がい者施策は進んだと思うかは、「少し進んだと思う」が33.4%と最も高く、次いで「わからない」が30.3%となっている。

図表Ⅱ-6-33 障がい者対策について (N=1,316)

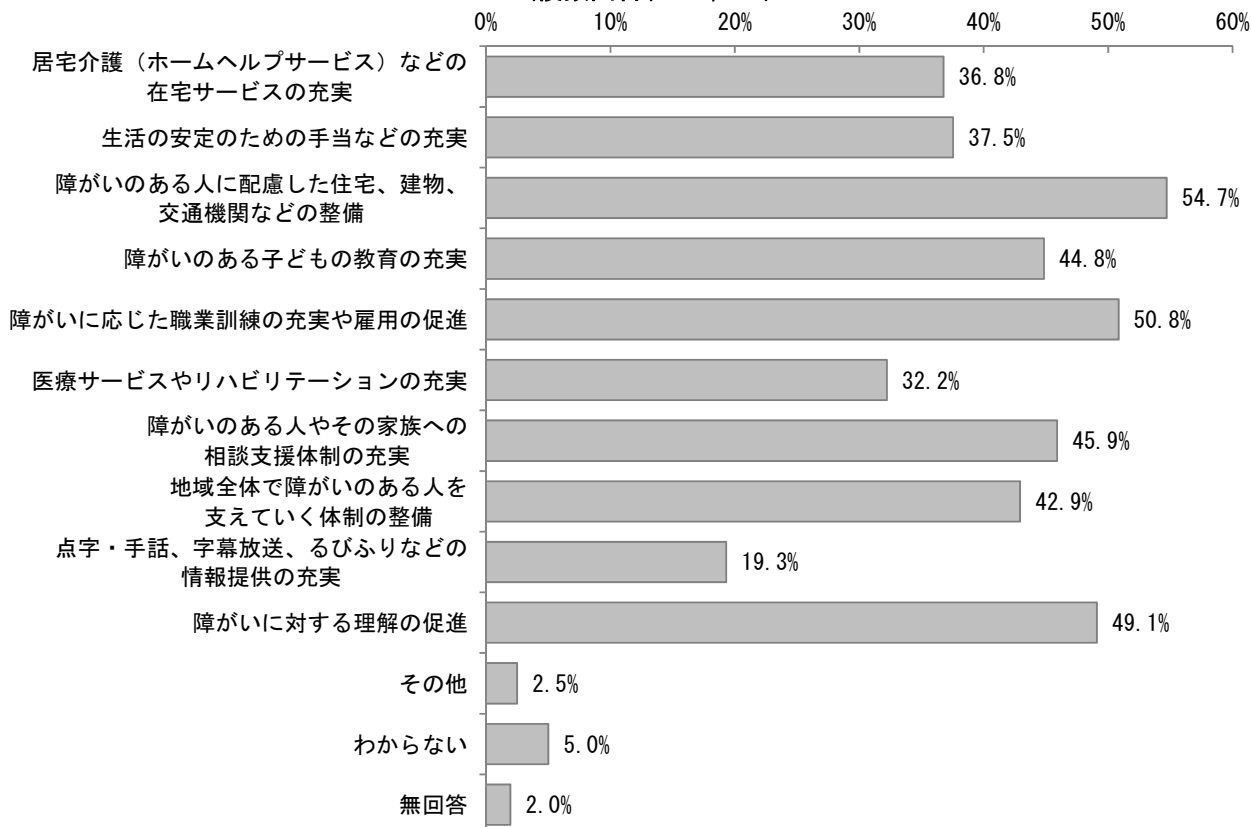


(9) 障がいのある人に関する施策のうち、札幌市がもっと力を入れる必要があるもの

問 14 障がいのある人に関する施策のうち、札幌市がもっと力を入れる必要があるとあなたが思うものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいのある人に関する施策のうち、札幌市がもっと力を入れる必要があるものは、「障がいのある人に配慮した住宅、建物、交通機関などの整備」が54.7%と最も高く、次いで「障がいに応じた職業訓練の充実や雇用の促進」が50.8%となっている。

図表Ⅱ-6-34 障がいのある人に関する施策のうち、札幌市がもっと力を入れる必要があるもの (複数回答、N=1,316)



**札幌市の障がい福祉施策に係る
障がい児者実態等調査（概要版）**

平成 26 年 3 月発行

発行：札幌市

編集：札幌市保健福祉局障がい保健福祉部

〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

TEL (011) 211-2936（障がい福祉課）

FAX (011) 218-5181

メール shogai.fukushi@city.sapporo.jp

市 政 資 料 番 号	01-E04-14-57
担 当 部 局 保 存 期 間	永 年
関 係 部 局 保 存 期 間	1 年